

平成 21 年度
島根県産業廃棄物実態調査報告書
(平成 20 年度実績)

平成 22 年 2 月

島根県環境生活部廃棄物対策課

目 次

第1章 調査の概要	1
第1節 調査の目的	1
第2節 調査に関する基本的事項	1
1. 調査対象期間	1
2. 調査対象廃棄物	1
3. 調査対象業種	2
4. 調査対象区域	4
5. 発生・排出及び処理・処分状況	5
第3節 調査の方法	7
1. 調査方法の概要	7
2. 標本調査について	8
第4節 調査結果の利用上の留意事項	12
1. 産業廃棄物の種類の区分について	12
2. 委託中間処理後の残さ量について	12
3. 建設業の地域別発生量について	12
4. 単位と数値に関する処理	12
第5節 標本抽出・回収結果	13
第2章 産業廃棄物の現状	14
第1節 調査結果の概要（農業を除く）	14
第2節 発生・排出状況（農業を除く）	15
1. 種類別の発生・排出状況	15
2. 業種別の発生・排出状況	16
3. 地域別の発生・排出状況	17
第3節 処理・処分状況（農業を除く）	18
1. 処理・処分状況の概要	18
2. 自己中間処理状況	20
3. 委託処理状況	21
4. 資源化、再生利用状況	22
5. 最終処分状況	24
第4節 農業を含む調査結果	25
1. 種類別の発生・排出状況	25
2. 業種別の発生・排出状況	26
第5節 業種別の発生・排出及び処理・処分状況 （排出量が1千トン以上の業種）	27
1. 農業	27
2. 鉱業	28
3. 建設業	30

4. 製造業	32
5. 電気・水道業	34
6. 運輸業	36
7. 卸・小売業	38
8. 学術研究	40
9. 宿泊・飲食	42
10. 生活関連	44
11. 教育, 学習	46
12. 医療, 福祉	48
13. サービス業	50
第6節 特別管理産業廃棄物	52
1. 発生・排出状況	52
2. 処理・処分状況	53
第7節 産業廃棄物の移動状況（農業を除く）	55
1. 搬出量の移動状況	55
2. 委託処理量の移動状況	56
第3章 産業廃棄物の推移と将来予測	57
第1節 前回調査との比較	57
1. 発生・排出状況との比較（農業を除く）	57
2. 処理・処分状況との比較（農業を除く）	60
第2節 発生・排出及び処理・処分の将来予測	61
1. 将来予測の方法	61
2. 発生・排出量の将来予測（農業を除く）	62
3. 処理・処分状況の将来予測（農業を除く）	64
第4章 事業者の意識調査	65
第1節 回答結果	65
第2節 調査結果のまとめ	65
1. 産業廃棄物に関する課題について	65
2. 産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用（3R）の取組みについて	67
3. 産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用（3R）の促進について	72
4. 産業廃棄物の将来の見通しについて	76
5. 産業廃棄物の処理施設（最終処分場）の立地について	82
6. 県への要望について	85

巻末資料

- ・統計表
- ・調査票及び記入例等

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的

本調査は、平成20年度の島根県内における産業廃棄物の発生、処理状況等の実態を把握するとともに、これら産業廃棄物の将来予測を行うことによって、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）第5条の5に定める廃棄物処理計画の策定に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

第2節 調査に関する基本的事項

1. 調査対象期間

平成20年4月1日から平成21年3月31日までの1年間

2. 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に規定する産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）とし、表1-2-1に示す分類に区分した。なお、これら産業廃棄物のうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて細区分し、分類が困難な廃棄物（感染性産業廃棄物等）については、「その他の産業廃棄物」として捉えた。

表 1-2-1 (1) 調査対象廃棄物

産業廃棄物の分類 ()内は、細区分。
① 燃え殻
② 汚泥（有機性汚泥、無機性汚泥）
③ 廃油（一般廃油、廃溶剤、固形油、油でい、油付着物類）
④ 廃酸
⑤ 廃アルカリ
⑥ 廃プラスチック類（廃プラスチック、廃タイヤ）
⑦ 紙くず
⑧ 木くず
⑨ 繊維くず
⑩ 動植物性残さ
⑪ 動物系固形不要物
⑫ ゴムくず
⑬ 金属くず
⑭ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず [注、本報告書では、「ガラス陶磁器くず」と略した]
⑮ 鉱さい
⑯ がれき類（コンクリート片、廃アスファルト、その他）
⑰ 動物のふん尿
⑱ 動物の死体
⑲ ばいじん
⑳ 産業廃棄物を処分するために処理したもの
※上記の種類に分類できない廃棄物等は、「その他産業廃棄物」とした。

表 1-2-1 (2) 調査対象廃棄物

特別管理産業廃棄物
①廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）
②廃酸（pHが2.0以下の廃酸）
③廃アルカリ（pHが12.5以上の廃アルカリ）
④感染性産業廃棄物
⑤廃石綿等
⑥特定有害産業廃棄物（廃石綿等を除く）

また、調査にあたって、有価物・副産物、発生時の廃棄物の種類等については、下記に示す取り扱いをした。

- (1) 法令上は廃棄物とされていないもの、いわゆる有償物（事業場内等で生じたものであって中間処理されることなく、他者に有償で売却したもの及び他者に有償で売却できるものを自己利用したもの）については、今後の社会情勢等の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、調査対象とした。
- (2) 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物は、産業廃棄物処理法で産業廃棄物となる業種（動物系固形不要物は、と畜場及び食鳥処理場に限り）が指定されており、指定された業種以外で生じた上記廃棄物については、事業系一般廃棄物となるため、原則として調査対象から除外した。
- (3) 下水道または公共用水域へ直接放流することを目的として、事業場内で酸性またはアルカリ性を呈する廃水を中和処理（一般の廃水処理）している場合は、中和処理後に生じた沈でん物（汚泥）を発生時の産業廃棄物として捉え、中和処理前の酸性またはアルカリ性廃水は、調査対象から除外した。
- (4) 事業場内で産業廃棄物を自己焼却処理した後に燃え殻が発生する場合は、焼却処理前の廃棄物を発生時の廃棄物として捉えた。

3. 調査対象業種

調査対象業種は、「日本標準産業分類（総務省）」（平成19年11月改定版）の業種区分を基本とし、表1-2-2に示す業種を調査対象とした。

また、調査対象業種の名称については、本報告書では略称で統一し表記した。

なお、統計表については、巻末の統計資料に示すとおりである。

表 1-2-2 調査対象業種

日本標準産業分類	略 称
農業，林業 農業 林業	農業，林業 農業 林業
漁業	漁業
鉱業，砕石業，砂利採取業	鉱業
建設業	建設業
製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く） 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業（別掲を除く） ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他
電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 上水道業 下水道業	電気・水道業 電気業 ガス業 上水道業 下水道業
情報通信業	情報通信業
運輸業，郵便業	運輸業
卸売業，小売業	卸・小売業
金融業，保険業	金融・保険業
不動産業，物品賃貸業	不動産業
学術研究，専門・技術サービス業	学術研究
宿泊業，飲食サービス業	宿泊・飲食
生活関連サービス業，娯楽業	生活関連
教育，学習支援業	教育，学習
医療，福祉	医療，福祉
複合サービス事業	複合サービス
サービス業	サービス業
公務	公務

4. 調査対象区域

調査対象区域は、島根県全域とした。なお、本調査では産業廃棄物の発生等の地域特性を把握するため、県内を表 1-2-3に示す 6 地域に区分した。

表 1-2-3 調査対象地域区分

地域名	構成市町村
松江圏域	松江市、安来市 八束郡（東出雲町）
出雲圏域	出雲市、雲南市 仁多郡（奥出雲町） 飯石郡（飯南町） 簸川郡（斐川町）
大田圏域	大田市 邑智郡（川本町、美郷町、邑南町）
浜田圏域	浜田市、江津市
益田圏域	益田市 鹿足郡（津和野町、吉賀町）
隠岐圏域	隠岐郡（海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町）

5. 発生・排出及び処理・処分状況

調査の集計・推計結果は、図 1-2-1に示す発生・排出及び処理・処分状況の流れ図にとりまとめた。

なお、この流れ図に用いた各項目の定義については、表 1-2-4に示すとおりである。

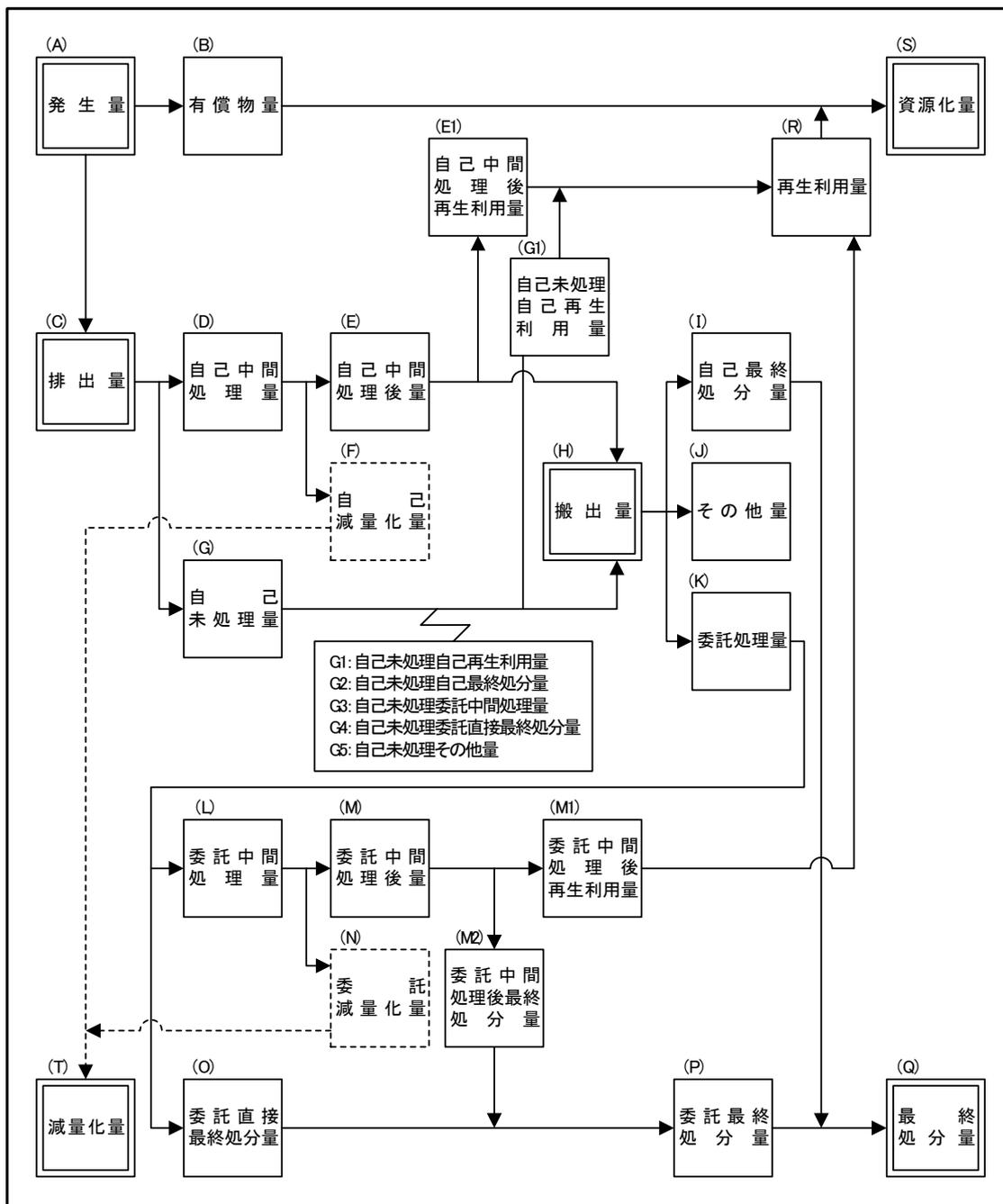


図 1-2-1 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図

表 1-2-4 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図に関する用語の定義

No.	項 目	定 義
(A)	発生量	事業所内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B)	有償物量	(A)のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量（他者に有償で売却できるものを自己利用した場合を含む）
(C)	排出量	(A)から(B)を除いた量
(D)	自己中間処理量	(C)のうち、排出事業者自らが中間処理した廃棄物量で処理前の量
(E)	自己中間処理後量	(D)で自己で中間処理した後の廃棄物量
(E1)	自己中間処理後再生利用量	(E)のうち、自ら利用し、または他者に有償で売却した量
(F)	自己減量化量	(D)から(E)を差し引いた量
(G)	自己未処理量	(C)のうち、自己中間処理されなかった量
(G1)	自己未処理自己再生利用量	(G)のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2)	自己未処理自己最終処分量	(G)のうち、自己の埋立地に処分した量
(G3)	自己未処理委託中間処理量	(G)のうち、処理業者で中間処理された量
(G4)	自己未処理委託直接最終処分量	(G)のうち、処理業者で直接最終処分された量
(G5)	自己未処理その他量	(G)のうち、処理・処分されなかった量
(H)	搬出量	(E)、(G)のうち、再生利用以外の量
(I)	自己最終処分量	(H)のうち、自己の埋立地に処分した量
(J)	その他量	(H)のうち、処理・処分されなかった量（事業場内等に保管されている量等）
(K)	委託処理量	(H)のうち、中間処理及び最終処分を他者に委託した量
(L)	委託中間処理量	(K)のうち、処理業者等で中間処理された量
(M)	委託中間処理後量	(L)で中間処理された後の廃棄物量
(M1)	委託中間処理後再生利用量	(M)のうち、処理業者等で自ら利用し、または他者に有償で売却した量
(M2)	委託中間処理後最終処分量	(M)のうち、最終処分された量
(N)	委託減量化量	(L)から(M)を差し引いた量
(O)	委託直接最終処分量	(K)のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(P)	委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q)	最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R)	再生利用量	排出事業者と処理業者等で再生利用された量
(S)	資源化量	(B)と(R)の合計
(T)	減量化量	排出事業者または処理業者等の中間処理により減量された量

第3節 調査の方法

1. 調査方法の概要

本調査は、郵送によるアンケート調査と県保有の既存資料に基づく資料調査を基本としており、アンケートによって回答を得た産業廃棄物の発生及び処理状況に関する内容（集計値）と産業廃棄物の発生量に関連した指標（活動量指標：従業者数、製造品出荷額等）を基に、県内における産業廃棄物の発生量等の推計を行うものである。

なお、調査にあたっては、発生事業場（業種）の特性等を勘案し、表 1-3-1 に示す調査方法を基本とした。

表 1-3-1 調査方法

業 種	調査方法			備 考
	全数調査	標本調査	資料調査	
農 業			○	動物のふん尿、動物の死体、農業用プラスチック類を調査対象廃棄物とし、既存資料を用いて調査する。
林 業		○		
漁 業		○		
鉱 業		○		
建設業		○		
製造業		○		
電気・水道業	○			関係部局の名簿等を基に、火力発電所、ガス製造所、浄水場、下水処理場を全数抽出し、すべての施設より回答を得ることを原則とする。このため、活動量指標を用いた原単位による推計は行わず、アンケートで集計した発生量及び処理状況の実績量をそのまま用いる。
情報通信業		○		
運輸業		○		
卸・小売業		○		
金融・保険業		○		
不動産業		○		
学術研究		○		
宿泊・飲食		○		
生活関連		○		
教育，学習		○		
医療，福祉		○		
複合サービス		○		
サービス業		○		
公 務	○			自衛隊

注 1) 全数調査とは、産業廃棄物の発生量及び処理状況の実態をより正確に把握するため、特定の業種あるいは事業所等を調査対象として全数を抽出・回収し、その発生量及び処理状況の実績量を把握する方法。

注 2) 標本調査とは、標本調査対象業種に分類される事業所から一部の調査事業所を抽出し、抽出された排出事業所からのアンケート調査に基づいて産業廃棄物の実態を把握する方法。

注 3) 資料調査とは、関係部局等が調査した発生原単位等の資料を用いて発生量等の実績量を把握する方法。

2. 標本調査について

(1) 標本抽出方法

標本調査の抽出は表 1-3-2に示すとおり、平成 18 年度事業所・企業統計調査名簿を基に、業種別、従業者規模別等に事業所を層別し、これらの各層ごとに行うことを基本とした。

表 1-3-2 調査方法

業 種	標本抽出方法等
農業, 林業	(林業) 事業所・企業統計調査 事業所リストから抽出 ・従業者数5人以上を全数抽出
漁業	事業所・企業統計調査 事業所リストから抽出 ・従業者数5人以上を全数抽出
鉱業	事業所・企業統計調査 事業所リストから抽出 ・従業者数5人以上を全数抽出
建設業	事業所・企業統計調査 事業所リストから抽出 ・資本金1,000万円以上は全数抽出 ・資本金1,000万円未満は無作為抽出 ただし、平成20年度多量排出事業者は全数抽出 また、県外大手企業(ゼネコン)については、(社)日本建設業団体連合会 会員名簿及び日本土木工業協会会員名簿より全数抽出
製造業	事業所・企業統計調査 事業所リストから抽出 ・従業者数30人以上は全数抽出 ・従業者数5人以上30人未満は無作為抽出 ただし、平成20年度多量排出事業者は全数抽出
電気・水道業	(電気業、ガス業) 事業所・企業統計調査 事業所リストから抽出 ・従業者数5人以上を全数抽出 (上水道、下水道業) 既存の資料から全数抽出
情報通信業	事業所・企業統計調査 事業所リストから抽出 ・従業者数30人以上は全数抽出 ・従業者数5人以上30人未満は無作為抽出 ただし、平成20年度多量排出事業者は全数抽出
運輸業	
卸・小売業	
金融・保険業	
不動産業	
学術研究	
宿泊・飲食	
生活関連	
教育, 学習	
医療, 福祉	事業所・企業統計調査 事業所リストから抽出 ・従業者数30人以上は全数抽出 ・従業者数5人以上30人未満は無作為抽出 ただし、平成20年度多量排出事業者及び高等教育機関、病院、保健所につ いては全数抽出
複合サービス	事業所・企業統計調査 事業所リストから抽出 ・従業者数30人以上は全数抽出 ・従業者数5人以上30人未満は無作為抽出 ただし、平成20年度多量排出事業者は全数抽出
サービス業	
公務	既存の資料から抽出 自衛隊駐屯地は全数抽出

(2) アンケート調査項目

調査票の項目や形式は、業種による産業廃棄物の発生及び処理・処分状況等の特性を考慮し、①建設業、②運輸業等の自動車に関連する業、③医療関係、④製造業、サービス業、その他の業種の4種類とした。

なお、調査票の項目及び形式は、巻末の参考資料に示すとおりである。

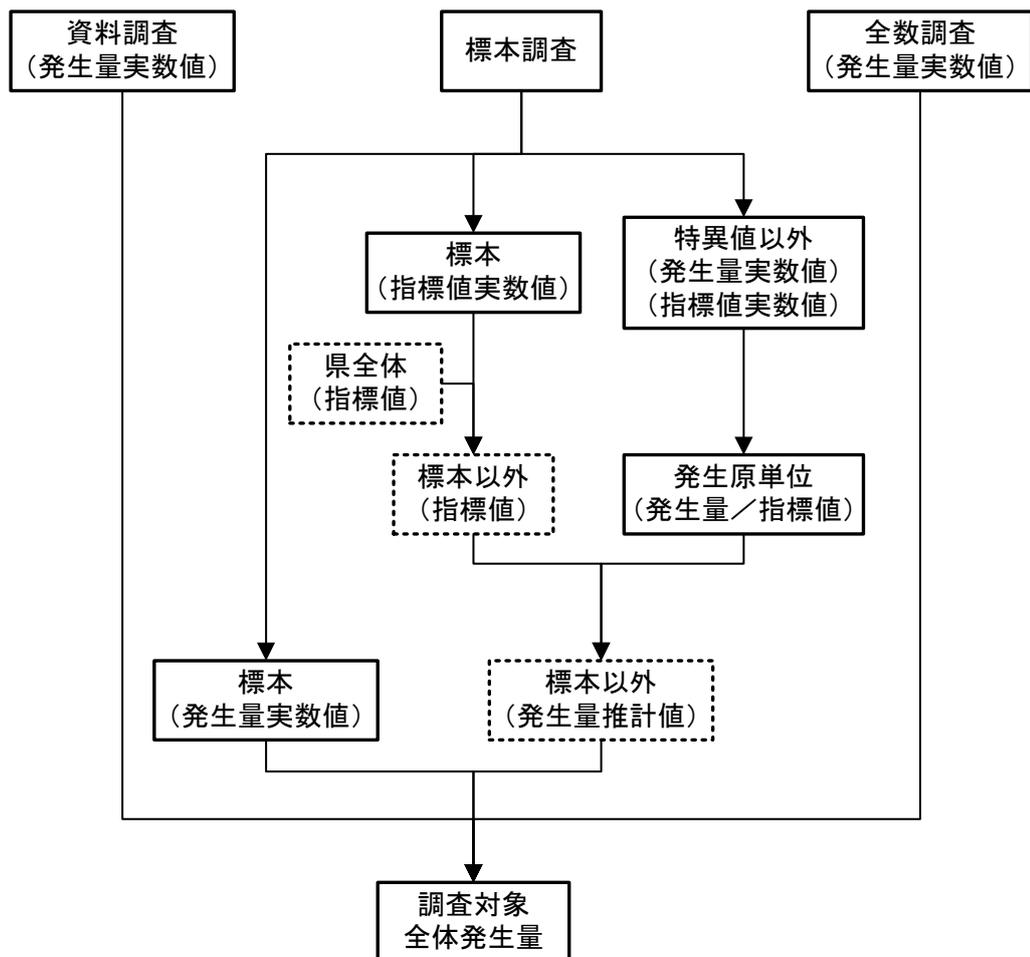
(3) 発生量原単位の作成と調査対象全体の発生量の推計方法

1) 推計の考え方

調査対象全体の発生量は、資料調査、標本調査、全数調査による発生量の合計により算出する。

資料調査及び全数調査は、実数値の集計により算出するが、標本調査については、標本以外の発生量は、2) に示す発生原単位を用いて算出した。

なお、発生量全体の推計手法の流れは、図 1-3-1 に示すとおりである。



注) 特異値とは、多量排出事業者や同業他社と比較し排出状況が大きく異なる等特殊な標本のことを示す。

図 1-3-1 発生量の推計方法の概念図

2) 発生原単位の算出

発生原単位とは、活動量指標単位当たりの産業廃棄物発生量を示すものであり、アンケート調査によって得られた標本の業種別、種類別の集計産業廃棄物量と、業種別の集計活動量指標値から次式により算出した。

なお、発生原単位は、図 1-3-1 に示すとおり特異値以外の標本を用いて算出した。

具体的には、特異値以外の標本の業種別・産業廃棄物種類別の集計産業廃棄物発生量と集計活動量指標値から、次式により業種別・産業廃棄物種類別にそれぞれ算出した。

特異値とは、多量排出事業者や同業他社と比較し排出状況が大きく異なる等特殊な標本のことを示す。

$$\text{発生原単位の算出} \quad \alpha = W a / O a \quad [\text{発生量} / \text{集計活動量指標値}]$$

α : 発生原単位

$W a$: 特異値以外の集計発生量

$O a$: 特異値以外の集計活動量指標値

3) 標本以外の発生量の推計方法

2) で算出された発生原単位と、標本調査で捕捉できなかった活動量指標を用いて、次式により標本以外の発生量を推計した。

$$\text{標本以外の発生量推計値} \quad W = \alpha \times O \quad [\text{重量} / \text{年}]$$

W : 標本以外の発生量推計値

α : 発生原単位

O : 標本以外の活動量指標値

(県全体の母集団指標値より標本調査で捕捉した指標値を除いた残り)

4) 調査対象全体の発生量の推計方法

3) で算出した標本以外の発生量推計値に、資料調査及び全数調査の発生量実績値、並びに標本調査の発生量実数値を足し合わせて調査対象全体の発生量とした。

5) 活動量指標

母集団（県全体）の推計に用いた活動量指標は、表 1-3-3に示すとおりである。

表 1-3-3 業種別の活動量指標

業 種	活動量指標	出 典
農業 （動物のふん尿・死体）	家畜数	「家畜の動向」等
農業 （農業用廃プラスチック類）	（実数）	「農林業使用済プラスチック処理 実態調査」等
林業	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
漁業	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
鉱業	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
建設業	元請完成工事高	「建設工事施工統計調査報告」
製造業	製造品出荷額等	「工業統計調査報告」
電気・水道業	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
情報通信業	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
運輸業	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
卸・小売業	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
金融・保険業	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
不動産業	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
学術研究	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
宿泊・飲食	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
生活関連	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
教育、学習	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
医療、福祉（病院）	病床数	「医療施設調査」等
医療、福祉（病院以外）	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
複合サービス	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」
サービス業	従業者数	「事業所・企業統計調査報告」

第4節 調査結果の利用上の留意事項

本調査結果を利用する際の留意事項については、以下のとおりである。

1. 産業廃棄物の種類の区分について

本報告書では、産業廃棄物の種類を次に示す3段階で設定し、表記している。

1段階	発生時点の種類
2段階	排出事業場で中間処理され、変化した処理後の種類 例1；木くず→（焼却）→〔燃え殻〕 例2；廃酸→（中和）→〔汚泥〕 注）1段階時点の種類と事業場の中間処理方法を用いて推定した。
3段階	委託中間処理により、変化した処理後の種類 注）2段階時点の種類と委託中間処理方法を用いて推定した。

なお、解析等の都合上、中間処理後も廃棄物の種類を変化させず集計した場合（例：発生時の種類のまま；木くず→（焼却）→木くず）は、図表中に「種類別：無変換」と表記した。

2. 委託中間処理後の残さ量について

委託中間処理後の残さ量は、アンケートの回答結果を用いることを原則とした。なお、残さ量の回答が無いものについては、産業廃棄物の種類ごとに、委託中間処理方法による残さ率から電算処理を行い算出した。

3. 建設業の地域別発生量について

建設業における地域別の産業廃棄物の発生量については、アンケートで得られた工事現場ごとの発生量の割合を基に、県全体の推計値を按分することにより算出した。

4. 単位と数値に関する処理

（1）単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを明らかにするため、図表の単位は「千t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千トン」で記述している。

（2）報告書における数値の処理

本文に記載されている千トン表示及び構成比（%）の数値は、四捨五入の関係で合計と個々の数値の計とが一致しないものがある。

なお、本文の図表及び巻末統計表の空欄は、該当値がないものを示す。

第5節 標本抽出・回収結果

島根県内に所在する総事業所数 41,814 件（平成 18 年事業所・企業統計調査報告）から、産業廃棄物の発生が見込まれる業種を中心に調査対象事業所(母集団) 39,231 件を設定した。

このうち、業種の特長、規模別の特長等を考慮して、業種別、従業者規模別の抽出率を基に 4,591 件（抽出率 11.7%）を抽出し、アンケート調査を実施した。

回収された調査票は、2,787 件（回収率 60.7%）で、このうち建設業の元請工事がないなどの活動量指標値の記入のない調査票等を除いた有効調査票は、2,379 件となっている。

回収された調査票から集計された産業廃棄物量の捕捉率は、原単位法により推計された産業廃棄物量に対して 78.4%である。

なお、林業については、回収調査票すべてにおいて発生なしであったため、以下の調査結果からは除外した。

標本の抽出及び回収結果は、表 1-5-1 に示すとおりである。

表 1-5-1 標本抽出・回収結果

業種	(A) 調査対象 事業所数 (件)	(B) 抽出 事業所数 (件)	(C) 抽出率 (B)÷(A)	(D) 回収 事業所数 (件)	(E) 回収率 (D)÷(B)	(F) 有効 調査票 (件)	(G) 集計活動量 指標値	(H) 母集団の活動 量指標値	(I) 指標 カバー率 (G)÷(H)	(J) 集計 廃棄物量 (千トン)	(K) 推計 廃棄物量 (千トン)	(L) 廃棄物の 捕捉率 (J)÷(K)
合計	39,231	4,591	11.7%	2,787	60.7%	2,379	—	—	—	1,290	1,645	78.4%
林業	37	19	51.4%	15	78.9%	15	256	358	71.5%	0	0	—
漁業	51	45	88.2%	27	60.0%	26	498	1,002	49.7%	0	0	51.4%
鉱業	64	49	76.6%	30	61.2%	26	265	612	43.3%	6	6	99.8%
建設業	5,122	1,163	22.7%	737	63.4%	476	20,397,911	41,501,500	49.1%	449	740	60.7%
製造業	2,734	1,076	39.4%	598	55.6%	526	83,099,294	107,296,807	77.4%	283	323	87.5%
電気・水道業	68	64	94.1%	83	129.7%	82	—	—	—	534	534	100.0%
情報通信業	241	102	42.3%	63	61.8%	62	2,484	2,828	87.8%	0	0	60.1%
運輸業	734	218	29.7%	126	57.8%	118	5,357	12,499	42.9%	3	4	69.8%
卸・小売業	11,742	471	4.0%	260	55.2%	233	11,227	66,201	17.0%	5	15	36.4%
金融・保険業	673	138	20.5%	84	60.9%	82	3,205	6,961	46.0%	0	0	100.0%
不動産業	1,670	91	5.4%	60	65.9%	59	1,017	4,411	23.1%	1	1	100.0%
学術研究	1,320	133	10.1%	95	71.4%	88	2,049	6,754	30.3%	1	3	26.6%
宿泊・飲食	4,367	215	4.9%	87	40.5%	85	2,699	24,833	10.9%	1	3	18.2%
生活関連	3,506	124	3.5%	57	46.0%	56	1,531	12,565	12.2%	1	3	18.9%
教育、学習	876	65	7.4%	41	63.1%	38	2,385	5,305	45.0%	1	2	88.4%
医療、福祉 (病院)	70	69	98.6%	58	84.1%	51	10,321	11,946	86.4%	5	5	100.0%
医療、福祉 (病院以外)	2,045	269	13.2%	199	74.0%	193	8,791	25,430	34.6%	0	3	16.3%
複合サービス	801	79	9.9%	54	68.4%	53	1,939	8,011	24.2%	0	0	30.6%
サービス業	3,108	199	6.4%	111	55.8%	108	7,369	20,627	35.7%	1	2	24.4%
公務	2	2	100.0%	2	100.0%	2	—	—	—	0	0	100.0%

注) 活動量指標 → 建設業：元請完成工事高（百万円）、製造業：製造品出荷額等（万円）、病院：病床数（床）、その他の業種：従業者数（人）

電気・水道業、公務は、県保有の名簿より有意抽出。

第2章 産業廃棄物の現状

第2章 産業廃棄物の現状

平成20年度に島根県内における産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分状況は次のとおりである。

第1節 調査結果の概要（農業を除く）

平成20年度の1年間に島根県内で生じた特別管理産業廃棄物を含む産業廃棄物等の発生量（農業を除く）は1,645千トンであり、有償物量の34千トン（発生量の2.0%）を除いた産業廃棄物の排出量は1,612千トン（98.0%）となっている。

排出量のうち、脱水や焼却など中間処理された量は1,359千トン（排出量の84.3%）、中間処理を経ず直接再生利用された量は5千トン（0.3%）、直接最終処分された量は244千トン（15.1%）等となっている。一方、中間処理による減量化量は335千トン（20.8%）で、再生利用量は969千トン（60.2%）、最終処分量は304千トン（18.9%）となっている。

これらを発生量ベースで捉えると、再生利用された量は969千トン、有償物量が34千トンで合わせた資源化量は1,003千トン（61.0%）、減量化量は335千トン（20.3%）、最終処分量は304千トン（18.5%）であり、事業場内での保管等その他量は、未処理及び中間処理後を合わせて4千トン（0.2%）となっている。

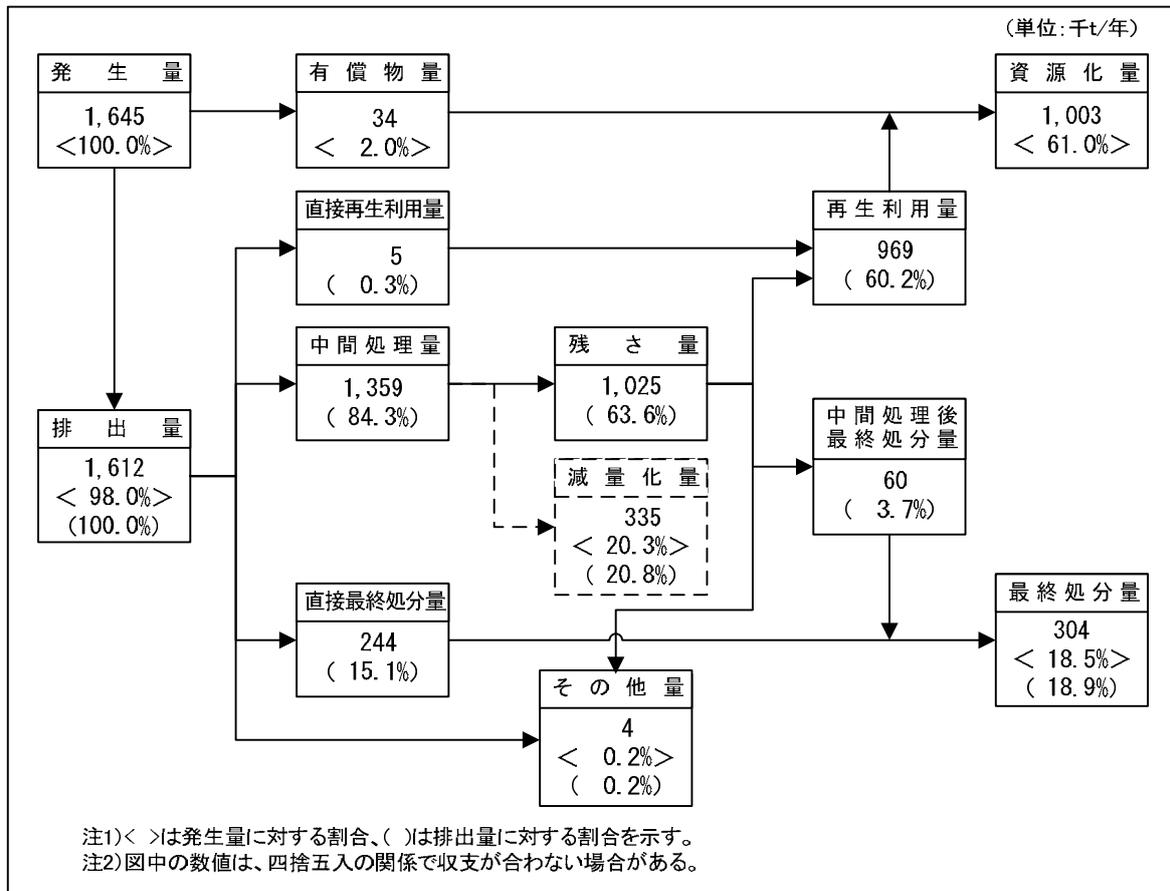


図 2-1-1 発生・排出及び処理・処分の状況

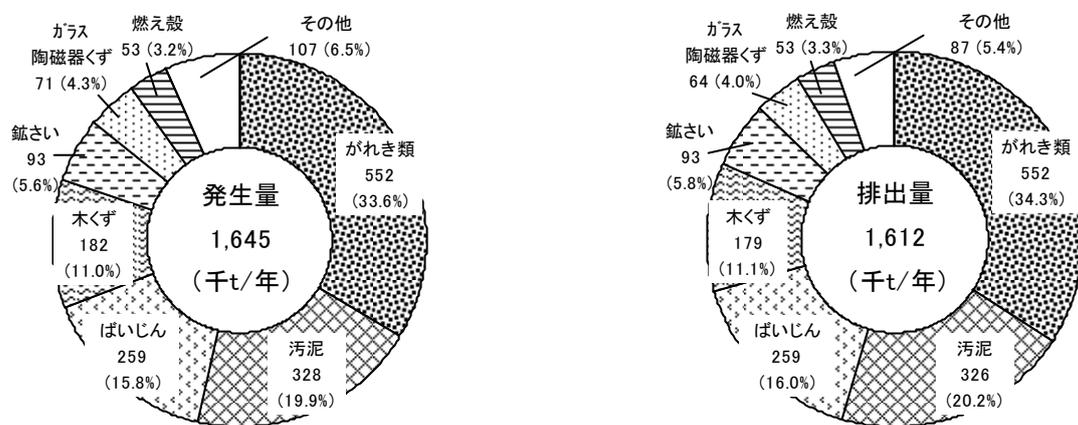
第2節 発生・排出状況（農業を除く）

1. 種類別の発生・排出状況

種類別の発生・排出状況は図 2-2-1に示すとおりである。

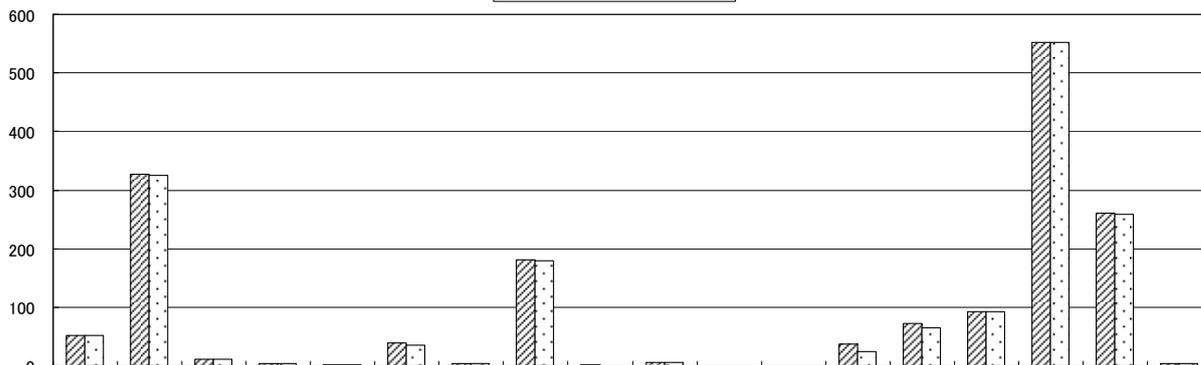
発生量（1,645 千トン）を種類別にみると、がれき類が 552 千トン（33.6%）で最も多く、次いで、汚泥が 328 千トン（19.9%）、ばいじんが 259 千トン（15.8%）、木くずが 182 千トン（11.0%）、鉱さいが 93 千トン（5.6%）等となっており、これら 5 種類で発生量の 85.9% を占めている。

また、排出量（1,612 千トン）を種類別にみると、がれき類が 552 千トン（34.3%）で最も多く、次いで、汚泥が 326 千トン（20.2%）、ばいじんが 259 千トン（16.0%）、木くずが 179 千トン（11.1%）、鉱さいが 93 千トン（5.8%）等となっており、これら 5 種類で排出量の 87.4% を占めている。



(単位:千t/年)

■ 発生量 □ 排出量



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
発生量	1,645	53	328	11	3	2	39	5	182	1	5	0	0	38	71	93	552	259	3
(%)	(100.0)	(3.2)	(19.9)	(0.7)	(0.2)	(0.1)	(2.4)	(0.3)	(11.0)	(0.1)	(0.3)	(0.0)	(0.0)	(2.3)	(4.3)	(5.6)	(33.6)	(15.8)	(0.2)
排出量	1,612	53	326	11	3	2	35	3	179	1	5	0	0	24	64	93	552	259	3
(%)	(100.0)	(3.3)	(20.2)	(0.7)	(0.2)	(0.1)	(2.2)	(0.2)	(11.1)	(0.1)	(0.3)	(0.0)	(0.0)	(1.5)	(4.0)	(5.8)	(34.3)	(16.0)	(0.2)

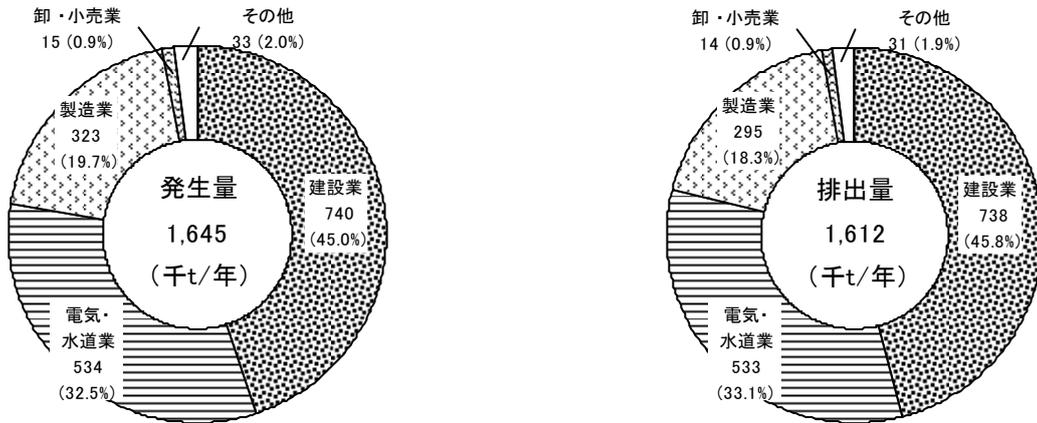
図 2-2-1 種類別の発生及び排出量（農業を除く）

2. 業種別の発生・排出状況

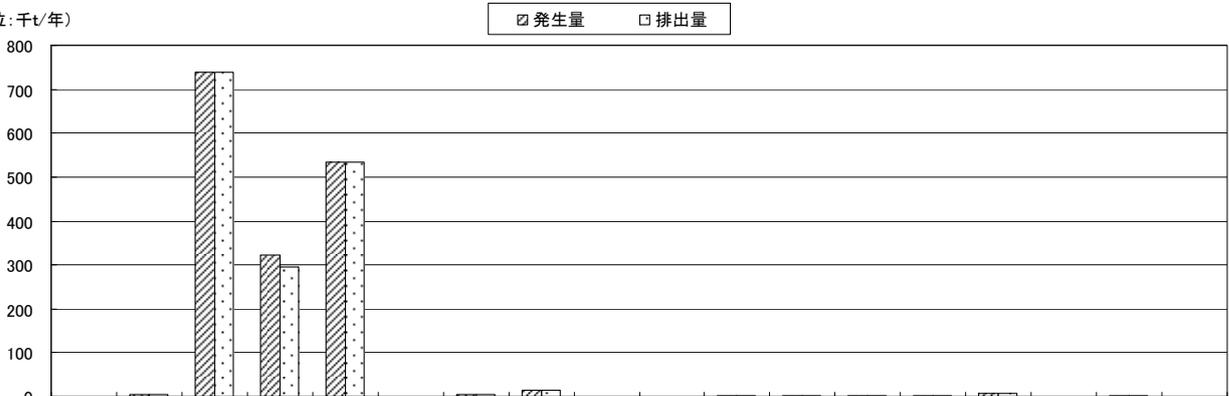
業種別の発生・排出状況は図 2-2-2に示すとおりである。

発生量（1,645 千トン）を業種別にみると、建設業が 740 千トン（45.0%）で最も多く、次いで、電気・水道業が 534 千トン（32.5%）、製造業が 323 千トン（19.7%）等となっており、これら 3 業種で発生量の 97.1%を占めている。

また、排出量（1,612 千トン）を業種別にみると、建設業が 738 千トン（45.8%）で最も多く、次いで、電気・水道業が 533 千トン（33.1%）、製造業が 295 千トン（18.3%）等となっており、これら 3 業種で発生量の 97.2%を占めている。



(単位:千t/年)



項目	合計	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療・福祉	複合サービス	サービス業	公務
発生量	1,645	0	6	740	323	534	0	4	15	0	1	3	3	3	2	8	0	2	0
(%)	(100.0)	(0.0)	(0.4)	(45.0)	(19.7)	(32.5)	(0.0)	(0.3)	(0.9)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(0.5)	(0.0)	(0.1)	(0.0)
排出量	1,612	0	6	738	295	533	0	4	14	0	0	2	3	3	2	8	0	2	0
(%)	(100.0)	(0.0)	(0.4)	(45.8)	(18.3)	(33.1)	(0.0)	(0.2)	(0.9)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(0.5)	(0.0)	(0.1)	(0.0)

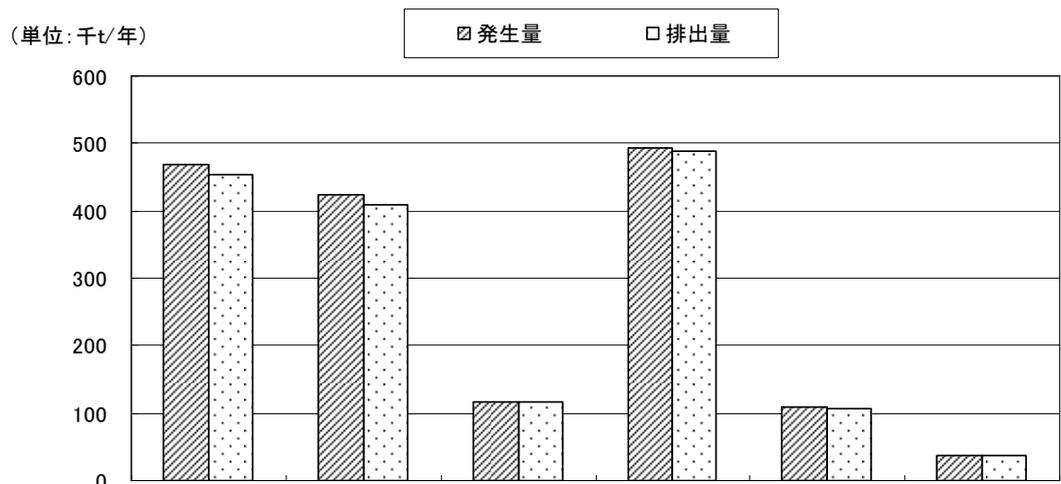
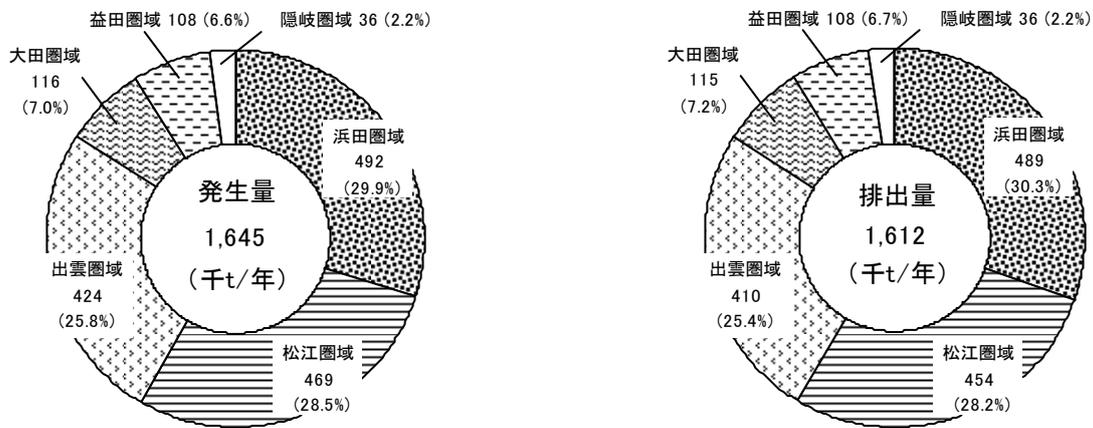
図 2-2-2 業種別の発生及び排出量（農業を除く）

3. 地域別の発生・排出状況

地域別の発生・排出状況は図 2-2-3に示すとおりである。

発生量（1,645 千トン）を地域別にみると、浜田圏域が 492 千トン（29.9%）で最も多く、次いで、松江圏域が 469 千トン（28.5%）、出雲圏域が 424 千トン（25.8%）、大田圏域が 116 千トン（7.0%）、益田圏域が 108 千トン（6.6%）、隠岐圏域が 36 千トン（2.2%）となっている。

また、排出量（1,612 千トン）を地域別にみると、浜田圏域が 489 千トン（30.3%）で最も多く、次いで、松江圏域が 454 千トン（28.2%）、出雲圏域が 410 千トン（25.4%）、大田圏域が 115 千トン（7.2%）、益田圏域が 108 千トン（6.7%）、隠岐圏域が 36 千トン（2.2%）となっている。



項目	合計	松江圏域	出雲圏域	大田圏域	浜田圏域	益田圏域	隠岐圏域
発生量 (%)	1,645 (100.0)	469 (28.5)	424 (25.8)	116 (7.0)	492 (29.9)	108 (6.6)	36 (2.2)
排出量 (%)	1,612 (100.0)	454 (28.2)	410 (25.4)	115 (7.2)	489 (30.3)	108 (6.7)	36 (2.2)

図 2-2-3 地域別の発生及び排出量（農業を除く）

第3節 処理・処分状況（農業を除く）

1. 処理・処分状況の概要

産業廃棄物の発生・排出から処理・処分の流れは、図 2-3-1に示すとおりである。平成 20年度の処理・処分状況を概要でみると、排出量 1,612 千トンのうち、再生利用量は 969 千トン（排出量の 60.2%）、中間処理による減量化量は 335 千トン（20.8%）、最終処分量は 304 千トン（18.9%）、その他量は 4 千トン（0.2%）となっている。

また、排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合を種類別、業種別にみると図 2-3-2及び図 2-3-3に示すとおりである。

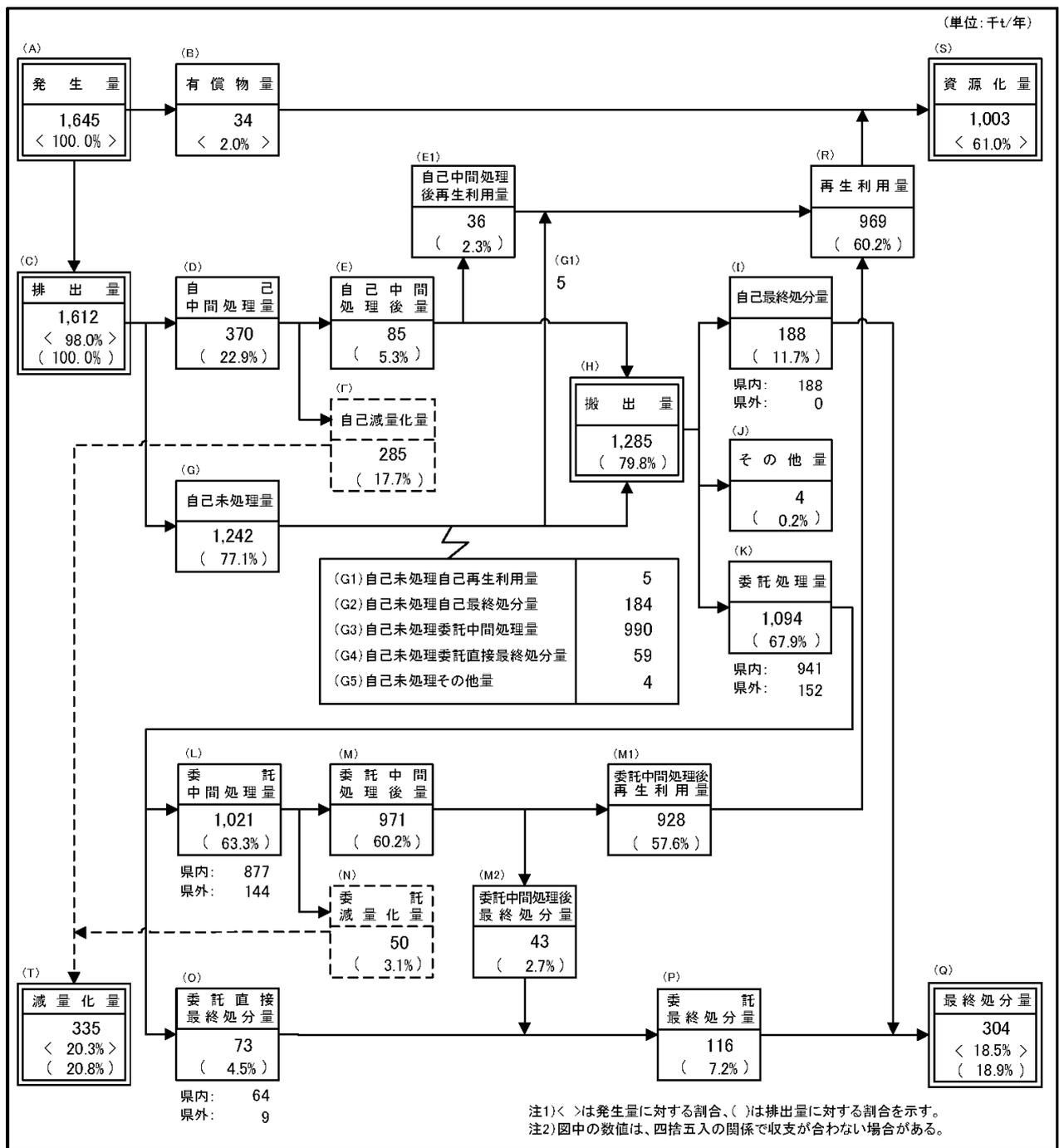
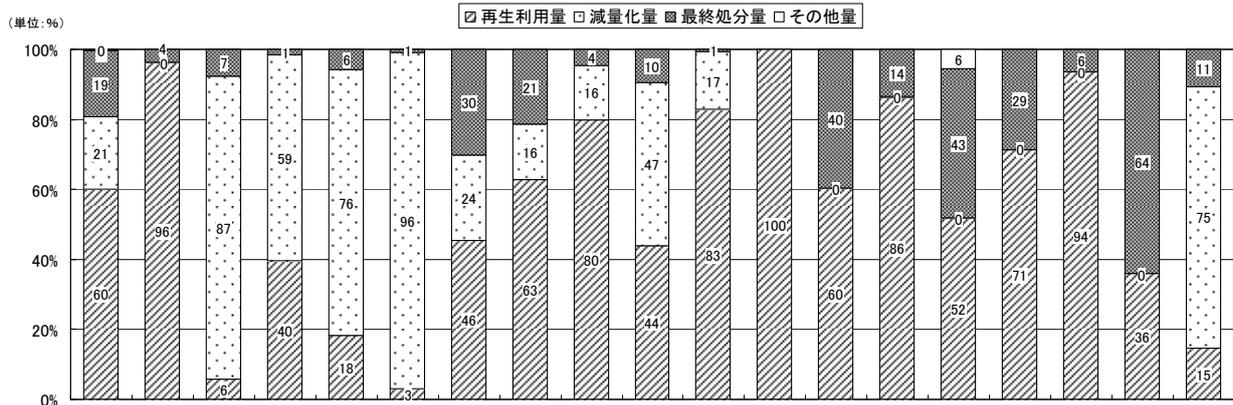


図 2-3-1 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図（農業を除く）

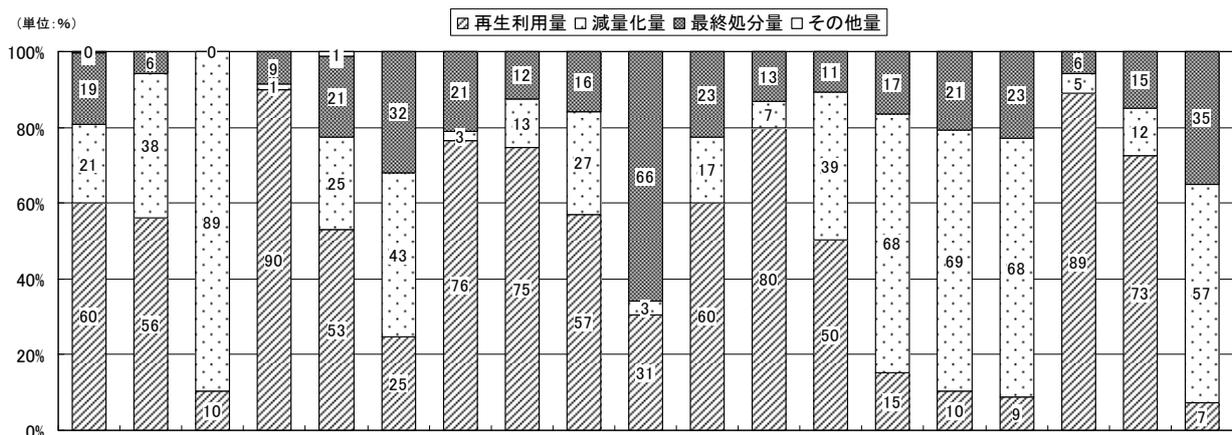


(単位:千t/年) (種類:無変換)

項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋤さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	1,612	53	326	11	3	2	35	3	179	1	5	0	0	24	64	93	552	259	3
再生利用量	969	51	19	4	1	0	16	2	143	0	4	0	0	21	33	66	517	93	1
減量化量	335	0	283	6	2	2	9	1	28	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
最終処分量	304	2	24	0	0	0	11	1	8	0	0	0	0	3	27	27	35	165	0
その他量	4														4				

注) 図表中の廃棄物の種類は、排出量に対する処理の割合を示すために、中間処理により種類が変わった場合であっても、発生時の種類でとらえている。

図 2-3-2 種類別の排出量に対する処理・処分量の割合 (農業を除く)



(単位:千t/年)

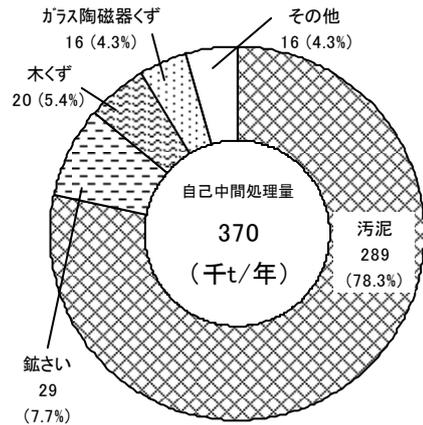
項目	合計	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療・福祉	複合サービス	サービス業	公務
排出量	1,612	0	6	738	295	533	0	4	14	0	0	2	3	3	2	8	0	2	0
再生利用量	969	0	1	664	156	131	0	3	8	0	0	2	2	0	0	1	0	2	0
減量化量	335	0	5	11	72	231	0	0	4	0	0	0	1	2	1	5	0	0	0
最終処分量	304	0	0	63	63	171	0	0	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0
その他量	4				4														

図 2-3-3 業種別の排出量に対する処理・処分量の割合 (農業を除く)

2. 自己中間処理状況

排出事業者自らが中間処理を行った自己中間処理量は、370千トンであり、排出量の22.9%を占めている。

自己中間処理量を種類別にみると、図2-3-4に示すとおり、汚泥が289千トン（78.3%）で最も多く、次いで、鉱さいが29千トン（7.7%）、木くずが20千トン（5.4%）、ガラス陶磁器くずが16千トン（4.3%）等となっている。



また、排出量に対する自己中間処理量の割合（自己中間処理率）及び自己中間処理量に対する自己減量化量の割合（自己減量化率）についてみると、図2-3-5に示すとおりである。

図2-3-4 自己中間処理量（農業を除く）

自己中間処理率が高い種類は、汚泥（88.9%）、繊維くず（41.4%）、鉱さい（30.8%）、金属くず（29.4%）、ガラス陶磁器くず（24.5%）等となっており、自己減量化率が高い種類では、木くず（96.2%）、汚泥（91.3%）、廃アルカリ（65.7%）、廃プラスチック（44.6%）、廃油（36.9%）等となっている。

自己中間処理率が高い種類は、汚泥（88.9%）、繊維くず（41.4%）、鉱さい（30.8%）、金属くず（29.4%）、ガラス陶磁器くず（24.5%）等となっており、自己減量化率が高い種類では、木くず（96.2%）、汚泥（91.3%）、廃アルカリ（65.7%）、廃プラスチック（44.6%）、廃油（36.9%）等となっている。

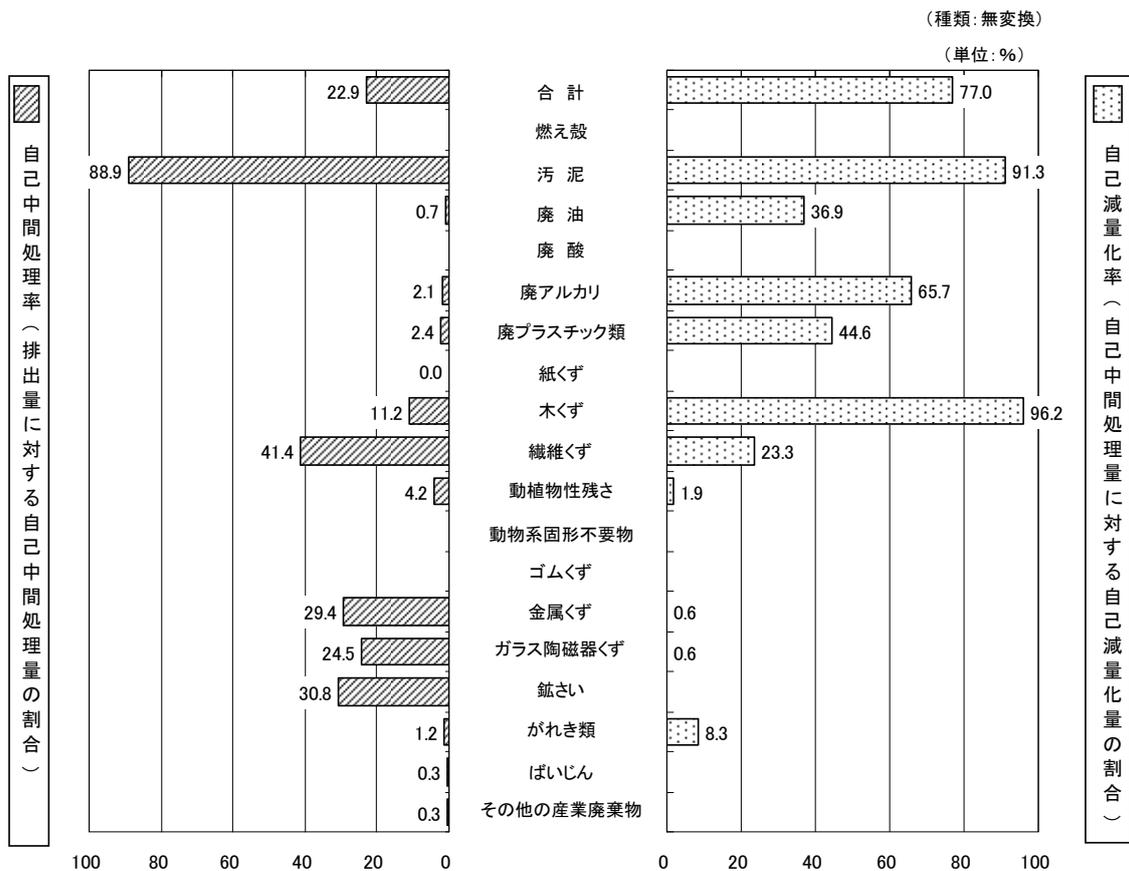


図2-3-5 種類別の自己中間処理率と自己減量化率（農業を除く）

3. 委託処理状況

処理業者等によって処理（中間処理、最終処分を含む）された委託処理量は1,094千トンであり、排出量の67.9%を占めている。

委託処理量を種類別にみると、図2-3-6及び図2-3-7に示すとおりであり、がれき類が552千トン（50.4%）で最も多く、次いで、木くずが158千トン（14.4%）、ばいじんが94千トン（8.6%）、鉱さいが68千トン（6.2%）等となっている。

また、委託処理量を処理方法別にみると、委託中間処理量は1,021千トン（63.3%）、委託直接最終処分量は73千トン（4.5%）となっている。

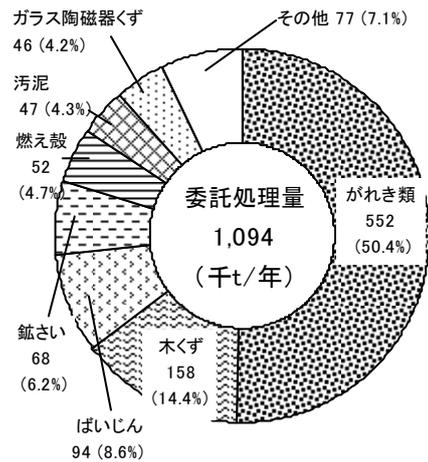
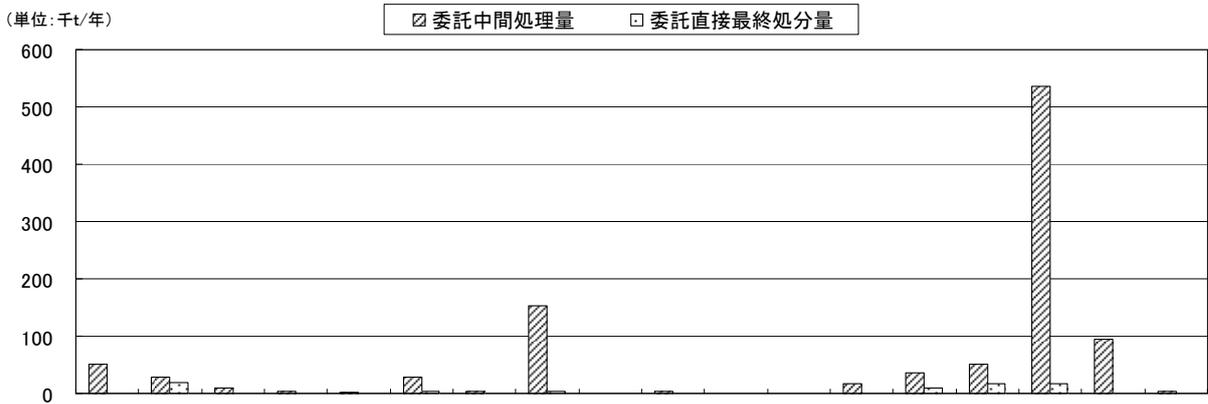


図2-3-6 委託処理量（農業を除く）



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
委託処理量	1,094	52	47	10	3	2	33	3	158	1	5	0	0	17	46	68	552	94	3
(%)	(100.0)	(4.7)	(4.3)	(0.9)	(0.3)	(0.2)	(3.0)	(0.3)	(14.4)	(0.0)	(0.4)	(0.0)	(0.0)	(1.5)	(4.2)	(6.2)	(50.4)	(8.6)	(0.3)
中間処理量	1,021	51	29	10	3	2	29	3	153	1	5	0	0	16	36	50	536	94	3
(%)	(100.0)	(5.0)	(2.8)	(1.0)	(0.3)	(0.2)	(2.8)	(0.3)	(15.0)	(0.0)	(0.5)	(0.0)	(0.0)	(1.6)	(3.6)	(4.9)	(52.5)	(9.2)	(0.3)
直接最終処分量	73	1	18		0		5	0	4	0	0			1	10	18	16	0	0
(%)	(100.0)	(0.9)	(25.2)		(0.0)		(6.4)	(0.6)	(5.6)	(0.0)	(0.0)			(0.8)	(13.8)	(24.3)	(22.2)	(0.3)	(0.0)

図2-3-7 種類別委託処理量の内訳（農業を除く）

4. 資源化、再生利用状況

(1) 資源化状況

資源化量は 1,003 千トンであり、発生量の 61.0% を占めている。

資源化量を種類別にみると図 2-3-8 及び図 2-3-9 に示すとおりであり、がれき類が 515 千トン (51.3%) で最も多く、次いで、木くずが 145 千トン (14.5%)、ばいじんが 94 千トン (9.4%)、鉱さいが 71 千トン (7.0%) 等となっている。

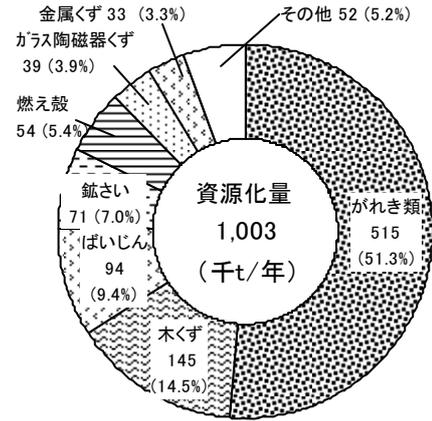
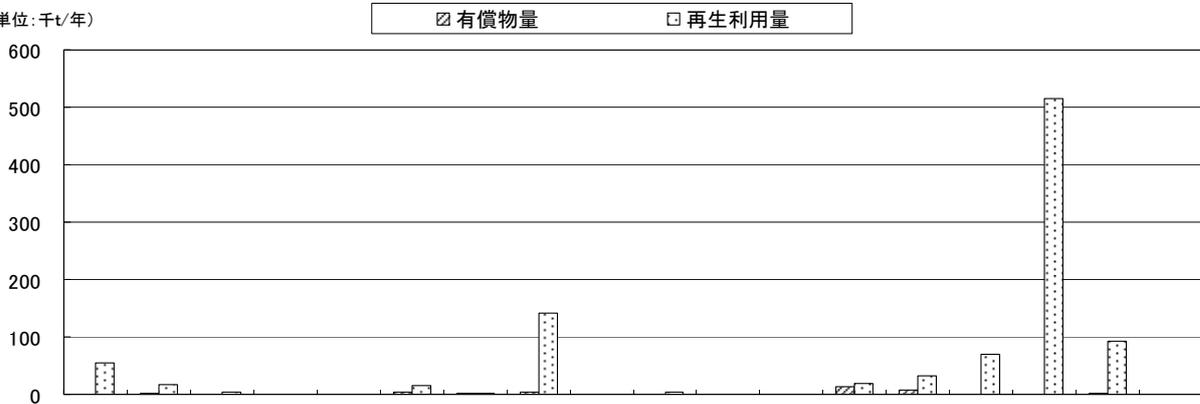


図 2-3-8 資源化量 (農業を除く)

(単位:千t/年)



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
資源化量	1,003	54	18	5	0	0	20	3	145	1	4	0	0	33	39	71	515	94	0
(%)	(100.0)	(5.4)	(1.8)	(0.5)	(0.0)	(0.0)	(2.0)	(0.3)	(14.5)	(0.1)	(0.4)	(0.0)	(0.0)	(3.3)	(3.9)	(7.0)	(51.3)	(9.4)	(0.0)
有償物量	34		2	0	0	0	4	1	3	0	0		0	14	7	0	0	1	0
(%)	(100.0)		(5.8)	(1.2)	(0.0)	(0.0)	(12.9)	(3.1)	(8.9)	(0.8)	(0.7)		(0.0)	(41.6)	(21.4)	(0.1)	(0.3)	(2.9)	(0.2)
再生利用量	969	54	16	4	0	0	16	2	142	0	4	0	0	19	32	71	515	93	0
(%)	(100.0)	(5.6)	(1.7)	(0.4)	(0.0)	(0.0)	(1.6)	(0.2)	(14.7)	(0.0)	(0.4)	(0.0)	(0.0)	(2.0)	(3.3)	(7.3)	(53.1)	(9.6)	(0.0)

図 2-3-9 種類別資源化量の内訳 (農業を除く)

(2) 再生利用状況

資源化量のうち、有償物量を除く再生利用量は969千トンであり、排出量の60.2%を占めている。

再生利用量を種類別にみると図2-3-10に示すとおりであり、がれき類が515千トン(53.1%)で最も多く、次いで、木くずが142千トン(14.7%)、ばいじんが93千トン(9.6%)、鉱さいが71千トン(7.3%)等となっている。

なお、用途別にみた再生利用状況は表2-3-1に示すとおりであり、再生骨材・再生路盤材が479千トン(49.4%)で最も多く、次いで、セメント原材料が139千トン(14.3%)等となっている。

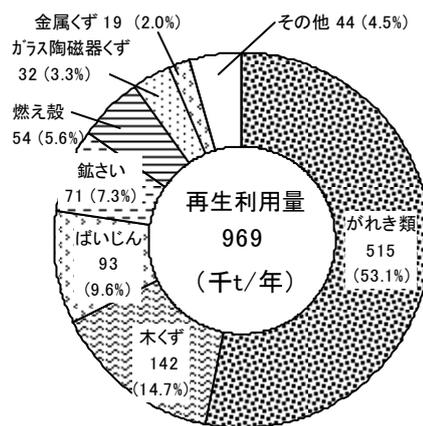


図 2-3-10 再生利用量（農業を除く）

表 2-3-1 用途別にみた再生利用状況

用途 種類	合計	(単位:千t/年)															
		鉄鋼原(材)料	属非鉄金属・貴金(材)料	燃料又はその原(材)料	肥料又はその原(材)料	飼料又はその原(材)料	土壌改良材又はその原(材)料	建設材料	再生骨材・再生路盤材	その原(材)料	ガラス(材)料	プラスチック原(材)料	再生タイヤ	セメント原材料	再生溶剤	中和剤	その他
合計	969	19	4	63	64	1	71	90	479	30	1	6	0	139	3		0
燃え殻	54	0	0	1	0	0	44	0		0	0	0	9	0		0	
汚泥	16		0	0	13		0						3	0			
有機性汚泥	2				1		0						0				
無機性汚泥	15		0	0	11								3	0			
廃油	4			1	0	0								3			
一般廃油	4			1	0	0								3			
廃溶剤	0													0			
固形油	0													0			
油でい	0			0										0			
油付着物等	0			0										0			
廃酸	0		0										0				
廃アルカリ	0		0										0				
廃プラスチック類	16			10				0				5	0				
廃プラスチック	13			7				0				5					
廃タイヤ	3			3								0	0				
紙くず	2			0						2							
木くず	142			50	48	0	8	8		28							
繊維くず	0			0				0									
動植物性残さ	4				3	0											
動物系固形不要物	0					0											
ゴムくず	0			0													
金属くず	19	18	1													0	
ガラスくず等	32							9	21		1						
鉱さい	71	1	0	0			19	1	15				35				
がれき類	515							72	443								
コンクリート片	316							41	275								
廃アスファルト	192							29	163								
その他の建設廃材	6							2	4								
ばいじん	93		2										91				
その他の産業廃棄物	0	0	0	0												0	
感染性廃棄物	0			0													
混合物等	0	0	0	0												0	

5. 最終処分状況

最終処分量は 304 千トンであり、排出量の 18.9% を占めている。

最終処分量を種類別にみると図 2-3-11 に示すとおりであり、ばいじんが 165 千トン (54.3%) で最も多く、次いで、がれき類が 35 千トン (11.5%)、ガラス陶磁器くずが 27 千トン (9.0%)、鉱さいが 27 千トン (8.7%) 等となっている。

また、処分主体別にみると図 2-3-12 に示すとおりであり、排出事業者による自己最終処分量が 188 千トン (61.9%)、処理業者による最終処分量が 112 千トン (36.7%)、自治体による最終処分量が 4 千トン (1.4%) となっている。

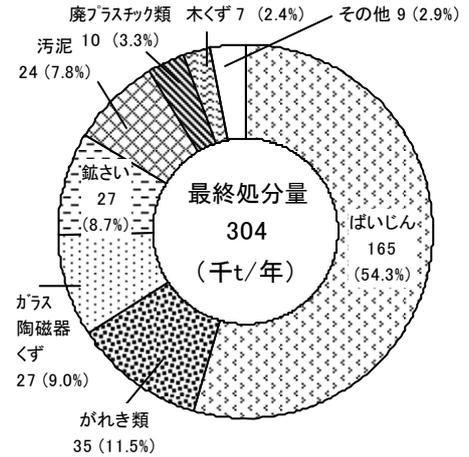
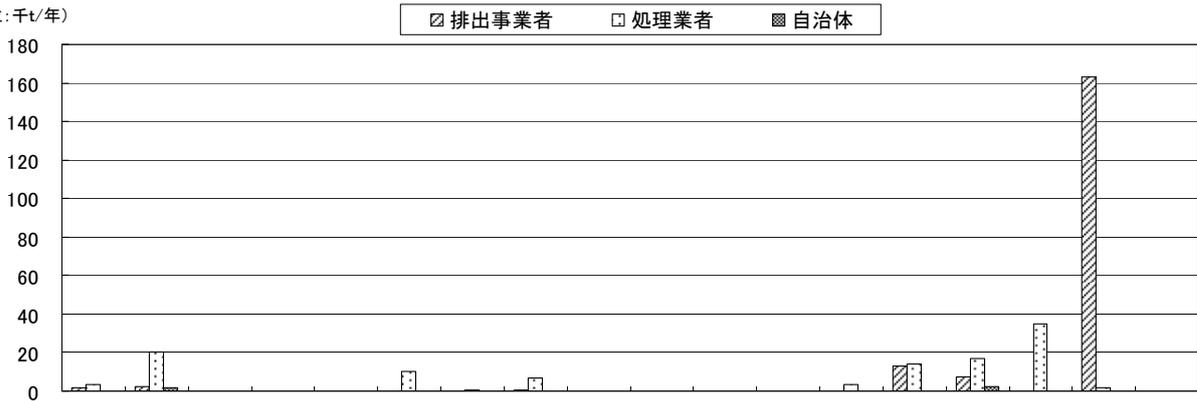


図 2-3-11 最終処分量 (農業を除く)

(単位: 千t/年)



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
最終処分量	304	5	24		0		10	1	7	0	0		0	3	27	27	35	165	0
(%)	(100.0)	(1.6)	(7.8)		(0.0)		(3.3)	(0.2)	(2.4)	(0.0)	(0.0)		(0.0)	(1.0)	(9.0)	(8.7)	(11.5)	(54.3)	(0.0)
排出事業者	188	2	2				0	0	1						13	7		163	
(%)	(100.0)	(0.9)	(1.1)				(0.0)	(0.0)	(0.3)						(6.9)	(3.9)		(86.9)	
処理業者	112	3	20		0		10	1	7	0	0		0	3	14	17	35	2	0
(%)	(100.0)	(2.9)	(17.9)		(0.0)		(9.0)	(0.6)	(6.0)	(0.1)	(0.0)		(0.0)	(2.8)	(12.8)	(15.1)	(31.3)	(1.5)	(0.0)
自治体	4		2				0		0					0	0	2		0	0
(%)	(100.0)		(40.8)				(1.5)		(0.3)					(0.8)	(0.3)	(53.5)		(2.7)	(0.0)

図 2-3-12 種類別委託処理量の内訳 (農業を除く)

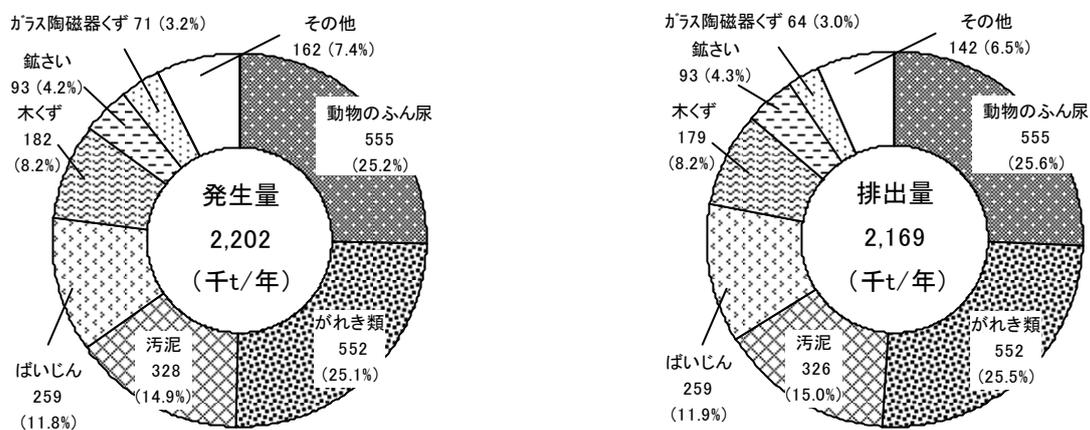
第4節 農業を含む調査結果

1. 種類別の発生・排出状況

種類別の発生・排出状況は図 2-4-1に示すとおりである。

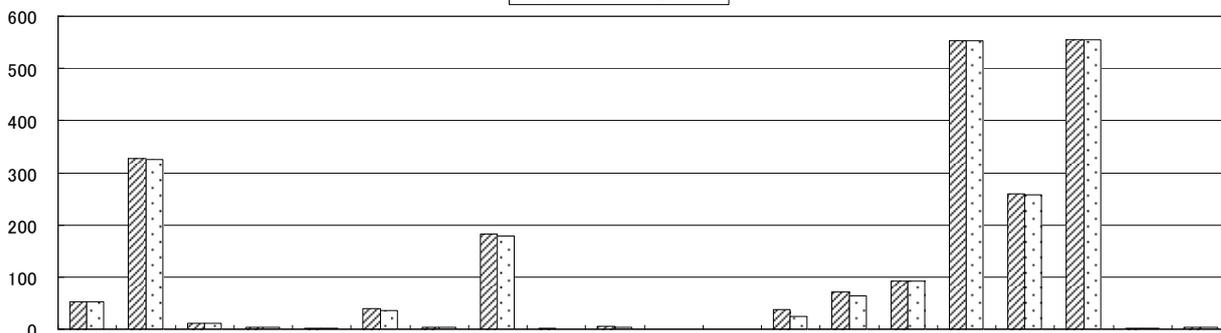
発生量（2,202千トン）を種類別にみると、動物のふん尿が555千トン（25.2%）で最も多く、次いで、がれき類が552千トン（25.1%）、汚泥が328千トン（14.9%）、ばいじんが259千トン（11.8%）、木くずが182千トン（8.2%）等となっており、これら5種類で発生量の85.2%を占めている。

また、排出量（2,169千トン）を種類別にみると、動物のふん尿が555千トン（25.6%）で最も多く、次いで、がれき類が552千トン（25.5%）、汚泥が326千トン（15.0%）、ばいじんが259千トン（11.9%）、木くずが179千トン（8.2%）等となっており、これら5種類で排出量の86.2%を占めている。



(単位: 千t/年)

■ 発生量 □ 排出量



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉢さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	その他の産業廃棄物
発生量	2,202	53	328	11	3	2	40	5	182	1	5	0	0	38	71	93	552	259	555	1	3
(%)	(100.0)	(2.4)	(14.9)	(0.5)	(0.1)	(0.1)	(1.8)	(0.2)	(8.2)	(0.1)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(1.7)	(3.2)	(4.2)	(25.1)	(11.8)	(25.2)	(0.1)	(0.2)
排出量	2,169	53	326	11	3	2	36	3	179	1	5	0	0	24	64	93	552	259	555	1	3
(%)	(100.0)	(2.4)	(15.0)	(0.5)	(0.1)	(0.1)	(1.7)	(0.2)	(8.2)	(0.0)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(1.1)	(3.0)	(4.3)	(25.5)	(11.9)	(25.6)	(0.1)	(0.2)

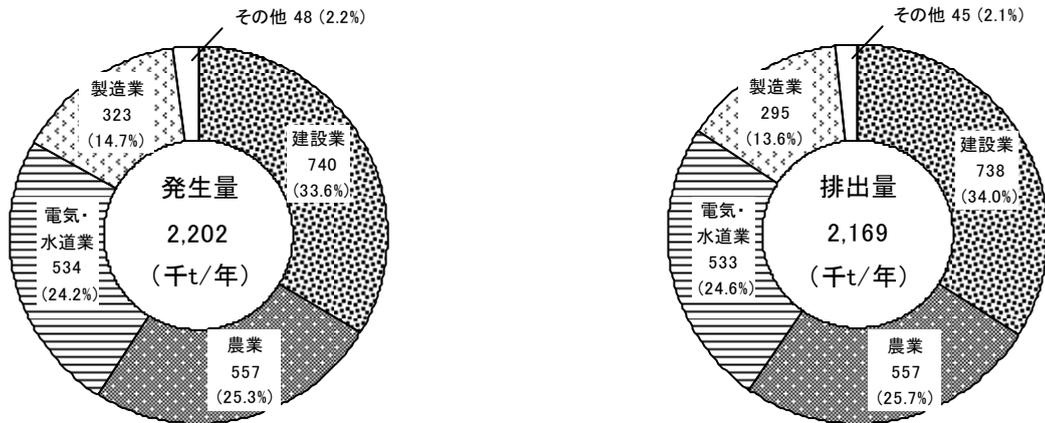
図 2-4-1 種類別の発生及び排出量（農業を含む）

2. 業種別の発生・排出状況

業種別の発生・排出状況は図 2-4-2に示すとおりである。

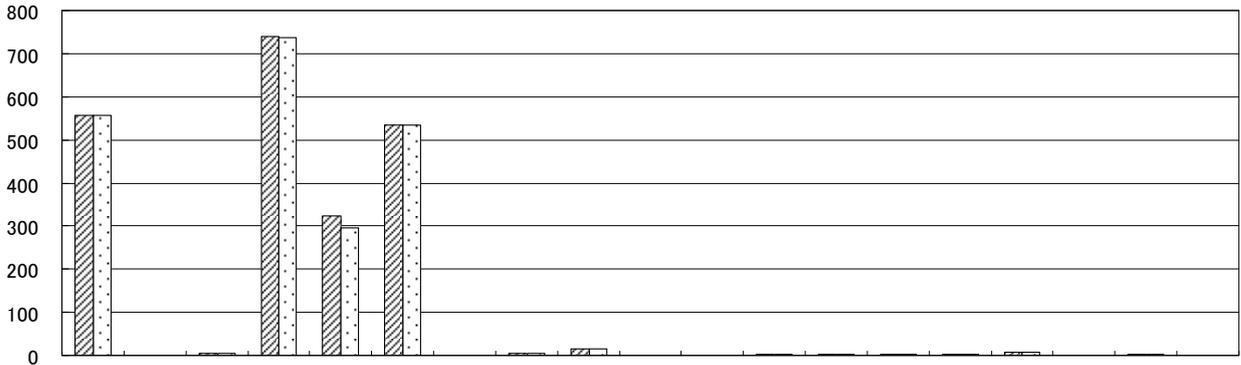
発生量（2,202 千トン）を業種別にみると、建設業が 740 千トン（33.6%）で最も多く、次いで、農業が 557 千トン（25.3%）、電気・水道業が 534 千トン（24.2%）、製造業が 323（14.7%）千トン等となっており、これら 4 業種で発生量の 97.8%を占めている。

また、排出量（2,169 千トン）を業種別にみると、建設業が 738 千トン（34.0%）で最も多く、次いで、農業が 557 千トン（25.7%）、電気・水道業が 533 千トン（24.6%）、製造業が 295 千トン（13.6%）等となっており、これら 4 業種で発生量の 97.9%を占めている。



(単位: 千t/年)

■ 発生量 □ 排出量



項目	合計	農業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療・福祉	複合サービス	サービス業	公務
発生量	2,202	557	0	6	740	323	534	0	4	15	0	1	3	3	3	2	8	0	2	0
(%)	(100.0)	(25.3)	(0.0)	(0.3)	(33.6)	(14.7)	(24.2)	(0.0)	(0.2)	(0.7)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.4)	(0.0)	(0.1)	(0.0)
排出量	2,169	557	0	6	738	295	533	0	4	14	0	0	2	3	3	2	8	0	2	0
(%)	(100.0)	(25.7)	(0.0)	(0.3)	(34.0)	(13.6)	(24.6)	(0.0)	(0.2)	(0.7)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.4)	(0.0)	(0.1)	(0.0)

図 2-4-2 業種別の発生及び排出量（農業を含む）

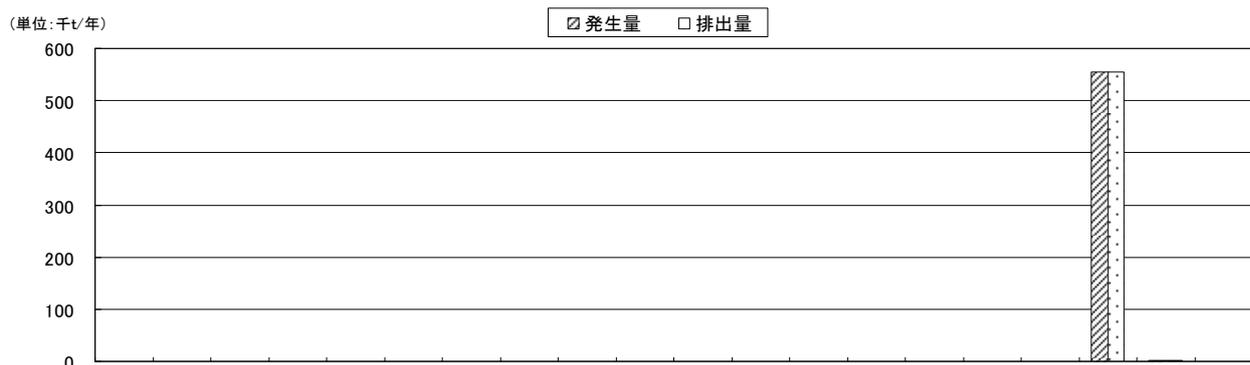
第5節 業種別の発生・排出及び処理・処分状況（排出量が1千トン以上の業種）

排出量1千トン以上の業種大分類に関する処理・処分状況は次のとおりである。

1. 農業

農業からの排出量は、557千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図2-5-1に示すように、動物のふん尿が555千トン（99.6%）、動物の死体が1千トン（0.2%）、廃プラスチック類が1千トン（0.1%）となっている。



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	その他の産業廃棄物
発生量	557						1												555	1	
(%)	(100.0)						(0.1)												(99.6)	(0.2)	
排出量	557						1												555	1	
(%)	(100.0)						(0.1)												(99.6)	(0.2)	

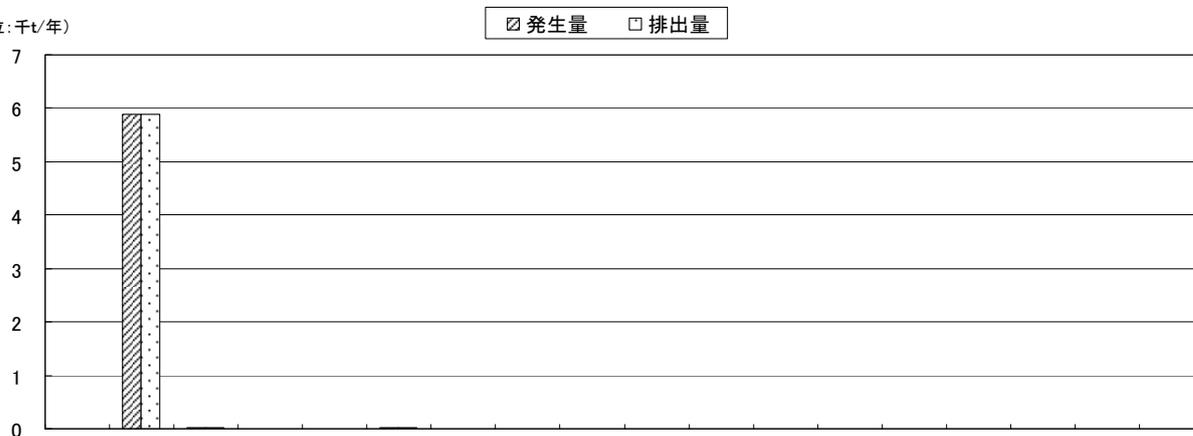
図 2-5-1 種類別の発生量、排出量（農業）

2. 鉱業

鉱業からの排出量は、6千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-2に示すように、汚泥が6千トン（99.6%）でほとんどを占めている。

(単位:千t/年)



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量 (%)	6 (100.0)		6 (99.4)	0 (0.3)			0 (0.2)							0 (0.1)					
排出量 (%)	6 (100.0)		6 (99.6)	0 (0.2)			0 (0.2)												

図 2-5-2 種類別の発生量、排出量（鉱業）

また、鉱業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-3に示すとおりである。

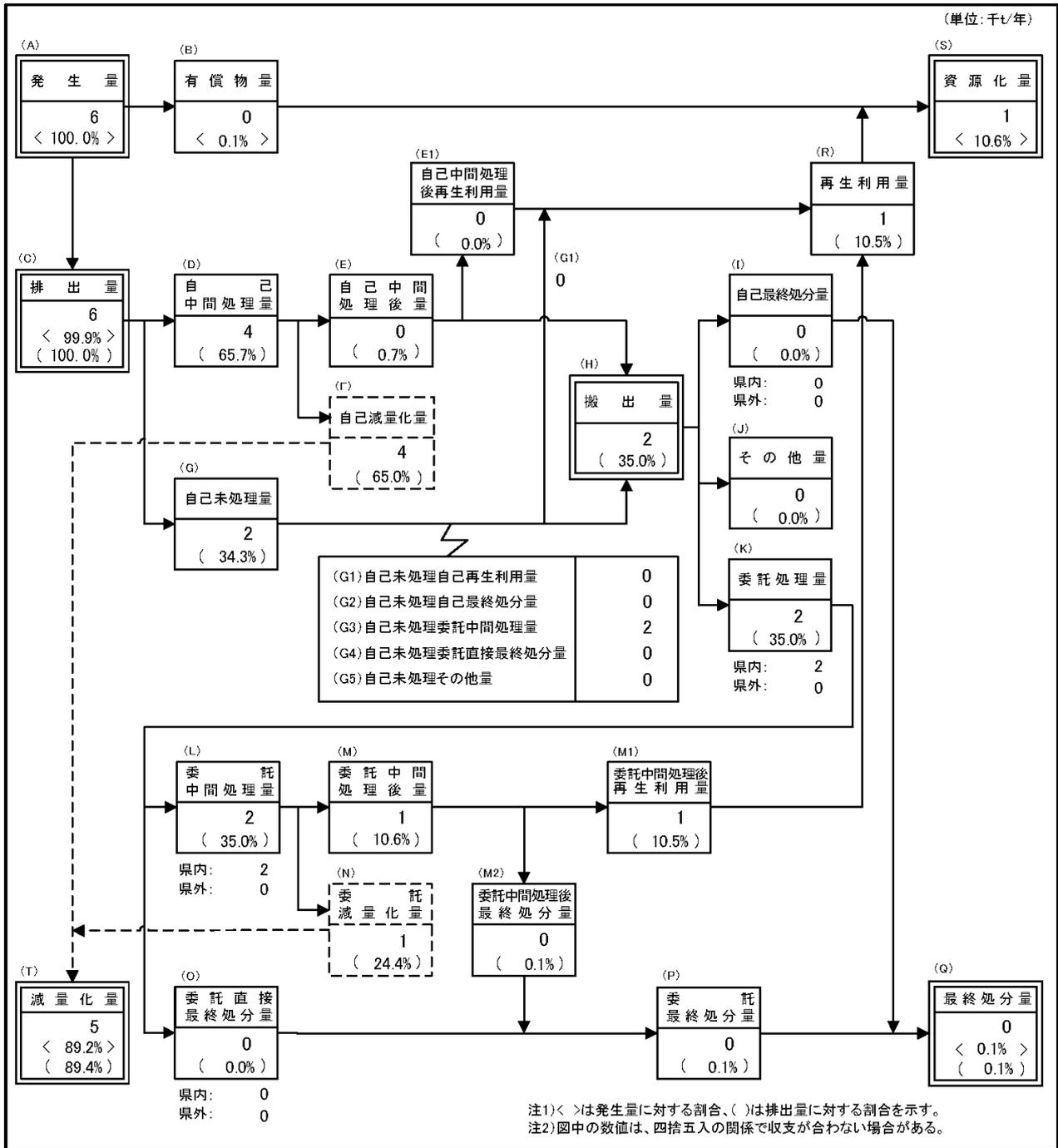


図 2-5-3 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図 (鉱業)

3. 建設業

建設業からの排出量は、738千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-4に示すように、がれき類が 550千トン（74.6%）で最も多く、次いで、木くずが 147千トン（19.9%）等となっている。

(単位:千t/年)

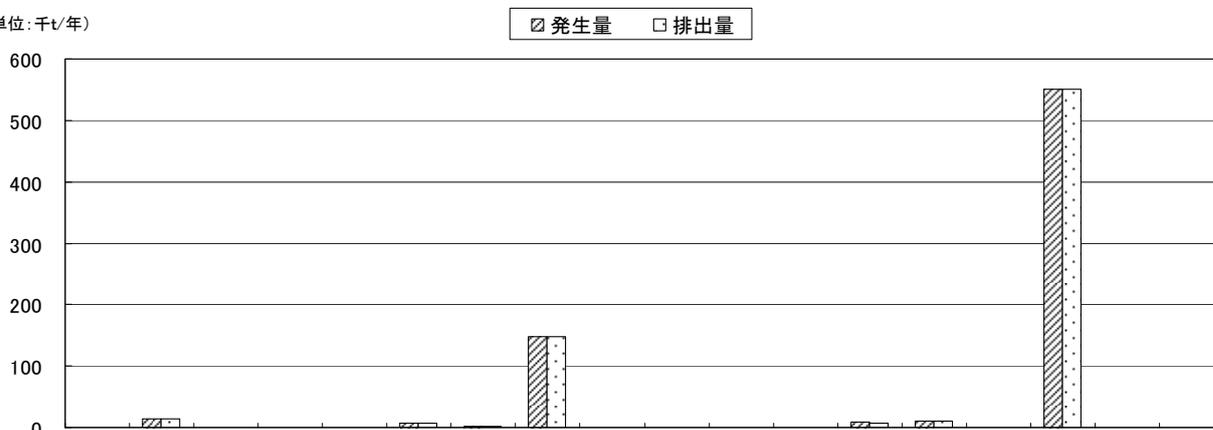


図 2-5-4 種類別の発生量、排出量 (建設業)

また、建設業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-5に示すとおりである。

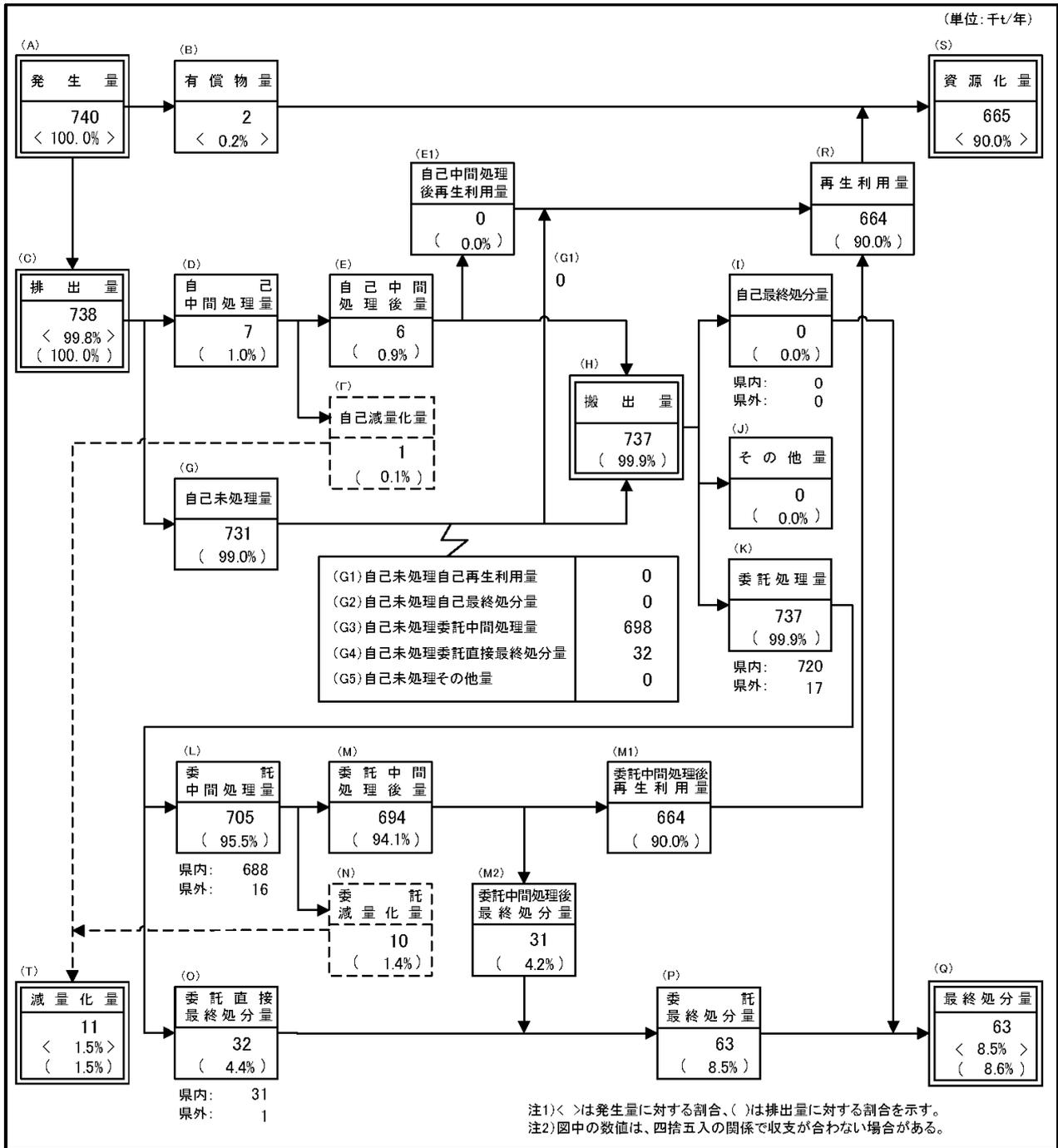


図 2-5-5 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図 (建設業)

4. 製造業

製造業からの排出量は、295千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-6に示すように、鉾さいが 93 千トン（31.4%）で最も多く、次いで、汚泥が 62 千トン（20.9%）、ガラス陶磁器くずが 52 千トン（17.5%）等となっている。

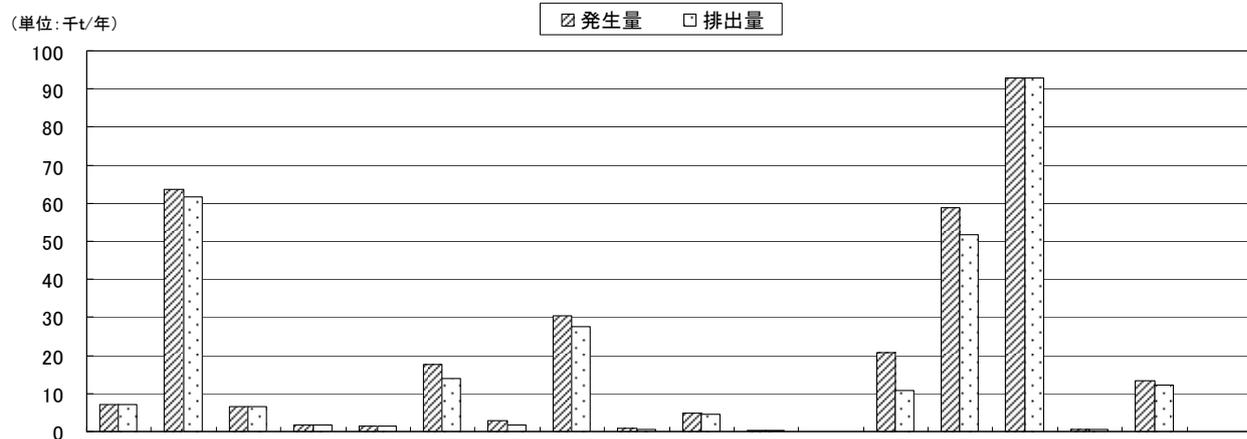


図 2-5-6 種類別の発生量、排出量 (製造業)

また、製造業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-7に示すとおりである。

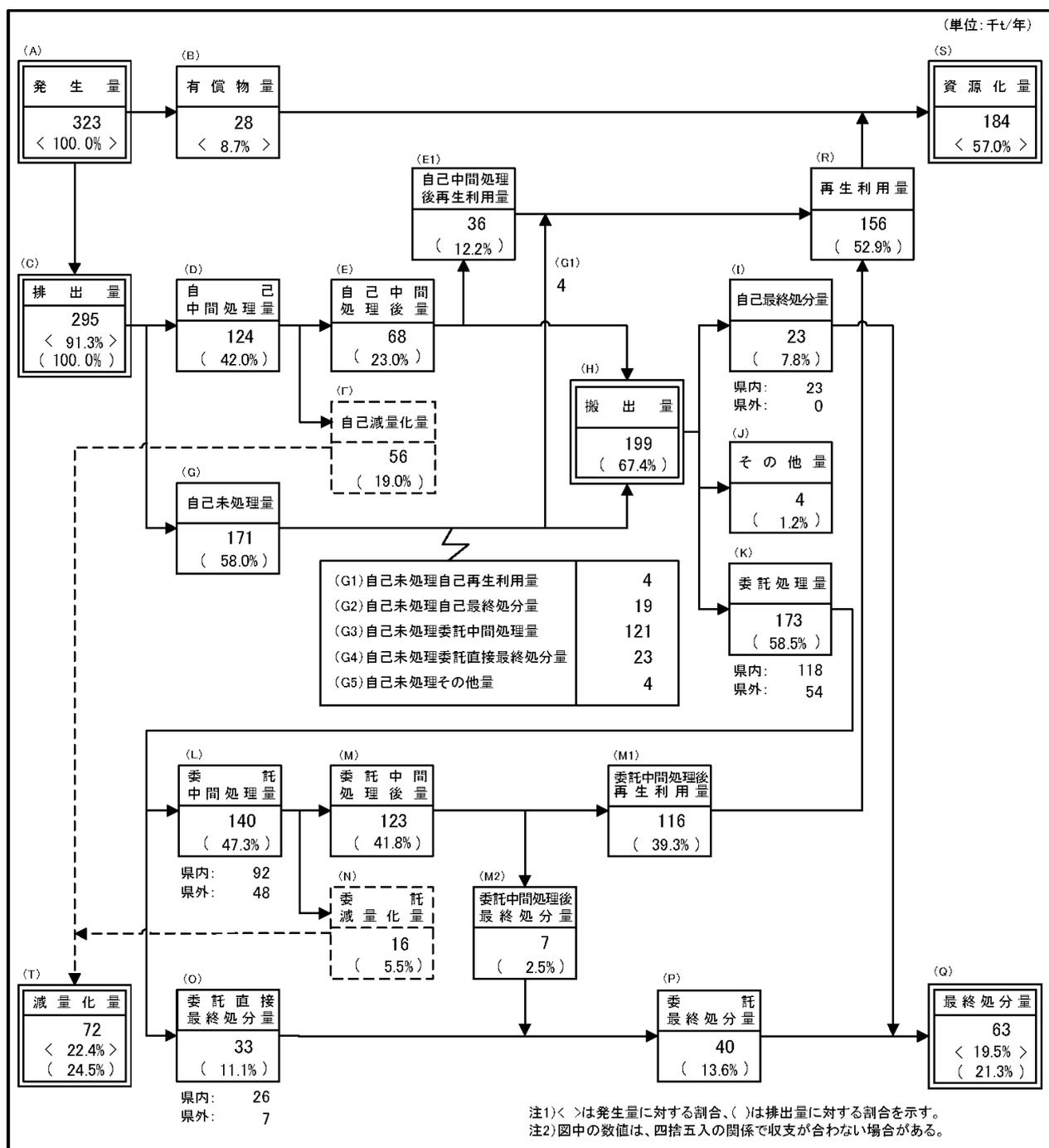


図 2-5-7 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図（製造業）

5. 電気・水道業

電気・水道業からの排出量は、533千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-8に示すように、ばいじんが 246 千トン（46.2%）で最も多く、次いで、汚泥が 240 千トン（45.0%）、燃え殻が 46 千トン（8.5%）等となっている。



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	534	46	240	0	0	0	0		0					1	0		1	246	0
(%)	(100.0)	(8.5)	(45.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)		(0.0)					(0.1)	(0.0)		(0.2)	(46.1)	(0.0)
排出量	533	46	240	0	0	0	0		0					0	0		1	246	0
(%)	(100.0)	(8.5)	(45.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)		(0.0)					(0.0)	(0.0)		(0.2)	(46.2)	(0.0)

図 2-5-8 種類別の発生量、排出量（電気・水道業）

また、電気・水道業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-9に示すとおりである。

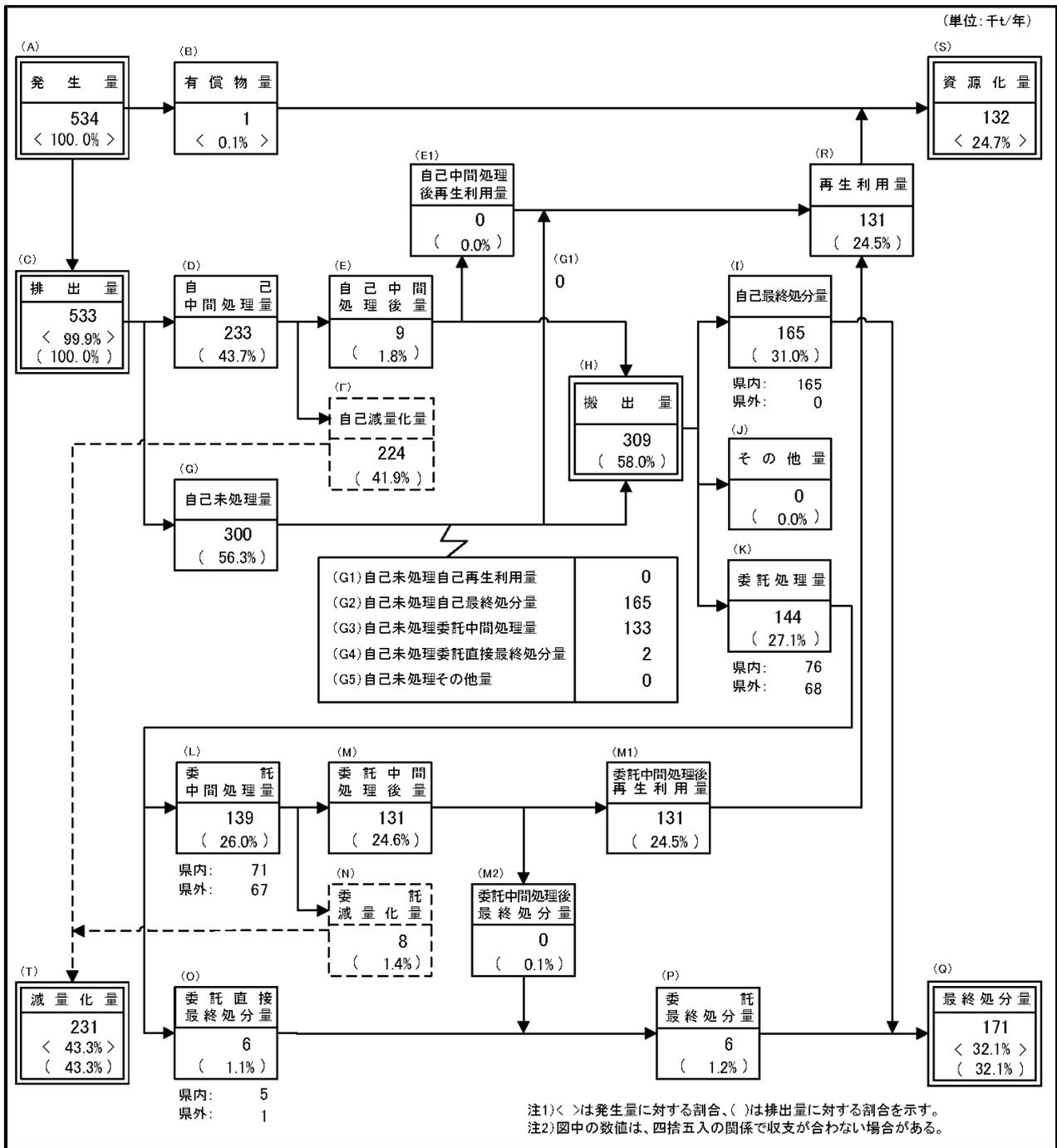


図 2-5-9 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図 (電気・水道業)

6. 運輸業

運輸業からの排出量は、4千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-10に示すように、木くずが 2千トン（60.5%）で最も多く、次いで、廃プラスチック類が 1千トン（20.3%）等となっている。

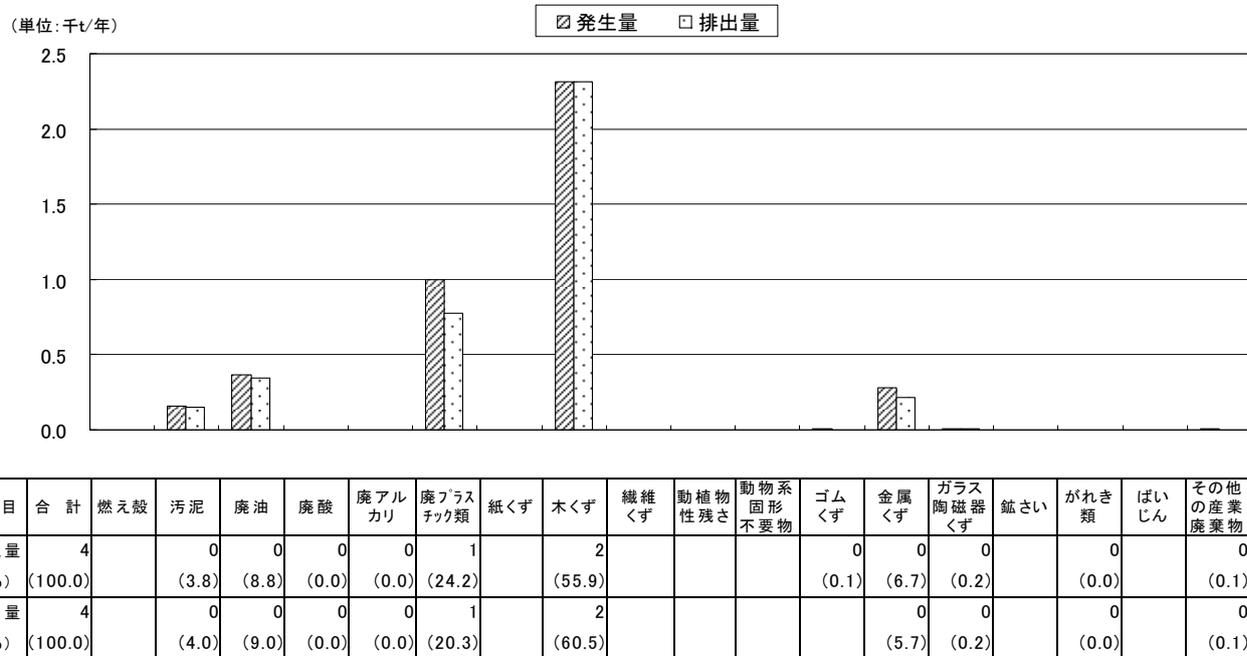


図 2-5-10 種類別の発生量、排出量（運輸業）

また、運輸業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-11に示すとおりである。

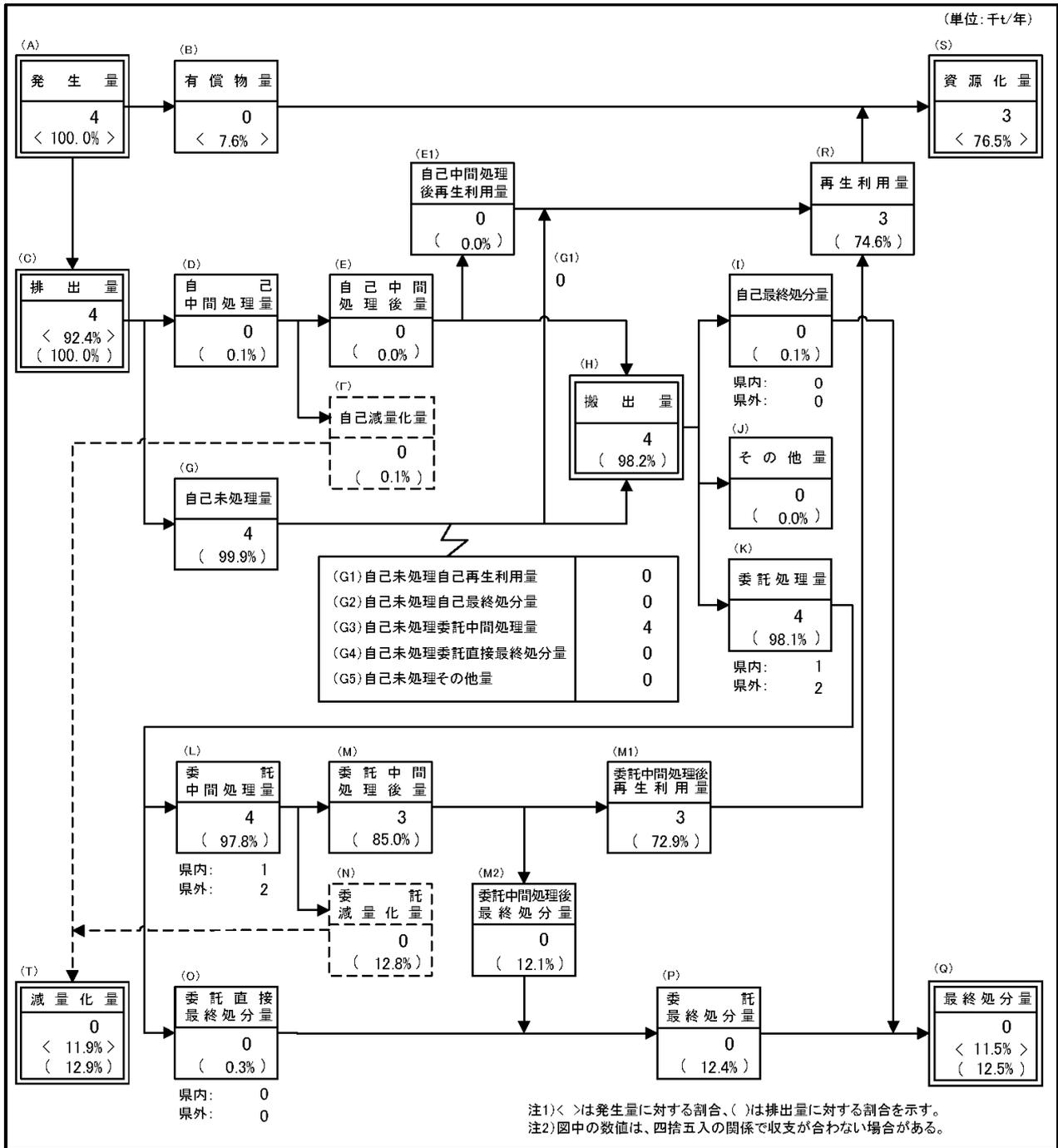
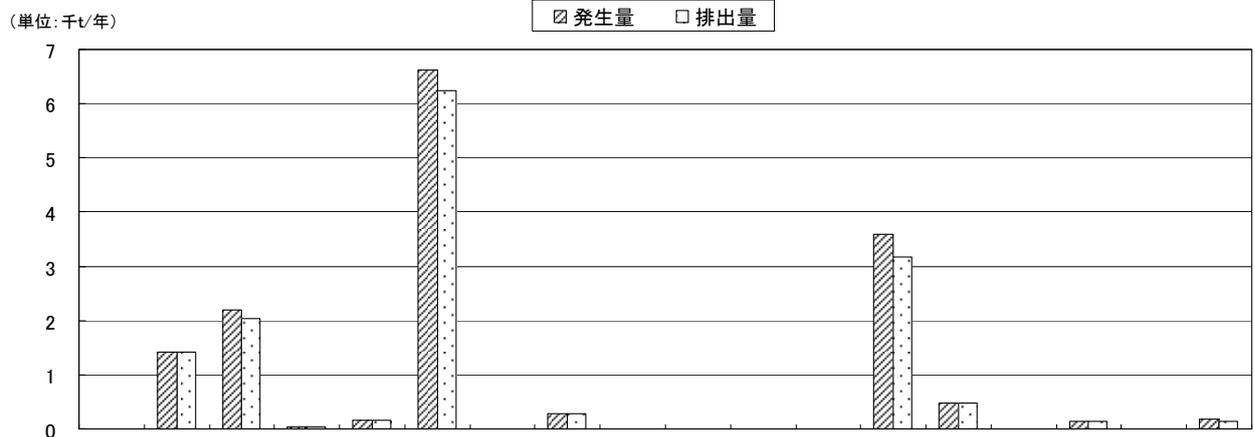


図 2-5-11 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図（運輸業）

7. 卸・小売業

卸・小売業からの排出量は、14千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-12に示すように、廃プラスチック類が 6千トン（44.3%）で最も多く、次いで、金属くずが 3千トン（22.5%）、廃油が 2千トン（14.4%）等となっている。



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋸さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	15		1	2	0	0	7		0				0	4	0		0		0
(%)	(100.0)		(9.3)	(14.6)	(0.2)	(1.1)	(43.9)		(1.9)				(0.0)	(23.7)	(3.2)		(0.9)		(1.2)
排出量	14		1	2	0	0	6		0				0	3	0		0		0
(%)	(100.0)		(10.0)	(14.4)	(0.3)	(1.2)	(44.3)		(2.0)				(0.0)	(22.5)	(3.4)		(1.0)		(1.0)

図 2-5-12 種類別の発生量、排出量（卸・小売業）

また、卸・小売業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-13に示すとおりである。

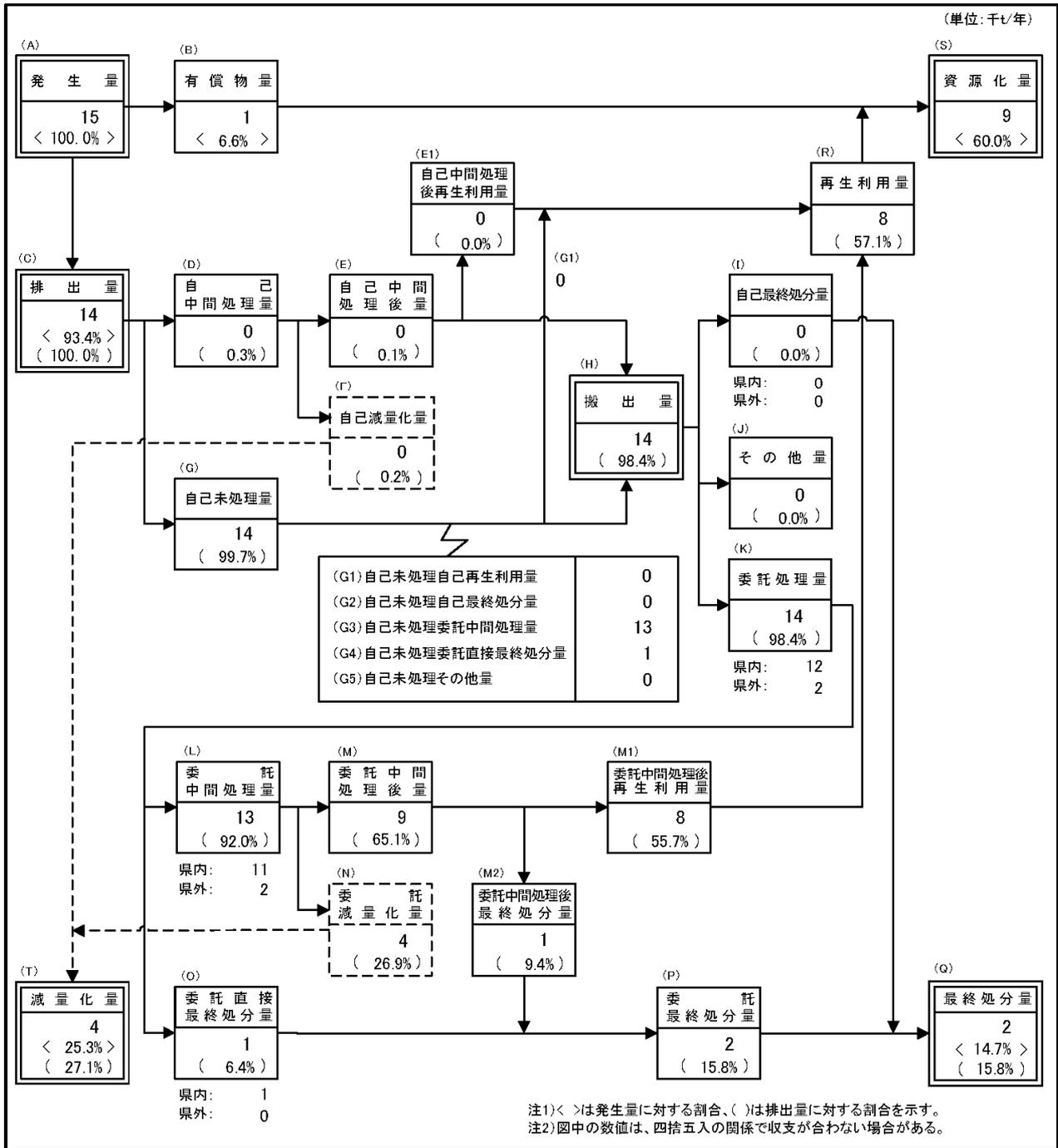


図 2-5-13 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図（卸・小売業）

8. 学術研究

学術研究からの排出量は、2千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-14に示すように、木くずが1千トン（53.5%）で最も多く、次いで、廃プラスチック類が18.3%等となっている。

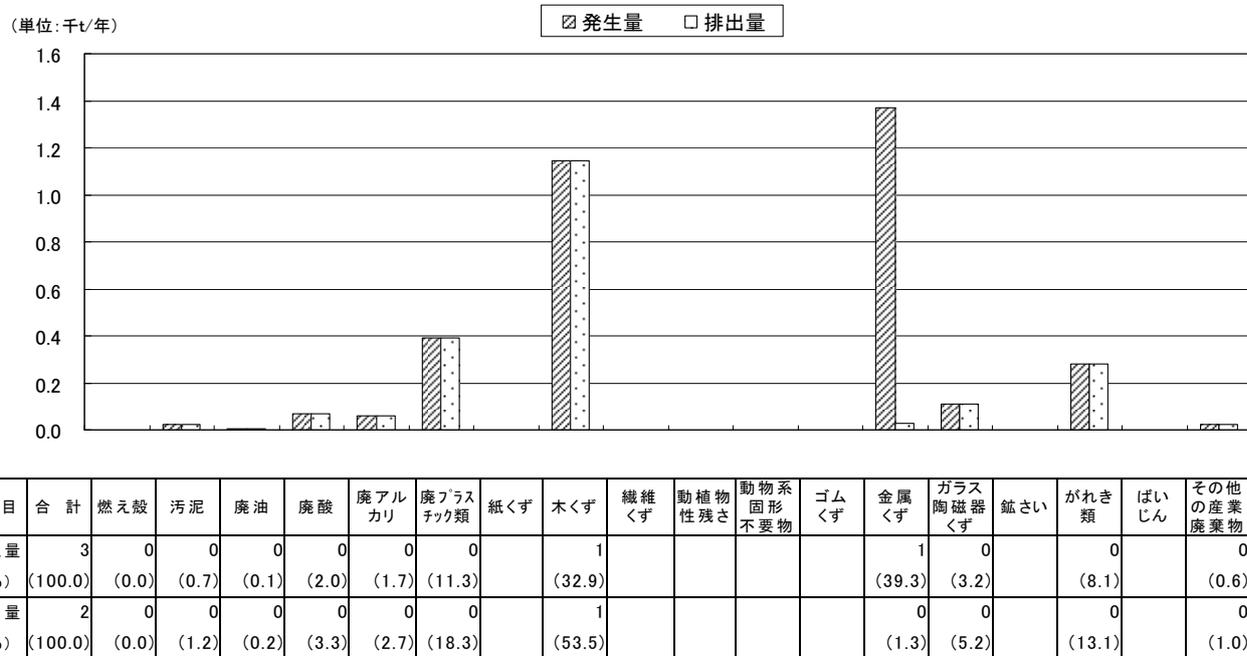


図 2-5-14 種類別の発生量、排出量（学術研究）

また、学術研究から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-15に示すとおりである。

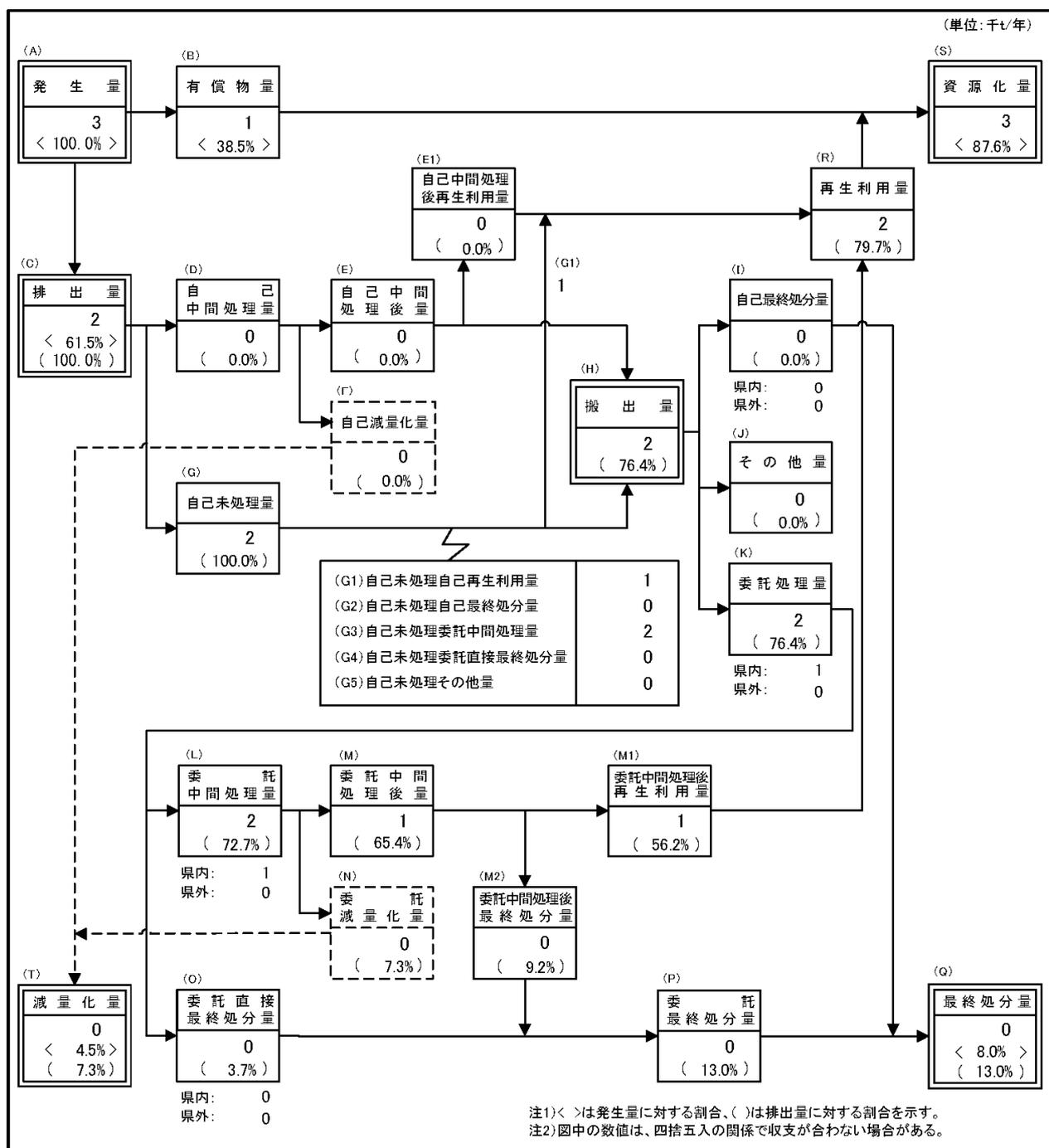
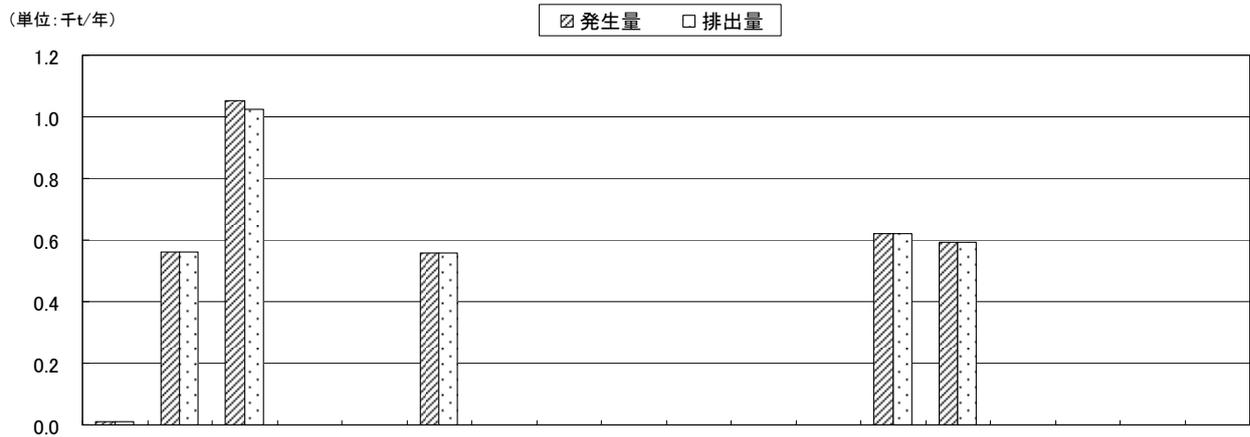


図 2-5-15 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図 (学術研究)

9. 宿泊・飲食

宿泊・飲食からの排出量は、3千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-16に示すように、廃油が1千トン(30.4%)で最も多く、次いで、金属くずが1千トン(18.5%)、ガラス陶磁器くずが1千トン(17.6%)等となっている。



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	3	0	1	1			1							1	1				
(%)	(100.0)	(0.3)	(16.5)	(31.0)			(16.5)							(18.3)	(17.4)				
排出量	3	0	1	1			1							1	1				
(%)	(100.0)	(0.3)	(16.7)	(30.4)			(16.6)							(18.5)	(17.6)				

図 2-5-16 種類別の発生量、排出量 (宿泊・飲食)

また、宿泊・飲食から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-17に示すとおりである。

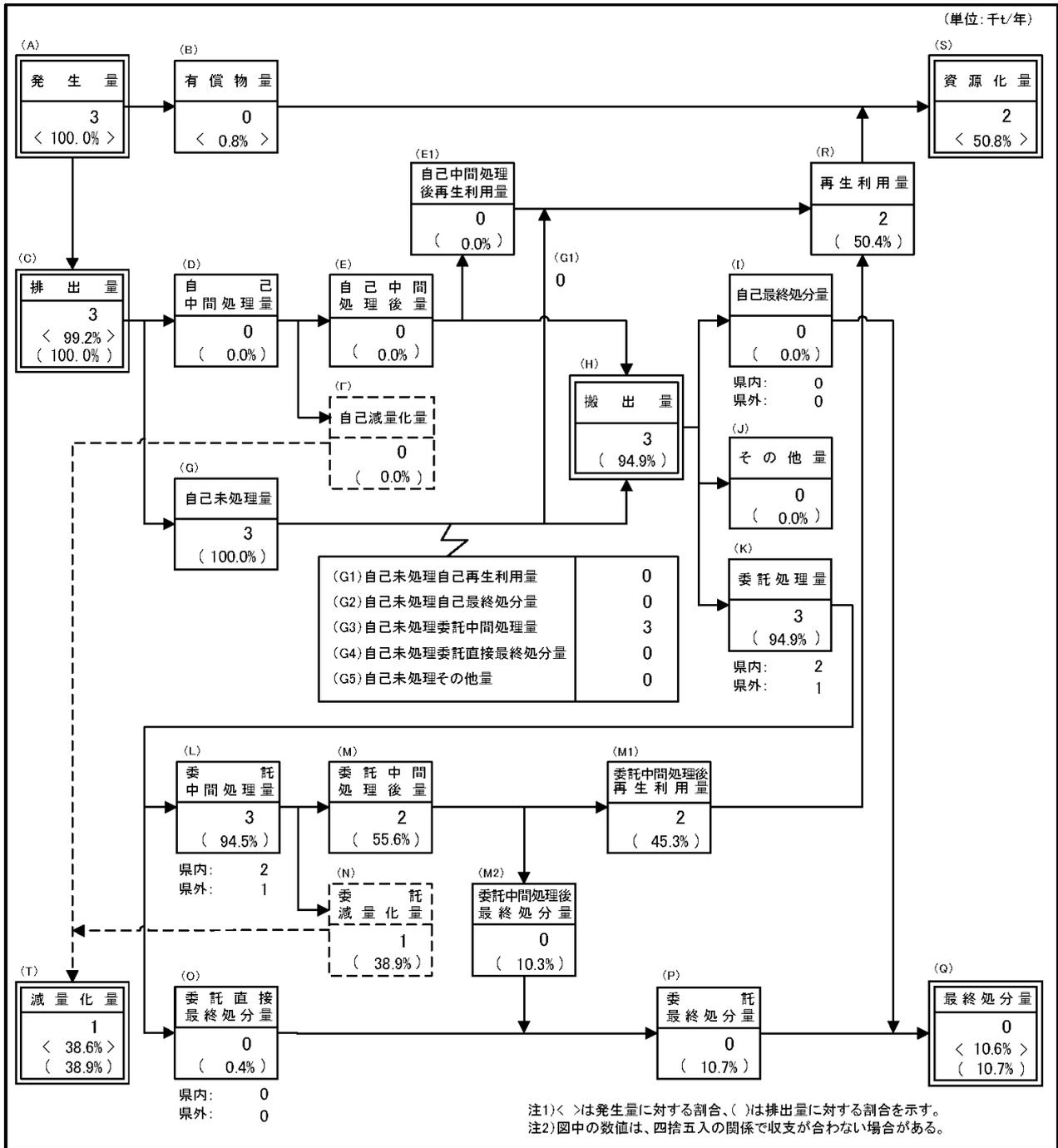


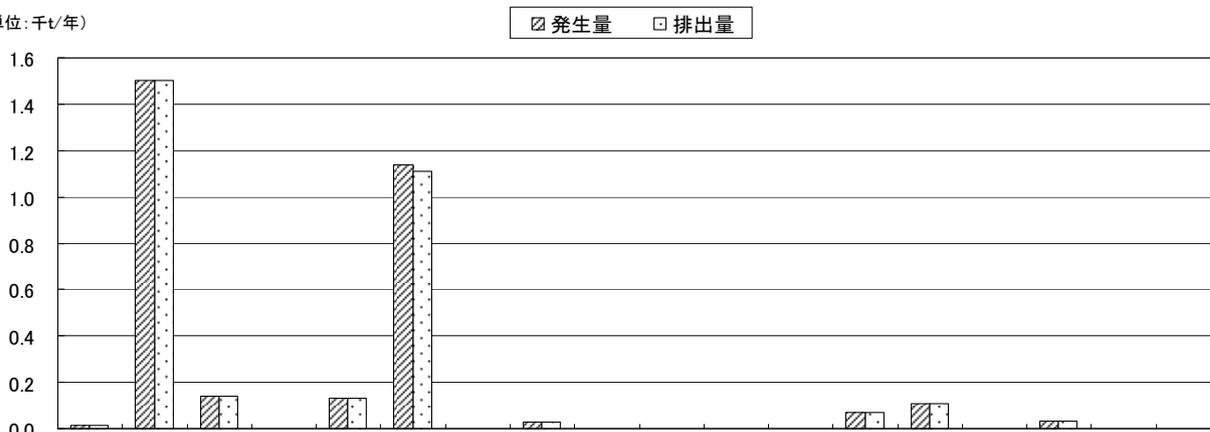
図 2-5-17 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図 (宿泊・飲食)

10. 生活関連

生活関連からの排出量は、3千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-18に示すように、汚泥が2千トン(47.8%)で最も多く、次いで、廃プラスチック類が1千トン(35.4%)等となっている。

(単位:千t/年)



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
発生量	3	0	2	0		0	1		0					0	0		0		0
(%)	(100.0)	(0.4)	(47.4)	(4.4)		(4.2)	(36.0)		(0.8)					(2.2)	(3.5)		(1.1)		(0.0)
排出量	3	0	2	0		0	1		0					0	0		0		0
(%)	(100.0)	(0.4)	(47.8)	(4.5)		(4.2)	(35.4)		(0.9)					(2.2)	(3.5)		(1.1)		(0.0)

図 2-5-18 種類別の発生量、排出量 (生活関連)

また、生活関連から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-19に示すとおりである。

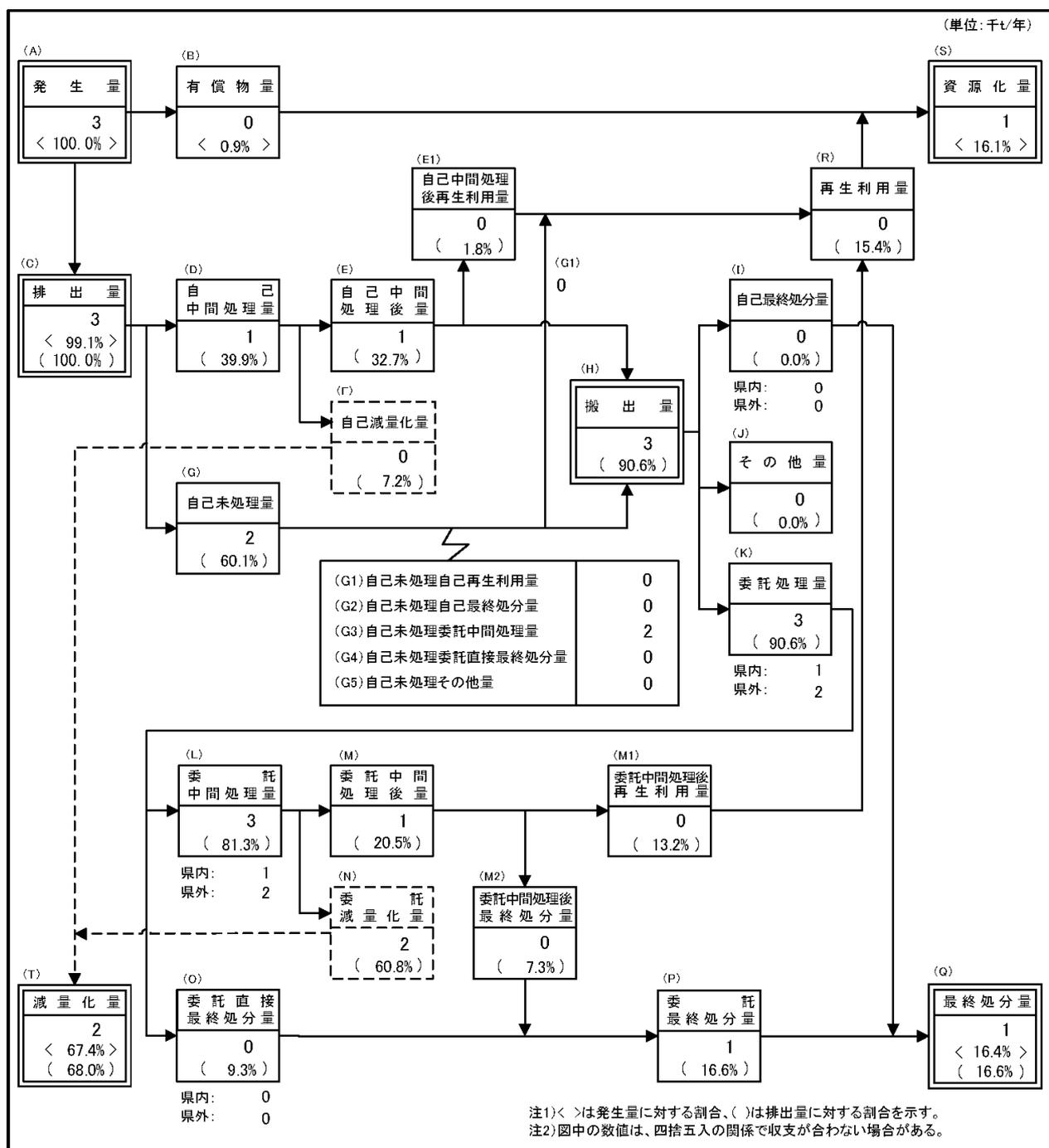


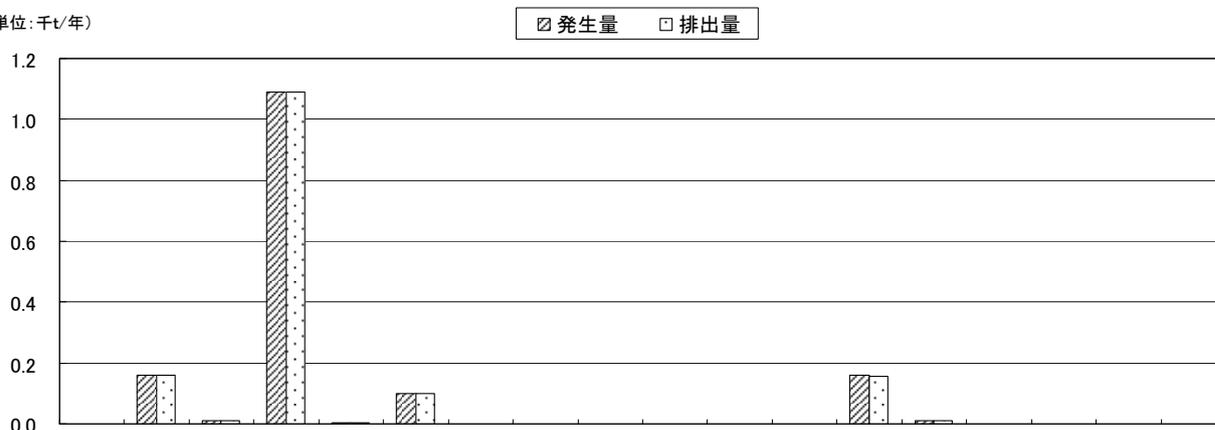
図 2-5-19 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図 (生活関連)

11. 教育, 学習

教育, 学習からの排出量は、2千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-20に示すように、廃酸が 1千トン (71.1%) で最も多く、次いで、汚泥が 10.5% 等となっている。

(単位:千t/年)



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
発生量	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(71.0)	(0.3)	(6.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(10.4)	(0.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)
排出量	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	(100.0)	(0.0)	(10.5)	(0.7)	(71.1)	(0.3)	(6.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(10.2)	(0.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)

図 2-5-20 種類別の発生量、排出量 (教育, 学習)

また、教育、学習から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-21に示すとおりである。

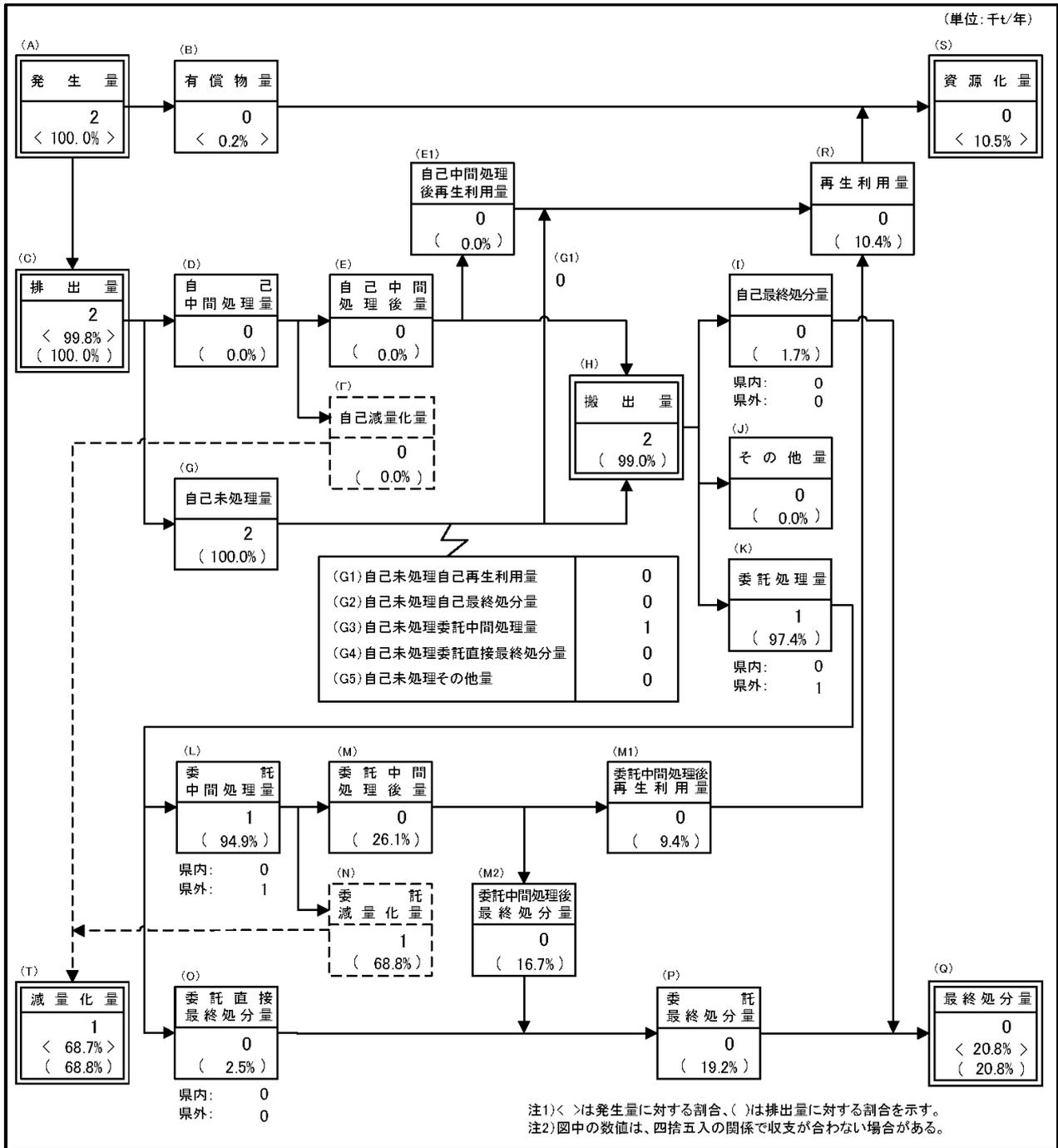
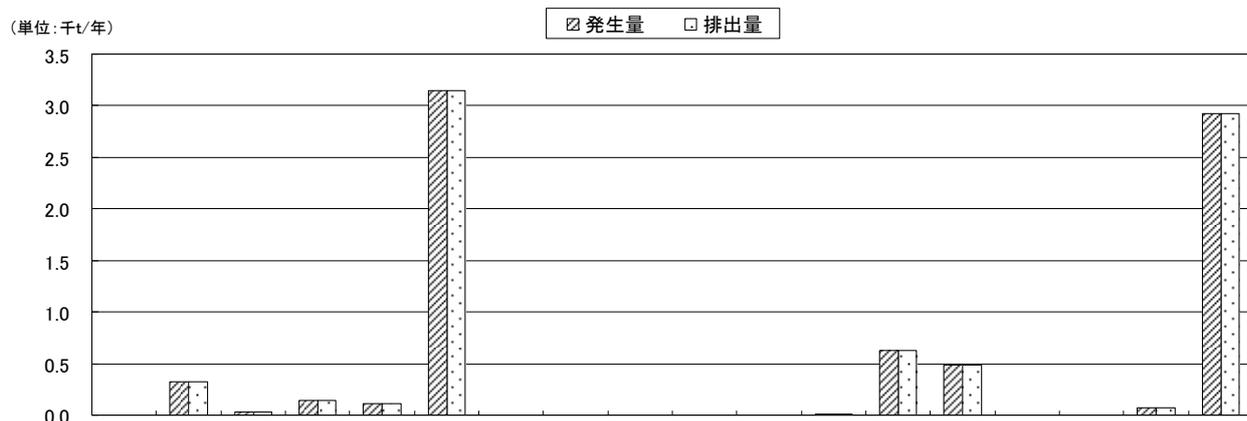


図 2-5-21 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図 (教育、学習)

12. 医療, 福祉

医療, 福祉からの排出量は、8千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-22に示すように、廃プラスチック類が 3千トン(40.0%)で最も多く、次いで、その他の産業廃棄物(感染性産業廃棄物)が 3千トン(37.1%)、金属くずが 1千トン(8.0%)等となっている。



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	8	0	0	0	0	0	3						0	1	0			0	3
(%)	(100.0)	(4.2)	(0.4)	(1.8)	(1.4)	(40.0)							(0.1)	(8.0)	(6.1)			(0.9)	(37.1)
排出量	8	0	0	0	0	0	3						0	1	0			0	3
(%)	(100.0)	(4.2)	(0.4)	(1.8)	(1.4)	(40.0)							(0.1)	(8.0)	(6.1)			(0.9)	(37.1)

図 2-5-22 種類別の発生量、排出量(医療, 福祉)

また、医療、福祉から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-23に示すとおりである。

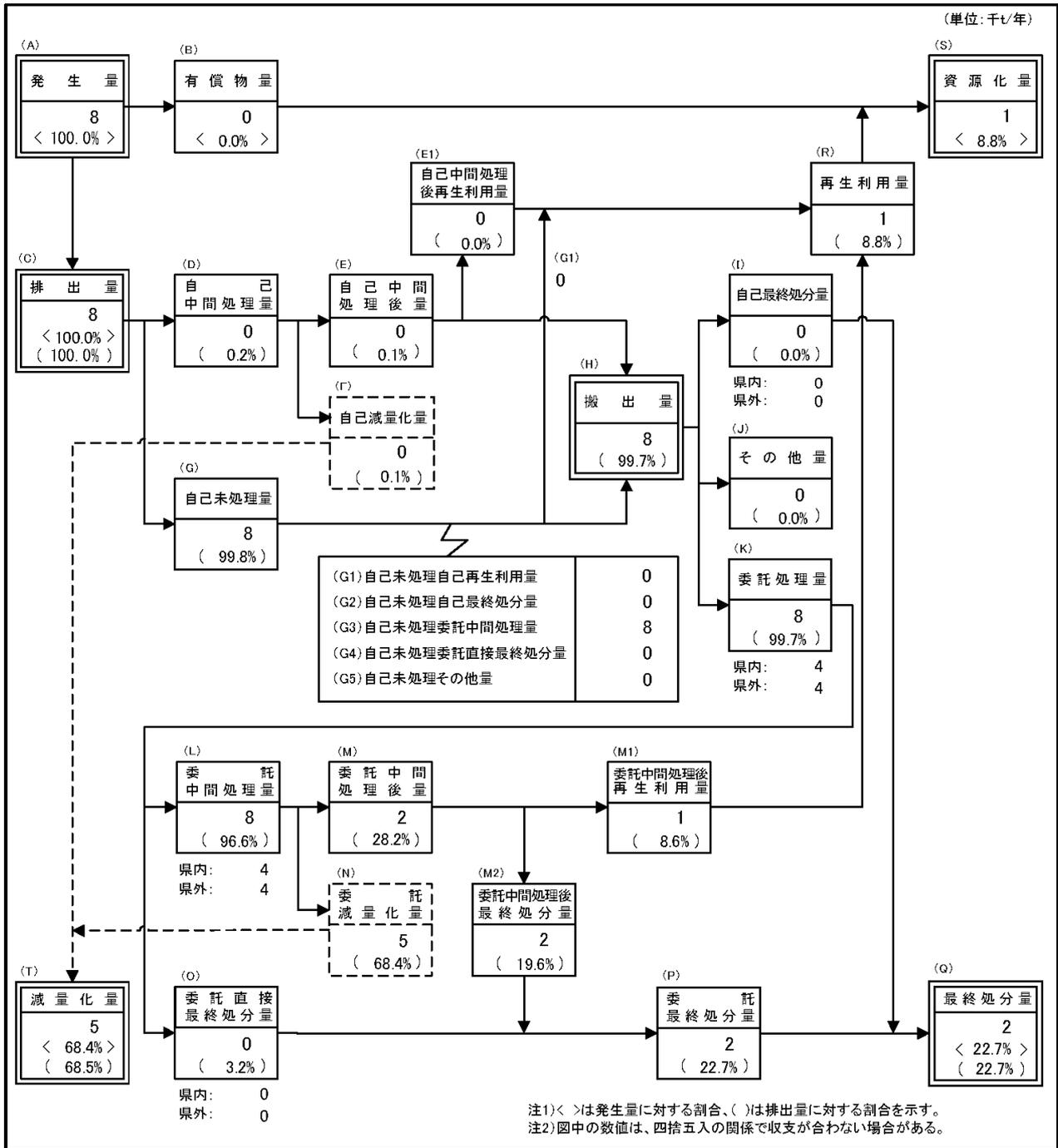


図 2-5-23 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図（医療、福祉）

13. サービス業

サービス業からの排出量は、2千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 2-5-24に示すように、廃プラスチック類が1千トン(49.0%)で最も多く、次いで、金属くずが1千トン(23.6%)等となっている。

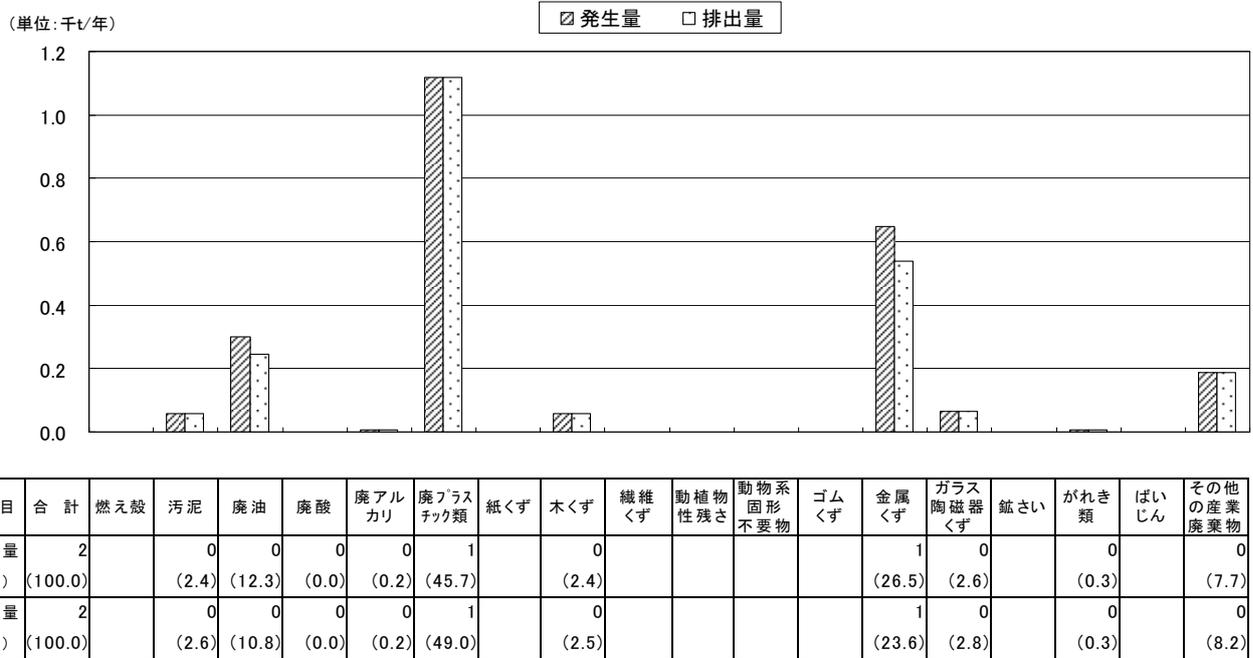


図 2-5-24 種類別の発生量、排出量 (サービス業)

また、サービス業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-25に示すとおりである。

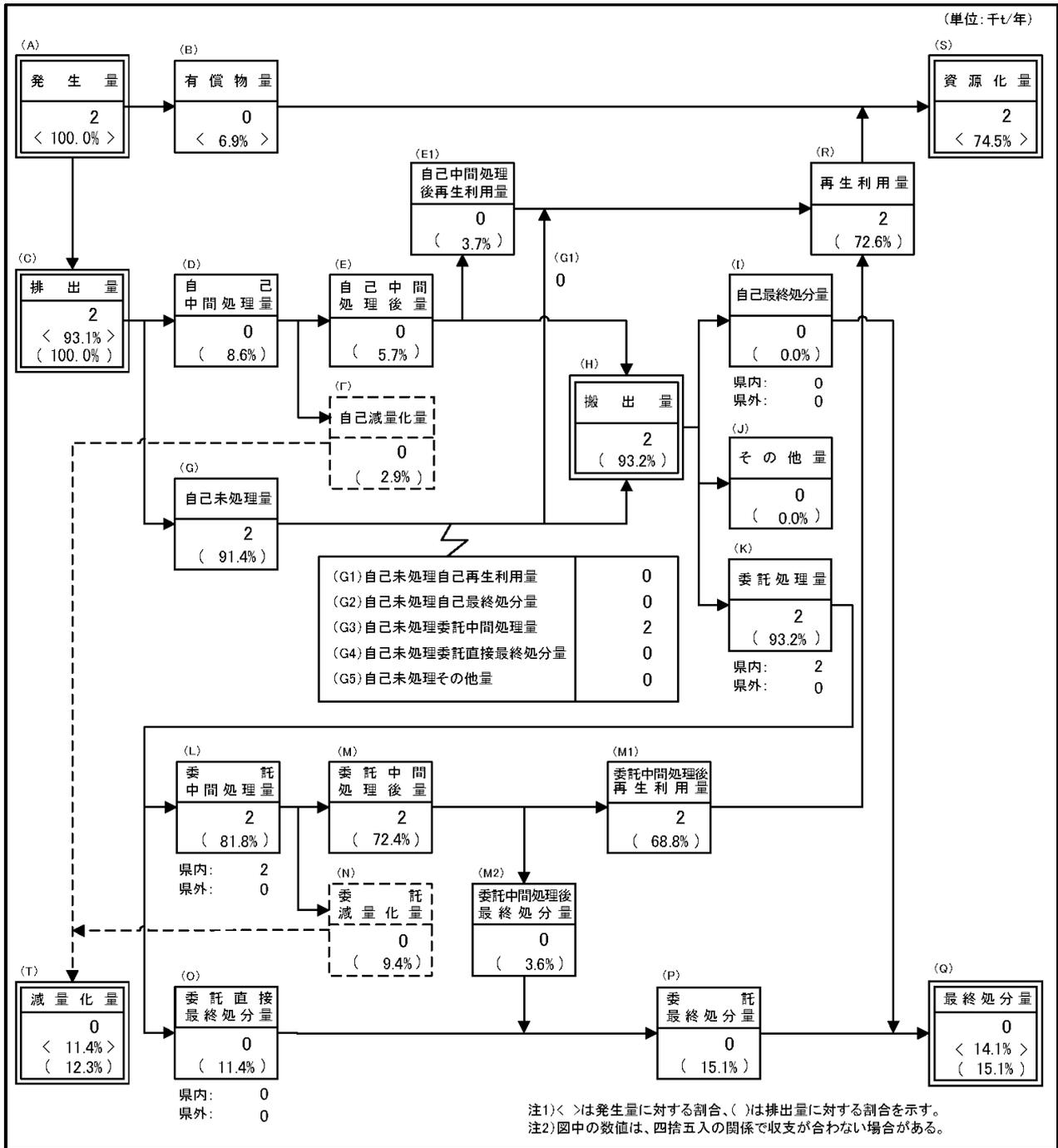


図 2-5-25 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図 (サービス業)

第6節 特別管理産業廃棄物

前節までは、特別管理産業廃棄物を含む産業廃棄物全体の状況をみてきたが、ここでは、特別管理産業廃棄物（単位：t/年）について、その発生・排出及び処理・処分状況をまとめる。

1. 発生・排出状況

特別管理産業廃棄物の発生・排出状況は、図 2-6-1及び図 2-6-2に示すとおりである。

排出量（10,304 トン）を種類別にみると、特定有害産業廃棄物（廃石綿等を除く）が 2,928 トン（28.4%）で最も多く、次いで、感染性産業廃棄物が 2,923 トン（28.4%）、廃油が 2,849 トン（27.7%）等となっている。

また、業種別では、製造業が 5,973 トン（58.0%）で最も多く、次いで、医療、福祉が 2,912 トン（28.3%）、教育、学習が 1,095 トン（10.6%）等となっている。

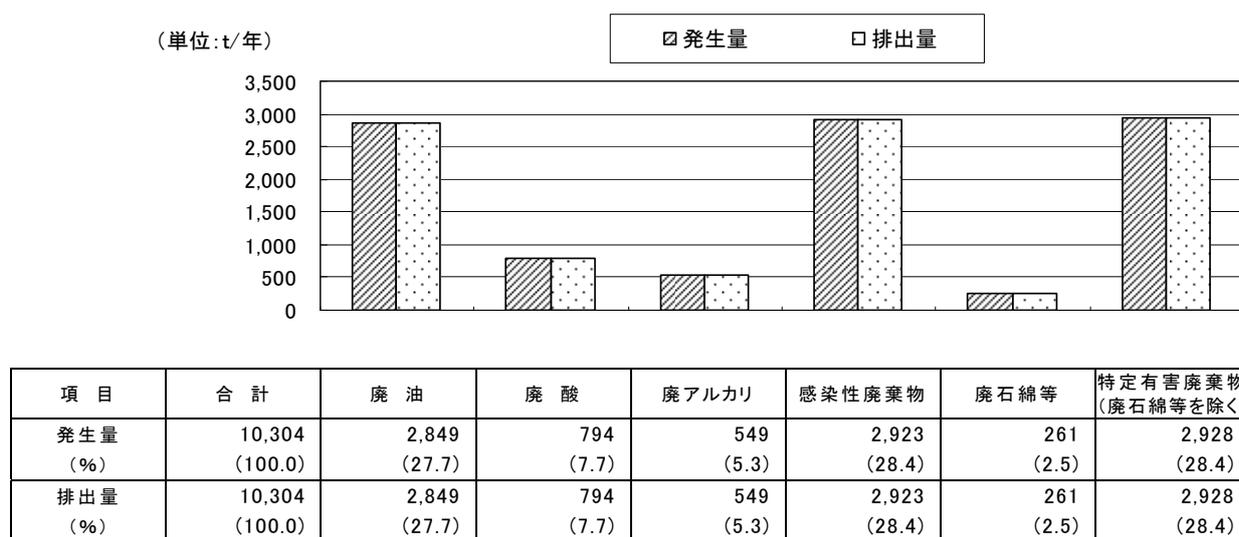


図 2-6-1 種類別の特別管理産業廃棄物の発生・排出量

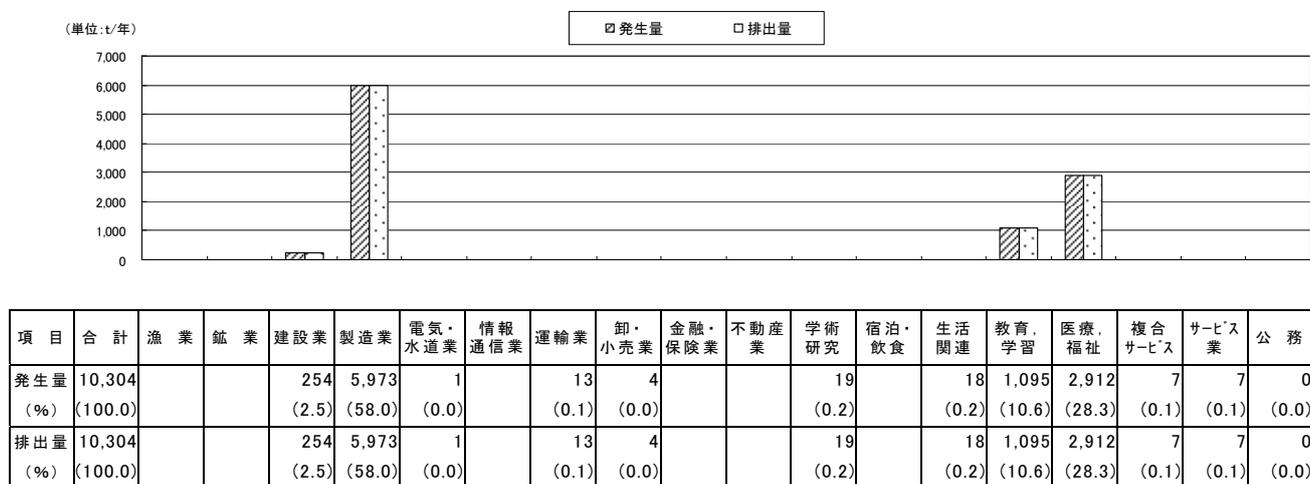


図 2-6-2 業種別の特別管理産業廃棄物の発生・排出量

2. 処理・処分状況

特別管理産業廃棄物の発生・排出から処理・処分状況の流れは、図 2-6-3に示すとおりである。

なお、特別管理産業廃棄物のうち、感染性産業廃棄物についての処理・処分状況は、図 2-6-4に示すとおりである。

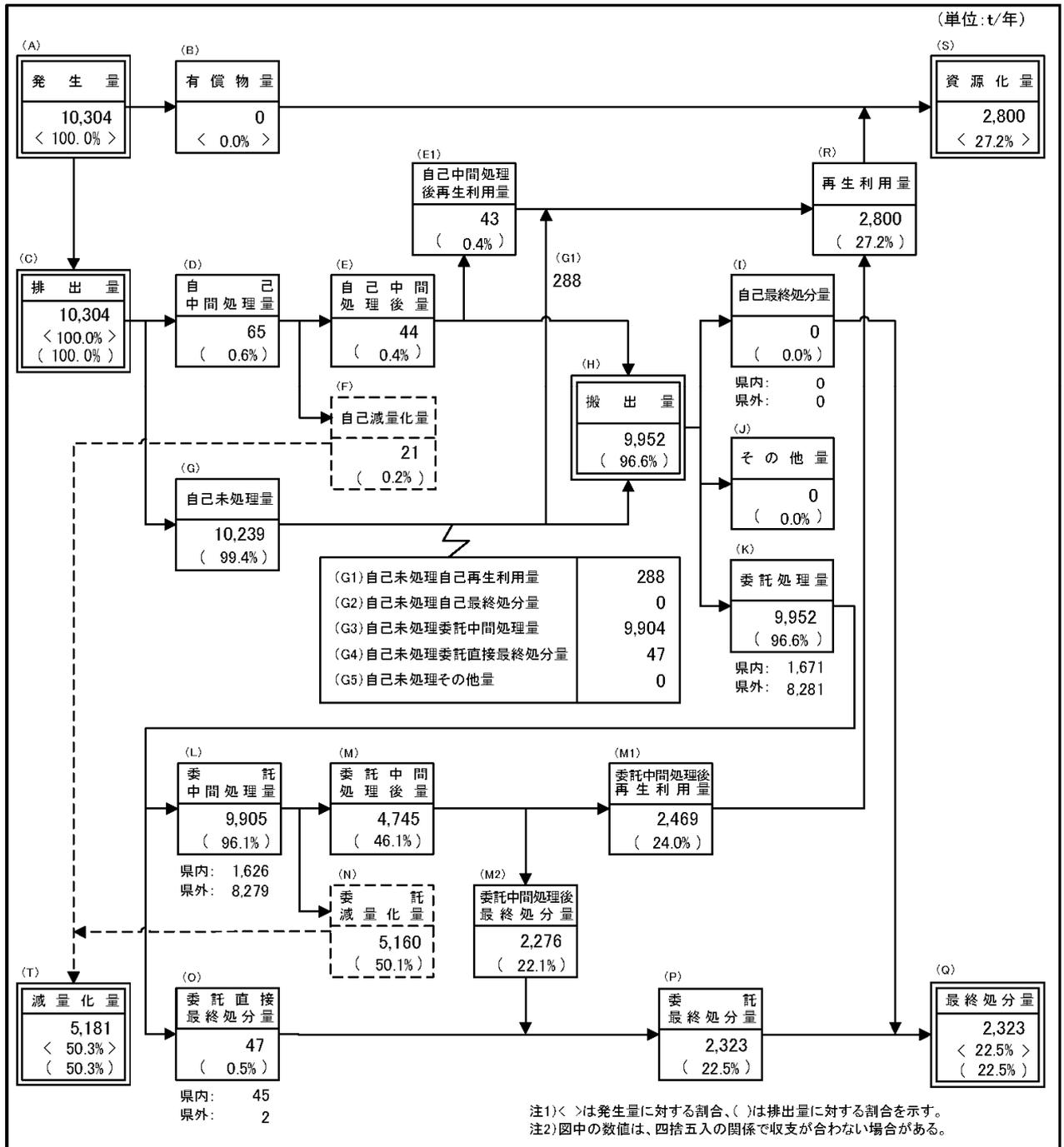


図 2-6-3 特別管理産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分の状況

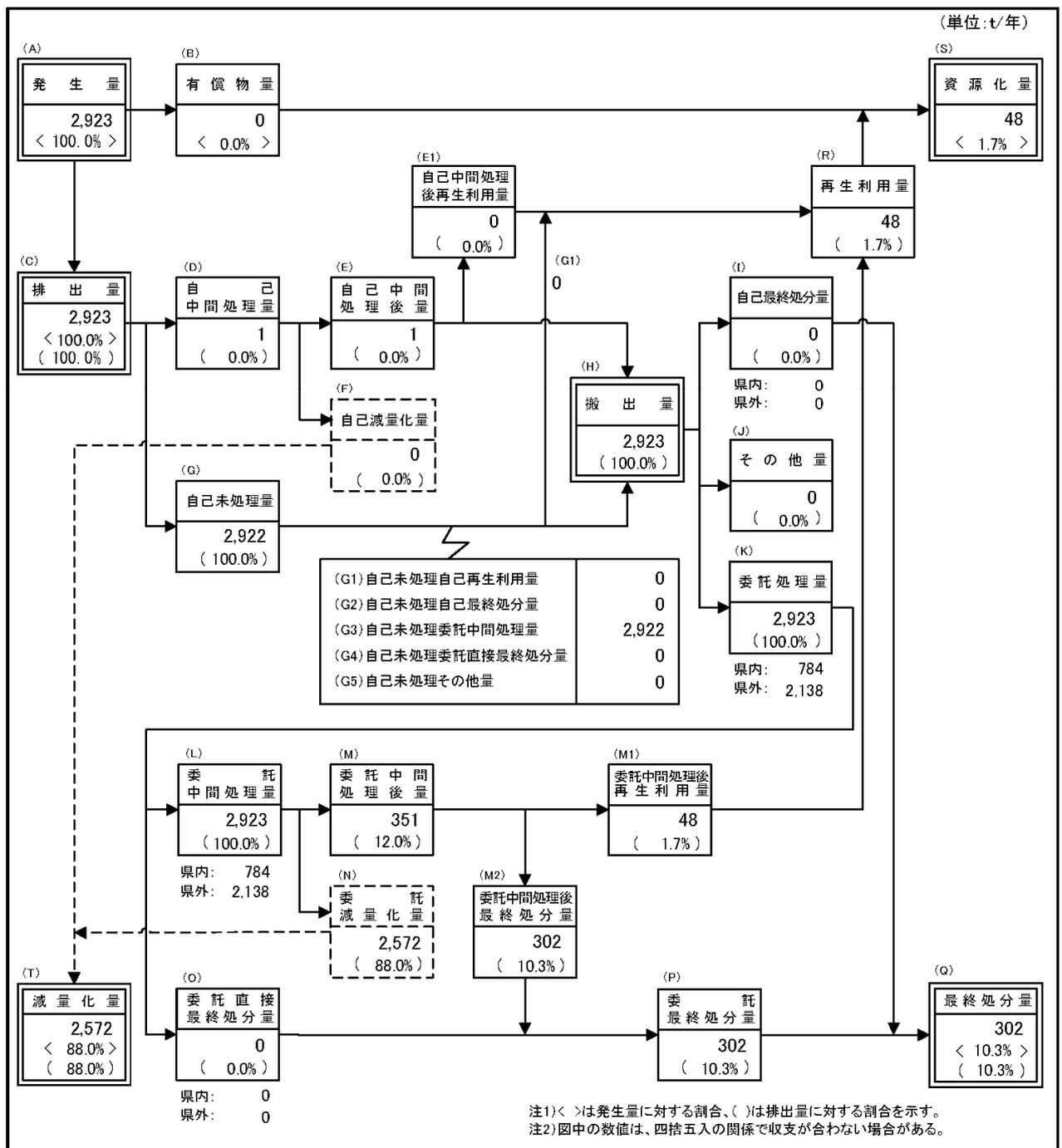


図 2-6-4 感染性産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分の状況

第7節 産業廃棄物の移動状況（農業を除く）

1. 搬出量の移動状況

産業廃棄物の発生量 1,645 千トンのうち、処理・処分を目的として事業場から搬出された産業廃棄物量（以下、搬出量という。）は、1,285 千トンとなっている。この搬出量の移動状況については、表 2-7-1 及び図 2-7-1 に示すとおりである。

搬出量 1,285 千トンのうち、県内で処理・処分された量は 1,133 千トン（88.1%）、県外で処理・処分された量は 152 千トン（11.9%）となっており、搬出量の約 9 割が県内で処理・処分されている。

県内地域間の移動状況をみると、県内自地域内で処理・処分された量は 927 千トン（搬出量の 72.1%）、県内他地域で処理・処分された量は 206 千トン（16.0%）となっている。

表 2-7-1 産業廃棄物の移動状況（農業を除く）

(単位:千t/年)

発生地域		合計	松江圏域	出雲圏域	大田圏域	浜田圏域	益田圏域	隠岐圏域
処理・処分地域	搬出量	1,285 (100.0%)	225 (100.0%)	371 (100.0%)	94 (100.0%)	463 (100.0%)	100 (100.0%)	32 (100.0%)
	自己最終処分量	188	12	0	11	166		
	委託中間処理量	1,021	189	344	78	289	88	32
	委託直接最終処分量	73	24	27	3	7	12	0
	その他量	4			3	0		
県内自地域	搬出量	927 (72.1%)	157 (69.6%)	262 (70.5%)	65 (68.6%)	363 (78.4%)	50 (50.1%)	31 (96.1%)
	自己最終処分量	188	12	0	10	166		
	委託中間処理量	694	141	237	54	191	40	31
	委託直接最終処分量	45	4	25	1	5	10	0
	その他量	0				0		
県内他地域	搬出量	206 (16.0%)	35 (15.6%)	74 (19.9%)	27 (28.3%)	24 (5.2%)	45 (44.9%)	1 (3.6%)
	自己最終処分量	0	0	0	0			
	委託中間処理量	183	23	73	21	22	43	1
	委託直接最終処分量	19	13	1	2	2	2	0
	その他量	3			3			
県外	搬出量	152 (11.9%)	33 (14.7%)	35 (9.5%)	3 (3.1%)	76 (16.4%)	5 (5.0%)	0 (0.3%)
	自己最終処分量							
	委託中間処理量	144	26	35	3	76	5	0
	委託直接最終処分量	9	8	1	0	0	0	
	その他量							

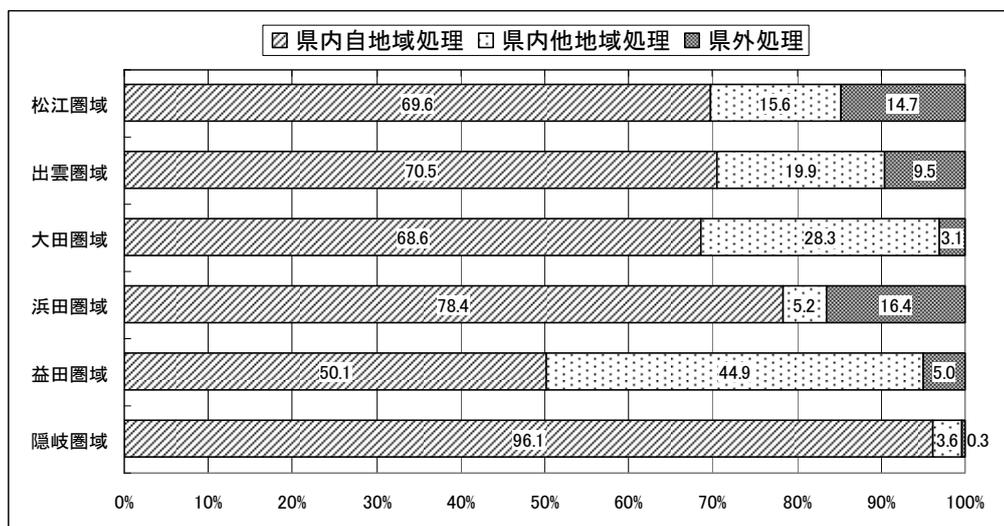


図 2-7-1 県内地域間の移動状況

2. 委託処理量の移動状況

搬出量 1,285 千トンのうち、処理業者等で委託処理された産業廃棄物は、中間処理量が 1,021 千トン、直接最終処分量が 73 千トンの計 1,094 千トンとなっている。この移動状況については、表 2-7-2 及び表 2-7-3 に示すとおりである。

表 2-7-2 産業廃棄物の移動状況（委託中間処理量）

(単位:千t/年)

		発 生 地 域						
		合 計	松江圏域	出雲圏域	大田圏域	浜田圏域	益田圏域	隠岐圏域
委 託 中 間 処 理 地 域	合 計	1,021	189	344	78	289	88	32
	自治体	1	0	1	0	0	0	0
	処理業者	1,020	189	344	78	289	88	32
	松江圏域	189	141	35	3	8	1	1
	自治体	0	0	0			0	0
	処理業者	189	141	35	3	8	1	1
	出雲圏域	264	19	237	7	2	1	0
	自治体	1		1				
	処理業者	264	19	236	7	2	1	0
	大田圏域	91	1	33	54	3	0	
	自治体	0			0			
	処理業者	91	1	33	53	3	0	
	浜田圏域	249	3	5	11	191	39	
	自治体	0				0		
	処理業者	249	3	5	11	191	39	
	益田圏域	50	0	0		10	40	
	自治体							
	処理業者	50	0	0		10	40	
	隠岐圏域	33	0	0			2	31
	自治体	0						0
	処理業者	33	0	0			2	31
	県内計	877	164	310	75	213	84	32
	自治体	1	0	1	0	0	0	0
	処理業者	876	164	309	75	213	84	31
県外計	144	26	35	3	76	5	0	
自治体	0	0	0					
処理業者	144	26	35	3	76	5	0	

表 2-7-3 産業廃棄物の移動状況（委託直接最終処分量）

(単位:千t/年)

		発 生 地 域						
		合 計	松江圏域	出雲圏域	大田圏域	浜田圏域	益田圏域	隠岐圏域
委 託 直 接 最 終 処 分 地 域	合 計	73	24	27	3	7	12	0
	自治体	3	3	0	0	0	0	0
	処理業者	70	22	27	3	7	12	0
	松江圏域	5	4	1	0	0	0	0
	自治体	0	0			0		
	処理業者	5	4	1	0	0	0	0
	出雲圏域	42	13	25	2	1	2	0
	自治体	0	0	0				
	処理業者	42	13	25	2	1	2	0
	大田圏域	1	0	0	1	1	0	
	自治体	0			0			
	処理業者	1	0	0	1	1	0	
	浜田圏域	6	0	0	0	5	0	
	自治体	0				0		
	処理業者	6	0	0	0	5	0	
	益田圏域	10	0			0	10	
	自治体	0					0	
	処理業者	10	0			0	10	
	隠岐圏域	0						0
	自治体	0						0
	処理業者							
	県内計	64	17	26	3	7	11	0
	自治体	0	0	0	0	0	0	0
	処理業者	64	17	26	3	7	11	0
県外計	9	8	1	0	0	0		
自治体	2	2	0					
処理業者	6	5	1	0	0	0		

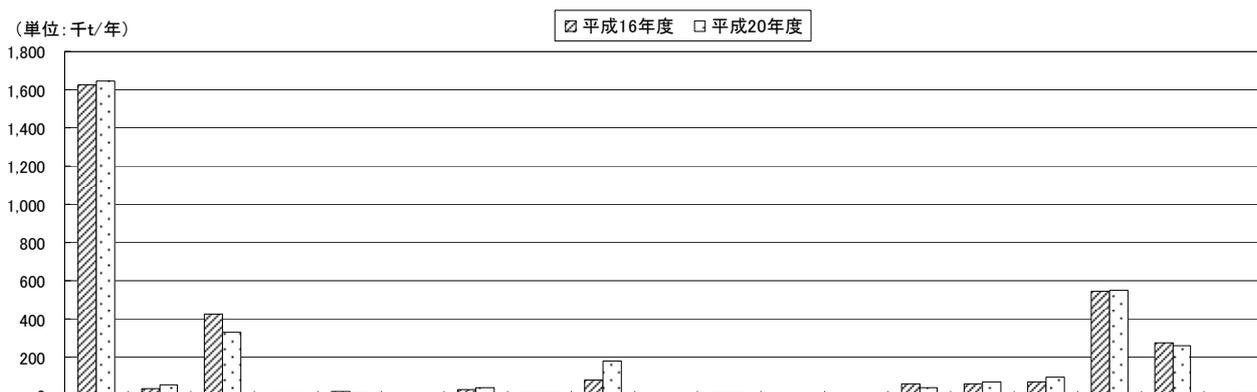
第3章 産業廃棄物の推移と将来予測

第3章 産業廃棄物の推移と将来予測

第1節 前回調査との比較

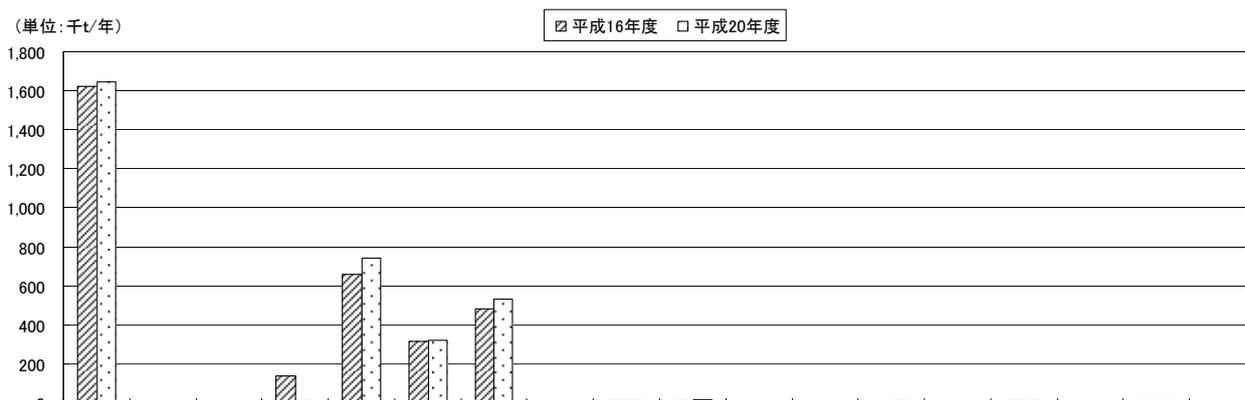
1. 発生・排出状況との比較（農業を除く）

発生量、排出量を前回調査（平成16年度）と比較すると、図3-1-1～図3-1-6に示すとおりである。この4年間で、発生量は1.3%、排出量は1.5%増加している。



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
平成16年度	1,624	37	424	8	22	2	28	5	82	0	6	0	0	60	58	70	546	273	2
(%)	(100.0)	(2.3)	(26.1)	(0.5)	(1.4)	(0.1)	(1.7)	(0.3)	(5.0)	(0.0)	(0.3)	(0.0)	(0.0)	(3.7)	(3.6)	(4.3)	(33.6)	(16.8)	(0.1)
平成20年度	1,645	53	328	11	3	2	39	5	182	1	5	0	0	38	71	93	552	259	3
(%)	(100.0)	(3.2)	(19.9)	(0.7)	(0.2)	(0.1)	(2.4)	(0.3)	(11.0)	(0.1)	(0.3)	(0.0)	(0.0)	(2.3)	(4.3)	(5.6)	(33.6)	(15.8)	(0.2)
増減量	21	15	-96	3	-19	0	11	0	100	1	-1	0	0	-22	13	23	6	-14	2
増減率(%)	1.3	41.2	-22.7	34.3	-86.4	1.0	38.8	-0.1	122.2	186.2	-13.0	-22.3	-79.8	-36.8	22.0	32.3	1.2	-5.0	90.1

図3-1-1 種類別発生量の比較（農業を除く）



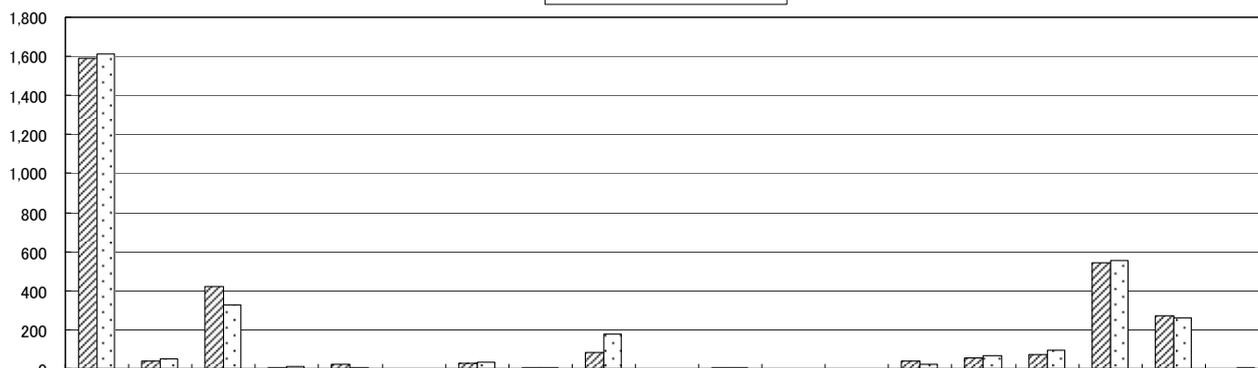
項目	合計	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	宿泊・飲食	教育・学習	医療・福祉	複合サービス	サービス業	公務
平成16年度	1,624	0		138	660	313	482	0	4	8	0	0	0		5		13	0
(%)	(100.0)	(0.0)		(8.5)	(40.7)	(19.3)	(29.7)	(0.0)	(0.3)	(0.5)	(0.0)	(0.0)	(0.0)		(0.3)		(0.8)	(0.0)
平成20年度	1,645		0	6	740	323	534	0	4	15	0	1	3	2	8	0	9	0
(%)	(100.0)		(0.0)	(0.4)	(45.0)	(19.7)	(32.5)	(0.0)	(0.3)	(0.9)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.1)	(0.5)	(0.0)	(0.6)	(0.0)
増減量	21			-132	79	10	51	0	0	7	0	0	3		3		-4	0
増減率(%)	1.3			-95.7	12.0	3.3	10.7	203.3	-0.4	95.3	730.8	974.8	7,989.8		53.5		-28.0	-67.8

注)平成16年度における「学術研究」と「生活関連」は、「サービス業」に含まれる。

図3-1-2 業種別発生量の比較（農業を除く）

(単位:千t/年)

▨ 平成16年度 □ 平成20年度

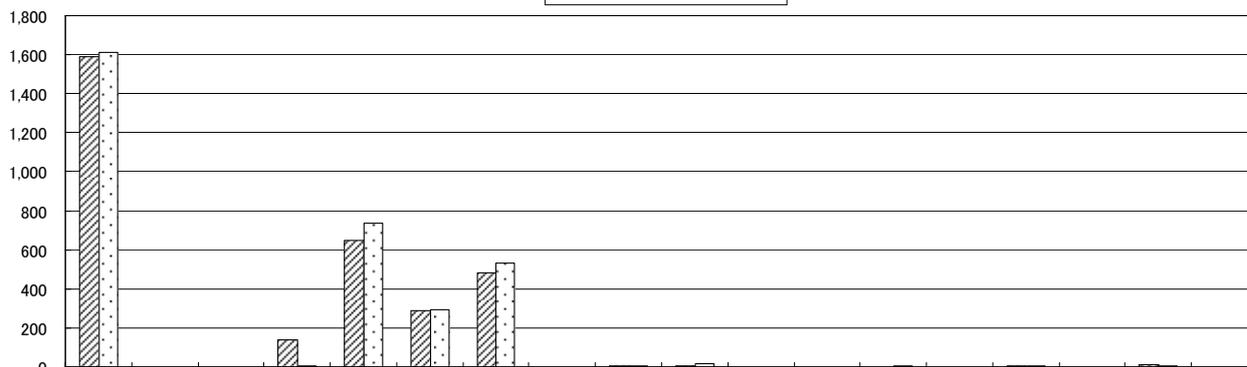


項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
平成16年度	1,588	37	420	8	22	2	28	4	80	0	5	0	0	37	56	70	542	273	2
(%)	(100.0)	(2.3)	(26.4)	(0.5)	(1.4)	(0.1)	(1.8)	(0.3)	(5.1)	(0.0)	(0.3)	(0.0)	(0.0)	(2.3)	(3.5)	(4.4)	(34.2)	(17.2)	(0.1)
平成20年度	1,612	53	326	11	3	2	35	3	179	1	5	0	0	24	64	93	552	259	3
(%)	(100.0)	(3.3)	(20.2)	(0.7)	(0.2)	(0.1)	(2.2)	(0.2)	(11.1)	(0.1)	(0.3)	(0.0)	(0.0)	(1.5)	(4.0)	(5.8)	(34.3)	(16.0)	(0.2)
増減量	24	15	-94	3	-19	0	7	-1	98	0	-1	0	0	-13	8	23	10	-14	2
増減率(%)	1.5	41.2	-22.4	31.4	-86.4	1.0	25.4	-16.9	121.9	121.7	-15.4	-22.3	208.3	-36.1	14.9	32.3	1.9	-5.1	87.0

図 3-1-3 種類別排出量の比較 (農業を除く)

(単位:千t/年)

▨ 平成16年度 □ 平成20年度



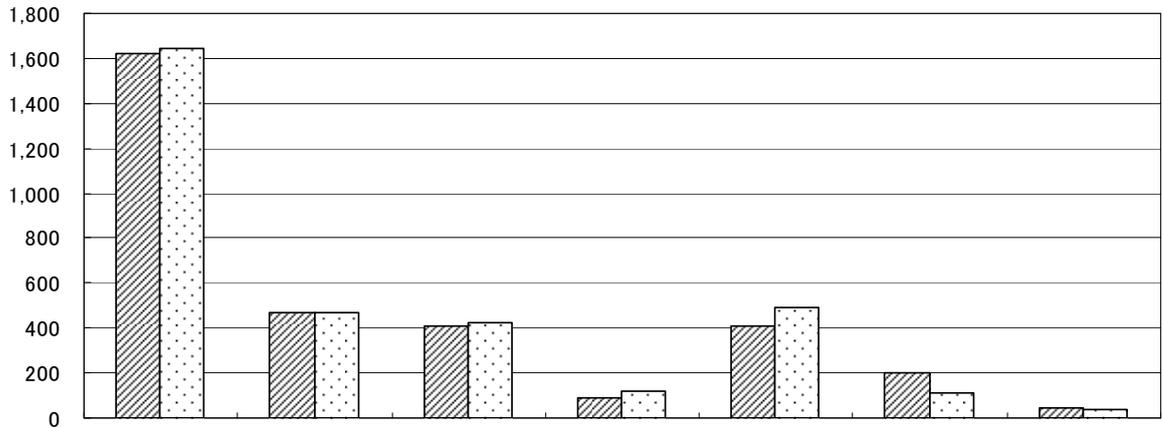
項目	合計	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	宿泊・飲食	教育・学習	医療・福祉	複合サービス	サービス業	公務
平成16年度	1,588	0		138	648	290	482	0	4	8	0	0	0		5		12	0
(%)	(100.0)	(0.0)		(8.7)	(40.8)	(18.3)	(30.4)	(0.0)	(0.3)	(0.5)	(0.0)	(0.0)	(0.0)		(0.3)		(0.8)	(0.0)
平成20年度	1,612		0	6	738	295	533	0	4	14	0	0	3	2	8	0	8	0
(%)	(100.0)		(0.0)	(0.4)	(45.8)	(18.3)	(33.1)	(0.0)	(0.2)	(0.9)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.1)	(0.5)	(0.0)	(0.5)	(0.0)
増減量	24			-132	90	5	51	0	0	6	0	0	3		3		-4	0
増減率(%)	1.5			-95.7	13.8	1.8	10.6	184.0	-7.7	82.7	730.8	662.5	7,927.2		53.5		-36.9	-64.8

注) 平成16年度における「学術研究」と「生活関連」は、「サービス業」に含まれる。

図 3-1-4 業種別排出量の比較 (農業を除く)

(単位: 千t/年)

▨ 平成16年度 □ 平成20年度

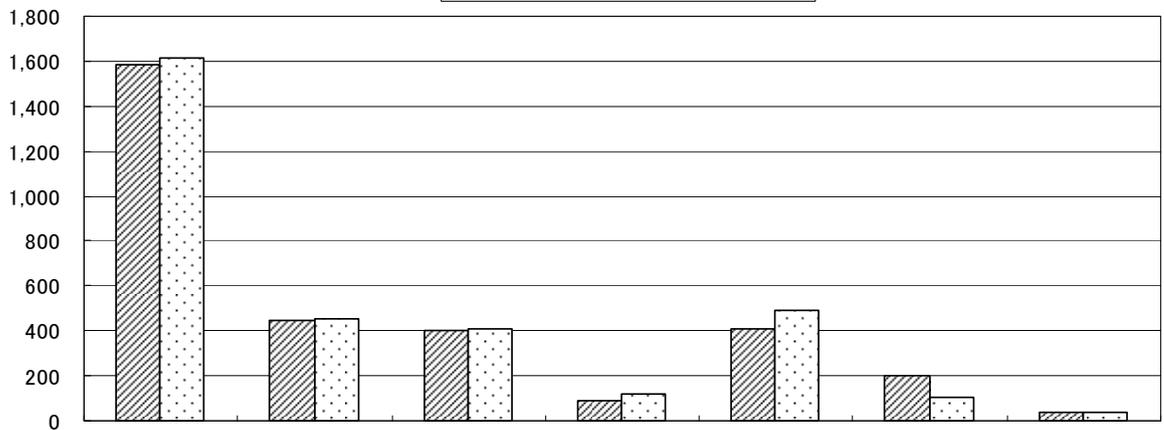


項目	合計	松江圏域	出雲圏域	大田圏域	浜田圏域	益田圏域	隠岐圏域
平成16年度 (%)	1,624 (100.0)	466 (28.7)	413 (25.4)	91 (5.6)	410 (25.3)	201 (12.4)	43 (2.6)
平成20年度 (%)	1,645 (100.0)	469 (28.5)	424 (25.8)	116 (7.0)	492 (29.9)	108 (6.6)	36 (2.2)
増減量	22	3	12	24	82	-93	-7
増減率 (%)	1.3	0.6	2.8	26.7	20.1	-46.1	-15.8

図 3-1-5 地域別発生量の比較 (農業を除く)

(単位: 千t/年)

▨ 平成16年度 □ 平成20年度



項目	合計	松江圏域	出雲圏域	大田圏域	浜田圏域	益田圏域	隠岐圏域
平成16年度 (%)	1,588 (100.0)	446 (28.1)	403 (25.4)	91 (5.7)	409 (25.7)	200 (12.6)	39 (2.5)
平成20年度 (%)	1,612 (100.0)	454 (28.2)	410 (25.4)	115 (7.2)	489 (30.3)	108 (6.7)	36 (2.2)
増減量	24	7	7	24	80	-93	-3
増減率 (%)	1.5	1.7	1.8	27.0	19.7	-46.3	-8.0

図 3-1-6 地域別排出量の比較 (農業を除く)

2. 処理・処分状況との比較

平成20年度の処理・処分状況を前回調査（平成16年度）と比較すると、表3-1-1及び図3-1-7に示すとおりである。

今回の調査では、発生量が増加しており、資源化量は54.4%から61.0%へ6.6ポイントの増加となっている。

中間処理による減量化量では逆に26.4%から20.3%へ6.1ポイントの減少となっている。また、最終処分量は18.9%から18.5%へ0.4ポイントの減少となっている。

表 3-1-1 処理・処分状況の比較（農業を除く）

(単位:千t/年)

項目	平成16年度	平成20年度	増減量	増減率(%)
発生量	1,624 (100.0%)	1,645 (100.0%)	21	1.3%
資源化量	883 (54.4%)	1,003 (61.0%)	120	13.6%
有償物量	36 (2.2%)	34 (2.0%)	-3	-7.4%
再生利用量	847 (52.2%)	969 (58.9%)	122	14.5%
減量化量	429 (26.4%)	335 (20.3%)	-94	-21.9%
最終処分量	308 (18.9%)	304 (18.5%)	-4	-1.2%
その他量	4 (0.3%)	4 (0.2%)	-1	-17.2%

注)表中の%表示については、四捨五入しているため、総数と個々の数値の合計が一致しないものがある。

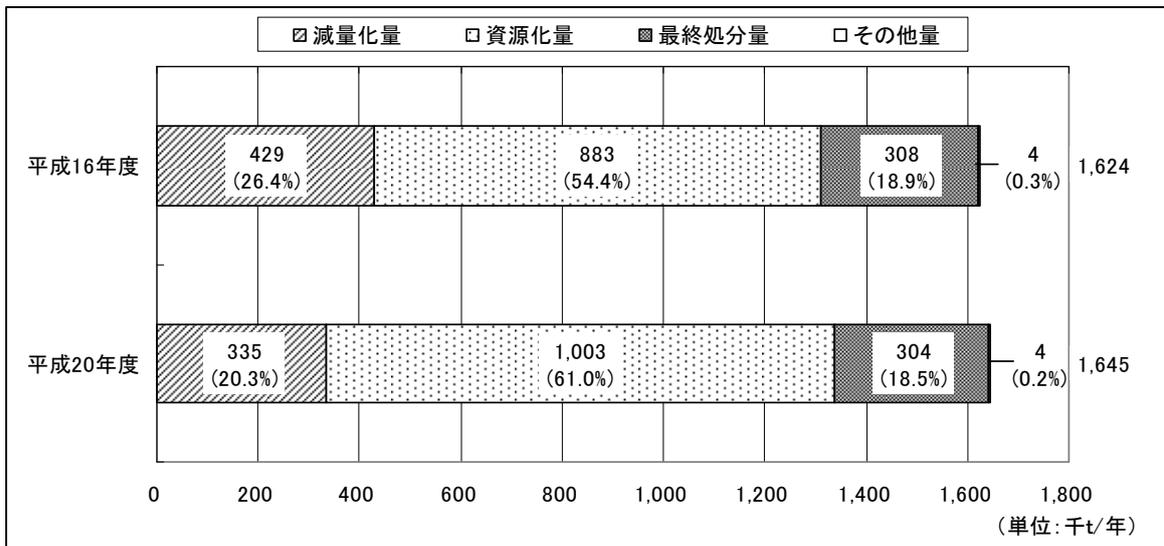


図 3-1-7 処理・処分状況の比較（農業を除く）

第2節 発生・排出及び処理・処分の将来予測

1. 将来予測の方法

産業廃棄物量の将来予測に当たっては、今後とも「大きな技術革新及び法律上の産業廃棄物の分類に変更がなく、現時点における産業廃棄物の排出状況等と業種ごとの活動量指標との関係は変わらない」とものと仮定して、将来の活動量指標の伸び率を廃棄物量に乗じることによって算出した。

なお、将来の活動量指標の予測は、過去の活動量指標の動向（トレンド）に対して、数種類の回帰式（直線、指数曲線、対数曲線、べき曲線、ロジスティック曲線）を当てはめる時系列解析により行い、適合度の高い回帰式を採用することとした。

表 3-2-1 将来の活動量指標の算出方法等

業 種	将 来 の 活 動 量 指 標 の 算 出 方 法 等			
	活動量指標	将 来	使用データ年	使用した資料
建 設 業	元請完成工事高	予測値	平成10～19年	建設工事施工統計調査報告書 (国土交通省 総合制作局, 情報安全・ 調査課 建設統計室)
製 造 業	製造品出荷額等	予測値	平成16～20年	工業統計調査結果報告書 (経済産業省 経済産業政策局)
電気・水道業	—	計画値	—	アンケート調査結果
医療, 福祉	病床数(病院)	現状維持	—	—
その他の業種	従 業 者 数	予測値	平成13, 16, 18年	事業所・企業統計調査報告書 (総務省 統計局)

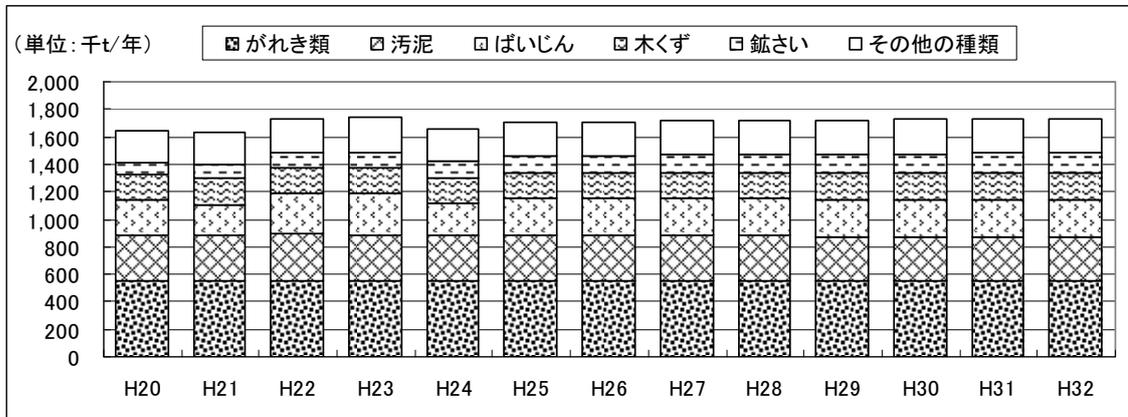
注1) 製造品出荷額等は、製造業部門別算出物価指数(日本銀行調査統計局)で補正して用いた。

注2) 電気・水道業については、アンケート調査により各事業所が回答した将来の計画値を用いるため、活動量指標は設定していない。

2. 発生・排出量の将来予測（農業を除く）

島根県の将来発生量及び将来排出量は、このままの推移でいくと、増減はあるが、緩やかに増加していくものと見込まれる。

将来予測結果を種類別、業種別に見ると、図 3-2-1から図 3-2-4に示すとおりである。

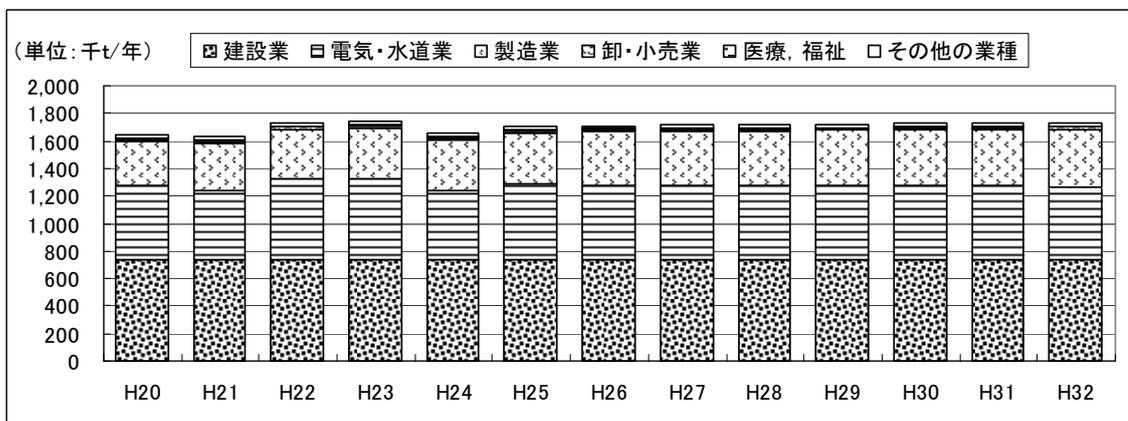


(単位: 千t)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
が れ き 類	552	552	553	553	552	552	552	552	552	552	552	552	552
汚 泥	328	332	338	336	333	331	329	328	326	324	323	321	319
ば い じ ん	259	225	301	301	226	268	268	268	269	269	269	269	270
木 く ず	182	187	188	189	190	190	191	192	192	193	193	194	194
鋤 さ い	93	103	108	112	116	121	124	128	132	135	139	142	145
その他の種類	231	231	247	248	235	244	245	246	247	247	248	249	250
合 計	1,645	1,632	1,734	1,738	1,653	1,706	1,710	1,714	1,718	1,721	1,725	1,728	1,732

注) 表中の数値については、四捨五入の関係で合計と個々の計とが一致しないものがある。

図 3-2-1 種類別発生量の将来予測の結果（農業を除く）

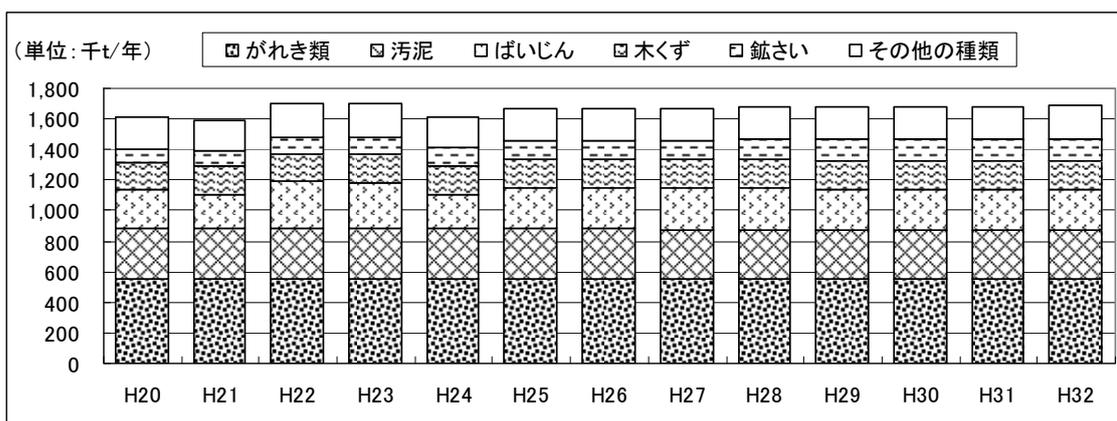


(単位: 千t)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
建設業	740	740	740	740	740	740	740	740	740	740	740	740	740
電気・水道業	534	495	590	588	496	543	541	539	537	535	533	531	529
製造業	323	350	357	364	371	378	384	390	396	402	407	412	418
卸・小売業	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14	13	13	13
医療、福祉	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9
その他の業種	25	25	24	24	24	23	23	23	23	22	22	22	22
合計	1,645	1,632	1,734	1,738	1,653	1,706	1,710	1,714	1,718	1,721	1,725	1,728	1,732

注) 表中の数値については、四捨五入の関係で合計と個々の計とが一致しないものがある。

図 3-2-2 業種別発生量の将来予測の結果（農業を除く）

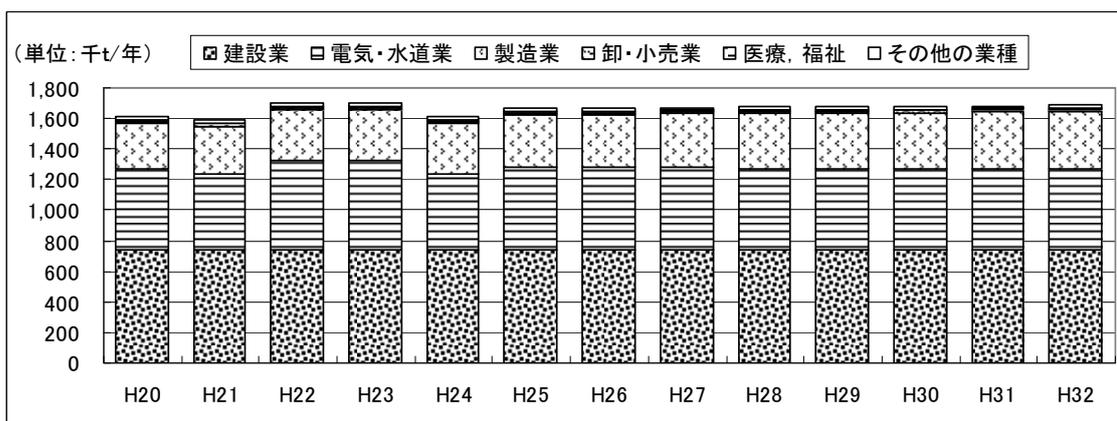


(単位:千t)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
がれき類	552	552	553	553	552	552	552	552	552	552	552	552	552
汚泥	326	330	336	333	331	329	327	325	323	322	320	319	317
ばいじん	259	224	300	300	225	267	267	267	268	268	268	268	269
木くず	179	184	185	185	186	186	187	187	188	189	189	190	190
鋳さい	93	103	108	112	116	121	124	128	132	135	139	142	145
その他の種類	204	202	216	217	203	211	211	212	212	212	212	213	213
合計	1,612	1,595	1,697	1,700	1,613	1,666	1,669	1,672	1,675	1,678	1,681	1,684	1,686

注)表中の数値については、四捨五入の関係で合計と個々の計とが一致しないものがある。

図 3-2-3 種類別排出量の将来予測の結果(農業を除く)



(単位:千t)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
建設業	738	738	738	738	738	738	738	738	738	738	738	738	738
電気・水道業	533	494	590	587	495	542	541	538	536	535	533	531	529
製造業	295	319	325	331	337	343	348	353	358	363	368	373	377
卸・小売業	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	12
医療、福祉	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9
その他の業種	23	23	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21
合計	1,612	1,595	1,697	1,700	1,613	1,666	1,669	1,672	1,675	1,678	1,681	1,684	1,686

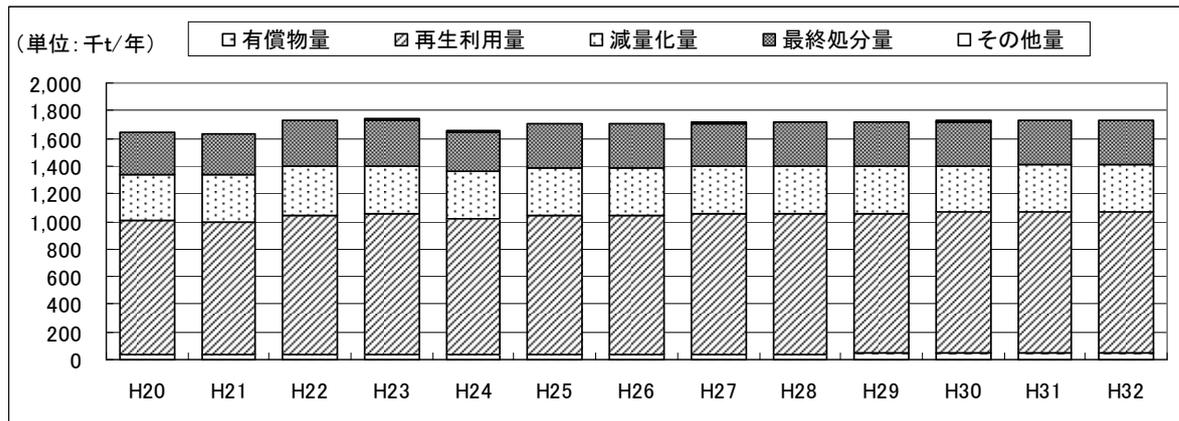
注)表中の数値については、四捨五入の関係で合計と個々の計とが一致しないものがある。

図 3-2-4 業種別排出量の将来予測の結果(農業を除く)

3. 処理・処分状況の将来予測（農業を除く）

将来における処理・処分状況については、産業廃棄物に対する中間処理、再生利用、最終処分等の処理・処分量の比率が平成20年度実績のまま今後も変わらないものと仮定し、前出の2. で推計した将来発生量に業種別・廃棄物種類別の処理・処分量の比率を乗じることによって算出した。

この推計結果は、図3-2-5に示すとおりである。



(単位:千t)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
発生量	1,645	1,632	1,734	1,738	1,653	1,706	1,710	1,714	1,718	1,721	1,725	1,728	1,732
有償物量	33	37	38	39	39	40	41	42	43	43	44	45	45
排出量	1,612	1,595	1,697	1,700	1,613	1,666	1,669	1,672	1,675	1,678	1,681	1,684	1,686
再生利用量	969	963	1,006	1,011	976	1,001	1,005	1,009	1,012	1,016	1,019	1,022	1,026
減量化量	335	344	350	349	347	346	345	343	342	341	340	339	338
最終処分量	304	285	336	337	287	316	316	317	317	318	319	319	320
その他量	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

注) 表中の数値については、四捨五入の関係で合計と個々の計とが一致しないものがある。

図3-2-5 処理・処分状況の将来予測の結果（農業を除く）

第4章 事業者の意識調査

第4章 事業者の意識調査

産業廃棄物に関する事業者の意識を把握するため、アンケート調査を実施した。
調査対象は、産業廃棄物実態調査と同一の事業所とした。

第1節 回答結果

アンケート送付事業所 4,591 件に対して、2,168 件の事業所から回答が得られた。回答率は 47.2%である。

第2節 調査結果のまとめ

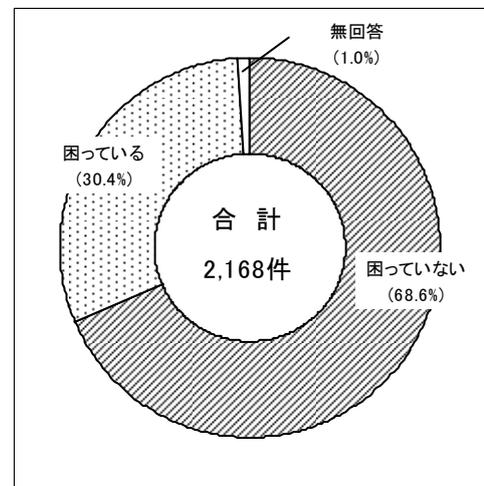
1. 産業廃棄物に関する課題について

(1) 困っている状況の有無

処理・処分、リサイクルに関して困っている状況の有無については図 4-2-1に示すとおりである。

「困っていない」(68.6%)が半数以上を占める。次いで、「困っている」(30.4%)となっている。

前回結果と比較すると、「困っていない」が約 11 ポイント増加している



	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療福祉	複合サービス	サービス業	公務	合計
1 困っている	1 16.7%	5 31.3%	3 14.3%	191 31.3%	196 38.2%	33 46.5%	7 16.7%	23 21.7%	60 29.9%	4 12.1%	9 26.5%	13 22.0%	14 22.6%	11 24.4%	5 23.8%	53 23.2%	6 21.4%	23 32.9%	1 50.0%	658 30.4%
2 困っていない	5 83.3%	10 62.5%	18 85.7%	415 68.0%	308 60.0%	38 53.5%	34 81.0%	82 77.4%	140 69.7%	29 87.9%	25 73.5%	46 78.0%	45 72.6%	33 73.3%	16 76.2%	174 76.3%	22 78.6%	47 67.1%	1 50.0%	1,488 68.6%
無回答	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	4 0.7%	9 1.8%	0 0.0%	1 2.4%	1 0.9%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.8%	1 2.2%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 1.0%
合計	6 100.0%	16 100.0%	21 100.0%	610 100.0%	513 100.0%	71 100.0%	42 100.0%	106 100.0%	201 100.0%	33 100.0%	34 100.0%	59 100.0%	62 100.0%	45 100.0%	21 100.0%	228 100.0%	28 100.0%	70 100.0%	2 100.0%	2,168 100.0%

図 4-2-1 困っている状況の有無について

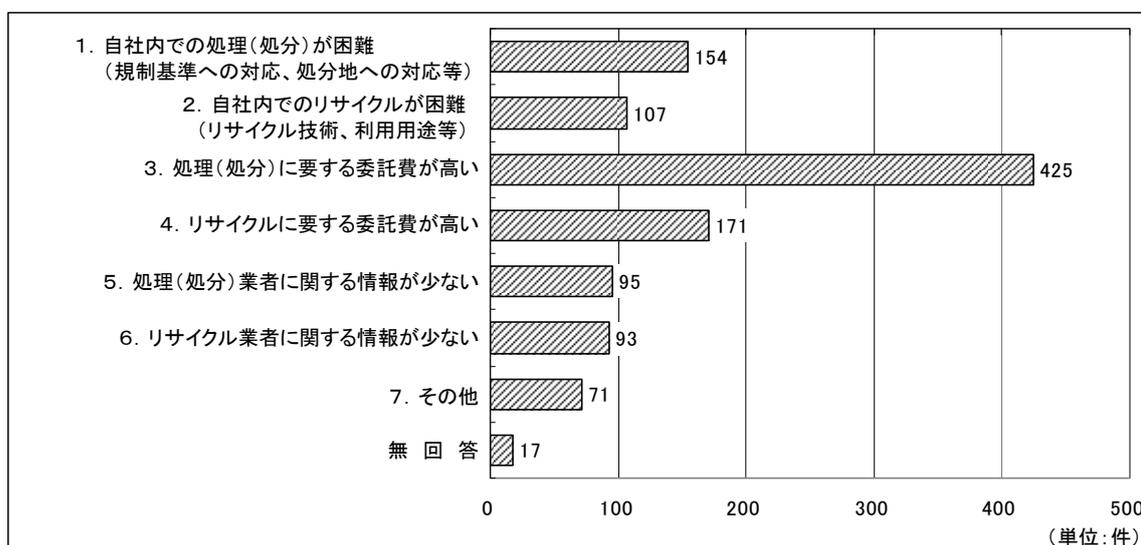
(2) 「困っている」内容

処理・処分、リサイクルに関して「困っている」と回答した内容については、図 4-2-2 に示すとおりである（複数回答）。

「処理（処分）に要する委託費が高い」（37.5%）が最も多く、次いで、「リサイクルに要する委託費が高い」（15.1%）、「自社内での処理（処分）が困難（規制基準への対応、処分地への対応等）」（13.6%）の順になっている。

前回結果と比較すると、「処理（処分）に要する委託費が高い」が約 5 ポイント減少している。

また、その他の具体的な意見としては、「処理業者が少ない」、「処理施設が遠い」、「処理の手続きが煩わしい」、「電子マニフェストを導入している処理業者が少ない」などが多く挙げられている。



	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療福祉	複合サービス	サービス業	公務	合計
1 自社内での処理(処分)が困難(規制基準への対応、処分地への対応等)	0	4	1	37	51	2	2	5	18	2	3	3	1	4	1	13	2	5	0	154
2 自社内でのリサイクルが困難(リサイクル技術、利用用途等)	0	1	1	29	39	1	1	5	11	0	0	3	2	4	0	4	2	4	0	107
3 処理(処分)に要する委託費が高い	1	5	1	130	119	23	6	16	31	2	5	7	7	10	4	38	5	15	0	425
4 リサイクルに要する委託費が高い	0	0	1	60	57	10	1	6	13	2	1	5	4	3	1	9	1	6	1	171
5 処理(処分)業者に関する情報が少ない	0	1	1	17	25	6	0	1	16	2	1	4	5	4	2	8	1	1	0	95
6 リサイクル業者に関する情報が少ない	0	0	0	27	30	0	0	4	12	1	1	2	3	3	1	5	1	3	0	93
7 その他	0	1	0	29	19	3	0	0	4	0	2	2	2	1	0	6	1	1	0	71
無回答	0	0	0	5	5	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	17
合計	1	12	5	334	335	45	10	37	107	9	13	26	25	29	9	87	13	35	1	1,133

図 4-2-2 「困っている」内容について

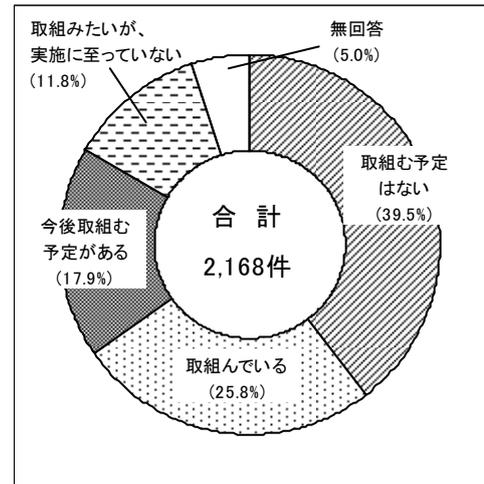
2. 産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用（3R）の取組みについて

（1）発生抑制の取組み

産業廃棄物の発生抑制に関する取組みについては図 4-2-3に示すとおりである。

「取組む予定はない」（39.5%）が最も多く、次いで、「取組んでいる」（25.8%）、「今後取組む予定がある」（17.9%）、「取組みたいが、実施に至っていない」（11.8%）の順になっている。

また、産業廃棄物の発生抑制の取組み内容は、表 4-2-1に示すとおりである。



	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報・通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療福祉	複合サービス	サービス業	公務	合計
1 取組んでいる	1 16.7%	4 25.0%	2 9.5%	156 25.6%	156 30.4%	13 18.3%	7 16.7%	30 28.3%	56 27.9%	4 12.1%	9 26.5%	12 20.3%	13 21.0%	20 44.4%	3 14.3%	45 19.7%	7 25.0%	21 30.0%	0 0.0%	559 25.8%
2 今後取組む予定がある	2 33.3%	2 12.5%	5 23.8%	153 25.1%	86 16.8%	10 14.1%	9 21.4%	13 12.3%	32 15.9%	5 15.2%	6 17.6%	10 16.9%	6 9.7%	4 8.9%	4 19.0%	31 13.6%	4 14.3%	7 10.0%	0 0.0%	389 17.9%
3 取組みたいが、実施に至っていない	1 16.7%	1 6.3%	1 4.8%	72 11.8%	55 10.7%	14 19.7%	5 11.9%	4 3.8%	27 13.4%	3 9.1%	5 14.7%	4 6.8%	9 14.5%	3 6.7%	1 4.8%	37 16.2%	3 10.7%	10 14.3%	1 50.0%	256 11.8%
4 取組む予定はない	2 33.3%	9 56.3%	10 47.6%	216 35.4%	185 36.1%	33 46.5%	17 40.5%	53 50.0%	75 37.3%	19 57.6%	11 32.4%	33 55.9%	20 32.3%	14 31.1%	13 61.9%	110 48.2%	11 39.3%	24 34.3%	1 50.0%	856 39.5%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	3 14.3%	13 2.1%	31 6.0%	1 1.4%	4 9.5%	6 5.7%	11 5.5%	2 6.1%	3 8.8%	0 0.0%	14 22.6%	4 8.9%	0 0.0%	5 2.2%	3 10.7%	8 11.4%	0 0.0%	108 5.0%
合計	6 100.0%	16 100.0%	21 100.0%	610 100.0%	513 100.0%	71 100.0%	42 100.0%	106 100.0%	201 100.0%	33 100.0%	34 100.0%	59 100.0%	62 100.0%	45 100.0%	21 100.0%	228 100.0%	28 100.0%	70 100.0%	2 100.0%	2,168 100.0%

図 4-2-3 産業廃棄物の発生抑制の取組みについて

表 4-2-1 (1) 産業廃棄物の発生抑制の取組み内容

業 種	種 類	発生抑制の取組み内容		
建設業	全体的に	設計の見直しを着手前に行い、発生抑制について見なおす設計を立案する。		
	産業廃棄物全般(石綿等特 管物を除く)	・モデル現場を設定し、ゼロエミッションを推進する。・当社グリーン調達ガイドラインによる資機材の調達。・搬入資機材の梱包材料の削減・代替型砕工法の採用		
	産業廃棄物全般	・処理計画で産業廃棄物の発生見込み量等を把握する。・分別収集を徹底し、混合廃棄物を減少させる。・搬入した建設資材の再利用を行い産業廃棄物の排出量を抑制する		
	建設産廃	量が多い場合は現場ごと処分業者に持込む、量が少ない場合は当社にストックした後、処分業者に持込む		
	住宅等の製品(木くず、廃プ ラ、金属くず等)	工場加工により現場での加工を少なくすることにより端材の発生(産廃の発生)抑制を行った。製品、材料の過剰包装の削減、禁止を業者に要請し実施している。		
	木材	ISO の部門目標のひとつにし、測定の材料などの再利用を促進、成果(廃棄物全体の量)を毎月集計、公表した。		
	木材	立木伐採を必要としない斜面補強工に変更した。		
	木くず	工場加工を行い、現場での廃棄物の発生抑制を行った		
	木くず、金属くず	実寸発注		
	建設仮設資材	型組み材料等(木質のもの)は出来る限り複数回、使用し廃棄物発生量を抑制している。		
	塩ビ管	材料の余剰が出ないよう数量を細かく計算して材料購入をする。		
	梱包材/石こうボード	包装をできるだけ少なくするよう、協力を求めた。/ぬらさないよう保管し、再利用に努めている。		
	コンクリート	非破壊工法により、壊さず、修繕をする工法を宣伝する(取り入れる)		
	コンクリート片(二次製品)	河川工事・河床根固ブロックに利用		
	がれき類(コンクリートがら)	コンクリート吹付を行う時、リバウンドの少ない良質の砂を利用する。		
	がれき類	施工段階で発生抑制を考慮した資材(再生砕石等)の採用。		
	工事材料(路盤材等)	再生砕石の利用		
	製造業	食料品	肉脂/動物性残さ	仕入れ段階で、残さの出にくい商品を購入
			魚のくず	廃棄していた魚を、有効利用として、弁当のおかず、惣菜等に作る為、専門の店を開いた。
		繊維	規格変更	規格を変更し、縫製(原材料)布、ポリエステル布を出さないで製品化
産業廃棄物/繊維クズ			分別の徹底/再利用と再資源化等より分別/リサイクル業者、処分業者と情報交換により実施している。	
木材		伐採竹	粉碎(チップ化)して、事業化(農地に再利用)	
		鉄くず(鉄粉)	切断機をグラインダーよりのこ刃に変更	
家具		木材(MDF、パーティクルボード)	購入サイズの見直し	
パルプ・紙		汚泥	インク処理装置を新機種に変更し、排出量を減らした	
		紙くず	廃棄物を少なくする様な紙のサイズの変更	
印刷		紙くず	手順、工程等を変更し、紙くずの発生を抑えている	
		印刷用紙	印刷のミス、ロスを減らす。注文数に適合した多量の印刷予備数を減らす。	
プラスチック		廃プラスチック	廃プラスチックが少なくなるような設計及び不良低減	
窯業		廃瓦/汚泥	不良率を下げるため全社をあげて品質管理に努めている/施釉機の洗浄回数の低減に取り組んでいる	
		廃瓦	製造工程の見直し、安定化を推進中。	
		戻りコンクリート(残コン)	残コン処理装置の設置	
鉄鋼		無機性汚泥	廃酸中和汚泥を減らすために、廃酸中のフリー酸を回収し、再利用することにより、中和汚泥発生量を削減した。	
		鋳さい、ばいじん	キューボラ廃止、電気炉切替	
はん用機器		鉄くず	鋼材発注時に、残材料が出来るだけ少ない数量で注文します。	
生産用機器		金属くず	必要サイズのカット材又はブロック形状加工済の鋼材を購入する割合を増やし(コストのバランス考慮)、金属くず低減を図っている。	
		廃シンナー	塗装を溶剤から粉体ヘシフトし始めた。	
業務用機器	廃プラスチック類	廃棄成形品を単一材料に分別して、売却している。材料(PUC,PP,PE,ABS,PC,PA 他)		
	廃プラスチック	プラスチック材料の一部を、再生可能なジュラルミン材料に変更した。		
電子部品	梱包ラップ	ラップでの輸送を辞め、ベルトを使用している。		
電気機器	木くず	通い箱を作成(廃材を利用して)し、木パレ、枕木をやめた。		
輸送機器	廃油	ライフサイクルの長い油を使用している		

表 4-2-1 (2) 産業廃棄物の発生抑制の取組み内容

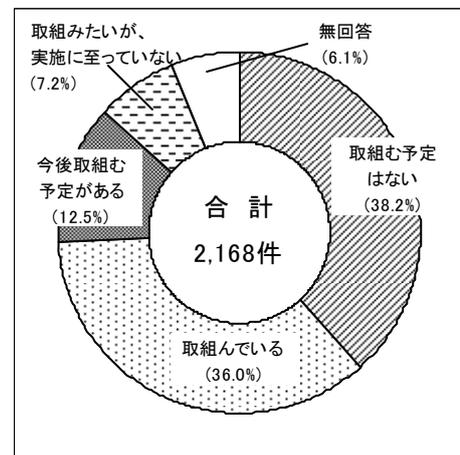
業 種	種 類	発生抑制の取組み内容	
電気・水道業	電気業	セメントへの有効利用(H14年度より実施)／セメントおよび土地造成に伴う有効利用／地盤改良および土地造成に伴う有効利用	
	上水道業	汚泥	乾燥期間を長くし、減量している。
		浄水汚泥	必要量以上の取水を少なくする
	下水道業	活性汚泥	汚泥減量を行うため、活性汚泥促進効果がある薬品を投入している
		下水道汚泥	汚泥を発酵させてメタンガス化し減量させている
		汚泥	汚泥削減装置(バイオダイエット)を試験運転中
廃タイヤ		運転の仕方によりかなり摩耗が違うので、運転技術向上に務める	
運輸業	ロングレール化、PC まくら木	ロングレールにすることにより、レールの継目をなくし、長寿命化まくら木は木材から、コンクリートの材質に取り替えることにより長寿命化し発生抑制。	
	廃オイル	寿命の長いオイルに変更し、交換周期を長期化した	
	廃オイル／廃タイヤ	新型エンジン車に乗換える事による、交替時期の減少／タイヤ摩耗の軽減	
	廃タイヤ	運転の仕方によりかなり摩耗が違うので、運転技術向上に務める	
卸・小売業	発砲スチロール箱／レジ袋(ビニール袋)	買物袋の持参をお願いしている	
	生ゴミ等	賞味期限切れの発生を減らす。	
学術研究	廃プラスチック等	グリーン購入・調達を推進している。	
	現像廃液	アナログ銀塩処理を全て終了し、デジタル顔料プリント処理に転換したインクカートリッジは全てリサイクルされている。	
宿泊・飲食	動植物性残さ	生ゴミ処理機を購入し、調理くず、残飯等ゴミに出さないようにしている。	
	プラスチック類	・弁当用器を捨てる物ではなく回収できるものに変更した・発砲スチロールを納入業者に変更するようにした	
医療、福祉	レントゲンフィルム	レントゲンフィルムが発生しないよう、レントゲンモニターを採用した。	
サービス業	廃プラ、金属くず／廃プラ、(廃バンパー等)	分別して排出することにより、排出量の減少／回収システムに乗せている(自動車ディーラー)	
	廃棄物全般	ゼロエミッション推進に参加し省資源、省エネ化等に取り組んでいる。	

(2) 再資源化(再使用、再生利用)の取組み

産業廃棄物の再資源化に関する取組みについては、図 4-2-4 に示すとおりである。

「取組む予定はない」(38.2%)が最も多く、次いで、「取組んでいる」(36.0%)、「今後取組む予定がある」(12.5%)、「取組みたいが、実施に至っていない」(7.2%)の順になっている。

また、産業廃棄物の再資源化の取組み内容は、表 4-2-2 に示すとおりである。



	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報・通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療福祉	複合サービス	サービス業	公務	合計
1 取組んでいる	1 16.7%	3 18.8%	8 38.1%	288 47.2%	195 38.0%	46 64.8%	10 23.8%	29 27.4%	55 27.4%	3 9.1%	8 23.5%	17 28.8%	14 22.6%	19 42.2%	7 33.3%	47 20.6%	8 28.6%	22 31.4%	0 0.0%	780 36.0%
2 今後取組む予定がある	2 33.3%	2 12.5%	4 19.0%	94 15.4%	61 11.9%	3 4.2%	6 14.3%	15 14.2%	26 12.9%	4 12.1%	8 23.5%	8 6.8%	5 8.1%	3 6.7%	2 9.5%	21 9.2%	6 21.4%	5 7.1%	0 0.0%	271 12.5%
3 取組みたいが、実施に至っていない	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	36 5.9%	40 7.8%	7 10.0%	2 4.8%	5 4.7%	16 8.0%	1 3.0%	4 11.8%	3 5.1%	7 11.3%	6 13.3%	0 0.0%	14 6.1%	3 10.7%	12 17.1%	1 50.0%	156 7.2%
4 取組む予定はない	1 16.7%	11 68.8%	9 42.9%	175 28.7%	176 34.3%	16 22.5%	20 47.6%	47 44.3%	85 42.3%	23 69.7%	10 29.4%	34 57.6%	23 37.1%	14 31.1%	12 57.1%	141 61.8%	9 32.1%	23 32.9%	0 0.0%	829 38.2%
無回答	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	17 2.8%	41 8.0%	1 1.4%	4 9.5%	10 9.4%	19 9.5%	2 6.1%	4 11.8%	1 1.7%	13 21.0%	3 6.7%	0 0.0%	5 2.2%	2 7.1%	8 11.4%	1 50.0%	132 6.1%
合計	6 100.0%	16 100.0%	21 100.0%	610 100.0%	513 100.0%	71 100.0%	42 100.0%	106 100.0%	201 100.0%	33 100.0%	34 100.0%	59 100.0%	62 100.0%	45 100.0%	21 100.0%	228 100.0%	28 100.0%	70 100.0%	2 100.0%	2,168 100.0%

図 4-2-4 産業廃棄物の再資源化の取組みについて

表 4-2-2 (1) 産業廃棄物の再資源化の取組み内容

業 種	種 類	再使用又は再生利用の取組み内容	
鉱業	プラントから出る微粉	表土に混ぜて、盛土材として再利用	
建設業	全般	各工事着工前に[環境管理計画書]を作成、広域再生利用指定制度の活用	
	汚泥	現場内にて、リサイクルプラントを設置し、埋戻し土に転用。	
	木くず	フロア端材を壁補強材として使用	
	木くず	破碎処理から堆肥再生を行い、造園業・農業に利用	
	剪定枝・伐採木	チップ化し、花壇に散布	
	金属くず	ステン、銅、アルミ、鉄と細かく分別している	
	アスコンがら／金属屑	業者に委託し、アスファルト舗装工事に再生利用。／仮設資材等を繰り返し使用する。	
	廃アスファルトを破碎したものを(再生砕石)	廃アスファルト舗装版を破碎し生産したものを、仮設道路、駐車場に敷均し利用する。転圧をすると密度が高まり路面が安定すると共に粉塵防止にもなる。	
	廃アスファルト	業者に委託しているが、リサイクル率 100%の業者を選別して搬出している。	
	砕石(クラッシュアラン)	基礎下や路盤材に再生砕石(RC-40等)を使用した	
製造業	食料品	野菜くず等	業者に委託し、肥料化
		廃油	業者に委託し、リサイクル再生油・肥料用油資に再生利用
		おから	家畜生産者に引き渡し、有機肥料化している
		そば殻	土壌改良剤として
		廃酸	堆肥再生
	飲料・飼料	焼酎かす	農地へ肥料として
		焼酎かす	飼料化
	繊維・衣服	廃プラ／糸くず	埋立て処分するのではなく固形燃料(RPF)の原料として引取してもらっている。
		ふとんの端切れ(工程上発生)ふとんくず	生地と綿を分別して原料としてふとん綿に再使用
	木材	木材鋸屑	牛舎の敷込
		竹林整備	伐採した竹をチップパーで粉碎して、農地に利用 さらに植織機(硬くてそのまま使えそうでないものを繊維状に変える機械)でパウダー状に加工して、販売(商品化)
	パルプ・紙	廃プラスチック／紙くず	業者に委託し RPF 処理している
		石炭灰	石炭灰をセメント原料として再生利用している。
	石油・石炭	規格外瓦／廃プラスチック／鉱さい(ステグ)	路盤材、再生砂、舗装骨材に再生利用／アスファルト合材の添加材／路盤材に再生利用
	プラスチック	廃プラスチック	業者に委託し、固形燃料にしている。
	ゴム	廃プラスチック	焼却燃料後の焼却灰についてセメント原料へ
	窯業	廃瓦	廃瓦を使用したタイルの作成
		汚水	汚水をフィルタープレス機により脱水し、再生水をコンクリート練り混ぜ水として使用
		コンクリートガラ	セメントを混ぜて固体を作り、防風、土止めに利用
		廃瓦	自社で粉碎し、路盤材や、園芸用骨材として販売。また、瓦の原料土に混ぜて再利用。
	鉄鋼	製鋼スラグ	スラグをエージング処理することにより、コンクリート骨材の原料に再利用(但し、フッ素規制により利用は海域のみである)
		ノロ	業者に委託し、アスファルトの骨材に再生利用
業務用機器	廃プラスチック類／木くず	業者に委託し、RPF に再生利用／業者に委託し、木炭などに再生利用	
電子部品	廃プラスチック	異物を専用設備で除去し繊維材料として再生利用	
	切削材料および廃製品	切削材料屑と廃棄製品について徹底した分別を実施することにより、再生利用を確実にすると共に、引き取りコストが高くなるので経営にも貢献している。	
電気機器	廃プラ	端材や梱包材を利用し、商品出荷時の緩衝材や、梱包材として再利用している	
輸送機器	鋳物砂／鋳物廃砂／廃液	業者委託 再使用／業者委託 セメント原料に再生利用／業者委託 原液に再生	
電気・水道業	電気業	金属くず／廃プラ	優良な処理業者に委託し、再生利用している。
		ばいじん／燃えがら／汚泥／廃油	地盤改良材等の土工材としての再利用／土壌改良材としての再利用／セメント原料としての再利用／燃料原料としての再生利用
	上水道業	汚泥(ろ過廃砂)	業者に売却し、洗浄後ゴルフ場砂、建材砂として再製品化
		浄水汚泥	畑の土として利用する
	下水道業	堆肥再生	業者に委託し、汚泥を堆肥として再生
		有機性汚泥	他事業者へ委託して、木性チップ材と混合することで土壌改良材を再生している
		下水道汚泥	汚泥を発酵分解し、肥料として再生利用
		下水道汚泥	発酵により発生したメタンガスを加熱用の燃料として利用し、化石燃料の消費を減らしている
脱水汚泥	コンポストとして利用		

表 4-2-2 (2) 産業廃棄物の再資源化の取組み内容

業 種	種 類	再使用又は再生利用の取組み内容
情報通信業	廃食用油(植物油)	産業廃棄物処分業者が分離精製して再生利用
	廃プラスチック、金属くず、ガラスくず等	産廃処理業者に処理を委託し、種類に応じて再生利用している
運輸業	廃タイヤ	原燃料及び更生タイヤとして再生
	廃タイヤ/木製廃パレット	製紙会社の燃料へ/燃料へ
	廃プラスチック類/廃油・木くず	業者に委託し、ボイラー燃料として再生利用
卸・小売業	動植物性残さ	生ゴミ処理機による肥料化
	廃油	自動給廃油システムによるリサイクル
	魚アラ/廃油	業者に委託し、飼料や油脂への再生利用
	ぶとう搾り粕	業者と連携し、堆肥・飼料化
	魚アラ/廃油	業者に委託し、飼料や油脂へ再生利用
	プラスチック、木くず	業者に委託し、RDFを製造し、ボイラーの燃料として再生利用
	動植物性残さ	生ゴミ処理機にて堆肥化し農家で再利用
不動産業	鉄くず、その他	複数業者にカタログ等を参考に処理を相談し、可能な限り、再資源化できる業者に依頼
学術研究	家畜糞尿	堆肥として畑に還元
宿泊・飲食	廃プラスチック	ゴミの分別収集を行い、金属、ペットボトル、紙書籍等、発泡スチロールなど分別。紙とペットボトルはリサイクルを行う。
	廃油(植物性)	自動車燃料に使用する業者に委託
	コーヒー粉/牛乳パック/やさいくず	脱臭剤/DMのハガキ/花の肥料
医療、福祉	廃油	ディーゼル車の燃料にしている
	飲料用空き缶/飲料用ビン/ペットボトル/古紙	廃棄物回収マニュアルに基づく分別及び委託業者にゴミ回収後に分別を依頼し、一時ストックヤードに保管し集めた後に別の契約業者に回収を依頼している。
	廃油(食用)	軽油の原料
	金属類/レントゲン廃液	業者に委託し、再生利用/業者に委託し、貴金属を回収
	レントゲン現像液	業者に委託し、非鉄金属に再生利用
	食用油	作業所に委託し石けんに再生
サービス業	廃タイヤ	タイヤをチップ化し燃料にしてもらう
	廃プラスチック	業者に委託し、製紙会社へ固形燃料として利用

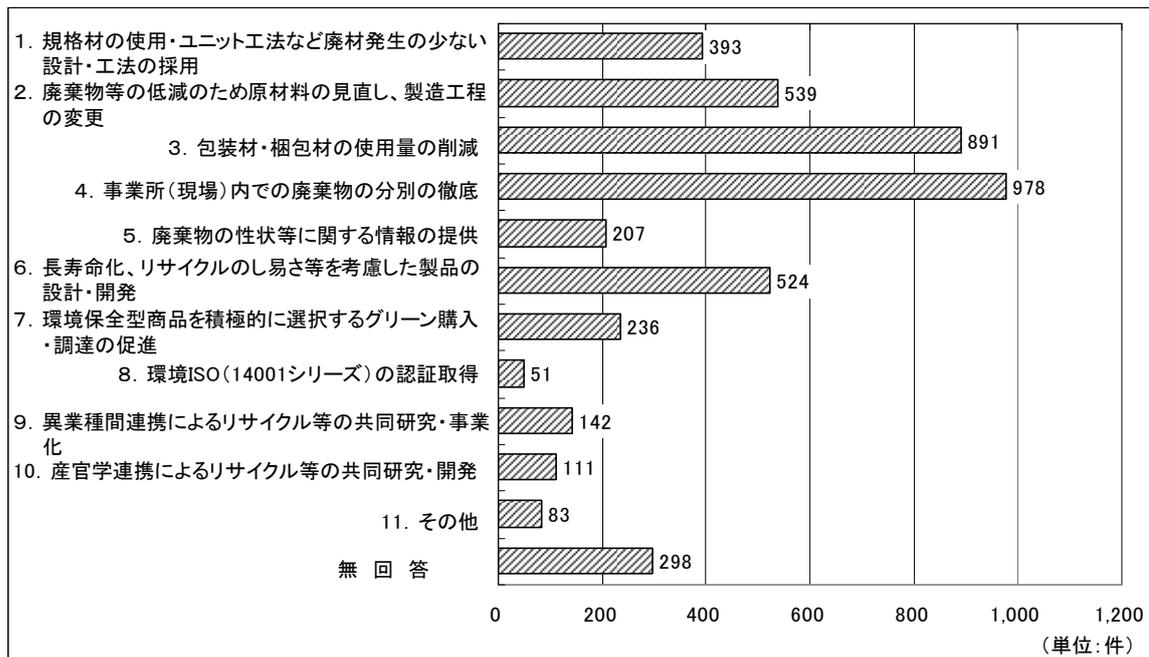
3. 産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用（3R）の促進について

（1）促進するための対策

産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用（3R）を促進するために必要な対策については図 4-2-5に示すとおりである（複数回答）。

「事業所（現場）内での廃棄物の分別の徹底」（22.0%）が最も多く、次いで、「包装材・梱包材の使用量の削減」（20.2%）、「廃棄物等の低減のための原材料の見直し、製造工程の変更」（12.1%）、「長寿命化、リサイクルのし易さ等を考慮した製品の設計・開発」（11.8%）の順になっている。

また、その他の具体的な意見としては、「リサイクル処理委託費を安くし、製品の安価な提供」、「リサイクル可能な廃棄物の効率的な回収」、「再生利用設備への助成金等の支援」などがある。



	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報・通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療福祉	複合サービス	サービス業	公務	合計
1	1 11.1%	4 14.3%	0 0.0%	221 15.3%	54 5.3%	12 10.1%	6 7.8%	9 4.8%	20 5.0%	4 6.0%	1 1.7%	7 6.5%	5 4.5%	9 9.9%	2 4.3%	23 5.1%	6 12.0%	8 5.5%	1 16.7%	393 8.8%
2	0 0.0%	1 3.6%	4 12.5%	157 10.8%	182 17.9%	18 15.1%	4 5.2%	18 9.7%	45 11.2%	5 7.5%	4 6.7%	6 5.6%	9 8.2%	12 13.2%	5 10.9%	46 10.2%	8 16.0%	15 10.3%	0 0.0%	539 12.1%
3	1 11.1%	2 7.1%	3 9.4%	305 21.0%	206 20.3%	12 10.1%	14 18.2%	29 15.6%	110 27.4%	14 20.9%	8 13.3%	13 12.1%	17 15.5%	16 17.6%	8 17.4%	94 20.8%	10 20.0%	27 18.6%	2 33.3%	891 20.2%
4	1 11.1%	6 21.4%	8 25.0%	321 22.2%	211 20.8%	14 11.8%	13 16.9%	37 19.9%	85 21.1%	17 25.4%	20 33.3%	28 26.2%	25 22.7%	14 15.4%	12 26.1%	130 28.7%	8 16.0%	27 18.6%	1 16.7%	978 22.0%
5	0 0.0%	1 3.6%	2 6.3%	49 3.4%	48 4.7%	11 9.2%	6 7.8%	12 6.5%	22 5.5%	3 4.5%	6 10.0%	12 44.2%	5 4.5%	2 2.2%	4 8.7%	23 5.1%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	207 4.6%
6	1 11.1%	4 14.3%	3 9.4%	197 13.6%	76 7.5%	13 10.9%	11 14.3%	34 18.3%	41 10.2%	11 16.4%	3 5.0%	7 6.5%	13 11.8%	16 17.6%	4 8.7%	62 13.7%	6 12.0%	22 15.2%	0 0.0%	524 5.3%
7	1 11.1%	1 3.6%	0 0.0%	70 4.8%	46 4.5%	9 7.6%	7 9.1%	10 5.4%	15 3.7%	6 9.0%	3 5.0%	4 3.7%	8 7.3%	9 9.9%	1 2.2%	29 6.4%	4 8.0%	11 7.6%	2 33.3%	236 5.3%
8	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 0.3%	21 25.1%	1 0.8%	3 3.9%	3 1.6%	3 0.7%	0 0.0%	2 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.2%	0 0.0%	3 0.7%	0 0.0%	0 5.5%	0 0.0%	51 1.1%
9	1 11.1%	2 7.1%	2 6.3%	48 3.3%	37 3.6%	5 4.2%	1 1.3%	3 1.6%	11 2.7%	2 3.0%	2 3.3%	5 4.7%	3 2.7%	2 2.2%	2 4.3%	6 1.3%	3 6.0%	7 4.8%	0 0.0%	142 3.2%
10	1 11.1%	2 7.1%	3 9.4%	34 2.3%	29 2.9%	6 5.0%	3 3.9%	3 1.6%	7 1.7%	0 0.0%	2 3.3%	2 1.9%	4 3.6%	0 0.0%	1 2.2%	8 1.8%	2 4.0%	4 2.8%	0 0.0%	111 2.5%
11	2 22.2%	1 3.6%	0 0.0%	12 0.8%	25 2.5%	2 1.7%	1 1.3%	2 1.1%	9 2.2%	2 3.0%	3 5.0%	9 8.4%	3 2.7%	1 1.1%	4 8.7%	5 1.1%	0 0.0%	2 1.4%	0 0.0%	83 1.9%
無回答	0 0.0%	4 14.3%	7 21.9%	30 2.1%	81 8.0%	16 13.4%	8 10.4%	26 14.0%	34 8.5%	3 4.5%	6 10.0%	14 13.1%	18 16.4%	8 8.8%	3 6.5%	24 5.3%	3 6.0%	13 9.0%	0 0.0%	298 6.7%
合計	9 100.0%	28 100.0%	32 100.0%	1,449 100.0%	1,016 100.0%	119 100.0%	77 100.0%	186 100.0%	402 100.0%	67 100.0%	60 100.0%	107 100.0%	110 100.0%	91 100.0%	46 100.0%	453 100.0%	50 100.0%	145 100.0%	6 100.0%	4,453 100.0%

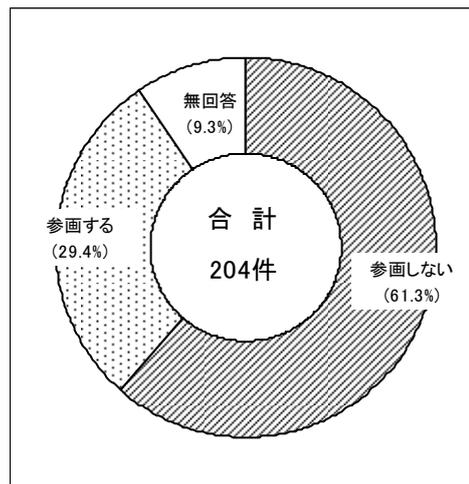
図 4-2-5 産業廃棄物の発生抑制、再使用、再利用(3R)の促進について

(2) 共同研究や開発等に参画したい意向

産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用(3R)を促進するための対策として、「異業種間連携によるリサイクル等の共同研究・事業化」及び「産官学連携によるリサイクル等の共同研究・開発」を選択した事業所の中で、今後、機会があれば共同研究や開発等に参画したい意向があるかどうかについては、図 4-2-6に示すとおりである。

「参画しない」(61.3%)が半数以上を占めており、次いで、「参画する」(29.4%)となっている。

また、「参画する」と選択した事業所の中で、取り上げてみたい共同研究等のテーマと内容については表 4-2-3に示すとおりである。



	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療福祉	複合サービス	サービス業	公務	合計
1 参画する	1 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	22 31.4%	19 39.6%	0 0.0%	1 33.3%	1 16.7%	4 26.7%	1 50.0%	0 0.0%	4 66.7%	1 14.3%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	60 29.4%
2 参画しない	1 50.0%	2 50.0%	3 75.0%	44 62.9%	26 54.2%	5 71.4%	2 66.7%	5 83.3%	11 73.3%	1 50.0%	2 66.7%	1 16.7%	4 57.1%	1 50.0%	1 50.0%	9 81.8%	1 25.0%	6 75.0%	0 0.0%	125 61.3%
無回答	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 5.7%	3 6.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 333.3%	1 16.7%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	2 50.0%	1 12.5%	0 0.0%	19 9.3%
合計	2 100.0%	4 100.0%	4 100.0%	70 100.0%	48 100.0%	7 100.0%	3 100.0%	6 100.0%	15 100.0%	2 100.0%	3 100.0%	6 100.0%	7 100.0%	2 100.0%	2 100.0%	11 100.0%	4 100.0%	8 100.0%	0 100.0%	204 100.0%

図 4-2-6 共同研究や開発等に参画したい意向について

表 4-2-3 取り上げてみたい共同研究等のテーマと内容

業 種	テーマ	内容等	
林業	林地残材を粉炭加工	・林地からの運搬・加工・粉炭製造のコスト検証 ・土壌改良剤としての成分調査・試験場での作物に依る実証試験	
鉱業	再生砕石におけるガラ+砕石の適正配合率の研究	コンクリート、アスファルトガラのみを使用する再生クラッシャーランの強度不足を補うとともに、環境負荷を低減する為、適正な配合を行なうことにより本当の意味でのリサイクルを促進すると共に、リサイクル業者と砕石業者が共存できるようなシステムを作る。	
建設業	伐竹木の再利用	竹を再利用した製品の開発、竹山の荒廃抑制	
	鑄物砂	吹付砂とモルタル強度	
	汚泥の減容化及び高度利用	製砂事業・産廃事業(ガラリサイクル)についての事案があれば 現在既に共同で取組みを実施している。	
製造業	食料品	柿皮の再利用	現在柿皮は肥料として田に散布しているが、果子等食材に利用出来ると思う。
	木材	竹林整備	伐採した竹を放置せず、加工して、農業、遊歩道、公園等の舗装、他利用の拡大推進
	家具	のこくずの再利用	接着剤を含んでいるのこくずの為牛舎等にも使用できないので他の使用方法を検討したい。
		ただ捨てるのはもったいないと思う研究、開発等再利用	何かに利用出来と思われるが、それに費用がかかりますのでそれも心配です。
	鉄鋼	重研削廃砥石の再資源・再利用化 ／溶剤の再利用	廃砥石のリサイクルに取り組んでいるがレジノイド砥石については方策なく困っている。／シンナーの再生使用を計画しているが、コストが合わない。
情報機器	乾燥材(シリカゲル)のリサイクル	現在、廃棄物として処分している乾燥材(シリカゲル)を再度、乾燥材に戻す方法や、別な資源として再生する技術を開発し、乾燥材(シリカゲル)のリサイクル事業を展開出来れば良いと思います。	
電気・水道業 (下水道業)	下水道汚泥の処理場内での一元処理	処理場から発生する汚泥を減量化並びに場内での再利用	
卸・小売業	循環システムの形成	出来る限り、廃棄を減らし、色々な形に変えて、リサイクルをしていける様なシステムの形成が必要なので、その為の研究・開発を行い、事業化する事が求められる。	
学術研究	有害物質の不溶化	セメント系の安定材は再利用不可能であるので有効再利用可能になればよいと思われる	
	超硬合金のリサイクル	炭化タングステンとコバルトで構成される超硬合金を安価で再生する技術開発	
生活関連	消耗品・プラスチック類の異業種への転換について	消耗品・プラスチック類は異業種で再利用出来ないか。	
複合サービス	木質資源の有効利用	コストがあまりかからず、林地残材と呼ばれているものが森林資源として収入につながる手法。	
サービス業	石炭灰の利用の拡大	石炭灰を利用した商品開発	

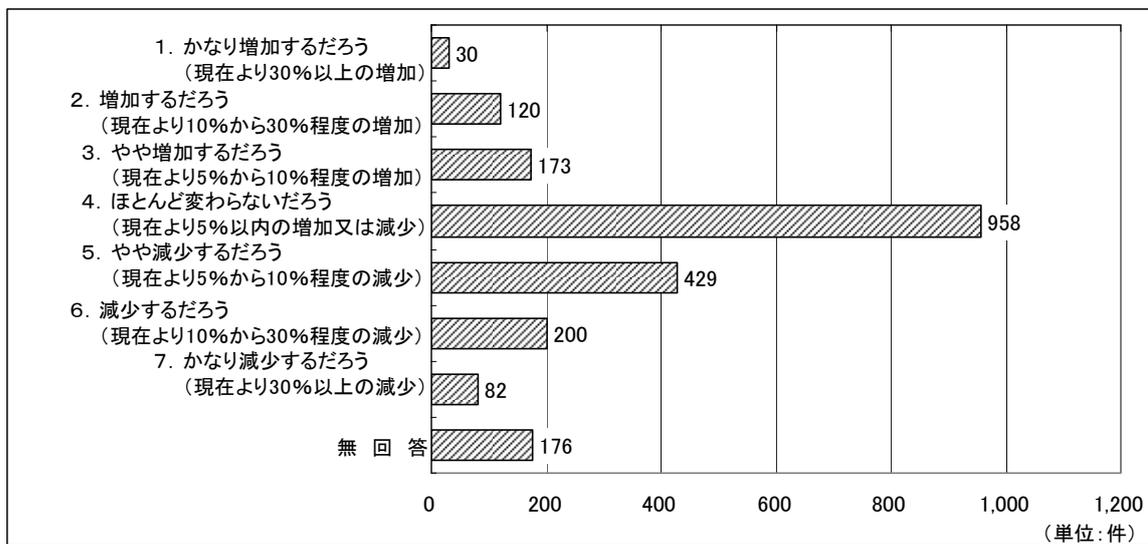
4. 産業廃棄物の将来の見通しについて

5年後の産業廃棄物の発生量（産業廃棄物の全体量）については、図4-2-7に示すとおりである。

「ほとんど変わらないだろう（現在より5%以内の増加又は減少）」（44.2%）が最も多く、次いで、「やや減少するだろう（現在より5%から10%程度の減少）」（19.8%）、「減少するだろう（現在より10%から30%程度の減少）」（9.2%）の順になっている。

前回結果と比較すると、「ほとんど変わらないだろう」が約1ポイント増加しており、見通しに関する意識は大きな変化はしていないと考えられる。

また、それぞれの回答を選択した理由については、表4-2-4に示すとおりである。



	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報・通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療福祉	複合サービス	サービス業	公務	合計
1 かなり増加するだろう (現在より30%以上の増加)	0	1	0	6	6	7	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	30
2 増加するだろう (現在より10%から30%程度の増加)	1	3	0	35	21	25	2	1	9	0	0	0	2	2	2	15	1	1	0	120
3 やや増加するだろう (現在より5%から10%程度の増加)	0	3	0	47	27	5	4	6	18	1	4	5	3	5	1	34	2	7	1	173
4 ほとんど変わらないだろう (現在より5%以内の増加又は減少)	2	5	9	204	218	28	27	51	96	21	17	34	23	18	13	137	16	38	1	958
5 やや減少するだろう (現在より5%から10%程度の減少)	1	0	4	158	120	2	3	22	44	5	5	9	10	11	1	19	3	12	0	429
6 減少するだろう (現在より10%から30%程度の減少)	1	2	4	92	54	0	0	8	12	2	1	5	4	3	0	5	4	3	0	200
7 かなり減少するだろう (現在より30%以上の減少)	0	0	3	42	23	2	0	3	3	0	1	1	0	0	1	1	0	2	0	82
無回答	1	2	1	26	44	2	4	15	17	4	6	5	20	6	2	13	2	6	0	176
合計	6	16	21	610	513	71	42	106	201	33	34	59	62	45	21	228	28	70	2	2,168

図4-2-7 産業廃棄物発生量の将来の見通しについて

表 4-2-4 (1) 5年後の状況の選択理由 (1. かなり増加するだろう)

業 種	「1. かなり増加するだろう」の選択理由	
漁業	漁網老朽化の為、FRP 船の処理。	
建設業	駅前拡大工事に於いて、解体工事等が増える見込み 維持、修繕工事が多くなると思われるので増大する見込み	
製造業	化学	利用により、工場増設に伴う産廃の増加が予測できるため
	化学	稼働率アップに伴う廃棄物の増大
	鉄鋼	現在の操業は底を打っており、5年後には回復して増加の見込み
	鉄鋼	自動車部品の生産が増加するため、産廃の発生量が増大する見込み
	電子部品	工場の統合のため。
情報機器	来年度から、増設ラインが稼働する為。	
電気・水道業 (下水道業)	新しい公共下水道処理施設が供用開始となり、処理人口が大幅に増大するため	
医療、福祉	新病院の稼働 老人保健施設新築予定の為	

表 4-2-4 (2) 5年後の状況の選択理由 (2. 増加するだろう)

業 種	「2. 増加するだろう」の選択理由	
林業	毎年採り量の増加を目指している為。	
漁業	古資材が5年後には使用できないので増加すると思う。 漁網が老朽化しているため補修が多くなるため。	
建設業	建造物の老朽化が目立っており、当社でも改修、改築が占める割合が増えている。 今後は、新築より、増改築、改修工事が増えると思う 高速道路工事が増加し、産廃の発生量が増大見込み 現状の施設等の耐用年数の到来等、不用物の増加等多少の増加はある 既存建物の改装、改造のため、現場でのリサイクルが難しい廃材が増加する	
製造業	食料品	生産ラインの増強のため
	家具	受注エリアの拡大による生産量の増加に伴い、産廃の発生量が増大する見込み
	化学	プラスチック容器の安全性から使用期間が短縮される。 今後、更なる価格低下が進むと、生産量を増加させないと、事業継続が難しくなる。
	プラスチック	事業活動として、現在より受注窓口を広げることは廃棄物も増加すると思う 生産数量の増加に伴う、産廃の発生量が増大する見込み
	ゴム	他の工場より製品の移管が予定されている為、増加予定。
	電子部品	生産数が増加して行く計画となっている為。
	電気機器	応用商品への展開などで事業量の拡大を目論んでいる為。
道 電 業 気 ・ 水	電気業	設備メンテナンス時期にあたるため
	上水道業	大規模な改良事業を予定している
	下水道業	下水道事業継続中のため流入量の増大が見込まれる
卸・小売業	今後も部品交換は少しずつ増えていくと思う。 テレビがデジタル化するため	
生活、娯楽	アジア経済発展により日本産業は伸びることが予想される。これに伴う、産廃の増加が見込まれる	
教育、学習	年々、教育、研究等の学校活動が活発になっているため、必然的に発生量は増大するものと見込まれる。	
医療、福祉	感染などの予防の為 使いすて用品が増加する傾向 健診受診者数が増加するため 増設を考えているため	

表 4-2-4 (3) 5年後の状況の選択理由 (3. やや増加するだろう)

業 種		「3. やや増加するだろう」の選択理由
漁業		現在使用している漁網も耐用年数が近くなっていると思うから業者に出して補修すれば経費が、かさむので、なるべく自力を考えるから
建設業		建物の劣化が進むために、修繕する箇所がある見込み 木マクラギをコンクリート製マクラギに交換する工事が増え、産廃の発生量がやや増加する見込み。 新築工事が少なくなり改修工事・リフォーム等が多くなるので 全ての材料及び製品に対しての過剰すぎる梱包、包装がある様に思える。 オール電化工事やリフォーム工事の増加のため
製 造 業	食料品	工場増設予定があり、生産量が増大する見込み
	繊維・衣服	加工量の増加。
	パルプ・紙	増設によって、産廃の発生量がやや増加する見込み
	プラスチック	2~3年後増設工場が稼働する見込み
	輸送機器	設備移管等により、新たな産廃の発生の見込み
	金属	現在立上げをしている装置が稼働するため、生廃の発生量が増大する見込み 現時点より生産量が増加する為
	電子部品	新製品の開発により増産が見込まれるから。
	輸送機器	事業拡大が予定されているので。
電気・水道業 (上水道業)		2年後に、浄水施設が稼働するため、汚泥の発生により産廃が発生する。
電気・水道業 (下水道業)		処理人口の増加により、処理量の増加が予想される
卸・小売業		取引施設への納品物に含まれる梱包材の増加、備品の納品に伴う既納入物の引上げに関わる産廃発生量の増加 オール電化住宅の普及により、既設のガス設備の廃材等が増える見込み
学術研究		使用する商品が増加する
生活関連		新規出店、改装などで、売上拡大を計画している為その工事等で産廃の発生量が増大する見込み
医療、福祉		(診療材料等)使い捨ての商品が増加するため。 本年度新築移転により、現在より延べ面積が約 1.5 倍となるため産廃の発生量が増大する見込み。
サービス業		景気低迷からの脱却

表 4-2-4 (4) 5年後の状況の選択理由 (4. ほとんど変わらないだろう)

業 種	「4. ほとんど変わらないだろう」の選択理由	
漁業	漁網、資材の修理は数年来同じ状況で実施しているため	
建設業	在来工法の物件が多い為	
	新築工事は減少すると思うが、改築工事や修繕工事が増えると思うこと	
	過去 5 年間に振り返ってみてさほど変わってない為今後 5 年間も変化がないと思われる。	
	この地域での増改築、修繕などの仕事の変化は急激には発生しないと思われる 受注する工事が増加することは考えにくい。	
製造業	食料品	精肉の売上を上げることで増加は見込めるが、一方、発生抑制の取り組みをすることでほとんど変わらないのではないかと思います。 生産量は現在と変わらないと思うから
	飲料	包装資材、規格等ほとんど変わらないため。
	繊維	現状、大きな工程変更等の計画がないため。
	木材	受注高の変化の予想が難しく、大幅増減は今迄の経験から少ないと思っています。
	家具	5年後の見通しがよくわからない
	プラスチック	生産量に比例し産廃量の増減があるが、発生抑制、分別化を推進しているので5%以内の増減と思える。
	ゴム	生産量等現状と大きく変わる要素が見つからない
	窯業	現状と変わらない製造、販売を行う予定であるため
	金属	工場増設の予定もなく現状のままである
	生産用機器	今現状の見通しとして、変わらないだろうと思われるから。 生産量が横ばい。
	業務用機器	廃棄物は少量であるが親会社が引き取り処分している 国内での需要は大きくならない。
	電子部品	生産量の見込みが不透明であるため
その他	仕事量の増加が見込めないため。	
電気・水道業	ガス業	業務内容に大きな変化はないと考えられる
	上水道業	配水量の伸びが見込まれないため、浄水処理水量も増加することはしないと考えられる。 水需要も減少して行く傾向にあり、浄水量も減少して行くと思される
	下水道業	人口の増加が見込まれない。
運輸業	車両台数の増加は見込めない 5年後の予想困難	
卸・小売業	鮮魚の取扱い量が半分に減少しているため、今後増えるとは考えにくい。 電化に共うLPガス製品の販売低下 店舗数に変更がないため	
	学部・学科等の増設等がない限り、大幅に産業廃棄物が増えることはないと思われる。	
	来客数の増加が見込まれない	
生活関連	極端な事業拡大の計画がない	
医療、福祉	現時点で必要最小の産廃排出量であると思われる 自己努力には限界がある 5年後のことは予測ができない 事業内容から考えても5年後に発生量が増えるとは考えられない為。	
	事業を拡大しないため	
	サービス業	

表 4-2-4 (5) 5年後の状況の選択理由 (5. やや減少するだろう)

業 種	「5. やや減少するだろう」の選択理由	
鉱業	規模縮小(重機、運搬具)のため発生量が減少する見込み	
建設業	工事は横ばいで、産廃の発生抑制を実施するため	
	会社での取組により現状よりも減少が見込まれる	
	社会全体として産廃発生抑制のシステムが現在より、進んでいると思われる。	
	各事業場において処理計画で産業廃棄物の発生見込み量等を把握し、発生抑制を実施する。	
	公共事業の減少	
製造業	現在も発生量削減に取り組んでおり今後は梱包材のリターン材の使用等で10%程度削減できる見込み	
	産廃の発生物のできるだけ少ない物を使用するような仕事に転換する	
	食料品	景気悪化により、製造数が減少傾向にあるため回復しない限りは減少するでしょう。
	繊維	減産傾向
	印刷	印刷メディアによる情報伝達は減少傾向にあること。(出荷額は増やしたいが)
	プラスチック	生産工程集約に伴う製造ライン減となるため、発生量が減少する見込み
	窯業	公共事業削減による製造量の減少が予想される
	鉄鋼	コスト削減し廃材発生の抑制等に取り組んでいくため
	生産用機器	エコ意識は社会全体に広がり、企業、一般の取り組みも多彩に具体化していると感じる。
電子部品	ISO14001を取得しており減量化に取り組んでいるため	
輸送機器	分別が進み、マテリアルごとの再利用が進むのではとの期待から	
電気・水道業 (上水道業)	高齢化が進んでおり需用量が減少する見込みのため	
情報通信業	更にデジタル化が進み廃液等の産廃の発生量は減少すると思われる	
運輸業	車両の小型化及び車両の減少	
	長寿命の部品・製品を使用することにより、全体の発生量が減少する見込み	
	人口の減少による利用客の低下による	
卸・小売業	長寿命消耗品の導入などにより	
	各部品の耐久性が高上しているため。	
	人口の減少、消費の減少、環境問題、技術開発で減少するであろう。	
	エコバッグの普及	
医療、福祉	利用材料の改良、収容定員減によるもの	
サービス業	原材料の見直し等にて、減らせると思う	

表 4-2-4 (6) 5年後の状況の選択理由 (6. 減少するだろう)

業 種	「6. 減少するだろう」の選択理由	
林業	公共工事(道路改良)の削減による、伐採事業が減少するため、木くずの受け入れが減ってくる。	
鉱業	公共事業が減少するにあたり、工事、建築部門での発生が減少するという予想	
建設業	公共事業の縮小・凍結が見込まれるため、工事が減少する見込み	
	リサイクル事業が発達し、循環サイクルで減少すると思われる	
製造業	繊維・衣服	製品の材質の改良が望める
	木材	業界の需要が減少傾向にあるため。
	パルプ・紙	事業規模の縮小
	印刷	オンデマンド化にメーカー側が取り組んでいるので。
	窯業	公共事業の減少に伴い、生コンクリートの需要が減少すると思われる
	金属	工場の集約をするため、他事業所に業務が移転する可能性があるため。
卸・小売業	輸送機器	製造工程の根本的変革を実施する見込みであり、産廃は10%程度減少すると考える。
	事業が縮小する見込み	
学術研究	物流でオリコン等の箱を使うことにより、包装等が大幅に減少してきています	
	プリント需要の低迷	
サービス業	自動車業界の売上不振のため、各工場におけるゴミの発生が減少する	

表 4-2-4 (7) 5年後の状況の選択理由 (7. かなり減少するだろう)

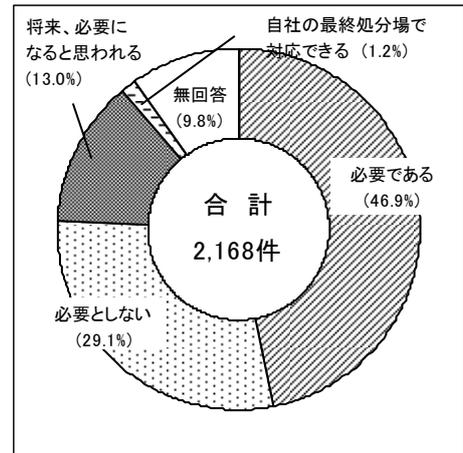
業 種		「7. かなり減少するだろう」の選択理由
鉱業		後継者がなく会社が継続できないと思う 工事量の減少が予想される。
建設業		公共工事の減少
製 造 業	食料品	産廃の出ない原材料を使用
	繊維・衣服	5年後まで仕事をしているかどうか分からないので
	窯業	公共工事の減少
	金属	仕事量減少のため発生率は減る
電気・水道業 (上水道業)		浄水受水に切替わる為
学術研究		印刷物から電子媒体へ移行するため

5. 産業廃棄物の処理施設（最終処分場）の立地について

(1) 最終処分場の必要性

産業廃棄物を処理する上で最終処分場が必要かどうかは、図 4-2-8に示すとおりである。

「必要である」(46.9%)が最も多く、次いで、「必要としない」(29.1%)、「将来、必要になると思われる」(13.0%)、「自社の最終処分場で対応できる」(1.2%)の順になっている。



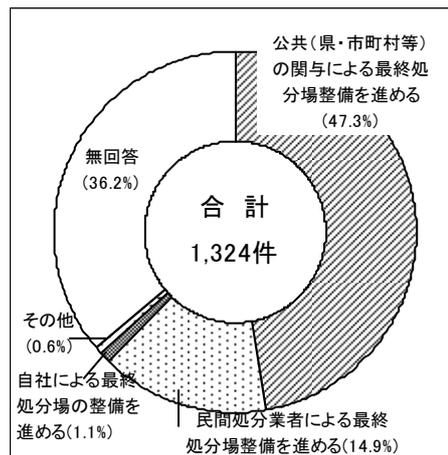
	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療福祉	複合サービス	サービス業	公務	合計
1 必要である	1 16.7%	6 37.5%	7 33.3%	343 56.2%	238 46.4%	35 49.3%	13 31.0%	33 31.1%	92 45.8%	13 39.4%	12 35.3%	29 49.2%	19 30.6%	19 42.2%	8 38.1%	106 46.5%	9 32.1%	31 44.3%	2 100.0%	1,016 46.9%
2 将来、必要になると思われる	2 33.3%	4 25.0%	3 14.3%	102 16.7%	60 11.7%	16 22.5%	4 9.5%	17 16.0%	13 6.5%	2 6.1%	3 8.8%	5 8.5%	6 9.7%	5 11.1%	3 14.3%	25 11.0%	2 7.1%	10 14.3%	0 0.0%	282 13.0%
3 自社の最終処分場で対応できる	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.0%	9 1.8%	2 2.8%	0 0.0%	3 2.8%	5 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%	2 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	26 1.2%
4 必要としない	2 33.3%	5 31.3%	9 42.9%	136 22.3%	145 28.3%	16 22.5%	20 47.6%	37 34.9%	69 34.3%	15 45.5%	12 35.3%	20 33.9%	19 30.6%	11 24.4%	6 28.6%	76 33.3%	14 50.0%	19 27.1%	0 0.0%	631 29.1%
無回答	1 16.7%	1 6.3%	2 9.5%	26 4.3%	61 11.9%	2 2.8%	5 11.9%	16 15.1%	22 10.9%	3 9.1%	7 20.6%	5 8.5%	18 29.0%	10 22.2%	2 9.5%	19 8.3%	3 10.7%	10 14.3%	0 0.0%	213 9.8%
合計	6 100.0%	16 100.0%	21 100.0%	610 100.0%	513 100.0%	71 100.0%	42 100.0%	106 100.0%	201 100.0%	33 100.0%	34 100.0%	59 100.0%	62 100.0%	45 100.0%	21 100.0%	228 100.0%	28 100.0%	70 100.0%	2 100.0%	2,168 100.0%

図 4-2-8 最終処分場の必要性について

(2) 最終処分場の整備の進め方

最終処分場を「必要としない」と回答した事業所以外の事業所で、今後、最終処分場の整備の進め方についての考えは、図 4-2-9に示すとおりである。

「公共（県・市町村等）の関与による最終処分場整備を進める」（47.3%）が最も多く、次いで、「民間処分業者による最終処分場整備を進める」（14.9%）、「自社による最終処分場の整備を進める」（1.1%）の順になっている。



	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療福祉	複合サービス	サービス業	公務	合計
1 自社による最終処分場の整備を進める	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 0.4%	8 2.6%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	14 1.1%						
2 民間処分業者による最終処分場整備を進める	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	63 14.1%	42 13.7%	12 22.6%	1 5.9%	6 11.3%	16 14.5%	2 13.3%	2 13.3%	7 20.6%	4 16.0%	8 33.3%	2 15.4%	22 16.5%	2 18.2%	5 12.2%	0 0.0%	197 14.9%
3 公共（県・市町村等）の関与による最終処分場整備を進める	2 66.7%	5 50.0%	5 50.0%	222 49.6%	156 50.8%	21 39.6%	8 47.1%	29 54.7%	43 39.1%	3 20.0%	8 53.3%	13 38.2%	12 48.0%	10 41.7%	5 38.5%	59 44.4%	5 45.5%	20 48.8%	0 0.0%	626 47.3%
4 その他	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	2 0.4%	4 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 0.6%
無回答	1 33.3%	3 30.3%	2 20.0%	159 35.5%	97 31.6%	19 35.8%	8 47.1%	18 34.0%	50 45.5%	10 66.7%	5 33.3%	14 41.2%	9 36.0%	6 25.0%	5 38.5%	52 39.1%	4 36.4%	15 36.6%	2 100.0%	479 36.2%
合計	3 100.0%	10 100.0%	10 100.0%	448 100.0%	307 100.0%	53 100.0%	17 100.0%	53 100.0%	110 100.0%	15 100.0%	15 100.0%	34 100.0%	25 100.0%	24 100.0%	13 100.0%	133 100.0%	11 100.0%	41 100.0%	2 100.0%	1,324 100.0%

図 4-2-9 最終処分場の整備の進め方について

(3) 最終処分場の需要や立地についての意見・提案

最終処分場の需要や立地についての意見・提案は、表 4-2-5 に示すとおりである。

表 4-2-5 最終処分場の需要や立地についての意見・提案

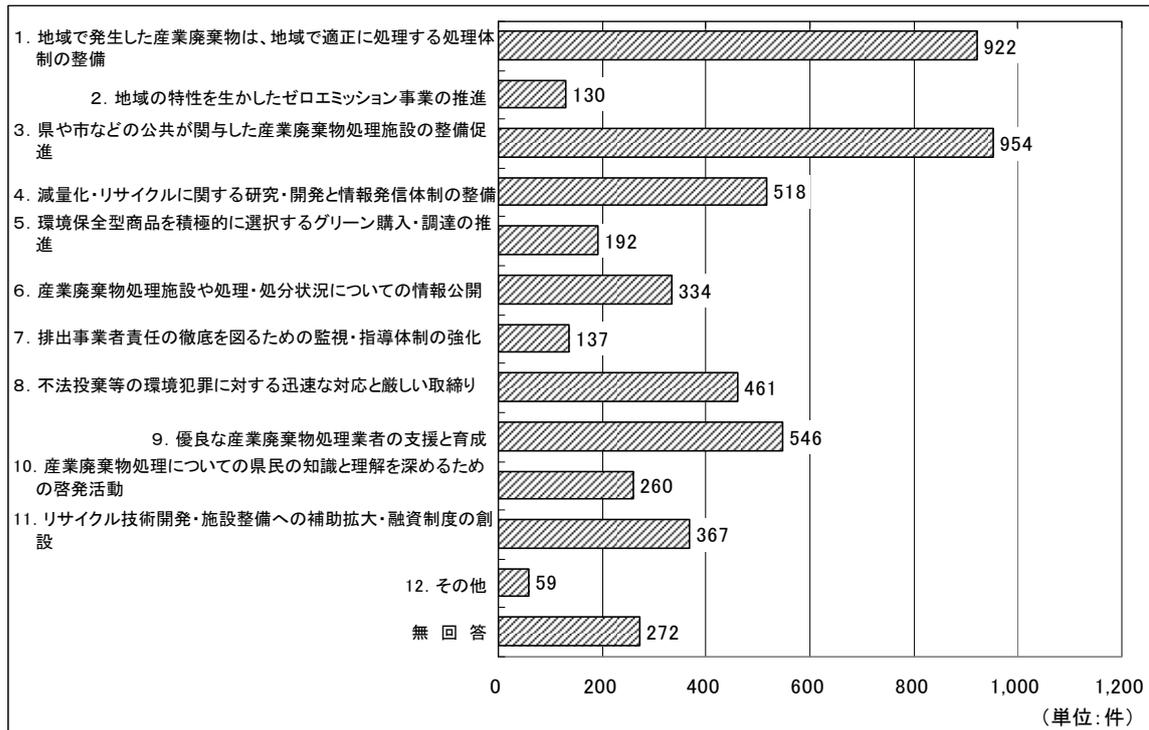
業 種		最終処分場の需要や立地についての意見・提案
建設業		大深度、地下、埋立処分場を検討すべき
		アスベスト等特別管理産業廃棄物を処分する処理場がないので作ってほしい。
		重金属等の有害廃棄物処理を公共関与により設置を行ってほしい。
		行政や住民が積極的に関与して、最終処分場が問題なく整備される仕組みや環境づくりが大切と考える。(地域全体の処分場であるという意識)
		あまり遠くない所であればよい
製造業	石油・石炭	産業廃棄物の最終処分場はなければ、全ての産業の振興がはかれないと思うので、当然必要である。しかし、地域住民との話し合いは当然必要であるが、この最終処分場が建設されることで地域のインフラ整備も行われれば良いと思う。
	窯業	松江市の東に砕石山の採掘跡があるが、状況的に好場所に思えるが市として最終処分場の確保を考えては
	鉄鋼	運送先を考え、出来る限り近く。
	情報機器	収集運搬費用削減のためにも、極力、当社の近くに立地されることを希望します。(CO ₂ 削減にもつながります。)
電気・水道業 (下水道業)		下水道汚泥の処分は、下水道経営に大きな影響を及ぼすため、安価な処理費用で再資源化する施設が県内にあれば良い(県内下水道施設から発生する汚泥を処理する広域的な処分場)
運輸業		官民一体で処分場を造らないと民間ではむずかしい 将来の保障問題も含めて、
生活関連		リサイクル技術が向上していけば最終処分場での処分量も減ると思います。それにより処分料金なども軽減出来ると思います。
教育、学習		県西部の設置を望みます。(現状は、斐川町の業者まで運搬されている)
医療、福祉		島根県内において東部地区に、1ヶ所の最終処分場しかなく、西部地区においても、最終処分場の設置が、望まれる。

6. 県への要望について

県への要望については、図 4-2-10に示すとおりである（複数回答）。

「県や市などの公共が関与した産業廃棄物処理施設の整備促進」（18.5％）が最も多く、次いで、「地域で発生した産業廃棄物は、地域で適正に処理する処理体制の整備」（17.9％）、「優良な産業廃棄物処理業者の支援と育成」（10.6％）の順になっている。

また、その他の具体的な意見としては、「産業廃棄物処理施設の充実よりも、産業廃棄物を出さない体制（仕組み）づくりが重要」、「もっと企業を訪問し、実情にあった処理業者やリサイクル業者についての情報伝達」、「産業廃棄物処理業者の監視・指導体制の強化」、「電子マニフェスト導入の推進」などがある。



	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療福祉	複合サービス	サービス業	公務	合計
1	1	7	11	316	201	26	13	31	85	10	13	33	21	19	13	82	15	25	0	922
2	0	1	1	45	25	15	1	6	5	1	0	3	6	1	1	11	5	3	0	130
3	0	7	8	326	230	20	15	43	82	15	15	25	19	16	6	89	13	24	1	954
4	2	3	3	148	99	21	10	21	46	6	6	20	14	16	9	70	5	18	1	518
5	0	1	0	73	22	7	5	7	19	10	2	4	2	5	1	19	6	9	0	192
6	1	1	2	99	90	6	8	16	32	6	8	6	3	4	7	37	2	6	0	334
7	0	0	1	44	18	0	6	6	15	7	5	6	4	2	0	15	3	5	0	137
8	0	4	3	126	91	6	14	28	56	6	8	16	13	8	2	54	8	17	1	461
9	1	4	4	156	141	15	9	19	62	4	6	18	11	15	9	51	3	16	2	546
10	1	3	0	71	43	13	5	13	31	7	2	7	8	7	4	34	3	8	0	260
11	3	2	4	100	101	24	4	17	24	3	3	7	10	8	2	41	7	7	0	367
12	1	1	0	18	19	0	0	2	6	1	0	2	3	1	2	0	0	3	0	59
無回答	1	4	5	29	80	5	8	22	26	4	7	6	16	6	2	34	3	14	0	272
合計	11	38	42	1,551	1,160	158	98	231	489	80	75	153	130	108	58	537	73	155	5	5,152

図 4-2-10 県への要望について

資 料

- ・ 統計表
- ・ 調査票及び記入例等

資料（統計表）

1. 業種別・廃棄物種類別の発生・排出状況に関する統計表…………… 1
2. 業種（大・中分類）別・廃棄物種類別の発生量及び処理・処分状況に関する統計表… 3
3. 地域別・廃棄物種類別の発生量及び処理・処分状況に関する統計表…………… 93
4. 特別管理産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分状況に関する統計表……………105

統計表目次

1. 業種別・廃棄物種類別の発生・排出状況に関する統計表

表 1-1	業種別・廃棄物種類別の発生量	1
表 1-2	業種別・廃棄物種類別の排出量	2

2. 業種（大・中分類）別・廃棄物種類別の発生量及び処理・処分状況に関する統計表

表 2-1	業種別の発生量及び処理・処分状況	3
表 2-2	発生量及び処理・処分量（種類別：変換）	5
表 2-3	発生量及び処理・処分量（種類別：無変換）	7
表 2-4	発生量及び処理・処分量（漁業 種類別：変換）	9
表 2-5	発生量及び処理・処分量（鉱業 種類別：変換）	11
表 2-6	発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：変換）	13
表 2-7	発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：変換）	15
表 2-8	発生量及び処理・処分量（電気・水道業 種類別：変換）	17
表 2-9	発生量及び処理・処分量（情報通信業 種類別：変換）	19
表 2-10	発生量及び処理・処分量（運輸業 種類別：変換）	21
表 2-11	発生量及び処理・処分量（卸・小売業 種類別：変換）	23
表 2-12	発生量及び処理・処分量（金融・保険業 種類別：変換）	25
表 2-13	発生量及び処理・処分量（不動産業 種類別：変換）	27
表 2-14	発生量及び処理・処分量（学術研究 種類別：変換）	29
表 2-15	発生量及び処理・処分量（宿泊・飲食 種類別：変換）	31
表 2-16	発生量及び処理・処分量（生活関連 種類別：変換）	33
表 2-17	発生量及び処理・処分量（教育、学習 種類別：変換）	35
表 2-18	発生量及び処理・処分量（医療、福祉 種類別：変換）	37
表 2-19	発生量及び処理・処分量（複合サービス 種類別：変換）	39
表 2-20	発生量及び処理・処分量（サービス業 種類別：変換）	41
表 2-21	発生量及び処理・処分量（公務 種類別：変換）	43
表 2-22	発生量及び処理・処分量（食料品 種類別：変換）	45
表 2-23	発生量及び処理・処分量（飲料・飼料 種類別：変換）	47
表 2-24	発生量及び処理・処分量（繊維 種類別：変換）	49
表 2-25	発生量及び処理・処分量（木材 種類別：変換）	51
表 2-26	発生量及び処理・処分量（家具 種類別：変換）	53
表 2-27	発生量及び処理・処分量（パルプ・紙 種類別：変換）	55
表 2-28	発生量及び処理・処分量（印刷 種類別：変換）	57
表 2-29	発生量及び処理・処分量（化学 種類別：変換）	59
表 2-30	発生量及び処理・処分量（石油・石炭 種類別：変換）	61
表 2-31	発生量及び処理・処分量（プラスチック 種類別：変換）	63
表 2-32	発生量及び処理・処分量（ゴム 種類別：変換）	65
表 2-33	発生量及び処理・処分量（皮革 種類別：変換）	67

表 2-34	発生量及び処理・処分量（窯業 種類別：変換）	69
表 2-35	発生量及び処理・処分量（鉄鋼 種類別：変換）	71
表 2-36	発生量及び処理・処分量（非鉄金属 種類別：変換）	73
表 2-37	発生量及び処理・処分量（金属 種類別：変換）	75
表 2-38	発生量及び処理・処分量（はん用機器 種類別：変換）	77
表 2-39	発生量及び処理・処分量（生産用機器 種類別：変換）	79
表 2-40	発生量及び処理・処分量（業務用機器 種類別：変換）	81
表 2-41	発生量及び処理・処分量（電子部品 種類別：変換）	83
表 2-42	発生量及び処理・処分量（電気機器 種類別：変換）	85
表 2-43	発生量及び処理・処分量（情報機器 種類別：変換）	87
表 2-44	発生量及び処理・処分量（輸送機器 種類別：変換）	89
表 2-45	発生量及び処理・処分量（その他 種類別：変換）	91

3. 地域別・廃棄物種類別の発生量及び処理・処分状況に関する統計表

表 3-1	発生量及び処理・処分量（松江圏域 種類別：変換）	93
表 3-2	発生量及び処理・処分量（出雲圏域 種類別：変換）	95
表 3-3	発生量及び処理・処分量（大田圏域 種類別：変換）	97
表 3-4	発生量及び処理・処分量（浜田圏域 種類別：変換）	99
表 3-5	発生量及び処理・処分量（益田圏域 種類別：変換）	101
表 3-6	発生量及び処理・処分量（隠岐圏域 種類別：変換）	103

4. 特別管理産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分状況に関する統計表

表 4-1	業種別・廃棄物種類別の発生量（特別管理産業廃棄物）	105
表 4-2	業種別・廃棄物種類別の排出量（特別管理産業廃棄物）	106
表 4-3	発生量及び処理・処分量（特別管理産業廃棄物 種類別：変換）	107
表 4-4	発生量及び処理・処分量（特別管理産業廃棄物 種類別：無変換）	109

表1-1 業種別・廃棄物種類別の発生量【平成20年度】

(単位:千t/年)

業種 種類	合計	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	業種																	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療・福祉	複合サービス	サービス業	公務									
							食品品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器																			生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他		
合計	1,645	0	6	740	323	20	0	7	25	2	13	1	2	0	3	1	0	76	99	0	4	1	6	2	14	1	1	44	0	534	294	0	7	232	0	4	15	0	1	3	3	3	2	8	0	2	0			
燃え殻	53				7			0	7						0														46	46							0	0	0											
汚泥	328		6	14	64	12	0	5	0	0					0	0	30	5		2	0	3	0	4	0	0	0		240	1		7	232		0	1		0	0	1	2	0	0	0	0	0				
有機性汚泥	248				14	12	0	0	0						0	0							0	0	0	0		233	0			232			0		0	1		0	0									
無機性汚泥	80		6	14	50			5	0	0					0		30	5		2	0	3	0	4	0	0	0	8	1		7			0	1		0	0	2	0	0	0	0	0	0					
廃油	11		0	0	0	7	0	0	0	0					1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0		0	0	0				0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0				
一般廃油	9		0	0	0	5	0	0	0	0					1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0		0	0	0				0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0				
廃溶剤	0				0					0	0	0	0		0	0						0	0	0	0	0													0	0	0	0	0	0	0					
固形油	0				0																																													
油でい	1				1			0									0	1		0	0																		0	0	0	0								
油付着物等	0		0		0			0							0	0	0	0	0	0	0								0	0																	0	0		
廃酸	3				2	0				0	0	0			0			0	0	0	0	1	0	0	0	0		0			0																1	0	0	0
廃アルカリ	2				1			0		0	0	0			0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			0																			
廃プラスチック類	39		0	0	7	18	3	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	1	1	0	3	0	1	0		
廃プラスチック	36		0	0	7	18	3	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	1	0	3	0	1	0			
廃タイヤ	3			0								2	1																							1	2				0		0	0	0	0				
紙くず	5				2	3					2	1																																						
木くず	182		0		147	30	0	0	0	24	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					0		
繊維くず	1				0	1		1																																										
動植物性残さ	5				5	5	0																																											
動物系固形不要物	0				0	0																																												
ゴムくず	0				0		0														0	0	0																											
金属くず	38		0	0	8	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	1	1	1	1	1	1	0	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	
ガラス陶磁器くず	71				10	59	0	0	0	0					0		45	14		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0					
鉱さい	93				93													1	57																															
がれき類	552				550	1		0	0	0			0				0	0											1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コンクリート片	329				328	0			0								0												1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アスファルト	203				203	0			0				0																0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の建設廃材	20				20	0			0	0							0	0	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ばいじん	259				13		0					0		0				12										1	246	246																				
その他の産業廃棄物	3				0										0						0	0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
感染性廃棄物	3				0										0														0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
混合物等	1				0										0													0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

表1-2 業種別・廃棄物種類別の排出量【平成20年度】

(単位:千t/年)

業種 種類	合計	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	食品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業				情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療・福祉	複合サービス	サービス業	公務			
																															電業	ガス業	水道業	下水道業																
合計	1,612	0	6	738	295	20	0	7	22	2	12	1	2	0	2	1	0	76	89	0	4	1	5	1	10	1	1	39	0	533	294	0	7	232	0	4	14	0	0	2	3	3	2	8	0	2	0			
燃え殻	53				7			0	7							0							0						46	46						0		0	0	0										
汚泥	326		6	14	62	12	0	5	0	0					0	0	30	3		2	0	3	0	4	0	0	0	0	240	1		7	232		0	1		0	0	1	2	0	0	0	0	0				
有機性汚泥	248				14	12	0	0	0						0	0							0	0	0	0	0	233	0			232			0		0	0	1		0	0								
無機性汚泥	78		6	14	48			5	0	0					0		30	3		2	0	3	0	4	0	0	0	8	1		7			0	1		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0				
廃油	11		0	0	0	7	0	0	0	0					1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
一般廃油	9		0	0	0	5	0	0	0	0					1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0				
廃溶剤	0				0					0					0	0							0	0	0	0	0							0				0				0	0	0	0	0				
固形油	0				0					0					0	0							0	0	0	0	0												0				0	0	0	0				
油でい	1				1			0										0	1		0	0																	0	0	0	0								
油付着物等	0		0		0			0							0		0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0									0	0					
廃酸	3				2	0				0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	1	0	0	0	0	0			0											1	0	0	0	0			
廃アルカリ	2				1			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0										0	0	0	0	0	0			
廃プラスチック類	35		0	0	7	14	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	1	0		
廃プラスチック	32		0	0	7	14	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	1	0			
廃タイヤ	3			0																																	1	2			0	0	0	0	0					
紙くず	3				2	2					1	1																																						
木くず	179		0		147	28	0	0	0	21	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					0			
繊維くず	1				0	1		1																																										
動植物性残さ	5				5	5	0																																											
動物系固形不要物	0				0	0																																												
ゴムくず	0				0		0														0																									0				
金属くず	24		0		7	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	8	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0		
ガラス陶磁器くず	64				10	52	0	0	0	0					0		45	7		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0			
鉱さい	93				93													1	57															35																
がれき類	552				550	1		0	0	0					0		0	0	0	0	0								1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
コンクリート片	329				328	0				0																			1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アスファルト	203				203	0									0																																			
その他の建設廃材	20				20	0		0	0	0																																								
ばいじん	259				12		0							0	0				11										1	246	246																			0
その他の産業廃棄物	3				0										0								0	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0		
感染性廃棄物	3				0										0								0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0		
混合物等	1				0										0													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

表2-1 業種別の発生量及び処理・処分状況【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 業種	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量						自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量			
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		(処理先地域 の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)							県内	県外		
合計	1,645	34	1,612	370	85	36	4	31	14		1,242	5	184	990	59	4	1,285	188	188
林業																			
漁業	0	0	0								0			0	0		0		
鉱業	6	0	6	4	0			0			2	0		2			2		
建設業	740	2	738	7	6	0		6	0		731		0	698	32		737	0	0
製造業	323	28	295	124	68	36	4	18	10		171	4	19	121	23	4	199	23	23
食料品	20	0	20	12	1	0		0	1		8	0		8	0		9		
飲料・飼料	0	0	0	0	0			0			0	0		0	0		0		
繊維	7	0	7	4	3	0		2	0		3	0		1	2		5		
木材	25	3	22	19	0	0		0	0		2	0		2	0		3		
家具	2	0	2	0	0			0	0		2	0		2	0		2		
パルプ・紙	13	1	12	0	0			0			12	0	1	11	1		12	1	1
印刷	1	0	1	0	0			0			1	0		1	0		1		
化学	2		2								2	0		1	0		2		
石油・石炭	0		0								0			0	0		0		
プラスチック	3	0	2	1	0	0		0			1	0		1	0		1		
ゴム	1	0	1								1			0	0		1		
皮革	0		0								0			0			0		
窯業・土石	76	0	76	43	27	10	0	15	1		33	2	10	13	4	4	47	10	10
鉄鋼	99	10	89	36	36	25	4		7		53	0	8	30	14		63	12	12
非鉄金属	0		0								0	0		0	0		0		
金属	4	0	4	2	0			0	0		2	0		2	0		2		
はん用機器	1	0	1								1	0		1	0		1		
生産用機器	6	1	5	3	0			0	0		2	0		1	0		2		
業務用機器	2	1	1	0	0				0		1	0		1			1		
電子部品	14	4	10	3	1			1			7	1		6	0		7		
電気機器	1	0	1								1	0		1			1		
情報通信機器	1	0	1	0	0	0		0			1			1			1		
輸送機器	44	6	39	0	0				0		38	0		38	0		38		
その他	0	0	0	0	0	0		0			0	0		0			0		
電気・水道業	534	1	533	233	9	0		5	4		300	0	165	133	2		309	165	165
電気業	294	1	294								294	0	165	129	0		294	165	165
ガス業	0		0	0	0			0			0			0	0		0		
上水道業	7	0	7	6	2			0	2		1			1	0		3		
下水道業	232		232	227	7	0		5	2		5	0		4	2		13		
情報通信業	0	0	0								0	0		0	0		0		
運輸業	4	0	4	0	0	0		0	0		4	0	0	4	0		4	0	0
卸・小売業	15	1	14	0	0			0			14	0		13	1		14		
金融・保険業	0		0								0	0		0	0		0		
不動産業	1	0	0								0	0		0	0		0		
学術研究	3	1	2								2	1		2	0		2		
宿泊・飲食	3	0	3								3	0		3	0		3		
生活関連	3	0	3	1	1	0		1			2	0		2	0		3		
教育・学習	2	0	2	0	0		0				2	0	0	1	0		2	0	0
医療・福祉	8	0	8	0	0			0			8	0		8	0		8		
複合サービス	0	0	0								0			0	0		0		
サービス業	2	0	2	0	0	0		0	0		2	0	0	2	0		2	0	0
公務	0		0								0			0			0		

表2-1 業種別の発生量及び処理・処分状況【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

業種	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生利用量 (R)	最終処分量 (Q)			その他量 (J)	資源化量 (S)				
		委託直接最終処分量 (O)		委託中間処理量 (L)						委託中間処理後量 (M)			(処理主体の内訳)								
		処理業者	自治体	(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		事業者	自治体	処理業者						
				県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外												
		(O)	処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	(M)		(M1)	(M2)	(Q1)			(Q2)	(Q3)		
合計	1,094	73	69	4	64	9	1,021	1,020	1	877	144	971	928	43	969	304	188	4	112	4	1,003
林業																					
漁業	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
鉱業	2						2	2		2	0	1	1	0	1	0				0	1
建設業	737	32	32	0	31	1	705	705	0	688	16	694	664	31	664	63	0	0	63		665
製造業	173	33	30	3	26	7	140	140	0	92	48	123	116	7	156	63	23	3	38	4	184
食料品	9	1	1	0	1		8	8	0	3	5	7	7	1	7	2		0	2		7
飲料・飼料	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
繊維	5	2	2		2	0	3	3	0	1	2	2	1	0	2	2			2		2
木材	3	1	1		1		2	2		2	0	2	1	0	2	1			1		4
家具	2	0	0	0	0		2	2		1	0	1	1	0	1	0		0	0		1
パルプ・紙	12	1	1		1	0	11	11	0	3	8	8	8	0	8	1	1		1		9
印刷	1	0	0		0	0	1	1		1	0	1	1	0	1	0			0		1
化学	2	0	0		0		1	1		0	1	0	0	0	0	1			1		0
石油・石炭	0			0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
プラスチック	1	0	0		0		1	1		1	1	1	1	0	1	0			0		1
ゴム	1	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
皮革	0						0	0		0	0	0	0	0	0				0		0
窯業・土石	33	5	5		5		28	28		28	0	27	26	1	38	16	10		6	4	38
鉄鋼	52	21	19	2	15	6	30	30		11	20	28	24	4	50	37	12		2	22	60
非鉄金属	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
金属	2	0	0		0		2	2		1	0	1	1	0	1	0			0		1
はん用機器	1	0	0		0		1	1		0	0	1	1	0	1	0			0		1
生産用機器	2	0	0		0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0			0		2
業務用機器	1	0	0		0		1	1		1	0	1	0	1	0	1			1		1
電子部品	7	0	0		0		7	7		1	5	5	5	0	6	0			0		9
電気機器	1						1	1		1	0	1	1	0	1	0			0		1
情報通信機器	1						1	1		1	0	0	0	0	1	0			0		1
輸送機器	38	0	0		0	0	38	38		35	3	37	37	0	37	1			1		43
その他	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
電気・水道業	144	6	4	2	5	1	139	138	1	71	67	131	131	0	131	171	165	2	4		132
電気業	129	0	0		0		129	129		66	63	128	128	0	128	165	165		0		128
ガス業	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0		0
上水道業	3	2	0	2	2		1	1	0	1	0	1	1	0	1	2		2	0		1
下水道業	13	4	4		3	1	9	8	1	4	5	2	2	0	2	4			4		2
情報通信業	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
運輸業	4	0	0	0	0		4	4	0	1	2	3	3	0	3	0	0	0	0		3
卸・小売業	14	1	1	0	1	0	13	13	0	11	2	9	8	1	8	2		0	2		9
金融・保険業	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
不動産業	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
学術研究	2	0	0		0		2	2	0	1	0	1	1	0	2	0			0		3
宿泊・飲食	3	0	0	0	0		3	3	0	2	1	2	2	0	2	0		0	0		2
生活関連	3	0	0	0	0		3	3		1	2	1	0	0	0	1		0	1		1
教育・学習	1	0	0		0		1	1		0	1	0	0	0	0	0		0	0		0
医療・福祉	8	0	0	0	0	0	8	7	0	4	4	2	1	2	1	2		0	2		1
複合サービス	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
サービス業	2	0	0		0		2	2		2	0	2	2	0	2	0	0		0		2
公務	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0

表2-2 発生量及び処理・処分量(全体 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量		
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外		
																		(I)	
合計	1,645	34	1,612	370	85	36	4	31	14		1,242	5	184	990	59	4	1,285	188	188
燃え殻	53		53		1		0	0	0		53		2	51	0		53	2	2
汚泥	328	2	326	289	25	10		9	5		36	1	2	20	13		49	2	2
有機性汚泥	248	0	248	239	8	0		5	2		9	0		6	2		16		
無機性汚泥	80	2	78	50	17	10		4	3		28	1	2	13	11		33	2	2
廃油	11	0	11	0	0	0		0			11	0		10			10		
一般廃油	9	0	9	0	0	0		0			9	0		8			8		
廃溶剤	0		0	0	0			0			0	0		0			0		
固形油	0		0	0							0			0			0		
油でい	1		1								1			1			1		
油付着物等	0		0	0							0	0		0			0		
廃酸	3	0	3	0	0			0			3	0		3	0		3		
廃アルカリ	2	0	2	0	0			0			2			2			2		
廃プラスチック類	39	4	35	1	0	0		0	0		34	1	0	28	5		33	0	0
廃プラスチック	36	4	32	1	0	0		0	0		31	1	0	25	5		30	0	0
廃タイヤ	3	0	3	0	0	0		0	0		3	0		3	0		3		
紙くず	5	1	3	0	0			0			3	0	0	3	0		3	0	0
木くず	182	3	179	20	0	0		0			158	0	1	153	4		158	1	1
繊維くず	1	0	1	0	0	0					1			1	0		1		
動植物性残さ	5	0	5	0	0	0		0			4	0		4	0		5		
動物系固形不要物	0		0								0			0			0		
ゴムくず	0	0	0								0			0			0		
金属くず	38	14	24	7	7	7		0			17	0		16	1		17		
ガラス陶磁器くず	71	7	64	16	16	0	0	15	0		48	1	13	21	10	4	63	13	13
鋳さい	93	0	93	29	29	18	4		7		64	0	4	50	10		75	7	7
がれき類	552	0	552	7	6	0		6	0		546	0		530	16		552		
コンクリート片	329	0	329	5	5	0		5	0		324	0		318	6		328		
廃アスファルト	203	0	203	1	1			1			202			199	3		203		
その他の建設廃材	20	0	20	0	0			0	0		20			13	7		20		
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	259	1	259	1	1	1					258	0	163	94	0		258	163	163
その他の産業廃棄物	3	0	3	0	0			0	0		3	0		3	0		3		
感染性廃棄物	3		3	0	0			0			3			3			3		
混合物等	1	0	1	0	0			0	0		1	0		0	0		1		

表2-2 発生量及び処理・処分量(全体 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量						その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)						
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)			(処理後の処理内訳)		事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)				
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)										
合計	1,094	73	69	4	64	9	1,021	1,020	1	877	144	971	928	43	969	304	188	4	112	4	1,003
燃え殻	52	1	1		1	0	51	51	0	44	7	57	54	3	54	5	2		3		54
汚泥	47	18	17	2	16	2	29	28	1	17	12	8	5	3	16	24	2	2	20		18
有機性汚泥	16	4	4		3	1	12	11	1	6	6	2	1	1	2	5			5		2
無機性汚泥	31	14	13	2	13	1	17	17	0	11	6	6	3	2	15	19	2	2	15		17
廃油	10						10	10	0	3	7	4	4		4						5
一般廃油	8						8	8	0	3	6	4	4		4						5
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0						0
固形油	0						0	0		0	0	0	0		0						0
油でい	1						1	1		0	1	0	0		0						0
油付着物等	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0
廃酸	3	0	0			0	3	3		0	3	0	0	0	0	0			0		0
廃アルカリ	2						2	2		0	1	0	0		0						0
廃プラスチック類	33	5	5	0	5	0	29	28	0	21	7	20	14	5	16	10	0	0	10		20
廃プラスチック	30	5	5	0	4	0	26	25	0	19	6	17	12	5	13	10	0	0	10		17
廃タイヤ	3	0	0		0		3	3		2	1	3	3	0	3	0			0		3
紙くず	3	0	0		0		3	3	0	3	0	2	2	0	2	1	0		1		3
木くず	158	4	4	0	4	0	153	153	0	148	5	144	141	3	142	7	1	0	7		145
繊維くず	1	0	0		0		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0			0		1
動植物性残さ	5	0	0		0		5	5	0	2	3	4	4		4	0			0		4
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0		0						0
ゴムくず	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
金属くず	17	1	1	0	1	0	16	16	0	14	3	15	12	3	19	3		0	3		33
ガラス陶磁器くず	46	10	10	0	10	0	36	36	0	35	1	35	31	4	32	27	13	0	14	4	39
鋳さい	68	18	15	2	11	6	50	50		44	7	55	53	1	71	27	7	2	17		71
がれき類	552	16	16		16	0	536	536		522	14	533	514	19	515	35			35		515
コンクリート片	328	6	6		6		322	322		315	7	321	316	5	316	11			11		316
廃アスファルト	203	3	3		3		200	200		194	6	200	192	8	192	11			11		192
その他の建設廃材	20	7	7		7	0	13	13		13	0	12	6	6	6	13			13		6
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん	94	0	0	0	0	0	94	94		22	72	94	92	2	93	165	163	0	2		94
その他の産業廃棄物	3	0	0	0	0	0	3	3	0	1	2	0	0	0	0	0		0	0		0
感染性廃棄物	3						3	3		1	2	0	0	0	0	0			0		0
混合物等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0

表2-3 発生量及び処理・処分量(種類別:無変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H)	自己最終処分量		
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	(処理先地域 の内訳)					
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)						県内	県外				
合計	1,645	34	1,612	370	85	36	4	31	14		1,242	5	184	990	59	4	1,285	188	188	
燃え殻	53		53								53		2	51	0		53	2	2	
汚泥	328	2	326	289	25	10		9	6		36	1	2	20	13		50	2	2	
有機性汚泥	248	0	248	239	8	0		5	2		9	0		6	2		16			
無機性汚泥	80	2	78	50	17	10		4	3		28	1	2	13	11		34	2	2	
廃油	11	0	11	0	0	0		0			11	0		10			10			
一般廃油	9	0	9	0	0	0		0			9	0		8			8			
廃溶剤	0		0								0	0		0			0			
固形油	0		0								0			0			0			
油でい	1		1								1			1			1			
油付着物等	0		0	0	0			0			0	0		0			0			
廃酸	3	0	3	0	0			0			3	0		3	0		3			
廃アルカリ	2	0	2	0	0			0			2			2			2			
廃プラスチック類	39	4	35	1	0	0		0	0		34	1	0	28	5		33	0	0	
廃プラスチック	36	4	32	1	0	0		0	0		31	1	0	25	5		30	0	0	
廃タイヤ	3	0	3	0	0	0		0	0		3	0		3	0		3			
紙くず	5	1	3	0	0			0			3	0	0	3	0		3	0	0	
木くず	182	3	179	20	1	0	0	0	0		158	0	1	153	4		158	1	1	
繊維くず	1	0	1	0	0	0			0		1			1	0		1			
動植物性残さ	5	0	5	0	0	0		0			4	0		4	0		5			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0	0	0								0			0			0			
金属くず	38	14	24	7	7	7		0			17	0		16	1		17			
ガラス陶磁器くず	71	7	64	16	16	0	0	15	0		48	1	13	21	10	4	63	13	13	
鋳さい	93	0	93	29	29	18	4		7		64	0	4	50	10		75	7	7	
がれき類	552	0	552	7	6	0		6	0		546	0		530	16		552			
コンクリート片	329	0	329	5	5	0		5			324	0		318	6		328			
廃アスファルト	203	0	203	1	1			1			202			199	3		203			
その他の建設廃材	20	0	20	0	0	0		0	0		20			13	7		20			
ばいじん	259	1	259	1	1	1					258	0	163	94	0		258	163	163	
その他の産業廃棄物	3	0	3	0	0	0		0	0		3	0		3	0		3			
感染性廃棄物	3		3	0	0			0			3			3			3			
混合物等	1	0	1	0	0	0		0	0		1	0		0	0		1			

表2-3 発生量及び処理・処分量(種類別:無変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量					その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量					委託中間処理量						再生 利用量 (M)	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)	(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)			(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)							事業者	自治体			処理業者	
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	(Q1)	(Q2)										(Q3)
合計	1,094	73	69	4	64	9	1,021	1,020	1	877	144	971	928	43	969	304	188	4	112	4	1,003
燃え殻	51	0	0		0		51	51	0	44	7	51	51	0	51	2	2		0		51
汚泥	48	19	17	2	17	2	29	28	1	17	12	10	7	4	19	24	2	2	21		21
有機性汚泥	16	4	4		4	1	12	11	1	6	6	4	2	1	3	5			5		3
無機性汚泥	32	14	13	2	13	1	17	17	0	11	6	7	4	2	16	19	2	2	15		18
廃油	10						10	10	0	3	7	4	4	0	4	0			0		5
一般廃油	8						8	8	0	3	6	4	4	0	4	0			0		5
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
固形油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
油でい	1						1	1		0	1	0	0	0	0	0			0		0
油付着物等	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃酸	3	0	0			0	3	3		0	3	1	1	0	1	0			0		1
廃アルカリ	2						2	2		0	1	0	0	0	0	0			0		0
廃プラスチック類	33	5	5	0	5	0	29	28	0	21	7	20	15	6	16	11	0	0	11		20
廃プラスチック	30	5	5	0	4	0	26	25	0	19	6	18	12	6	13	11	0	0	10		17
廃タイヤ	3	0	0		0		3	3		2	1	3	3	0	3	0			0		3
紙くず	3	0	0		0		3	3	0	3	0	2	2	0	2	1	0		1		3
木くず	158	4	4	0	4	0	153	153	0	149	5	145	142	3	143	8	1	0	7		146
繊維くず	1	0	0		0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0			0		1
動植物性残さ	5	0	0		0		5	5	0	2	3	4	4	0	4	0			0		4
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0		0						0
ゴムくず	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
金属くず	17	1	1	0	1	0	16	16	0	14	3	16	14	3	21	3		0	3		35
ガラス陶磁器くず	46	10	10	0	10	0	36	36	0	35	1	36	32	4	33	27	13	0	14	4	40
鉱さい	68	18	15	2	11	6	50	50		44	7	50	49	1	66	27	7	2	17		66
がれき類	552	16	16		16	0	536	536		522	14	536	516	19	517	35			35		517
コンクリート片	328	6	6		6		322	322		315	7	322	317	5	318	11			11		318
廃アスファルト	203	3	3		3		200	200		194	6	200	192	8	192	11			11		192
その他の建設廃材	20	7	7		7	0	13	13		13	0	13	7	7	13				13		7
ばいじん	94	0	0	0	0	0	94	94		22	72	94	92	2	93	165	163	0	2		94
その他の産業廃棄物	3	0	0	0	0	0	3	3	0	1	2	1	0	0	1	0		0	0		1
感染性廃棄物	3						3	3		1	2	0	0	0	0	0			0		0
混合物等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		1

表2-4 発生量及び処理・処分量(漁業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
合計	0	0	0								0			0	0	0		
燃え殻																		
汚泥																		
有機性汚泥																		
無機性汚泥																		
廃油	0	0	0								0			0		0		
一般廃油	0	0	0								0			0		0		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等	0		0								0			0		0		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0		0								0			0		0		
廃プラスチック	0		0								0			0		0		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0								0			0		0		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0		0								0			0		0		
ガラス陶磁器くず																		
鉱さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-4 発生量及び処理・処分量(漁業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)			
		委託直接最終処分量		委託中間処理量						委託中間処理後量			(処理主体の内訳)							
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)		(Q)			(Q1)	(Q2)	(Q3)
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)						
合計	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			
燃え殻											0	0	0	0	0		0	0		
汚泥																				
有機性汚泥																				
無機性汚泥																				
廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0					0		
一般廃油	0					0	0		0	0	0	0	0					0		
廃溶剤																				
固形油																				
油でい																				
油付着物等	0					0		0	0											
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0					0	0		0	0	0	0	0					0		
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0					0	0		0	0	0	0	0					0		
ガラス陶磁器くず																				
鋳さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-5 発生量及び処理・処分量(鉱業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)						自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	(処理先地域 の内訳)				
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)						県内		県外		
合計	6	0	6	4	0		0				2	0	2			2		
燃え殻																		
汚泥	6		6	4	0		0				2		2			2		
有機性汚泥																		
無機性汚泥	6		6	4	0		0				2		2			2		
廃油	0	0	0								0	0	0			0		
一般廃油	0	0	0								0	0	0			0		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0		0								0		0			0		
廃プラスチック	0		0								0		0			0		
廃タイヤ	0		0								0		0			0		
紙くず																		
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0																
ガラス陶磁器くず																		
鉱さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-5 発生量及び処理・処分量(鉱業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)						
		委託直接最終処分量		委託中間処理量						委託中間処理後量			(処理主体の内訳)										
				(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理後の処理内訳)			事業者	自治体	処理業者								
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		(Q1)	(Q2)	(Q3)								
(L)	(O)	(M)	(Q)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J)	(S)															
合計	2							2	2			2	0	1	1	0	1	0			0		1
燃え殻														0	0	0	0	0			0		0
汚泥	2							2	2			2		1	1	0	1	0			0		1
有機性汚泥																							
無機性汚泥	2							2	2			2		1	1	0	1	0			0		1
廃油	0							0	0			0	0	0	0		0						0
一般廃油	0							0	0			0	0	0	0		0						0
廃溶剤																							
固形油																							
油でい																							
油付着物等																							
廃酸																							
廃アルカリ																							
廃プラスチック類	0							0	0			0	0	0	0		0						0
廃プラスチック	0							0	0			0	0	0	0		0						0
廃タイヤ	0							0	0			0	0	0	0		0						0
紙くず																							
木くず																							
繊維くず																							
動植物性残さ																							
動物系固形不要物																							
ゴムくず																							
金属くず																							0
ガラス陶磁器くず																							
鉱さい																							
がれき類																							
コンクリート片																							
廃アスファルト																							
その他の建設廃材																							
動物のふん尿																							
動物の死体																							
ばいじん																							
その他の産業廃棄物																							
感染性廃棄物																							
混合物等																							

表2-6 発生量及び処理・処分量(建設業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量	
				自己中間処理後量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)	
						再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外
合計	740	2	738	7	6	0	6	0		731	0	698	32	737	0	0		
燃え殻																		
汚泥	14		14	0	0		0			14		5	9	14				
有機性汚泥																		
無機性汚泥	14		14	0	0		0			14		5	9	14				
廃油	0		0							0		0		0				
一般廃油	0		0							0		0		0				
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	7	0	7	0	0			0		7	0	5	2	7	0	0		
廃プラスチック	7	0	7	0	0			0		7	0	5	2	7	0	0		
廃タイヤ																		
紙くず	2	0	2							2		2	0	2				
木くず	147	0	147	0	0	0		0		147		143	4	147				
繊維くず	0		0							0		0	0	0				
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	8	1	7	0	0		0			7		6	0	7				
ガラス陶磁器くず	10	0	10	0	0			0		10		9	2	10				
鋳さい																		
がれき類	550	0	550	7	6	0	6	0		544		528	16	550				
コンクリート片	328	0	328	5	5	0	5			322		316	6	327				
廃アスファルト	203	0	203	1	1		1			202		199	3	203				
その他の建設廃材	20	0	20	0	0		0	0		20		13	7	20				
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-6 発生量及び処理・処分量(建設業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量					その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量		委託中間処理量						委託中間処理後量			(処理主体の内訳)							
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)		(Q)	(Q1)	(Q2)			(Q3)
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)						
合計	737	32	32	0	31	1	705	705	0	688	16	694	664	31	664	63	0	0	63	665
燃え殻												2	1	1	1	1			1	1
汚泥	14	9	9		7	1	5	5		5	0	2		2	11				11	
有機性汚泥												0		0	0				0	
無機性汚泥	14	9	9		7	1	5	5		5	0	2		2	10				10	
廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
廃溶剤																				
固形油																				
油でい																				
油付着物等																				
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	7	2	2	0	2	0	5	5	0	5	0	4	1	3	1	5	0	0	5	1
廃プラスチック	7	2	2	0	2	0	5	5	0	5	0	4	1	3	1	5	0	0	5	1
廃タイヤ												0	0	0	0				0	0
紙くず	2	0	0		0		2	2	0	2	0	1	1	0	1	0			0	1
木くず	147	4	4	0	4	0	143	143		141	2	137	135	2	135	6		0	6	135
繊維くず	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0	0
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	7	0	0		0		7	7		6	0	7	6	1	6	1			1	7
ガラス陶磁器くず	10	2	2		2	0	9	9	0	8	0	9	6	3	6	4			4	6
鋳さい												2	2		2					2
がれき類	550	16	16		16	0	534	534		521	13	531	513	19	513	35			35	513
コンクリート片	327	6	6		6		321	321		315	6	319	315	5	315	11			11	315
廃アスファルト	203	3	3		3		200	200		194	6	200	192	8	192	11			11	192
その他の建設廃材	20	7	7		7	0	13	13		12	0	12	6	6	6	13			13	6
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-7 発生量及び処理・処分量(製造業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量		
				自己中間処理後量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)		
						再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外	
																			(I)
合計	323	28	295	124	68	36	4	18	10		171	4	19	121	23	4	199	23	23
燃え殻	7		7		0			0	0		7			7	0		7		
汚泥	64	2	62	51	15	10		3	2		10	1	2	4	3		13	2	2
有機性汚泥	14		14	12	1			0	1		2	0		1	0		2		
無機性汚泥	50	2	48	39	14	10		3	1		9	1	2	3	2		11	2	2
廃油	7	0	7	0	0	0		0			6	0		6			6		
一般廃油	5	0	5	0	0	0		0			5	0		5			5		
廃溶剤	0		0								0	0		0			0		
固形油	0		0								0			0			0		
油でい	1		1								1			1			1		
油付着物等	0		0	0							0	0		0			0		
廃酸	2		2								2	0		2	0		2		
廃アルカリ	1	0	1								1			1			1		
廃プラスチック類	18	4	14	1	0	0		0			13	1		11	1		12		
廃プラスチック	18	4	14	1	0	0		0			13	1		11	1		12		
廃タイヤ																			
紙くず	3	1	2	0	0			0			2	0	0	1	0		2	0	0
木くず	30	3	28	20	0	0		0			8	0	1	7	0		8	1	1
繊維くず	1	0	1	0	0	0					0			0	0		0		
動植物性残さ	5	0	5	0	0	0		0			4	0		4	0		5		
動物系固形不要物	0		0								0			0			0		
ゴムくず	0	0	0								0			0			0		
金属くず	21	10	11	7	7	7		0			4	0		4	0		4		
ガラス陶磁器くず	59	7	52	16	16	0	0	15	0		36	1	13	11	8	4	51	13	13
鋳さい	93	0	93	29	29	18	4		7		64	0	4	50	10		75	7	7
がれき類	1		1		0				0		1	0		0	0		1		
コンクリート片	0		0		0				0		0	0		0	0		1		
廃アスファルト	0		0								0			0			0		
その他の建設廃材	0		0								0			0	0		0		
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	13	1	12	1	1	1					11	0		11	0		11		
その他の産業廃棄物	0	0	0								0			0			0		
感染性廃棄物	0		0								0			0			0		
混合物等	0	0	0								0			0			0		

表2-7 発生量及び処理・処分量(製造業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量						その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)						
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)			(処理後の処理内訳)		事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)				
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)										
合計	173	33	30	3	26	7	140	140	0	92	48	123	116	7	156	63	23	3	38	4	184
燃え殻	7	0	0		0	0	7	7		0	7	9	8	1	8	1			1		8
汚泥	11	4	4		4	0	7	7		3	4	2	2	0	14	7	2		5		15
有機性汚泥	2	1	1		1		1	1		1	0	0	0	0	0	1			1		0
無機性汚泥	9	3	3		3	0	6	6		2	4	2	2	0	13	5	2		3		15
廃油	6						6	6		0	6	2	2		3						3
一般廃油	5						5	5		0	4	2	2		3						3
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0						0
固形油	0						0	0		0	0	0	0		0						0
油でい	1						1	1		0	1	0	0		0						0
油付着物等	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃酸	2	0	0			0	2	2		0	1	0	0		0				0		0
廃アルカリ	1						1	1		0	1	0	0		0						0
廃プラスチック類	12	1	1	0	1	0	11	11	0	7	4	9	7	2	8	3		0	3		12
廃プラスチック	12	1	1	0	1	0	11	11	0	7	4	9	7	2	8	3		0	3		12
廃タイヤ																					
紙くず	2	0	0		0		1	1	0	1	0	1	1		1	0	0		0		2
木くず	7	0	0	0	0		7	7	0	6	1	3	3	0	4	1	1	0	0		7
繊維くず	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0		0	0			0		1
動植物性残さ	5	0	0		0		5	5	0	2	3	4	4		4	0			0		4
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0		0						0
ゴムくず	0						0	0		0	0										0
金属くず	4	0	0		0	0	4	4		2	2	3	3	0	10	0			0		20
ガラス陶磁器くず	34	8	8	0	8	0	26	26	0	26	0	24	23	1	24	22	13	0	9	4	32
鋳さい	68	18	15	2	11	6	50	50		44	7	52	51	1	68	27	7	2	17		68
がれき類	1	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	1	0			0		1
コンクリート片	1	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
廃アスファルト	0						0	0		0	0	0	0		0	0			0		0
その他の建設廃材	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0		0
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん	11	0	0	0	0	0	11	11		0	11	11	10	2	11	2		0	2		12
その他の産業廃棄物	0						0	0		0	0	0	0		0						0
感染性廃棄物	0						0	0		0	0	0	0		0						0
混合物等	0						0	0		0	0	0	0		0						0

表2-8 発生量及び処理・処分量(電気・水道業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量		
				自己中間処理後量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)		
						再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外	
																			(I)
合計	534	1	533	233	9	0	5	4		300	0	165	133	2	309	165	165		
燃え殻	46		46		0		0	0		46		2	44		46	2	2		
汚泥	240		240	233	9	0	5	4		7			5	2	16				
有機性汚泥	233		233	227	7	0	5	2		6			4	2	12				
無機性汚泥	8		8	6	2		0	2		2			1	0	4				
廃油	0	0	0							0			0		0				
一般廃油	0	0	0							0			0		0				
廃溶剤																			
固形油																			
油でい																			
油付着物等	0		0							0			0		0				
廃酸	0		0							0			0		0				
廃アルカリ	0		0							0			0		0				
廃プラスチック類	0		0	0	0		0			0			0	0	0				
廃プラスチック	0		0	0	0		0			0			0	0	0				
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0		0							0			0		0				
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	1	1	0	0	0		0			0	0		0		0				
ガラス陶磁器くず	0	0	0							0			0	0	0				
鋳さい																			
がれき類	1		1							1	0		1	0	1				
コンクリート片	1		1							1	0		1	0	1				
廃アスファルト	0		0							0			0		0				
その他の建設廃材	0		0							0			0	0	0				
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	246		246							246		163	83		246	163	163		
その他の産業廃棄物	0		0							0			0		0				
感染性廃棄物	0		0							0			0		0				
混合物等	0		0							0			0		0				

表2-8 発生量及び処理・処分量(電気・水道業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量				再生 利用量 (R)	最終 処分量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)							
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)							
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)											
合計	144	6	4	2	5	1	139	138	1	71	67	131	131	0	131	171	165	2	4		132	
燃え殻	44	0	0		0		44	44		44	0	45	45	0	45	2	2			0		45
汚泥	16	5	4	2	5	1	11	10	1	5	5	2	2	0	2	6			2	4		2
有機性汚泥	12	3	3		3	1	9	8	1	4	5	1	1	0	1	3				3		1
無機性汚泥	4	2	0	2	2		1	1	0	1	1	1	1	0	1	2			2	0		1
廃油	0						0	0		0	0	0	0		0							0
一般廃油	0						0	0		0	0	0	0		0							0
廃溶剤																						
固形油																						
油でい																						
油付着物等	0						0	0		0												
廃酸	0						0	0			0											
廃アルカリ	0						0	0			0		0		0							0
廃プラスチック類	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0				0		0
廃プラスチック	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0				0		0
廃タイヤ																						
紙くず																						
木くず	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0				0		0
繊維くず																						
動植物性残さ																						
動物系固形不要物																						
ゴムくず																						
金属くず	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0				0		1
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0				0		0
鋳さい												0	0		0							0
がれき類	1	0	0		0		1	1		0	1	1	1	0	1	0				0		1
コンクリート片	1	0	0		0		1	1		0	1	1	1	0	1	0				0		1
廃アスファルト	0						0	0		0		0	0		0							0
その他の建設廃材	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0				0		0
動物のふん尿																						
動物の死体																						
ばいじん	83						83	83		22	61	83	83		83	163	163					83
その他の産業廃棄物	0						0	0		0		0		0		0				0		
感染性廃棄物	0						0	0		0												
混合物等	0						0	0		0		0		0		0				0		

表2-9 発生量及び処理・処分量(情報通信業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量	
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
																		(I)
合計	0	0	0								0	0	0	0	0			
燃え殻																		
汚泥																		
有機性汚泥																		
無機性汚泥																		
廃油																		
一般廃油																		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸	0		0								0		0		0			
廃アルカリ	0		0								0		0		0			
廃プラスチック類	0	0	0								0	0	0	0	0			
廃プラスチック	0	0	0								0	0	0	0	0			
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0								0		0		0			
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0		0								0	0	0	0	0			
ガラス陶磁器くず	0		0								0		0	0	0			
鋳さい																		
がれき類	0		0								0		0		0			
コンクリート片	0		0								0		0		0			
廃アスファルト	0		0								0		0		0			
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	0	0	0								0		0	0	0			
感染性廃棄物																		
混合物等	0	0	0								0		0	0	0			

表2-9 発生量及び処理・処分量(情報通信業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)			
		委託直接最終処分量		委託中間処理量						委託中間処理後量			(処理主体の内訳)							
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)		(Q)			(Q1)	(Q2)	(Q3)
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)						
合計	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0			0		0	
燃え殻											0	0	0	0	0				0	0
汚泥											0	0		0						0
有機性汚泥																				
無機性汚泥											0	0		0						0
廃油																				
一般廃油																				
廃溶剤																				
固形油																				
油でい																				
油付着物等																				
廃酸	0							0	0											0
廃アルカリ	0							0	0											0
廃プラスチック類	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
廃プラスチック	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0							0	0					0						0
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
鋳さい																				
がれき類	0							0	0					0						0
コンクリート片	0							0	0					0						0
廃アスファルト	0							0	0					0						0
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
感染性廃棄物																				
混合物等	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0

表2-10 発生量及び処理・処分量(運輸業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量		
				自己中間処理後量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)		
						再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外	
																			(I)
合計	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	4	0	0	
燃え殻				0			0									0			
汚泥	0	0	0	0	0			0	0		0	0	0	0		0	0	0	
有機性汚泥																			
無機性汚泥	0	0	0	0	0			0	0		0	0	0	0		0	0	0	
廃油	0	0	0	0	0			0			0	0	0	0		0			
一般廃油	0	0	0	0	0			0			0	0	0	0		0			
廃溶剤	0		0								0		0			0			
固形油																			
油でい																			
油付着物等	0		0								0	0		0		0			
廃酸	0		0								0			0		0			
廃アルカリ	0		0								0			0		0			
廃プラスチック類	1	0	1	0	0			0			1	0		1	0	1			
廃プラスチック	0	0	0								0	0		0	0	0			
廃タイヤ	1	0	1	0	0	0		0			1	0		0	0	0			
紙くず																			
木くず	2		2								2			2		2			
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0	0																	
金属くず	0	0	0								0			0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0		0			
鋳さい																			
がれき類	0		0								0			0		0			
コンクリート片	0		0								0			0		0			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材	0		0								0			0		0			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0			0			0	0		0		0			
感染性廃棄物																			
混合物等	0	0	0	0	0			0			0	0		0		0			

表2-10 発生量及び処理・処分量(運輸業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量						その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)							
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)			(処理後の処理内訳)		事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)											
合計	4	0	0	0	0	0	4	4	0	1	2	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3
燃え殻	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
汚泥	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
有機性汚泥																						
無機性汚泥	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0						0	0		0	0	0	0		0							0
一般廃油	0						0	0		0	0	0	0		0							0
廃溶剤	0						0	0		0	0											
固形油																						
油でい																						
油付着物等	0						0	0		0	0				0							0
廃酸	0						0	0		0												
廃アルカリ	0						0	0		0												
廃プラスチック類	1	0	0	0	0		1	1	0	0	0	1	0	0	1	0					0	1
廃プラスチック	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
廃タイヤ	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	1
紙くず																						
木くず	2						2	2		1	2	2	2	0	2	0					0	2
繊維くず																						
動植物性残さ																						
動物系固形不要物																						
ゴムくず																						0
金属くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
ガラス陶磁器くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
鋳さい																						
がれき類	0						0	0		0	0	0	0		0						0	0
コンクリート片	0						0	0		0	0	0	0		0						0	0
廃アスファルト																						
その他の建設廃材	0						0	0		0	0	0	0		0						0	0
動物のふん尿																						
動物の死体																						
ばいじん																						
その他の産業廃棄物	0						0	0		0	0	0	0		0							0
感染性廃棄物																						
混合物等	0						0	0		0	0	0	0		0							0

表2-11 発生量及び処理・処分量(卸・小売業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量						自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量			
				自己中間処理後量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)				(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)			
						再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)		その他 量 (G5)	県内	県外	
																			(I)
合計	15	1	14	0	0			0			14	0		13	1		14		
燃え殻																			
汚泥	1		1	0	0			0			1			1	0		1		
有機性汚泥	0		0								0			0			0		
無機性汚泥	1		1	0	0			0			1			1	0		1		
廃油	2	0	2								2	0		2			2		
一般廃油	2	0	2								2	0		2			2		
廃溶剤																			
固形油																			
油でい																			
油付着物等	0		0								0			0			0		
廃酸	0		0								0			0			0		
廃アルカリ	0		0	0	0			0			0			0			0		
廃プラスチック類	7	0	6								6	0		6	1		6		
廃プラスチック	4	0	4								4	0		3	1		4		
廃タイヤ	2	0	2								2	0		2			2		
紙くず																			
木くず	0		0								0			0	0		0		
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0		0								0			0			0		
金属くず	4	0	3								3	0		3	0		3		
ガラス陶磁器くず	0		0								0	0		0	0		0		
鋳さい																			
がれき類	0		0								0			0	0		0		
コンクリート片	0		0								0			0			0		
廃アスファルト																			
その他の建設廃材	0		0								0			0	0		0		
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	0	0	0								0	0		0	0		0		
感染性廃棄物																			
混合物等	0	0	0								0	0		0	0		0		

表2-11 発生量及び処理・処分量(卸・小売業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳 委託直接最終処分量						委託中間処理量						再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		(O)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(L)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(M)	(処理後の処理内訳)		(処理主体の内訳)					
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生 利用量 (M1)		最終 処分量 (M2)	事業者	自治体			処理業者
合計	14	1	1	0	1	0	13	13	0	11	2	9	8	1	8	2	0	2	9	
燃え殻												0	0	0	0	0		0	0	
汚泥	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0		0	0	
有機性汚泥	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
無機性汚泥	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0	
廃油	2						2	2	0	2	0	1	1	1	1				1	
一般廃油	2						2	2	0	2	0	1	1	1	1				1	
廃溶剤																				
固形油																				
油でい																				
油付着物等	0						0	0	0	0										
廃酸	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	
廃アルカリ	0						0	0	0	0										
廃プラスチック類	6	1	1	0	1	0	6	6	5	1	4	4	0	4	1	0	1	4		
廃プラスチック	4	1	1	0	1	0	3	3	3	0	2	2	0	2	1	0	1	2		
廃タイヤ	2						2	2	2	0	2	2	0	2	0		0	2		
紙くず																				
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0						0	0	0	0	0	0	0	0				0		
金属くず	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	3	2	1	2	1	1	2		
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		
鋳さい												1	1	1	1			1		
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		
コンクリート片	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		
廃アスファルト																				
その他の建設廃材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		
感染性廃棄物																				
混合物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		

表2-12 発生量及び処理・処分量(金融・保険業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量					自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)			
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)				(G)	(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)		その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)		委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内	県外
合計	0		0								0	0		0	0			
燃え殻	0		0								0			0				
汚泥																		
有機性汚泥																		
無機性汚泥																		
廃油	0		0								0	0						
一般廃油	0		0								0	0						
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸	0		0								0		0					
廃アルカリ	0		0								0		0					
廃プラスチック類	0		0								0	0		0	0			
廃プラスチック	0		0								0	0		0	0			
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0								0		0					
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0		0								0		0					
ガラス陶磁器くず	0		0								0		0					
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-12 発生量及び処理・処分量(金融・保険業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量				委託中間処理量							委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
燃え殻	0	0	0	0								0	0	0	0	0		0	0	
汚泥																				
有機性汚泥																				
無機性汚泥																				
廃油														0					0	
一般廃油														0					0	
廃溶剤																				
固形油																				
油でい																				
油付着物等																				
廃酸	0					0	0	0												
廃アルカリ	0					0	0	0												
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0					0	0	0					0		0			0		
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鋳さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-13 発生量及び処理・処分量(不動産業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
合計	1	0	0							0	0	0	0		0			
燃え殻																		
汚泥	0		0							0		0	0		0			
有機性汚泥																		
無機性汚泥	0		0							0		0	0		0			
廃油	0	0	0							0		0			0			
一般廃油	0	0	0							0		0			0			
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0	0	0							0		0			0			
廃プラスチック	0	0	0							0		0			0			
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0	0	0							0		0			0			
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0	0							0	0	0	0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0							0	0	0	0		0			
鋳さい																		
がれき類	0		0							0	0	0	0		0			
コンクリート片	0		0							0	0							
廃アスファルト																		
その他の建設廃材	0		0							0		0	0		0			
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	0		0							0		0	0		0			
感染性廃棄物																		
混合物等	0		0							0		0	0		0			

表2-13 発生量及び処理・処分量(不動産業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量		委託中間処理量				委託中間処理後量					(処理主体の内訳)						
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)				
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)								
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
燃え殻												0	0	0			0		
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			0		
有機性汚泥																			
無機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			0		
廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
一般廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
廃溶剤																			
固形油																			
油でい																			
油付着物等																			
廃酸																			
廃アルカリ																			
廃プラスチック類	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃プラスチック	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
ガラス陶磁器くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
鋳さい																			
がれき類	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
コンクリート片															0				0
廃アスファルト																			
その他の建設廃材	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
感染性廃棄物																			
混合物等	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0					0

表2-14 発生量及び処理・処分量(学術研究 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
合計	3	1	2							2	1	2	0		2			
燃え殻	0		0							0			0		0			
汚泥	0		0							0			0		0			
有機性汚泥	0		0							0			0		0			
無機性汚泥	0		0							0			0		0			
廃油	0		0							0	0		0		0			
一般廃油	0		0							0	0		0		0			
廃溶剤	0		0							0			0		0			
固形油																		
油でい	0		0							0			0		0			
油付着物等																		
廃酸	0		0							0			0		0			
廃アルカリ	0		0							0			0		0			
廃プラスチック類	0		0							0	0		0	0	0			
廃プラスチック	0		0							0	0		0	0	0			
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	1		1							1	0		1	0	1			
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	1	1	0							0			0	0	0			
ガラス陶磁器くず	0		0							0			0		0			
鋳さい																		
がれき類	0		0							0	0		0	0	0			
コンクリート片	0		0							0	0		0		0			
廃アスファルト	0		0							0			0		0			
その他の建設廃材	0		0							0			0	0	0			
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	0		0							0			0		0			
感染性廃棄物	0		0							0			0		0			
混合物等	0		0							0			0		0			

表2-14 発生量及び処理・処分量(学術研究 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
合計	2	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	1	0	2	0		0		3	
燃え殻	0	0	0		0						0	0	0	0	0		0		0	
汚泥	0					0	0		0	0	0	0	0	0	0		0		0	
有機性汚泥	0					0	0		0	0									0	
無機性汚泥	0					0	0		0	0				0	0				0	
廃油	0					0	0		0	0	0	0	0	0					0	
一般廃油	0					0	0		0	0	0	0	0	0					0	
廃溶剤	0					0	0		0	0									0	
固形油																				
油でい	0					0	0		0		0	0	0	0					0	
油付着物等																				
廃酸	0					0	0		0	0										
廃アルカリ	0					0	0		0	0										
廃プラスチック類	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0	
廃プラスチック	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0	
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	1	0	0		0	1	1		1		1	1	0	1	0		0		1	
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0		1	
ガラス陶磁器くず	0					0	0		0	0	0	0	0	0	0		0		0	
鋳さい																				
がれき類	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0		0	
コンクリート片	0					0	0		0	0	0	0	0	0					0	
廃アスファルト	0					0	0		0	0	0	0	0	0					0	
その他の建設廃材	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0		0	
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	0					0	0		0	0										
感染性廃棄物	0					0	0		0	0										
混合物等	0					0	0		0	0										

表2-15 発生量及び処理・処分量(宿泊・飲食 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外		
合計	3	0	3								3	0		3	0		3		
燃え殻	0		0								0			0			0		
汚泥	1		1								1			1	0		1		
有機性汚泥	1		1								1			1	0		1		
無機性汚泥																			
廃油	1	0	1								1	0		1			1		
一般廃油	1	0	1								1	0		1			1		
廃溶剤																			
固形油																			
油でい	0		0								0			0			0		
油付着物等																			
廃酸																			
廃アルカリ																			
廃プラスチック類	1		1								1	0		1	0		1		
廃プラスチック	1		1								1	0		1	0		1		
廃タイヤ	0		0								0			0			0		
紙くず																			
木くず																			
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	1		1								1			1	0		1		
ガラス陶磁器くず	1		1								1			1	0		1		
鋳さい																			
がれき類																			
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-15 発生量及び処理・処分量(宿泊・飲食 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量						その他 量 (J)	資源化 量 (S)
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)			(処理後の処理内訳)		事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)			
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
(O)						(L)					(M)				(Q)					
合計	3	0	0	0	0		3	3	0	2	1	2	2	0	2	0		0	0	2
燃え殻	0						0		0	0		0	0	0	0	0			0	0
汚泥	1	0	0	0			1	1		0	0	0	0	0	0	0			0	0
有機性汚泥	1	0	0	0			1	1		0	0	0	0	0	0	0			0	0
無機性汚泥												0	0	0	0	0			0	0
廃油	1						1	1	0	0	1	0	0	0	0					0
一般廃油	1						1	1	0	0	1	0	0	0	0					0
廃溶剤																				
固形油																				
油でい	0						0	0			0	0	0	0	0					0
油付着物等																				
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	1	0		0	0		1	1		1		0	0	0	0	0		0		0
廃プラスチック	1	0		0	0		1	1		1		0	0	0	0	0		0		0
廃タイヤ	0						0	0		0		0	0	0	0	0				0
紙くず																				
木くず																				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	1	0	0	0	0		1	1		1		1	0	0	0	0		0	0	0
ガラス陶磁器くず	1	0		0	0		1	1		1		1	1	0	1	0		0	0	1
鉱さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-16 発生量及び処理・処分量(生活関連 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)						自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
合計	3	0	3	1	1	0	1			2	0	2	0		3		
燃え殻	0		0							0		0			0		
汚泥	2		2	1	1	0	1			0		0	0		1		
有機性汚泥																	
無機性汚泥	2		2	1	1	0	1			0		0	0		1		
廃油	0		0							0	0	0			0		
一般廃油	0		0							0	0	0			0		
廃溶剤																	
固形油																	
油でい	0		0							0		0			0		
油付着物等																	
廃酸																	
廃アルカリ	0		0							0		0			0		
廃プラスチック類	1	0	1							1	0	1	0		1		
廃プラスチック	1	0	1							1	0	1	0		1		
廃タイヤ																	
紙くず																	
木くず	0		0							0			0		0		
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず	0		0							0	0	0	0		0		
ガラス陶磁器くず	0		0							0		0	0		0		
鋳さい																	
がれき類	0		0							0			0		0		
コンクリート片	0		0							0			0		0		
廃アスファルト																	
その他の建設廃材	0		0							0			0		0		
動物のふん尿																	
動物の死体																	
ばいじん																	
その他の産業廃棄物	0		0							0		0			0		
感染性廃棄物																	
混合物等	0		0							0		0			0		

表2-16 発生量及び処理・処分量(生活関連 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
合計	3	0	0	0	0	0	3	3	1	2	1	0	0	0	1	0	1	1		
燃え殻	0						0	0		0	0	0	0	0				0	0	
汚泥	1	0	0	0	0		1	1	0	1	0		0	0				0	0	
有機性汚泥																				
無機性汚泥	1	0	0	0	0		1	1	0	1	0		0	0				0	0	
廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0	
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0	
廃溶剤																				
固形油																				
油でい	0						0	0	0											
油付着物等																				
廃酸																				
廃アルカリ	0						0	0		0										
廃プラスチック類	1	0	0	0	0		1	1	1	0	0	0	0	0				0	0	
廃プラスチック	1	0	0	0	0		1	1	1	0	0	0	0	0				0	0	
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0	0	0	0	0										0			0		
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0		0	0	
鋳さい																				
がれき類	0	0	0	0	0										0			0		
コンクリート片	0	0	0	0	0										0			0		
廃アスファルト																				
その他の建設廃材	0	0	0	0	0										0			0		
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0	
感染性廃棄物																				
混合物等	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0	

表2-17 発生量及び処理・処分量(教育, 学習 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)						自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外		
合計	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	
燃え殻				0	0										0	0	0	
汚泥	0		0							0			0		0			
有機性汚泥	0		0							0			0		0			
無機性汚泥	0		0							0			0		0			
廃油	0		0							0			0		0			
一般廃油	0		0							0			0		0			
廃溶剤	0		0							0			0		0			
固形油																		
油でい	0		0							0			0		0			
油付着物等																		
廃酸	1		1							1			1		1			
廃アルカリ	0		0							0			0		0			
廃プラスチック類	0		0							0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック	0		0							0	0	0	0	0	0	0	0	
廃タイヤ	0		0							0			0		0			
紙くず																		
木くず	0		0	0														
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0	0							0	0		0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0							0			0	0	0	0	0	
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	0		0							0			0		0			
感染性廃棄物	0		0							0			0		0			
混合物等	0		0							0			0		0			

表2-17 発生量及び処理・処分量(教育, 学習 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
合計	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻											0	0	0	0	0	0			0	0
汚泥	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0
有機性汚泥	0						0	0		0	0	0	0	0				0	0	0
無機性汚泥	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0				0	0	0
廃油	0						0	0		0	0	0	0	0						0
一般廃油	0						0	0		0	0	0	0	0						0
廃溶剤	0						0	0		0	0									
固形油																				
油でい	0						0	0		0										
油付着物等																				
廃酸	1						1	1		1	0	0		0						0
廃アルカリ	0						0	0		0	0	0		0						0
廃プラスチック類	0	0	0		0		0	0		0	0	0		0	0	0			0	0
廃プラスチック	0	0	0		0		0	0		0	0	0		0	0	0			0	0
廃タイヤ	0						0	0		0	0	0		0						0
紙くず																				
木くず																				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0						0	0		0	0	0		0					0	0
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0		0	0		0	0	0		0	0	0			0	0
鋳さい											0	0		0						0
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	0						0	0		0	0	0		0						0
感染性廃棄物	0						0	0		0	0	0		0						0
混合物等	0						0	0		0	0	0		0						0

表2-18 発生量及び処理・処分量(医療, 福祉 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量						自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量			
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外		
																		(I)	
合計	8	0	8	0	0			0			8	0		8	0				
燃え殻																			
汚泥	0	0	0	0	0			0			0			0					
有機性汚泥	0	0	0	0	0			0			0			0					
無機性汚泥	0		0								0			0					
廃油	0		0	0	0			0			0	0		0					
一般廃油	0		0	0	0			0			0	0		0					
廃溶剤	0		0		0			0			0			0					
固形油																			
油でい																			
油付着物等																			
廃酸	0	0	0	0	0			0			0			0					
廃アルカリ	0		0	0	0			0			0			0					
廃プラスチック類	3	0	3	0	0			0			3			3	0				
廃プラスチック	3	0	3	0	0			0			3			3	0				
廃タイヤ	0		0								0			0					
紙くず																			
木くず																			
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0		0								0			0					
金属くず	1		1								1	0		1	0				
ガラス陶磁器くず	0		0								0	0		0	0				
鋳さい																			
がれき類																			
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	0		0								0			0					
その他の産業廃棄物	3	0	3	0	0			0			3			3	0				
感染性廃棄物	3		3	0	0			0			3			3					
混合物等	0	0	0								0			0	0				

表2-18 発生量及び処理・処分量(医療, 福祉 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
合計	8	0	0	0	0	0	8	7	0	4	4	2	1	2	1	2	0	2	1	
燃え殻												1	0	1	0	1			1	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
有機性汚泥	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
無機性汚泥	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
廃溶剤	0						0	0		0	0									
固形油																				
油でい																				
油付着物等																				
廃酸	0						0	0		0	0	0	0	0	0				0	0
廃アルカリ	0						0	0		0	0									
廃プラスチック類	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	1	0	0	0	0	0		0	0	0
廃プラスチック	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	1	0	0	0	0	0		0	0	0
廃タイヤ	0						0	0		0										
紙くず																				
木くず																				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0						0	0		0	0	0	0	0	0				0	0
金属くず	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0		0	0	0
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
鋳さい												0	0		0					0
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん	0						0	0		0	0	0	0	0	0				0	0
その他の産業廃棄物	3	0	0	0	0	0	3	3	0	1	2	0	0	0	0	0		0	0	0
感染性廃棄物	3						3	3		1	2	0	0	0	0	0		0	0	0
混合物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0

表2-19 発生量及び処理・処分量(複合サービス 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外		
合計	0	0	0								0			0	0	0			
燃え殻																			
汚泥	0		0								0			0			0		
有機性汚泥																			
無機性汚泥	0		0								0			0			0		
廃油	0	0	0								0			0			0		
一般廃油	0	0	0								0			0			0		
廃溶剤																			
固形油																			
油でい																			
油付着物等	0		0								0			0			0		
廃酸																			
廃アルカリ																			
廃プラスチック類	0		0								0			0			0		
廃プラスチック	0		0								0			0			0		
廃タイヤ	0		0								0			0			0		
紙くず																			
木くず																			
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	0		0								0			0			0		
ガラス陶磁器くず																			
鉱さい																			
がれき類																			
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	0		0								0			0			0		
感染性廃棄物																			
混合物等	0		0								0			0			0		

表2-19 発生量及び処理・処分量(複合サービス 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)			
		委託直接最終処分量		委託中間処理量						委託中間処理後量			(処理主体の内訳)							
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)		(Q)			(Q1)	(Q2)	(Q3)
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)						
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
燃え殻																				
汚泥	0					0	0		0											
有機性汚泥																				
無機性汚泥	0					0	0		0											
廃油	0					0	0		0	0			0						0	
一般廃油	0					0	0		0				0						0	
廃溶剤																				
固形油																				
油でい																				
油付着物等	0					0	0		0											
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃タイヤ	0					0	0		0				0						0	
紙くず																				
木くず																				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0					0	0		0	0			0						0	
ガラス陶磁器くず																				
鋳さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	0					0	0		0	0			0						0	
感染性廃棄物																				
混合物等	0					0	0		0	0			0						0	

表2-20 発生量及び処理・処分量(サービス業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)							自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)					
				(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内	県外				
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)											
合計	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	
燃え殻					0			0	0								0		
汚泥	0		0	0	0			0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
有機性汚泥																			
無機性汚泥	0		0	0	0			0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0								0	0		0			0		
一般廃油	0	0	0								0	0		0			0		
廃溶剤	0		0								0			0			0		
固形油																			
油でい																			
油付着物等	0		0								0			0			0		
廃酸	0		0								0			0			0		
廃アルカリ	0		0								0			0			0		
廃プラスチック類	1	0	1	0	0		0	0	0		1	0		1	0		1		
廃プラスチック	1	0	1	0	0		0	0	0		1	0		1	0		1		
廃タイヤ	0		0	0	0				0		0	0		0	0		0		
紙くず																			
木くず	0		0	0							0			0	0		0		
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	1	0	1		0	0					1			0	0		1		
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0		0		
鋳さい																			
がれき類	0		0	0	0				0		0			0			0		
コンクリート片	0		0								0			0			0		
廃アスファルト																			
その他の建設廃材	0		0	0	0				0								0		
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0				0		0	0		0			0		
感染性廃棄物	0		0								0			0			0		
混合物等	0	0	0	0	0				0		0	0		0			0		

表2-20 発生量及び処理・処分量(サービス業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量		委託中間処理量						委託中間処理後量			(処理主体の内訳)					
		処理業者	自治体	(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)	事業者	自治体		処理業者					
				県内	県外	処理業者	自治体							県内	県外			
(O)	処理業者	自治体	県内	県外	(L)	処理業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(Q)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
合計	2	0	0	0	0	2	2	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	2
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有機性汚泥																		
無機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0					0
一般廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0					0
廃溶剤	0					0	0	0	0									
固形油																		
油でい																		
油付着物等	0					0	0	0	0									
廃酸	0					0	0		0									
廃アルカリ	0					0	0	0	0	0	0	0	0					0
廃プラスチック類	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0			0	1
廃プラスチック	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0			0	1
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
紙くず																		
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0				0	
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	1
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
鋳さい										0	0		0					0
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0			0	0
コンクリート片	0					0	0	0	0	0		0		0			0	
廃アスファルト																		
その他の建設廃材	0	0	0	0	0								0	0			0	0
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
感染性廃棄物	0					0	0	0	0									
混合物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0

表2-21 発生量及び処理・処分量(公務 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量						自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)			
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外		
合計	0		0								0								
燃え殻																			
汚泥	0		0								0								
有機性汚泥																			
無機性汚泥	0		0								0								
廃油	0		0								0								
一般廃油	0		0								0								
廃溶剤																			
固形油																			
油でい																			
油付着物等																			
廃酸																			
廃アルカリ	0		0								0								
廃プラスチック類	0		0								0								
廃プラスチック	0		0								0								
廃タイヤ	0		0								0								
紙くず																			
木くず																			
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	0		0								0								
ガラス陶磁器くず																			
鋳さい																			
がれき類	0		0								0								
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材	0		0								0								
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	0		0								0								
感染性廃棄物	0		0								0								
混合物等																			

表2-21 発生量及び処理・処分量(公務 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量						
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)									
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		事業者	自治体	処理業者				
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻																			
汚泥	0						0	0	0	0				0				0	
有機性汚泥																			
無機性汚泥	0						0	0	0	0				0				0	
廃油	0						0	0	0	0									
一般廃油	0						0	0	0	0									
廃溶剤																			
固形油																			
油でい																			
油付着物等																			
廃酸																			
廃アルカリ	0						0	0	0	0									
廃プラスチック類	0						0	0	0	0	0	0		0					0
廃プラスチック	0						0	0	0	0	0	0		0					0
廃タイヤ	0						0	0	0	0	0	0		0					0
紙くず																			
木くず																			
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	0						0	0	0	0	0	0		0					0
ガラス陶磁器くず																			
鋳さい																			
がれき類	0						0	0	0	0				0				0	
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材	0						0	0	0	0	0	0		0				0	
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	0						0	0	0	0									
感染性廃棄物	0						0	0	0	0									
混合物等																			

表2-22 発生量及び処理・処分量(食料品 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
合計	20	0	20	12	1	0	0	1		8	0	8	0		9			
燃え殻					0		0								0			
汚泥	12		12	12	1			1		0	0	0	0		1			
有機性汚泥	12		12	12	1			1		0	0	0	0		1			
無機性汚泥																		
廃油	0	0	0							0	0	0	0		0			
一般廃油	0	0	0							0	0	0	0		0			
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸	0		0							0		0			0			
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	3		3	0	0		0			3		3	0		3			
廃プラスチック	3		3	0	0		0			3		3	0		3			
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0	0						0		0			0			
繊維くず																		
動植物性残さ	5	0	5	0	0	0	0			4		4			5			
動物系固形不要物	0		0							0		0			0			
ゴムくず																		
金属くず	0		0	0	0		0			0	0	0	0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0							0		0	0		0			
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-22 発生量及び処理・処分量(食料品 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
合計	9	1	1	0	1		8	8	0	3	5	7	7	1	7	2	0	2	7	
燃え殻	0						0	0		0		0	0	0	0			0	0	
汚泥	1	1	1		1		0	0		0		0	0	0	0	1		1	0	
有機性汚泥	1	1	1		1		0	0		0		0	0	0	0	1		1	0	
無機性汚泥															0				0	
廃油	0						0	0		0		0	0		0				0	
一般廃油	0						0	0		0		0	0		0				0	
廃溶剤																				
固形油																				
油でい																				
油付着物等																				
廃酸	0						0	0		0		0	0		0				0	
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	3	0	0		0		3	3		1	2	3	2	1	2	1		1	2	
廃プラスチック	3	0	0		0		3	3		1	2	3	2	1	2	1		1	2	
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0						0	0		0		0	0		0				0	
繊維くず																				
動植物性残さ	5						5	5	0	2	3	4	4		4				4	
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0		0				0	
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0			0	0	
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0		0	0	0	
鋳さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-23 発生量及び処理・処分量(飲料・飼料 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)						自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
合計	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0		
燃え殻																	
汚泥	0		0							0		0			0		
有機性汚泥	0		0							0		0			0		
無機性汚泥																	
廃油	0		0							0		0			0		
一般廃油	0		0							0		0			0		
廃溶剤																	
固形油																	
油でい																	
油付着物等																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
廃プラスチック類	0		0	0	0		0			0	0		0	0	0		
廃プラスチック	0		0	0	0		0			0	0		0	0	0		
廃タイヤ																	
紙くず																	
木くず	0		0	0	0		0			0				0	0		
繊維くず																	
動植物性残さ	0	0	0							0	0		0	0	0		
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず	0		0							0		0			0		
ガラス陶磁器くず	0		0							0		0	0		0		
鋳さい																	
がれき類																	
コンクリート片																	
廃アスファルト																	
その他の建設廃材																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
ばいじん																	
その他の産業廃棄物																	
感染性廃棄物																	
混合物等																	

表2-23 発生量及び処理・処分量(飲料・飼料 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳 委託直接最終処分量				委託中間処理量				再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (R)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)			
		(O)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(L)	(処理主体 の内訳)			(処理先地域 の内訳)		委託中間処理後量		(Q)	(処理主体の内訳)							
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体		県内	県外	(M)			(処理後の処理内訳)					事業者	自治体	処理業者
																再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)						
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
燃え殻																							
汚泥	0					0	0		0														
有機性汚泥	0					0	0		0														
無機性汚泥																							
廃油	0					0	0		0														
一般廃油	0					0	0		0														
廃溶剤																							
固形油																							
油でい																							
油付着物等																							
廃酸																							
廃アルカリ																							
廃プラスチック類	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0			0		
廃プラスチック	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0			0		
廃タイヤ																							
紙くず																							
木くず	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0	0						0		
繊維くず																							
動植物性残さ	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0	0						0		
動物系固形不要物																							
ゴムくず																							
金属くず	0					0	0		0	0	0	0	0	0	0							0	
ガラス陶磁器くず	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0					0	
鋳さい																							
がれき類																							
コンクリート片																							
廃アスファルト																							
その他の建設廃材																							
動物のふん尿																							
動物の死体																							
ばいじん																							
その他の産業廃棄物																							
感染性廃棄物																							
混合物等																							

表2-24 発生量及び処理・処分量(繊維 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
合計	7	0	7	4	3	0	2	0		3	0	1	2		5			
燃え殻					0			0							0			
汚泥	5		5	3	2		2	0		2		0	2		4			
有機性汚泥	0		0							0		0			0			
無機性汚泥	5		5	3	2		2	0		2		0	2		4			
廃油	0		0							0		0			0			
一般廃油	0		0							0		0			0			
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等	0		0							0		0			0			
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0		0	0	0		0			0	0	0	0		0			
廃プラスチック	0		0	0	0		0			0	0	0	0		0			
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0							0		0			0			
繊維くず	1	0	1	0	0	0				0		0	0		0			
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず	0		0							0		0			0			
金属くず	0	0	0							0	0	0	0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0							0		0	0		0			
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん	0		0							0		0			0			
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-24 発生量及び処理・処分量(繊維 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量						
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)									
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		事業者	自治体	処理業者				
合計	5	2	2	2	0	3	3	0	1	2	2	1	0	2	2			2	2
燃え殻	0	0	0	0	0						0	0	0	0	0			0	0
汚泥	4	2	2	2	0	2	2		2	1	1	1	0	1	2			2	1
有機性汚泥	0					0	0		0										
無機性汚泥	4	2	2	2	0	2	2		2	1	1	1	0	1	2			2	1
廃油	0					0	0		0	0	0	0	0	0					0
一般廃油	0					0	0		0	0	0	0	0	0					0
廃溶剤																			
固形油																			
油でい																			
油付着物等	0					0	0		0										
廃酸																			
廃アルカリ																			
廃プラスチック類	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃プラスチック	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0					0	0		0	0	0	0	0	0					0
繊維くず	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	1
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0					0	0		0										
金属くず	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0				0	0
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0				0	0
鋳さい											0	0		0					0
がれき類																			
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	0	0	0	0										0				0	
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-25 発生量及び処理・処分量(木材 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量	
				自己中間処理後量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)	
						再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外
合計	25	3	22	19	0	0	0	0	0	2	0	2	0	3				
燃え殻	0		0	0			0	0		0			0	0				
汚泥	0		0							0		0		0				
有機性汚泥	0		0							0		0		0				
無機性汚泥	0		0							0		0		0				
廃油	0		0							0		0		0				
一般廃油	0		0							0		0		0				
廃溶剤																		
固形油																		
油でい	0		0							0		0		0				
油付着物等																		
廃酸																		
廃アルカリ	0		0							0		0		0				
廃プラスチック類	0		0							0		0		0				
廃プラスチック	0		0							0		0		0				
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	24	3	21	19	0	0				1	0	1	0	1				
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0	0							0		0		0				
ガラス陶磁器くず	0		0							0		0		0				
鋳さい																		
がれき類	0		0							0		0	0	0				
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材	0		0							0		0	0	0				
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-25 発生量及び処理・処分量(木材 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
合計	3	1	1	1	2	2	2	0	2	1	0	2	1			1	4			
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
汚泥	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
有機性汚泥	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
無機性汚泥	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
廃油	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0				0			
一般廃油	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0				0			
廃溶剤																				
固形油																				
油でい	0				0	0	0	0												
油付着物等																				
廃酸																				
廃アルカリ	0				0	0	0	0												
廃プラスチック類	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0				0			
廃プラスチック	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0				0			
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1		1	0			0	4			
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0				0			
ガラス陶磁器くず	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0				0			
鋳さい																				
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-26 発生量及び処理・処分量(家具 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
合計	2	0	2	0	0		0	0		2	0		2	0		2		
燃え殻				0			0	0								0		
汚泥																		
有機性汚泥																		
無機性汚泥																		
廃油																		
一般廃油																		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0		0							0	0		0	0		0		
廃プラスチック	0		0							0	0		0	0		0		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	2		2	0	0			0		2	0		1	0		2		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0	0							0	0		0			0		
ガラス陶磁器くず	0		0							0	0		0	0		0		
鋳さい																		
がれき類	0		0							0			0	0		0		
コンクリート片	0		0							0			0			0		
廃アスファルト	0		0							0			0			0		
その他の建設廃材	0		0							0				0		0		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-26 発生量及び処理・処分量(家具 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
合計	2	0	0	0	0	0	2	2	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚泥																				
有機性汚泥																				
無機性汚泥																				
廃油																				
一般廃油																				
廃溶剤																				
固形油																				
油でい																				
油付着物等																				
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	2	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鋳さい																				
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コンクリート片	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アスファルト	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の建設廃材	0	0	0	0	0									0			0			
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-27 発生量及び処理・処分量(パルプ・紙 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量						自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量			
				自己中間処理後量 (D)	再生 利用量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)				(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の 内訳)			
						自己 最終 処分量 (E1)	委託 中間 処理量 (E2)	委託 直接最終 処分量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)		その他 量 (G5)	県内	県外	
																			(I)
合計	13	1	12	0	0		0				12	0	1	11	1		12	1	1
燃え殻	7		7	0			0				7			7			7		
汚泥	0		0								0			0	0		0		
有機性汚泥	0		0								0			0	0		0		
無機性汚泥	0		0								0			0			0		
廃油	0		0	0							0			0			0		
一般廃油	0		0								0			0			0		
廃溶剤	0		0								0			0			0		
固形油																			
油でい																			
油付着物等	0		0	0															
廃酸	0		0								0			0			0		
廃アルカリ	0		0								0			0			0		
廃プラスチック類	1		1								1			0	0		1		
廃プラスチック	1		1								1			0	0		1		
廃タイヤ																			
紙くず	2	1	1								1	0	0	1	0		1	0	0
木くず	3		3								3	0	1	3	0		3	1	1
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	0	0	0								0			0	0		0		
ガラス陶磁器くず																			
鋳さい																			
がれき類	0		0								0				0		0		
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材	0		0								0				0		0		
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-27 発生量及び処理・処分量(パルプ・紙 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳 委託直接最終処分量						委託中間処理量						再生 利用量 (R)	最終処分量				その他 量 (J)	資源化 量 (S)
		(O)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(L)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(M)	(処理後の処理内訳)		(処理主体の内訳)					
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生 利用量 (M1)		最終 処分量 (M2)	事業者	自治体	処理業者		
合計	12	1	1	1	0	11	11	0	3	8	8	8	8	0	8	1	1	1	1	9
燃え殻	7					7	7		0	7	7	7	7	0	7	0			0	7
汚泥	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
有機性汚泥	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
無機性汚泥	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃油	0					0	0		0	0										
一般廃油	0					0	0		0	0										
廃溶剤	0					0	0		0	0										
固形油																				
油でい																				
油付着物等																				
廃酸	0					0	0		0	0										
廃アルカリ	0					0	0		0	0										
廃プラスチック類	1	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃プラスチック	1	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃タイヤ																				
紙くず	1	0	0	0		1	1	0	0	0	1	1		1	0	0			0	1
木くず	3	0	0	0		3	3		2	0	0	0		0	1	1			0	0
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
ガラス陶磁器くず																				
鋳さい																				
がれき類	0	0	0	0											0				0	
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材	0	0	0	0											0				0	
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-28 発生量及び処理・処分量(印刷 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)						自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)			
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)					
				(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外			
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)											
合計	1	0	1	0	0		0				1	0		1	0		1		
燃え殻																			
汚泥																			
有機性汚泥																			
無機性汚泥																			
廃油	0		0								0			0			0		
一般廃油	0		0								0			0			0		
廃溶剤	0		0								0			0			0		
固形油																			
油でい																			
油付着物等	0		0								0			0			0		
廃酸	0		0								0			0			0		
廃アルカリ	0	0	0								0			0			0		
廃プラスチック類	0		0								0			0	0		0		
廃プラスチック	0		0								0			0	0		0		
廃タイヤ																			
紙くず	1	0	1	0	0			0			1	0		1	0		1		
木くず	0		0								0			0			0		
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	0	0	0								0			0	0		0		
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0			0		
鋳さい																			
がれき類																			
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-28 発生量及び処理・処分量(印刷 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
合計	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	
燃え殻											0	0	0	0	0			0	0	
汚泥											0	0	0	0	0			0	0	
有機性汚泥																				
無機性汚泥											0	0	0	0	0			0	0	
廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0	
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0	
廃溶剤	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0	
固形油																				
油でい																				
油付着物等	0						0	0	0	0										
廃酸	0						0	0	0	0										
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0	
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
廃タイヤ																				
紙くず	1	0	0	0			1	1	1	0	1	1		1	0			0	1	
木くず	0						0	0	0		0	0		0					0	
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
ガラス陶磁器くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
鋳さい											0	0		0					0	
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-29 発生量及び処理・処分量(化学 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量					自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)				
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)				(G)	(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)		その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)		委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内	県外	
合計	2		2								2	0		1	0		2		
燃え殻																			
汚泥	0		0								0			0			0		
有機性汚泥	0		0								0			0			0		
無機性汚泥	0		0								0			0			0		
廃油	0		0								0			0			0		
一般廃油	0		0								0			0			0		
廃溶剤	0		0								0			0			0		
固形油																			
油でい																			
油付着物等																			
廃酸	0		0								0			0			0		
廃アルカリ	0		0								0			0			0		
廃プラスチック類	0		0								0			0	0		0		
廃プラスチック	0		0								0			0	0		0		
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0		0								0			0	0		0		
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	0		0								0			0			0		
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0		0		
鋳さい																			
がれき類																			
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	0		0								0	0					0		
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-29 発生量及び処理・処分量(化学 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者	自治体	処理業者					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)								(Q1)	(Q2)
合計	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1			1	0	
燃え殻										0	0	0	0	0				0	0	
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	
有機性汚泥	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	
無機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	
廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
一般廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
廃溶剤	0					0	0	0	0											
固形油																				
油でい																				
油付着物等																				
廃酸	0					0	0	0	0											
廃アルカリ	0					0	0	0	0											
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	
鋳さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん	0	0	0	0	0								0	0				0	0	
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-30 発生量及び処理・処分量(石油・石炭 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)					自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)			
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)			
				(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外		
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)										
合計	0		0								0			0	0	0		
燃え殻																		
汚泥																		
有機性汚泥																		
無機性汚泥																		
廃油																		
一般廃油																		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0		0								0					0		
廃プラスチック	0		0								0					0		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0								0					0		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず																		
ガラス陶磁器くず																		
鋳さい																		
がれき類	0		0								0					0		
コンクリート片																		
廃アスファルト	0		0								0					0		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-30 発生量及び処理・処分量(石油・石炭 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳 委託直接最終処分量				委託中間処理量								再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		(O)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(L)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		委託中間処理後量			(Q)	(処理主体の内訳)					
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外	(M)	(処理後の処理内訳)			事業者	自治体			処理業者	
													再生 利用量 (M1)								最終 処分量 (M2)
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
燃え殻																					
汚泥																					
有機性汚泥																					
無機性汚泥																					
廃油																					
一般廃油																					
廃溶剤																					
固形油																					
油でい																					
油付着物等																					
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラスチック類	0	0	0	0										0		0					
廃プラスチック	0	0	0	0										0		0					
廃タイヤ																					
紙くず																					
木くず	0	0	0	0										0		0					
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず																					
ガラス陶磁器くず																					
鋳さい																					
がれき類	0					0	0		0	0		0		0				0			
コンクリート片																					
廃アスファルト	0					0	0		0	0		0		0				0			
その他の建設廃材																					
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん																					
その他の産業廃棄物																					
感染性廃棄物																					
混合物等																					

表2-31 発生量及び処理・処分量(プラスチック 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)						自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳) (G1-G5)					(処理先地域の内訳)				
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外		
合計	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1		
燃え殻					0			0								0		
汚泥	0		0	0	0			0			0		0			0		
有機性汚泥	0		0	0	0			0			0		0			0		
無機性汚泥																		
廃油	1		1	0	0	0					0		0			0		
一般廃油	1		1	0	0	0					0		0			0		
廃溶剤	0		0								0		0			0		
固形油																		
油でい																		
油付着物等	0		0								0		0			0		
廃酸	0		0								0		0			0		
廃アルカリ	0		0								0		0			0		
廃プラスチック類	2	0	1	0							1	0	1	0		1		
廃プラスチック	2	0	1	0							1	0	1	0		1		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0								0		0			0		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0	0								0		0			0		
ガラス陶磁器くず	0		0								0		0			0		
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん	0		0								0		0			0		
その他の産業廃棄物	0		0								0		0			0		
感染性廃棄物	0		0								0		0			0		
混合物等	0		0								0		0			0		

表2-31 発生量及び処理・処分量(プラスチック 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
合計	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1		
燃え殻	0						0	0		0	0	0	0	0				0	0	
汚泥	0						0	0		0										
有機性汚泥	0						0	0		0										
無機性汚泥	0						0	0		0										
廃油	0						0	0		0	0		0						0	
一般廃油	0						0	0		0	0		0						0	
廃溶剤	0						0	0		0										
固形油																				
油でい																				
油付着物等	0						0	0		0										
廃酸	0						0	0		0										
廃アルカリ	0						0	0		0										
廃プラスチック類	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0			0		1	
廃プラスチック	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0			0		1	
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0						0	0		0	0		0						0	
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0						0	0		0	0	0	0	0				0	0	
ガラス陶磁器くず	0						0	0		0	0	0	0	0				0	0	
鋳さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん	0						0	0		0		0		0				0		
その他の産業廃棄物	0						0	0		0	0									
感染性廃棄物	0						0	0		0										
混合物等	0						0	0		0										

表2-32 発生量及び処理・処分量(ゴム 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)						自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
				(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外		
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)										
合計	1	0	1								1		0	0		1		
燃え殻	0		0								0		0			0		
汚泥	0		0								0		0			0		
有機性汚泥	0		0								0		0			0		
無機性汚泥																		
廃油	0		0								0		0			0		
一般廃油	0		0								0		0			0		
廃溶剤	0		0								0		0			0		
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸																		
廃アルカリ	0		0								0		0			0		
廃プラスチック類	0		0								0		0	0		0		
廃プラスチック	0		0								0		0	0		0		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0																
ガラス陶磁器くず																		
鉱さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-32 発生量及び処理・処分量(ゴム 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)
		委託直接最終処分量				委託中間処理量							委託中間処理後量					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)								
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		事業者	自治体	処理業者			
(O)				(L)				(M)			(Q1)	(Q2)	(Q3)					
合計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
燃え殻	0				0	0		0	0	0	0	0	0	0			0	0
汚泥	0				0	0		0										
有機性汚泥	0				0	0		0										
無機性汚泥																		
廃油	0				0	0		0	0	0	0	0	0					0
一般廃油	0				0	0		0	0	0	0	0	0					0
廃溶剤	0				0	0		0										
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸																		
廃アルカリ	0				0	0		0										
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず																		0
ガラス陶磁器くず																		
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-33 発生量及び処理・処分量(皮革 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)						自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外		
合計	0		0							0			0					
燃え殻																		
汚泥																		
有機性汚泥																		
無機性汚泥																		
廃油																		
一般廃油																		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0		0							0			0					
廃プラスチック	0		0							0			0					
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0							0			0					
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず																		
ガラス陶磁器くず																		
鉱さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-33 発生量及び処理・処分量(皮革 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量				委託中間処理量							(Q)	(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(L)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		委託中間処理後量			(Q1)	(Q2)			(Q3)	
		処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)								最終 処分量 (M2)
合計	0	0					0	0	0	0	0	0						0	
燃え殻											0	0	0					0	
汚泥																			
有機性汚泥																			
無機性汚泥																			
廃油																			
一般廃油																			
廃溶剤																			
固形油																			
油でい																			
油付着物等																			
廃酸																			
廃アルカリ																			
廃プラスチック類	0					0	0	0											
廃プラスチック	0					0	0	0											
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0					0	0	0											
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず																			
ガラス陶磁器くず																			
鋳さい																			
がれき類																			
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-34 発生量及び処理・処分量(窯業 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量	
				自己中間処理後量 (D)	再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域 の内訳)			
										再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
																		(G)
合計	76	0	76	43	27	10	0	15	1	33	2	10	13	4	4	47	10	10
燃え殻																		
汚泥	30		30	27	11	10		0	1	2	1		1	0		2		
有機性汚泥																		
無機性汚泥	30		30	27	11	10		0	1	2	1		1	0		2		
廃油	0		0							0			0			0		
一般廃油	0		0							0			0			0		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい	0		0							0			0			0		
油付着物等	0		0							0			0			0		
廃酸																		
廃アルカリ	0		0							0			0			0		
廃プラスチック類	0		0							0	0		0	0		0		
廃プラスチック	0		0							0	0		0	0		0		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0	0	0							0	0		0	0		0		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0	0							0	0		0	0		0		
ガラス陶磁器くず	45		45	16	16	0	0	15	0	29	1	10	10	4	4	44	10	10
鉱さい	1		1							1			1			1		
がれき類	0		0		0				0	0	0		0	0		1		
コンクリート片	0		0		0				0	0			0			1		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材	0		0							0				0		0		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-34 発生量及び処理・処分量(窯業 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量		委託中間処理量				委託中間処理後量					(処理主体の内訳)						
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)				
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)								
合計	33	5	5	5	28	28	28	0	27	26	1	38	16	10	6	4	38		
燃え殻									0	0	0	0	0				0	0	
汚泥	2	1	1	1	2	2	2	0	0	0		11	1				1	11	
有機性汚泥																			
無機性汚泥	2	1	1	1	2	2	2	0	0	0		11	1				1	11	
廃油	0				0	0	0		0	0		0						0	
一般廃油	0				0	0	0		0	0		0						0	
廃溶剤																			
固形油																			
油でい	0				0	0	0		0	0		0						0	
油付着物等	0				0	0	0												
廃酸																			
廃アルカリ	0				0	0	0												
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0				0	0	
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0				0	0	
ガラス陶磁器くず	30	4	4	4	25	25	25		24	23	1	24	15	10			5	4	24
鋳さい	1				1	1	1		2	2		2							2
がれき類	1	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0					0	0
コンクリート片	1	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0					0	0
廃アスファルト																			
その他の建設廃材	0	0	0	0									0					0	
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-35 発生量及び処理・処分量(鉄鋼 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量	
				自己中間処理後量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)	
						再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外
合計	99	10	89	36	36	25	4		7		53	0	8	30	14	63	12	12
燃え殻																		
汚泥	5	2	3								3	0	2	0	0	2	2	2
有機性汚泥																		
無機性汚泥	5	2	3								3	0	2	0	0	2	2	2
廃油	1		1								1			1		1		
一般廃油	0		0								0			0		0		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい	1		1								1			1		1		
油付着物等	0		0								0			0		0		
廃酸	0		0								0			0	0	0		
廃アルカリ	0		0								0			0		0		
廃プラスチック類	1		1								1			1	0	1		
廃プラスチック	1		1								1			1	0	1		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0								0			0		0		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	8	0	8	7	7	7					1	0		1		1		
ガラス陶磁器くず	14	7	7								7		2	0	4	7	2	2
鋳さい	57	0	57	29	29	18	4		7		29	0	4	15	10	40	7	7
がれき類	0		0								0			0		0		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材	0		0								0			0		0		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん	12	1	11	1	1	1					10			10	0	10		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-35 発生量及び処理・処分量(鉄鋼 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量						その他 量 (J)	資源化 量 (S)
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)			(処理後の処理内訳)		事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)			
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		最終 処分量 (Q)							
合計	52	21	19	2	15	6	30	30	11	20	28	24	4	50	37	12	2	22		60
燃え殻											0	0	0	0	0			0		0
汚泥	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2		0		2
有機性汚泥																				
無機性汚泥	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2		0		2
廃油	1						1	1	0	1	0	0	0	0						0
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0						0
廃溶剤																				
固形油																				
油でい	1						1	1	0	1	0	0	0	0						0
油付着物等	0						0	0	0	0										
廃酸	0	0	0			0	0	0		0					0			0		
廃アルカリ	0						0	0		0										
廃プラスチック類	1	0	0		0		1	1	1	1	1	1	0	1	0			0		1
廃プラスチック	1	0	0		0		1	1	1	1	1	1	0	1	0			0		1
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0						0
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	1						1	1	0	1	0	0	0	7	0			0		7
ガラス陶磁器くず	4	4	4		4		0	0	0	0	0	0	0	0	7	2		4		7
鋸さい	32	17	15	2	11	6	15	15	9	6	15	14	1	32	26	7	2	17		32
がれき類	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材	0						0	0	0	0	0	0	0	0				0		0
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん	10	0		0		0	10	10	0	10	10	9	2	10	2		0	2		11
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-36 発生量及び処理・処分量(非鉄金属 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量					自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)			
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)				(G)	(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)		その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)		委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内	県外
合計	0		0								0	0	0	0				
燃え殻																		
汚泥																		
有機性汚泥																		
無機性汚泥																		
廃油	0		0								0	0	0	0				
一般廃油	0		0								0	0	0	0				
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等	0		0								0		0	0				
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0		0								0		0	0				
廃プラスチック	0		0								0		0	0				
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0								0		0	0				
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0		0								0		0	0				
ガラス陶磁器くず																		
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-36 発生量及び処理・処分量(非鉄金属 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)			
		委託直接最終処分量		委託中間処理量						委託中間処理後量			(処理主体の内訳)							
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)		(Q)			(Q1)	(Q2)	(Q3)
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)						
合計	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
燃え殻												0	0	0	0			0	0	
汚泥																				
有機性汚泥																				
無機性汚泥																				
廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0	
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0	
廃溶剤																				
固形油																				
油でい																				
油付着物等	0						0	0	0											
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
廃プラスチック	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0						0	0	0											
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0						0	0	0	0	0	0	0						0	
ガラス陶磁器くず																				
鋳さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-37 発生量及び処理・処分量(金属 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
合計	4	0	4	2	0		0	0		2	0		2	0		2		
燃え殻					0		0									0		
汚泥	2		2	2	0			0		0			0	0		0		
有機性汚泥																		
無機性汚泥	2		2	2	0			0		0			0	0		0		
廃油	0		0	0	0			0		0	0		0			0		
一般廃油	0		0	0	0			0		0	0		0			0		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい	0		0							0			0			0		
油付着物等	0		0							0			0			0		
廃酸	0		0							0			0			0		
廃アルカリ	0		0							0			0			0		
廃プラスチック類	1	0	1							1	0		1	0		1		
廃プラスチック	1	0	1							1	0		1	0		1		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0	0						0	0		0	0		0		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず	0		0							0			0			0		
金属くず	1	0	1	0	0			0		0			0			0		
ガラス陶磁器くず	0		0							0			0			0		
鋳さい																		
がれき類	0		0							0					0	0		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材	0		0							0					0	0		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-37 発生量及び処理・処分量(金属 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量				委託中間処理量							再生 利用量 (M)	最終 処分量 (Q)	(処理主体の内訳)				
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)					事業者 (Q1)			自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)								
合計	2	0	0	0	0	2	2	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1
燃え殻	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	
有機性汚泥																			
無機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	
廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
一般廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
廃溶剤																			
固形油																			
油でい	0					0	0	0											
油付着物等	0					0	0	0											
廃酸	0					0	0		0										
廃アルカリ	0					0	0		0										
廃プラスチック類	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0				0	1
廃プラスチック	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0				0	1
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0					0	0	0											
金属くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	1
ガラス陶磁器くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
鋳さい																			
がれき類	0	0	0	0	0									0				0	
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材	0	0	0	0	0									0				0	
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-38 発生量及び処理・処分量(はん用機器 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)					自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)			
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)			
				(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外		
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)										
合計	1	0	1								1	0		1	0			
燃え殻																		
汚泥	0		0								0			0				
有機性汚泥																		
無機性汚泥	0		0								0			0				
廃油	0	0	0								0	0		0				
一般廃油	0	0	0								0	0		0				
廃溶剤																		
固形油																		
油でい	0		0								0			0				
油付着物等																		
廃酸																		
廃アルカリ	0		0								0			0				
廃プラスチック類	0	0	0								0			0	0			
廃プラスチック	0	0	0								0			0	0			
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0	0	0								0			0				
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	1	0	0								0			0				
ガラス陶磁器くず																		
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	0	0																
感染性廃棄物																		
混合物等	0	0																

表2-38 発生量及び処理・処分量(はん用機器 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)				
		委託直接最終処分量		委託中間処理量						委託中間処理後量			(処理主体の内訳)									
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)							
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)											
(O)								(L)					(M)	(M1)	(M2)	(Q)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J)	(S)	
合計	1	0	0		0			1	1		0	0	1	1	0	1	0			0		1
燃え殻													0	0	0	0	0			0		0
汚泥	0							0	0				0	0		0						0
有機性汚泥																						
無機性汚泥	0							0	0				0	0		0						0
廃油	0							0	0				0	0		0						0
一般廃油	0							0	0				0	0		0						0
廃溶剤																						
固形油																						
油でい	0							0	0				0	0		0						0
油付着物等																						
廃酸																						
廃アルカリ	0							0	0													
廃プラスチック類	0	0	0		0			0	0				0	0	0	0	0			0		0
廃プラスチック	0	0	0		0			0	0				0	0	0	0	0			0		0
廃タイヤ																						
紙くず																						
木くず	0							0	0													0
繊維くず																						
動植物性残さ																						
動物系固形不要物																						
ゴムくず																						
金属くず	0							0	0				0	0	0	0	0			0		1
ガラス陶磁器くず																						
鋳さい																						
がれき類																						
コンクリート片																						
廃アスファルト																						
その他の建設廃材																						
動物のふん尿																						
動物の死体																						
ばいじん																						
その他の産業廃棄物																						0
感染性廃棄物																						
混合物等																						0

表2-39 発生量及び処理・処分量(生産用機器 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量	
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
																		(I)
合計	6	1	5	3	0		0	0		2	0		1	0		2		
燃え殻	0		0							0				0		0		
汚泥	3		3	3	0			0		0			0	0		0		
有機性汚泥																		
無機性汚泥	3		3	3	0			0		0			0	0		0		
廃油	0		0							0	0		0			0		
一般廃油	0		0							0	0		0			0		
廃溶剤	0		0							0	0					0		
固形油	0		0							0						0		
油でい																		
油付着物等	0		0							0	0		0			0		
廃酸	0		0							0			0			0		
廃アルカリ	0		0							0			0			0		
廃プラスチック類	1	0	1							1	0		0	0		0		
廃プラスチック	1	0	1							1	0		0	0		0		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0	0	0			0		0			0			0		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず	0	0																
金属くず	1	1	0							0			0	0		0		
ガラス陶磁器くず	0		0							0			0	0		0		
鋳さい																		
がれき類	0		0							0			0			0		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材	0		0							0			0			0		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-39 発生量及び処理・処分量(生産用機器 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量						その他 量 (J)	資源化 量 (S)
		委託直接最終処分量		委託中間処理量									委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
				(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)				(処理後の処理内訳)			事業者	自治体	処理業者					
		処理業者	自治体	処理業者	自治体	県内	県外	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		(Q1)	(Q2)	(Q3)					
合計	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0			0	2
燃え殻	0	0	0		0							0	0	0	0	0			0	0
汚泥	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0	0
有機性汚泥																				
無機性汚泥	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0	0
廃油	0						0	0		0	0	0	0		0					0
一般廃油	0						0	0		0	0	0	0		0					0
廃溶剤															0					0
固形油	0						0	0			0									0
油でい																				
油付着物等	0						0	0		0	0	0	0		0					0
廃酸	0						0	0		0	0									
廃アルカリ	0						0	0		0	0									
廃プラスチック類	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃プラスチック	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0						0	0	0	0	0	0	0		0					0
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				0
金属くず	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0	1
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			0	0
鋳さい																				
がれき類	0						0	0		0	0	0	0		0				0	
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材	0						0	0		0	0	0	0		0				0	
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表2-40 発生量及び処理・処分量(業務用機器 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)							自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
				(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内	県外			
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)										
合計	2	1	1	0	0				0	1	0		1			1		
燃え殻																		
汚泥	0		0							0			0			0		
有機性汚泥	0		0							0			0			0		
無機性汚泥	0		0							0			0			0		
廃油	0		0							0			0			0		
一般廃油	0		0							0			0			0		
廃溶剤	0		0							0			0			0		
固形油																		
油でい																		
油付着物等	0		0							0			0			0		
廃酸	0		0							0			0			0		
廃アルカリ	0		0							0			0			0		
廃プラスチック類	1	0	1							1	0		1			1		
廃プラスチック	1	0	1							1	0		1			1		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0							0	0		0			0		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	1	1	0							0	0		0			0		
ガラス陶磁器くず	0		0	0	0				0	0			0			0		
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	0		0							0			0			0		
感染性廃棄物	0		0							0			0			0		
混合物等																		

表2-40 発生量及び処理・処分量(業務用機器 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)			
		委託直接最終処分量		委託中間処理量						委託中間処理後量			(処理主体の内訳)							
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)		(Q)			(Q1)	(Q2)	(Q3)
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)						
合計	1	0	0		0		1	1		1	0	1	0	1				1	1	
燃え殻												0	0	0	0				0	0
汚泥	0						0	0		0	0			0					0	
有機性汚泥	0						0	0		0									0	
無機性汚泥	0						0	0		0				0					0	
廃油	0						0	0		0	0									
一般廃油	0						0	0		0	0									
廃溶剤	0						0	0		0										
固形油																				
油でい																				
油付着物等	0						0	0		0										
廃酸	0						0	0												
廃アルカリ	0						0	0												
廃プラスチック類	1						1	1		1	0	1	0	1					1	0
廃プラスチック	1						1	1		1	0	1	0	1					1	0
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0						0	0		0				0						0
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0						0	0		0	0			0						1
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0				0	0
鋳さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	0						0	0		0	0									
感染性廃棄物	0						0	0		0	0									
混合物等																				

表2-41 発生量及び処理・処分量(電子部品 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外		
合計	14	4	10	3	1			1			7	1		6	0		7		
燃え殻																			
汚泥	4	0	4	3	1			1			1	0		0	0		1		
有機性汚泥	0		0	0	0			0			0	0			0		0		
無機性汚泥	4	0	4	3	1			1			1	0		0	0		1		
廃油	3		3								3	0		3			3		
一般廃油	3		3								3	0		2			2		
廃溶剤	0		0								0			0			0		
固形油	0		0								0			0			0		
油でい																			
油付着物等	0		0								0			0			0		
廃酸	1		1								1	0		1			1		
廃アルカリ	0		0								0			0			0		
廃プラスチック類	5	3	2								2	0		2	0		2		
廃プラスチック	5	3	2								2	0		2	0		2		
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0		0								0			0			0		
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0		0								0			0			0		
金属くず	1	1	0								0			0			0		
ガラス陶磁器くず	0		0								0	0		0	0		0		
鋳さい																			
がれき類																			
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-41 発生量及び処理・処分量(電子部品 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量				委託中間処理量							委託中間処理後量						
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			(処理主体の内訳)						
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		事業者	自治体	処理業者				
合計	7	0	0	0	7	7	1	5	5	5	0	6	0			0	9		
燃え殻									0	0	0	0	0			0	0		
汚泥	1	0	0	0	1	1		1	1	1		1	0			0	1		
有機性汚泥	0	0	0	0	0	0		0				0	0			0	0		
無機性汚泥	1				1	1		1	1	1		1					1		
廃油	3				3	3	0	3	2	2		2					2		
一般廃油	2				2	2	0	2	2	2		2					2		
廃溶剤	0				0	0	0	0											
固形油	0				0	0		0											
油でい																			
油付着物等	0				0	0		0											
廃酸	1				1	1		1	0	0		0					0		
廃アルカリ	0				0	0		0											
廃プラスチック類	2	0	0	0	2	2	1	1	1	1	0	1	0			0	4		
廃プラスチック	2	0	0	0	2	2	1	1	1	1	0	1	0			0	4		
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0				0	0		0	0	0		0					0		
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0				0	0		0											
金属くず	0				0	0		0	0	0		0					1		
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
鋳さい										0	0		0				0		
がれき類																			
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-42 発生量及び処理・処分量(電気機器 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外		
合計	1	0	1								1	0		1					
燃え殻																			
汚泥	0		0								0			0					
有機性汚泥																			
無機性汚泥	0		0								0			0					
廃油	0		0								0			0					
一般廃油	0		0								0			0					
廃溶剤																			
固形油	0		0								0			0					
油でい																			
油付着物等																			
廃酸	0		0								0			0					
廃アルカリ	0		0								0			0					
廃プラスチック類	0		0								0	0		0					
廃プラスチック	0		0								0	0		0					
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0		0								0			0					
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	1	0	1								1			1					
ガラス陶磁器くず																			
鋳さい																			
がれき類																			
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他の建設廃材																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	0		0								0			0					
感染性廃棄物																			
混合物等	0		0								0			0					

表2-42 発生量及び処理・処分量(電気機器 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)			
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)						
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)			事業者	自治体	処理業者						
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)								(Q1)	(Q2)	(Q3)
合計	1						1	1		1	0	1	1	0	1	0			0		1
燃え殻												0	0	0	0	0			0		0
汚泥	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0					0
有機性汚泥																					
無機性汚泥	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0					0
廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0					0
一般廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0					0
廃溶剤																					
固形油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0					0
油でい																					
油付着物等																					
廃酸	0						0	0		0											
廃アルカリ	0						0	0		0											
廃プラスチック類	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
廃プラスチック	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
廃タイヤ																					
紙くず																					
木くず	0						0	0		0											
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	1						1	1		1	1	0	1	0	1	0			0		1
ガラス陶磁器くず																					
鋳さい																					
がれき類																					
コンクリート片																					
廃アスファルト																					
その他の建設廃材																					
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0					0
感染性廃棄物																					
混合物等	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0					0

表2-43 発生量及び処理・処分量(情報機器 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)						自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳) (G)					(処理先地域の内訳)				
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外		
合計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1			1					
燃え殻																		
汚泥	0		0							0			0				0	
有機性汚泥	0		0							0			0				0	
無機性汚泥	0		0							0			0				0	
廃油	0		0							0			0				0	
一般廃油	0		0							0			0				0	
廃溶剤	0		0							0			0				0	
固形油																		
油でい																		
油付着物等	0		0							0			0				0	
廃酸	0		0							0			0				0	
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	1	0	0	0	0	0				0			0				0	
廃プラスチック	1	0	0	0	0	0				0			0				0	
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0		0	0	0			0		0			0				0	
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0	0							0			0				0	
ガラス陶磁器くず	0		0							0			0				0	
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-43 発生量及び処理・処分量(情報機器 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)
		委託直接最終処分量				委託中間処理量							委託中間処理後量					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)								
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		事業者	自治体	処理業者			
合計	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
燃え殻																		
汚泥	0					0	0	0	0									
有機性汚泥	0					0	0	0	0									
無機性汚泥	0					0	0	0	0									
廃油	0					0	0	0	0									
一般廃油	0					0	0	0	0									
廃溶剤	0					0	0	0	0									
固形油																		
油でい																		
油付着物等	0					0	0	0	0									
廃酸	0					0	0	0	0									
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0					0	0	0	0	0	0	0	0					1
廃プラスチック	0					0	0	0	0	0	0	0	0					1
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0					0
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0					0
ガラス陶磁器くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0					0
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表2-44 発生量及び処理・処分量(輸送機器 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量		
				自己中間処理後量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)		
						再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		県内	県外	
																			(I)
合計	44	6	39	0	0				0		38	0		38	0		38		
燃え殻																			
汚泥	0		0	0	0				0		0	0		0	0		0		
有機性汚泥	0		0								0	0		0	0		0		
無機性汚泥	0		0	0	0				0		0	0		0	0		0		
廃油	0		0								0	0		0	0		0		
一般廃油	0		0								0	0		0	0		0		
廃溶剤	0		0								0	0		0	0		0		
固形油																			
油でい	0		0								0	0		0	0		0		
油付着物等	0		0								0	0		0	0		0		
廃酸	0		0								0	0		0	0		0		
廃アルカリ	0		0								0	0		0	0		0		
廃プラスチック類	1		1								1	0		0	0		1		
廃プラスチック	1		1								1	0		0	0		1		
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0		0								0	0		0	0		0		
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	6	6	0								0	0		0	0		0		
ガラス陶磁器くず	0		0								0	0		0	0		0		
鋳さい	35		35								35	0		35	0		35		
がれき類	0		0								0	0		0	0		0		
コンクリート片	0		0								0	0		0	0		0		
廃アスファルト																			
その他の建設廃材	0		0								0	0		0	0		0		
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	1		1								1	0		1	0		1		
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-44 発生量及び処理・処分量(輸送機器 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量		委託中間処理量						委託中間処理後量			(処理主体の内訳)						
		委託直接最終処分量 (O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理量 (L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)		事業者 (Q1)			自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)					
合計	38	0	0	0	0	0	38	38	35	3	37	37	0	37	1			1	43
燃え殻											0	0	0	0	0			0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
有機性汚泥	0						0	0			0			0				0	0
無機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
廃溶剤	0						0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
固形油																			
油でい	0						0	0		0									
油付着物等	0						0	0		0									
廃酸	0						0	0		0	0	0	0	0				0	0
廃アルカリ	0						0	0		0									
廃プラスチック類	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃プラスチック	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	6
ガラス陶磁器くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
鋳さい	35	0	0	0	0	0	35	35	34	1	35	35	35	35	0			0	35
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
コンクリート片	0	0	0	0	0	0								0				0	
廃アスファルト																			
その他の建設廃材	0						0	0	0	0	0	0	0	0					0
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	1						1	1		1	1	1	1	1					1
その他の産業廃棄物																			
感染性廃棄物																			
混合物等																			

表2-45 発生量及び処理・処分量(その他 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)						自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	(処理先地域 の内訳)			
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)						県内		県外	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
燃え殻																	
汚泥																	
有機性汚泥																	
無機性汚泥																	
廃油																	
一般廃油																	
廃溶剤																	
固形油																	
油でい																	
油付着物等																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
廃プラスチック類	0		0								0		0				
廃プラスチック	0		0								0		0				
廃タイヤ																	
紙くず																	
木くず	0	0	0	0	0	0					0	0					
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず	0		0	0	0			0			0		0				
ガラス陶磁器くず	0		0								0		0				
鋳さい																	
がれき類																	
コンクリート片																	
廃アスファルト																	
その他の建設廃材																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
ばいじん																	
その他の産業廃棄物																	
感染性廃棄物																	
混合物等																	

表2-45 発生量及び処理・処分量(その他 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)
		委託直接最終処分量		委託中間処理量									委託中間処理後量					
				(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)				(処理後の処理内訳)			(処理主体の内訳)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		事業者	自治体	処理業者			
(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)	(AC)	(AD)	(AE)		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻																		
汚泥																		
有機性汚泥																		
無機性汚泥																		
廃油																		
一般廃油																		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0							0	0	0	0	0	0	0				0
廃プラスチック	0							0	0	0	0	0	0	0				0
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず														0				0
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0							0	0	0	0	0	0	0				0
ガラス陶磁器くず	0							0	0	0	0	0	0	0				0
鋳さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他の建設廃材																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物																		
感染性廃棄物																		
混合物等																		

表3-1 発生量及び処理・処分量(松江圏域 種類:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量	
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外	
																		(I)
合計	469	15	454	248	40	19	4	7	10	206	1	8	182	14	225	12	12	
燃え殻	0		0		1			0	0	0			0	0	1			
汚泥	211	2	209	198	7	0		5	2	11	0	2	6	3	18	2	2	
有機性汚泥	185		185	184	5	0		4	0	1	0		1	0	6			
無機性汚泥	26	2	24	14	2			0	2	10	0	2	5	3	12	2	2	
廃油	4	0	4	0	0			0		4	0		4		4			
一般廃油	3	0	3	0	0			0		3	0		3		3			
廃溶剤	0		0		0			0		0	0		0		0			
固形油	0		0							0			0		0			
油でい	1		1							1			1		1			
油付着物等	0		0							0			0		0			
廃酸	1		1	0	0			0		1	0		1	0	1			
廃アルカリ	1		1	0	0			0		1			1		1			
廃プラスチック類	13	1	13	0	0			0		13	1	0	12	0	12	0	0	
廃プラスチック	13	1	12	0	0			0		12	1	0	11	0	12	0	0	
廃タイヤ	1	0	1							1	0		0		0			
紙くず	1	0	1	0	0			0		1	0		1	0	1			
木くず	41	2	39	18	0			0		21	0		20	1	21			
繊維くず	0		0							0			0		0			
動植物性残さ	3	0	3							3			3		3			
動物系固形不要物																		
ゴムくず	0		0							0			0		0			
金属くず	10	2	8	0	0			0		8	0		7	0	8			
ガラス陶磁器くず	20	7	13	2	2			2		11	0	2	4	4	13	2	2	
鋳さい	39	0	39	29	29	18	4		7	10		4	4	3	21	7	7	
がれき類	121	0	121	1	1			1		120			118	2	121			
コンクリート片	73	0	73	1	1			1		72			72	0	73			
廃アスファルト	42	0	42	0	0			0		42			42	0	42			
その他の建設廃材	6	0	6							6			4	2	6			
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん	3	0	3	1	1	1				2			2	0	2			
その他の産業廃棄物	1	0	1	0	0			0		1	0		1	0	1			
感染性廃棄物	1		1	0	0			0		1			1		1			
混合物等	0	0	0							0	0		0	0	0			

表3-1 発生量及び処理・処分量(松江圏域 種類:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳 委託直接最終処分量						委託中間処理量						再生 利用量 (R)	最終処分量 (Q)			その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(L)	委託中間処理後量 (M)				(処理主体の内訳)										
		処理業者	自治体	県内	県外		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)		事業者		自治体	処理業者					
							処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)					再生 利用量			最終 処分量	
合計	214	24	20	4	17	8	189	189	0	164	26	171	158	13	179	49	12	4	33		193
燃え殻	1	1	1		1		0	0	0	0	0	2	1	1	1	2			2		1
汚泥	16	5	3	2	4	1	10	10	0	5	5	3	1	2	1	9	2	2	5		3
有機性汚泥	6	1	1		1		5	5		1	4	1	0	1	0	1			1		0
無機性汚泥	10	5	3	2	4	1	5	5	0	4	1	2	1	1	1	8	2	2	4		3
廃油	4						4	4	0	1	2	1	1		1						1
一般廃油	3						3	3	0	1	1	1	1		1						1
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0						0
固形油	0						0	0				0									
油でい	1						1	1		0	1	0	0		0						0
油付着物等	0						0	0		0	0										
廃酸	1	0	0			0	1	1		0	1	0	0	0	0	0			0		0
廃アルカリ	1						1	1		0	0	0	0		0						0
廃プラスチック類	12	0	0	0	0		12	12	0	8	4	8	6	2	7	2	0	0	2		7
廃プラスチック	12	0	0	0	0		11	11	0	8	4	7	6	2	6	2	0	0	2		7
廃タイヤ	0						0	0		0	0	0	0		0						1
紙くず	1	0	0		0		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
木くず	21	1	1	0	1	0	20	20		19	1	17	17	0	17	1		0	1		20
繊維くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
動植物性残さ	3						3	3		0	2	3	3		3						3
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0						0	0		0	0	0		0		0					0
金属くず	8	0	0		0	0	7	7		5	2	6	5	1	5	2			2		8
ガラス陶磁器くず	10	4	4		4	0	6	6	0	5	1	4	3	2	3	8	2		6		10
鋳さい	14	10	8	2	4	6	4	4		3	1	6	6		23	18	7	2	8		23
がれき類	121	2	2		2	0	119	119		116	3	119	115	3	115	6			6		115
コンクリート片	73	0	0		0		73	73		70	2	73	72	0	72	1			1		73
廃アスファルト	42	0	0		0		42	42		42	1	42	42	1	42	1			1		42
その他の建設廃材	6	2	2		2	0	4	4		4	0	4	1	2	1	4			4		1
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん	2	0		0		0	2	2			2	2		2	1	2		0	2		1
その他の産業廃棄物	1	0	0		0		1	1		1	0	0	0	0	0	0			0		0
感染性廃棄物	1						1	1		0	0	0	0		0						0
混合物等	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0

表3-2 発生量及び処理・処分量(出雲圏域 種類:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)							自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
				(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内	県外			
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)										
合計	424	14	410	49	20	7	0	10	2	361	2	0	334	25	371	0	0	
燃え殻	0		0		0		0	0		0			0	0	0	0	0	
汚泥	47	0	47	33	4			2	2	14	0	0	7	7	18	0	0	
有機性汚泥	26	0	26	20	2			0	1	5			4	2	7			
無機性汚泥	21	0	21	12	2			2	1	9	0	0	3	5	11	0	0	
廃油	5	0	5	0	0			0		5	0		5		5			
一般廃油	4	0	4	0	0			0		4	0		4		4			
廃溶剤	0		0							0			0		0			
固形油																		
油でい	0		0							0			0		0			
油付着物等	0		0	0						0	0		0		0			
廃酸	2		2							2			2		2			
廃アルカリ	1		1	0	0			0		1			1		1			
廃プラスチック類	17	4	13	0	0	0		0	0	13	0		10	2	12			
廃プラスチック	14	4	11	0	0	0		0	0	11	0		8	2	10			
廃タイヤ	2	0	2	0	0	0		0		2	0		2	0	2			
紙くず	3	1	2							2	0		1	0	2			
木くず	41	0	41	0	0			0		41	0		38	2	41			
繊維くず	0		0	0	0	0				0			0		0			
動植物性残さ	1	0	0	0	0	0		0		0	0		0	0	0			
動物系固形不要物	0		0							0			0		0			
ゴムくず	0	0																
金属くず	21	8	13	7	7	7		0		6	0		6	0	6			
ガラス陶磁器くず	11	0	11	4	4	0		3	0	7	1		5	1	10			
鋳さい	16		16							16			9	7	16			
がれき類	248	0	248	5	5	0		5		244	0		239	5	248			
コンクリート片	156		156	4	4	0		4		152	0		151	1	156			
廃アスファルト	86		86	1	1			1		85			83	1	86			
その他の建設廃材	7	0	7	0	0			0		7			4	3	7			
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん	10	1	9							9	0		9		9			
その他の産業廃棄物	1	0	1	0	0			0		1	0		1		1			
感染性廃棄物	1		1							1			1		1			
混合物等	0	0	0	0	0			0		0	0		0		0			

表3-2 発生量及び処理・処分量(出雲圏域 種類:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量						その他 量 (J)	資源化 量 (S)
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量		(処理主体の内訳)					
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)			(処理後の処理内訳)		事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)			
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)									
(O)						(L)					(M)			(Q)						
合計	371	27	27	0	26	1	344	344	1	310	35	327	308	19	317	46	0	0	46	332
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0	0	1	1
汚泥	18	9	9	0	8	1	9	9	0	7	2	3	2	1	2	10	0	0	10	2
有機性汚泥	7	3	3	0	2	1	4	4	0	4	0	1	1	0	1	3	0	0	3	1
無機性汚泥	11	6	6	0	6	0	5	5	0	3	2	2	1	1	1	7	0	0	7	1
廃油	5						5	5	0	1	4	3	3		3					3
一般廃油	4						4	4	0	1	3	3	3		3					3
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0					0
固形油																				
油でい	0						0	0		0		0	0		0					0
油付着物等	0						0	0		0	0	0	0		0					0
廃酸	2						2	2		0	1	0	0		0					0
廃アルカリ	1						1	1		0	1	0	0		0					0
廃プラスチック類	12	2	2	0	2	0	10	10	0	8	2	7	6	2	6	4		0	4	10
廃プラスチック	10	2	2	0	2	0	8	8	0	7	1	5	4	2	4	4		0	4	8
廃タイヤ	2	0	0		0		2	2		2	0	2	2		2	0			0	2
紙くず	2	0	0		0		1	1		1	0	1	1	0	1	1			1	2
木くず	41	2	2	0	2		38	38	0	37	2	35	34	1	34	4		0	3	34
繊維くず	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0			0	0
動植物性残さ	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0		0	0			0	1
動物系固形不要物	0						0	0				0	0		0					0
ゴムくず																				0
金属くず	6	0	0	0	0	0	6	6	0	6	0	6	5	1	12	1		0	1	20
ガラス陶磁器くず	10	1	1	0	1		8	8	0	8	0	8	7	2	7	3		0	3	7
鋳さい	16	7	7		7		9	9		7	2	11	9	1	9	9			9	9
がれき類	248	5	5		5		244	244		234	10	242	232	10	232	14			14	232
コンクリート片	156	1	1		1		155	155	1	151	5	153	150	3	150	4			4	150
廃アスファルト	86	1	1		1		84	84		79	5	84	81	4	81	5			5	81
その他の建設廃材	7	3	3		3		4	4		4	0	4	1	3	1	5			5	1
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん	9						9	9		0	8	9	9	0	9	0			0	10
その他の産業廃棄物	1						1	1	0	0	1	0	0	0	0	0			0	0
感染性廃棄物	1						1	1		0	1									
混合物等	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0

表3-3 発生量及び処理・処分量(大田圏域 種類:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)							自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)					
				(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内	県外				
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)											
合計	116	0	115	22	2	0	0	1	1		93	1	11	77	2	3	94	11	11
燃え殻	0		0		0			0			0				0		0		
汚泥	25		25	21	1			0	1		3	1		2	1		4		
有機性汚泥	17		17	17	1			0	1		0	0		0			1		
無機性汚泥	7		7	4	0			0	0		3	1		2	1		3		
廃油	1	0	1	0	0	0					1	0		1			1		
一般廃油	1	0	1	0	0	0					0	0		0			0		
廃溶剤	0		0								0			0			0		
固形油	0		0								0			0			0		
油でい	0		0								0			0			0		
油付着物等	0		0								0			0			0		
廃酸	0		0								0			0			0		
廃アルカリ	0		0								0			0			0		
廃プラスチック類	2	0	2	0							2	0	0	1	0		2	0	0
廃プラスチック	2	0	2	0							2	0	0	1	0		2	0	0
廃タイヤ	0	0	0								0	0		0			0		
紙くず	0		0								0			0			0		
木くず	24		24	0	0	0		0			24			24	0		24		
繊維くず	0	0	0								0			0	0		0		
動植物性残さ	0		0								0			0			0		
動物系固形不要物	0		0								0			0			0		
ゴムくず	0		0								0			0			0		
金属くず	2	0	1								1	0		1	0		1		
ガラス陶磁器くず	21		21	0	1		0	1			21		10	7	0	3	22	10	10
鋳さい	2		2								2	0		2	0		2		
がれき類	38		38		0				0		38			38	0		38		
コンクリート片	20		20		0				0		20			20	0		20		
廃アスファルト	16		16								16			16			16		
その他の建設廃材	1		1								1			1	0		1		
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	0		0								0			0			0		
その他の産業廃棄物	0		0								0			0			0		
感染性廃棄物	0		0								0			0			0		
混合物等	0		0								0			0			0		

表3-3 発生量及び処理・処分量(大田圏域 種類:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳 委託直接最終処分量						委託中間処理量						再生 利用量 (R)	最終処分量 (Q)			その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(L)	委託中間処理後量 (M)				(処理主体の内訳)										
		処理業者	自治体	県内	県外		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(処理後の処理内訳)		事業者		自治体	処理業者					
							処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)					再生 利用量 (Q1)			自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)
合計	80	3	3	0	3	0	78	78	0	75	3	75	72	3	73	16	11	0	5	3	73
燃え殻	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
汚泥	4	1	1	0	1		2	2		2	0	0	0	0	1	2		0	2		1
有機性汚泥	1	1	1		1		0	0		0	0	0	0	0	1				1		0
無機性汚泥	3	1	1	0	1		2	2		2	0	0	0	0	1	1		0	1		1
廃油	1						1	1	0	0	0	0	0	0	0						0
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0						0
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0	0	0						0
固形油	0						0	0		0	0	0	0	0	0						0
油でい	0						0	0		0	0										
油付着物等	0						0	0		0	0										
廃酸	0						0	0		0	0										
廃アルカリ	0						0	0		0	0										
廃プラスチック類	2	0	0	0	0		1	1		1	0	1	1	0	1	0	0	0	0		1
廃プラスチック	2	0	0	0	0		1	1		1	0	1	1	0	1	0	0	0	0		1
廃タイヤ	0						0	0		0	0	0	0	0	0						0
紙くず	0						0	0		0	0	0	0	0	0				0		0
木くず	24	0	0		0		24	24		24	0	24	23	1	23	1			1		23
繊維くず	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
動植物性残さ	0						0	0		0	0	0	0	0	0						0
動物系固形不要物	0						0	0		0	0	0	0	0	0						0
ゴムくず	0						0	0		0	0										
金属くず	1	0	0	0	0		1	1	0	1	0	1	1	0	1	0		0	0		1
ガラス陶磁器くず	8	0	0	0	0		8	8		8	0	8	7	1	7	11	10	0	1	3	7
鋳さい	2	0	0		0	0	2	2		1	1	2	2		2	0			0		2
がれき類	38	0	0		0		38	38		37	0	38	37	0	37	1			1		37
コンクリート片	20	0	0		0		20	20		20	0	20	20	0	20	0			0		20
廃アスファルト	16						16	16		16	0	16	16	0	16	0			0		16
その他の建設廃材	1	0	0		0		1	1		1		1	1	0	1	0			0		1
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん	0						0	0		0	0	0	0	0	0				0		
その他の産業廃棄物	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0		
感染性廃棄物	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0		
混合物等	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0		

表3-4 発生量及び処理・処分量(浜田圏域 種類:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)							自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)		
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)					
				(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内	県外				
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)											
合計	492	3	489	36	20	10	10	0	0	0	453	0	166	279	7	0	463	166	166
燃え殻	52		52		0			0	0		52		2	51	0		52	2	2
汚泥	30	0	30	26	10	10		0	0		5			4	0		5		
有機性汚泥	14		14	13	0			0			1			1	0		1		
無機性汚泥	16	0	16	13	10	10		0	0		4			3	0		4		
廃油	1	0	1	0	0			0			1	0		1			1		
一般廃油	1	0	1	0	0			0			1	0		1			1		
廃溶剤	0		0								0			0			0		
固形油	0		0								0			0			0		
油でい	0		0								0			0			0		
油付着物等	0		0								0			0			0		
廃酸	0	0	0								0			0			0		
廃アルカリ	0		0								0			0			0		
廃プラスチック類	5	0	5	0	0	0			0		5	0		4	1		5		
廃プラスチック	5		5	0	0	0					5	0		4	1		5		
廃タイヤ	0	0	0	0	0				0		0			0	0		0		
紙くず	1	0	1								1	0	0	1			1	0	0
木くず	50	0	49	1							49		1	48	0		49	1	1
繊維くず	0		0								0			0	0		0		
動植物性残さ	1		1	0	0			0			1			1			1		
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0		0								0			0			0		
金属くず	4	3	1	0	0	0		0			1	0		1	0		1		
ガラス陶磁器くず	15	0	15	10	10			10			6			3	3	0	15		
鋳さい	3		3								3			3			3		
がれき類	83		83	0	0				0		83	0		80	3		83		
コンクリート片	39		39								39	0		38	1		39		
廃アスファルト	39		39								39			38	0		39		
その他の建設廃材	5		5	0	0				0		5			4	1		5		
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん	246		246								246		163	83	0		246	163	163
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0			0	0		0	0		0	0		0		
感染性廃棄物	0		0	0	0			0			0			0			0		
混合物等	0	0	0	0	0				0		0	0		0	0		0		

表3-4 発生量及び処理・処分量(浜田圏域 種類:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳						委託中間処理量						再生 利用量 (R)	最終処分量				その他 量 (J)	資源化 量 (S)	
		委託直接最終処分量						委託中間処理後量							(処理主体の内訳)						
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)					(処理後の処理内訳)		事業者 (Q1)	自治体 (Q2)			処理業者 (Q3)
		処理業者	自治体	県内	県外	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)								
合計	297	7	7	0	7	0	289	289	0	213	76	281	274	7	284	180	166	0	14	0	288
燃え殻	51	0	0	0	0	0	51	51	0	44	7	52	51	0	51	2	2	0	0	0	51
汚泥	5	0	0	0	0	0	4	4	0	3	1	1	1	0	11	1	0	0	1	0	11
有機性汚泥	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無機性汚泥	4	0	0	0	0	0	3	3	0	3	1	1	1	0	11	0	0	0	0	0	11
廃油	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般廃油	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
油でい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
油付着物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	5	1	1	0	1	0	4	4	0	3	1	3	1	2	1	3	0	0	3	0	1
廃プラスチック	5	1	1	0	1	0	4	4	0	3	0	3	1	2	1	3	0	0	3	0	1
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
木くず	48	0	0	0	0	0	48	48	0	46	2	45	44	0	44	1	1	0	0	0	45
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4
ガラス陶磁器くず	15	3	3	0	3	0	12	12	0	12	0	12	12	0	12	3	0	0	3	0	12
鋳さい	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	3
がれき類	83	3	3	0	3	0	80	80	0	80	0	80	76	4	76	7	0	0	7	0	76
コンクリート片	39	1	1	0	1	0	38	38	0	38	0	38	37	1	37	2	0	0	2	0	37
廃アスファルト	39	0	0	0	0	0	38	38	0	38	0	38	35	3	35	3	0	0	3	0	35
その他の建設廃材	5	1	1	0	1	0	4	4	0	4	0	4	4	0	4	2	0	0	2	0	4
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	83	0	0	0	0	0	83	83	0	22	61	83	83	0	83	163	163	0	0	0	83
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表3-5 発生量及び処理・処分量(益田圏域 種類:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)							自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)	
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)				
				(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内	県外			
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)										
合計	108	1	108	10	3	0	2	1	98	0	86	11	100					
燃え殻	0		0		0			0	0			0	0					
汚泥	11	0	11	8	3		2	0	3		1	2	5					
有機性汚泥	5		5	5	0		0		1		1		1					
無機性汚泥	6	0	6	3	2		2	0	2		0	2	5					
廃油	0	0	0						0	0		0	0					
一般廃油	0	0	0						0	0		0	0					
廃溶剤	0		0						0			0	0					
固形油																		
油でい																		
油付着物等																		
廃酸	0		0						0			0	0					
廃アルカリ	0	0	0						0			0	0					
廃プラスチック類	2	0	2	0	0			0	2	0		1	1	2				
廃プラスチック	2	0	2	0	0			0	2	0		1	1	2				
廃タイヤ	0	0	0						0	0		0		0				
紙くず	0	0	0						0			0	0	0				
木くず	19		19	1	0	0			18	0		17	1	18				
繊維くず	0	0	0	0					0			0	0	0				
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず	0		0						0			0	0	0				
金属くず	1	0	0	0	0		0		0	0		0	0	0				
ガラス陶磁器くず	3		3	0	0			0	2	0		0	2	2				
鋳さい	33		33						33			33		33				
がれき類	38		38	0	0			0	38	0		32	6	38				
コンクリート片	24		24						24	0		21	3	24				
廃アスファルト	13		13						13			11	2	13				
その他の建設廃材	1		1	0	0			0	1			0	1	1				
動物のふん尿																		
動物の死体																		
ばいじん	1		1						1			1	0	1				
その他の産業廃棄物	0		0						0			0	0	0				
感染性廃棄物	0		0						0			0	0	0				
混合物等	0		0						0			0	0	0				

表3-5 発生量及び処理・処分量(益田圏域 種類:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)			
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					(Q)	(処理主体の内訳)						
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理後の処理内訳)				(Q1)	(Q2)	(Q3)
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)			事業者	自治体					
合計	100	12	12	0	11	0	88	88	0	84	5	86	84	1	85	13	0	13	86	
燃え殻	0	0	0	0	0	0						1	0	0	0	0		0	0	
汚泥	5	2	2	0	2	0	3	3	0	3	3	1	1	0	1	2	0	2	1	
有機性汚泥	1						1	1	0	0	1	0	0	0	0	0		0	0	
無機性汚泥	5	2	2	0	2	0	2	2	0	0	2	1	1	0	1	2	0	2	1	
廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	
廃溶剤	0						0	0	0	0	0									
固形油																				
油でい																				
油付着物等																				
廃酸	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0								0	
廃プラスチック類	2	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1		1	0	
廃プラスチック	2	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1		1	0	
廃タイヤ	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
木くず	18	1	1	1	1	17	17	17	0	17	17	0	17	17	0	1		1	17	
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0			0	0	
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	1	
ガラス陶磁器くず	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		2	0	
鋳さい	33					33	33	33	33	33	33	33	33	33	33				33	
がれき類	38	6	6	6	6	32	32	32	0	32	31	1	31	7	7			7	31	
コンクリート片	24	3	3	3	3	21	21	21	0	21	21	0	21	3	3			3	21	
廃アスファルト	13	2	2	2	2	11	11	11	0	11	11	1	11	2	2			2	11	
その他の建設廃材	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1			1	0	
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0			0	1	
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
感染性廃棄物	0					0	0	0	0	0	0									
混合物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	

表3-6 発生量及び処理・処分量(隠岐圏域 種類:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量 (D)						自己未処理量 (G)					搬出量 (H)	自己最終処分量 (I)			
				自己中間処理後量 (E)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の内訳)					
				(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外			
				再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)											
合計	36	0	36	4	0			0			32	0		32	0		32		
燃え殻																			
汚泥	4		4	4	0			0			0			0			0		
有機性汚泥	0		0								0			0			0		
無機性汚泥	4		4	4	0			0			0			0			0		
廃油	0	0	0								0	0		0			0		
一般廃油	0	0	0								0	0		0			0		
廃溶剤	0		0								0			0			0		
固形油																			
油でい																			
油付着物等	0		0								0			0			0		
廃酸	0		0								0			0			0		
廃アルカリ	0		0								0			0			0		
廃プラスチック類	0	0	0								0			0	0		0		
廃プラスチック	0	0	0								0			0	0		0		
廃タイヤ	0		0								0			0			0		
紙くず	0		0								0			0			0		
木くず	6		6								6			6			6		
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	1		1								1			1	0		1		
ガラス陶磁器くず	2		2	0	0			0			2			1	0		2		
鋳さい																			
がれき類	23		23	0	0			0			23	0		23	0		23		
コンクリート片	16		16	0	0			0			15	0		15			15		
廃アスファルト	7		7	0	0			0			7			7			7		
その他の建設廃材	0		0								0			0	0		0		
動物のふん尿																			
動物の死体																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	0		0								0	0		0			0		
感染性廃棄物	0		0								0			0			0		
混合物等	0		0								0	0		0			0		

表3-6 発生量及び処理・処分量(隠岐圏域 種類:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:千t/年)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			再生 利用量 (Q)	その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量					委託中間処理後量							
		(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)				(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)			(処理後の処理内訳)		(処理主体の内訳)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		事業者	自治体	処理業者					
(O)				(L)				(M)			(Q1)	(Q2)	(Q3)							
合計	32	0	0	0	0	32	32	0	32	0	31	31	0	31	0	0	0	0	31	
燃え殻											0	0	0	0	0			0	0	
汚泥	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
有機性汚泥	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	
無機性汚泥	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	
廃油	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
一般廃油	0					0	0		0	0	0	0	0	0					0	
廃溶剤	0					0	0		0	0										
固形油																				
油でい																				
油付着物等	0					0	0	0	0											
廃酸	0					0	0		0	0										
廃アルカリ	0					0	0		0	0										
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
廃タイヤ	0					0	0		0	0	0	0	0	0				0	0	
紙くず	0					0	0	0	0		0	0	0	0	0			0	0	
木くず	6					6	6		6		6	6		6					6	
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	1	0	0	0	0	1	1		1	0	0	0	0	0	0			0	0	
ガラス陶磁器くず	2	0	0	0	0	2	2	0	2		2	2	0	2	0			0	2	
鋳さい											1	1		1					1	
がれき類	23	0	0	0	0	23	23		23	0	23	23		23	0			0	23	
コンクリート片	15					15	15		15	0	15	15		15					15	
廃アスファルト	7					7	7		7		7	7		7					7	
その他の建設廃材	0	0	0	0	0	0	0		0		0	0		0	0			0	0	
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	0					0	0		0	0	0	0		0					0	
感染性廃棄物	0					0	0		0	0	0	0		0					0	
混合物等	0					0	0		0	0	0	0		0					0	

表4-1 業種別・廃棄物種類別の発生量(特別管理産業廃棄物)【平成20年度】

(単位:t/年)

業種 種類	合計	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業																	電気・水道業	電業	ガス業	上水道業	下水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療・福祉	複合サービス	サービス業	公務	
						食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器																			生産用機器
合計	10,304				254	5,973		3	22		20	10	540	210	14	452	1,866	0	45	1	53	1	2,431	31	112	160	1	0	0	0	13	4		19	18	1,095	2,912	7	7	0	
廃油	2,849					2,792		19			0	72	207	14	1	12	0	42	1	25	0	2,334	31	3	32	0	0		13			2	18	5	5	7	7				
廃酸	794					249				19		31				0			1	0	0	71	0	110	17	0		0				0			544	1					
廃アルカリ	549					548		3			10	393	1			122	0		0	0	0	19	0			0		0				0		0	0						
感染性廃棄物	2,923					3							2							1							0		0				16		1	2,903	0	0			
特定有害廃棄物	鉱さい																																								
	廃石綿等	261			254	5		0	2								3																			3					
	燃え殻																																								
	ばいじん	1,562				1,562											1,562																								
	廃油(金属を含むもの)	185				182						40				0	0		23	0	8				110											2	1				
	汚泥(金属を含むもの)	628				625		3									452	170															0			1	2				
	廃酸(金属を含むもの)	550				4														3		0												2		0		544	1		
	廃アルカリ(金属を含むもの)	5				4						4															0		0				0			0	0				
シュレッダーダスト																																									

表4-2 業種別・廃棄物種類別の排出量(特別管理産業廃棄物)【平成20年度】

(単位:t/年)

業種 種類	合計	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業																	電気・水道業	電業	ガス業	上水道業	下水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	宿泊・飲食	生活関連	教育・学習	医療・福祉	複合サービス	サービス業	公務							
						食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器																			生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他
合計	10,304				254	5,973		3	22		20	10	540		210	14		452	1,866	0	45	1	53	1	2,431	31	112	160		1	0	0		13	4		19	18	1,095	2,912	7	7	0				
廃油	2,849					2,792		19			0	72		207	14		1	12	0	42	1	25	0	2,334	31	3	32		0	0			13			2	18	5	5	7	7						
廃酸	794					249				19		31						0				1	0	71	0	110	17		0									544	1								
廃アルカリ	549					548		3			10	393		1				122	0		0	0	19	0				0		0						0		0	0								
感染性廃棄物	2,923					3									2								1						0		0					16			1	2,903	0	0					
特定有害廃棄物	鉱さい																																														
	廃石綿等	261			254	5		0	2											3																											
	燃え殻																																														
	ばいじん	1,562				1,562												1,562																													
	廃油(金属を含むもの)	185				182							40					0	0		23	0	8				110														2	1					
	汚泥(金属を含むもの)	628				625		3										452	170																		0				1	2					
	廃酸(金属を含むもの)	550				4																3		0															2		0		544	1			
	廃アルカリ(金属を含むもの)	5				4							4																0		0									0		0					
シュレッダーダスト																																															

表4-3 発生量及び処理・処分量(特別管理産業廃棄物 種類別:変換)【平成20年度】(その1)

(単位:t/年)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量		
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)					(処理先地域の 内訳)				
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	県内		県外		
																		(I)	
合計	10,304		10,304	65	44	43		1			10,239	288		9,904	47		9,952		
廃油	2,849		2,849	64	43	43					2,786	100		2,686			2,686		
廃酸	794		794								794	18		775	0		775		
廃アルカリ	549		549								549			549			549		
感染性廃棄物	2,923		2,923	1	1			1			2,922			2,922			2,923		
特定有害 廃棄物	鋳さい																		
	廃石綿等	261		261							261			214	47		261		
	燃え殻																		
	ばいじん	1,562		1,562							1,562			1,562			1,562		
	廃油 (金属を含むもの)	185		185							185			185			185		
	汚泥 (金属を含むもの)	628		628							628	170		457	0		457		
	廃酸 (金属を含むもの)	550		550							550			550			550		
	廃アルカリ (金属を含むもの)	5		5							5			5			5		
シュレッダーダスト																			

表4-3 発生量及び処理・処分量(特別管理産業廃棄物 種類別:変換)【平成20年度】(その2)

(単位:t/年)

区 分 種 類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)					
		委託直接最終処分量		委託中間処理量						委託中間処理後量			(処理主体の内訳)									
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理後の処理内訳)		事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)							
			処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)							最終 処分量 (M2)				
(L)	(M)	(M1)	(M2)	(Q)	(Q1)	(Q2)	(Q3)															
合計	9,952	47	47		45	2	9,905	9,905		1,626	8,279	4,030	2,254	1,776	2,585	1,823			1,823		2,585	
廃油	2,686						2,686	2,686		53	2,632	2,236	2,236		2,379							2,379
廃酸	775	0	0			0	775	775		110	666	10	10		29	0				0		29
廃アルカリ	549						549	549		3	546											
感染性廃棄物	2,923						2,923	2,923		784	2,138	0	0	0	0	0				0		0
特定有害 廃棄物	鋳さい																					
	廃石綿等	261	47	47			214	214		211	3	214	0	214	0	261				261		0
	燃え殻																					
	ばいじん	1,562					1,562	1,562		1,562		1,562		1,562		1,562				1,562		
	廃油 (金属を含むもの)	185					185	185		13	172	5	5		5							5
	汚泥 (金属を含むもの)	457	0	0			0	457	457		452	6	2	2	0	172	0			0		172
	廃酸 (金属を含むもの)	550						550	550		0	550	0	0		0						0
	廃アルカリ (金属を含むもの)	5						5	5		5		0	0		0						0
シュレッダーダスト																						

表4-4 発生量及び処理・処分量(特別管理産業廃棄物 種類別:無変換)【平成20年度】(その1)

区分 種類	発生量 (A)	有償物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量						自己未処理量					搬出量 (H)	自己最終処分量			
				自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					再生 利用量 (G1)	自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)		(処理先地域 の内訳)			
					再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)	委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)							県内	県外		
合計	10,304		10,304	65	44	43		1			10,239	288		9,904	47		9,952		
廃油	2,849		2,849	64	43	43					2,786	100		2,686			2,686		
廃酸	794		794								794	18		775	0		775		
廃アルカリ	549		549								549			549			549		
感染性廃棄物	2,923		2,923	1	1			1			2,922			2,922			2,923		
特定有害 廃棄物	銲さい																		
	廃石綿等	261		261							261			214	47		261		
	燃え殻																		
	ばいじん	1,562		1,562							1,562			1,562			1,562		
	廃油 (金属を含むもの)	185		185							185			185			185		
	汚泥 (金属を含むもの)	628		628							628	170		457	0		457		
	廃酸 (金属を含むもの)	550		550							550			550			550		
	廃アルカリ (金属を含むもの)	5		5							5			5			5		
シュレッダーダスト																			

表4-4 発生量及び処理・処分量(特別管理産業廃棄物 種類別:無変換)【平成20年度】(その2)

区分 種類	委託 処理量 (K)	委託処理量の内訳										再生 利用量 (R)	最終処分量			その他 量 (J)	資源化 量 (S)		
		委託直接最終処分量				委託中間処理量							(処理主体の内訳)						
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量			(処理主体の内訳)						
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)		事業者	自治体	処理業者				
合計	9,952	47	47	45	2	9,905	9,905	1,626	8,279	4,745	2,469	2,276	2,800	2,323			2,323		2,800
廃油	2,686					2,686	2,686	53	2,632	2,263	2,253	11	2,395	11			11		2,395
廃酸	775	0	0		0	775	775	110	666	106	18	88	36	88			88		36
廃アルカリ	549					549	549	3	546	25	20	6	20	6			6		20
感染性廃棄物	2,923					2,923	2,923	784	2,138	351	48	302	48	302			302		48
特定有害 廃棄物	鉱さい																		
	廃石綿等	261	47	47	45	2	214	214	211	3	214	0	214	0	261			261	0
	燃え殻																		
	ばいじん	1,562					1,562	1,562		1,562	1,562		1,562		1,562			1,562	
	廃油 (金属を含むもの)	185					185	185	13	172	10	5	5	5	5			5	5
	汚泥 (金属を含むもの)	457	0	0		0	457	457	452	6	126	124	2	294	2			2	294
	廃酸 (金属を含むもの)	550					550	550	0	550	88	1	87	1	87			87	1
	廃アルカリ (金属を含むもの)	5					5	5		5	0	0	0	0	0			0	0
シュレッダーダスト																			

資料（調査票及び記入例等）

・ 島根県産業廃棄物実態調査票（建設業）	1
・ 島根県産業廃棄物実態調査票（運輸業等の自動車に関連する業）	5
・ 島根県産業廃棄物実態調査票（医療関係）	9
・ 島根県産業廃棄物実態調査票（製造業、サービス業、その他の業種）	13
・ 産業廃棄物等に関する意識調査	17

島根県産業廃棄物実態調査票(その1) (建設業)

*この欄は記入しないでください

調査票番号

区分	地域	業種	階
.....

※ 本調査は、県内で発生する産業廃棄物の処理状況等を把握するために行う調査です。

※ 調査関係者は調査票の記入内容を他に漏らしたり、統計以外の目的に使用することを堅く禁じられていますので、ありのままをご記入ください。

※ 記入方法に関するお問い合わせは、島根県の委託を受けた調査機関の応用技術㈱(TEL:0120-381-453又は06-6373-6098)までお願いします。

※ ご記入していただいた内容についてお問い合わせする場合がございますので、必ず本調査票の控えを取っておいてください。

まず、事業所の概要について記入してください。

事業所の概要	事業所名	記入者	部 課
	所在地	氏 名	
	代表者氏名	TEL	() -
		FAX	() -

次へ

県内で元請けとして請け負った工事はありますか。

※ 貴社が島根県内で元請けとして請け負った工事で、平成20年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日)に完成した工事はありますか。

※「事業所の概要」欄のみ記入し、返送してください。

該当する番号に○を付けてください。	1. あり	2. なし
-------------------	-------	-------

次へ

返信用封筒にて提出

次へ

工事の実績について記入してください。

※ 共同企業体(J、V)による工事の場合

① 共同施行方式では貴社が代表会社の場合のみ、貴社が一括記入してください。

② 分担施行方式では貴社の持ち分に応じて記入してください。

工事の実績	工事物件数	元請完成工事高(消費税を含む)					貴社が島根県内で元請けとして請け負った工事で、平成20年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日)に完成した工事について記入してください。	
		千	百	十	千	百		十
	件	億	億	億	万	万	万	

次へ

対象工事について工事期間中に産業廃棄物等は発生しましたか。

※ 自ら再生利用した物、自社で処理を行わず他者に売却した物又は回収された物も対象としてください。(右の【記入上の注意】参照)

※「事業所の概要」及び「工事の実績」欄のみ記入し、返送してください。

該当する番号に○を付けてください。	1. 発生した。	2. 発生しなかった。
-------------------	----------	-------------

次へ

返信用封筒にて提出

次へ

右の【記入上の注意】を参照の上、裏面の「調査票(その2)」に対象工事から発生した廃棄物等の処理状況について記入してください(別紙、「記入例」も参照)。

【記入上の注意】

「調査票(その1)及び(その2)」

- この調査では、貴社が県内で元請けとして請け負った工事で、年度ごとの量ではなく、平成20年度に完成した工事について、工事の着工から完成までの工事実績及び廃棄物等の処理状況を記入してください。

- 事務所ごみや厨芥類等の事業系一般廃棄物については、記入の必要はありません。

- 自ら再生利用した物、自社で処理を行わず他者に売却した物又は回収された物も対象とします。

「調査票(その2)」

- 記入欄が不足と思われる場合は、あらかじめ用紙をコピーして、記入してください。

- 産業廃棄物等の発生と処理状況を設問①～⑭までの流れに従って、設問ごとの説明を参考に記入ください。また、別紙で「調査票(その2)」の記入例が同封してありますので参考にしてください。

- 同じ廃棄物でも、中間処理方法や処分先がいくつもある場合は、行を分けて記入してください。(記入例のFを参照)

- 平成21年3月31日(年度末)時点で、保管中でも処分先が確定している場合は処理したものとして扱い、処分先が確定していない場合には⑨にて「E. 保管」を選択して下さい。

<発生量について>

- 発生した「廃棄物等の種類(①及び②)」と「④年間発生量」には、「脱水」や「焼却」等の中間処理を行う前のものお答えください。

ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答えください。

1. 廃酸、廃アルカリを公共用水域(河川、公共下水道等)への放流を目的として中和処理した場合 → 中和処理後の「汚泥」を発生量としてください。

2. 含油廃水を油水分離した場合 → 油水分離後の「廃油」と「汚泥」等を発生量としてください。

- 発生量等の単位は、できるだけトンでご記入ください。

島根県産業廃棄物実態調査票(その2)

(建設業)

別紙「記入例」を参考に記入してください。

I. 工事現場での廃棄物等の発生状況
 工事現場で発生した産業廃棄物、及び自ら再生利用した物、他者に有償で売却した物又は回収された物も対象としてください。

① 廃棄物等の種類
 廃棄物等の具体的な名称(貴事業所での呼び名)を記入してください。

② 廃棄物等の分類番号
 別紙「廃棄物等分類番号表」を参照して、その廃棄物等の属するグループの4ケタの分類番号を記入してください。
 該当する廃棄物等の分類番号が分からない場合は、空欄でも構いませんが、
 ①の廃棄物等の種類に、出来るだけ詳しく内容、性状等を記入してください。

③ 発生場所(工事現場)の地域番号
 別紙「地域番号表」を参照して、廃棄物等が発生した場所(工事現場)の所在地の2ケタの地域番号を記入してください。

④ 年間発生量(中間処理する前の量)
 廃棄物等の種類ごとに1年間の発生量を記入してください。
 単位は、該当するものを選び、その番号に○をつけてください。
 発生量とは、焼却や脱水などの中間処理をする前の量、及び売却する前の量です。
 ※同じ廃棄物等で処理方法が複数ある場合(例えば、最終処分と再生利用等)、
 また、処理先が複数ある場合は、複数行に分けて記入してください(記入例参照)。

II. 工事現場での自己中間処理状況
 中間処理とは産業廃棄物を無害化、安定化又は減量化するために行う処理のことです。

⑤ 自己中間処理の方法
 該当する処理方法を、中間処理の工程順にA~Nの記号で記入してください。例)B.脱水 → A.焼却
 A. 焼却 B. 脱水 C. 乾燥 D. 油水分離
 E. 中和 F. 破砕・粉砕 G. 分級 H. 圧縮
 I. 溶融 J. 切断 K. 焼成 L. 堆肥化
 M. コンクリート固化 N. その他

⑥ 自己中間処理後の廃棄物等の分類番号
 別紙「廃棄物等分類番号表」を参照して、中間処理後廃棄物等の属するグループの4ケタの番号を記入してください。
 中間処理後、複数の種類の廃棄物等が発生する場合は、記入例のように複数行に分けて記入してください。

⑦ 自己中間処理後量
 中間処理を何回か行う場合は、最終的に生じる廃棄物等の量を記入してください。
 単位は該当するものを選び、その番号に○をつけてください。

III. 事業所での自己中間処理後物も含めた、委託処理処分等の状況
 売却、再生利用又は処分の内容についてお聞きします。

⑧ 処理主体
 売却、再生利用又は処分先を次の0~8の数字で記入してください。
 0. 自社(現場内) 1. 自社(現場外の自社処理場)
 2. 再生資源回収業者(紙くず・金属くず・ガラスくず・繊維くずのみ)
 3. 再生利用業指定業者 4. 納入業者 5. 関連企業
 6. 産業廃棄物処分業者 7. 市町村 8. その他

⑨ 処理方法(直接売却含む)
 ⑧の処理主体にどのような処理を委託したか、A~Yの記号で記入してください。(最終的に再生利用される場合は、Bの再生利用ではなく、F以降の処理方法を選択し記入してください。)
 例:汚泥の堆肥化の場合は、設問⑨を「K」とし⑩で「d」とする。
 A. 売却 B. 再生利用 C. 埋立処分 D. 海洋投棄
 E. 保管 F. 焼却 G. 溶融 H. 焼成・ばい焼
 I. 脱水 J. 乾燥 K. 堆肥化 L. 中和 M. 分級
 N. 油水分離 O. 蒸留 P. 無害化 Q. コンクリート固化
 R. 選別 S. 破砕・粉砕 T. 切断 U. 圧縮
 V. 濃縮 W. 薬剤固化 X. 流動化 Y. その他

⑩ 処分、再生利用又は売却先の名称及び電話番号
 収集運搬業者の名前ではなく、処理処分業者の名称を記入してください。⑧で「0. 自社(現場内)」を選択した場合は、空欄で構いません。(※収集運搬業者しか分からない場合は、その業者に確認し記入してください。)

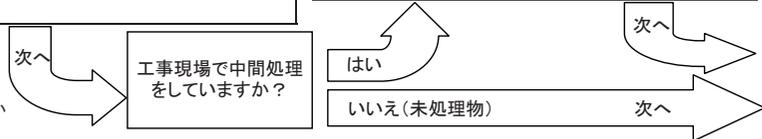
⑪ 処分先の地域番号
 別紙「地域番号表」を参照して、売却、再生利用又は処分が行われる場所の2ケタの地域番号を記入してください。

⑫・⑬ 処理後物の処理主体及び処理方法
 委託先で中間処理(⑨でF~Yの場合)された後、生じた廃棄物等の処理について、その処理主体を⑧の0~8より選択し⑫に記入してください。
 また、その処理方法を次のア~クより選択し⑬に記入してください。
 ア. 売却 イ. 無償供与 ウ. 再生利用
 エ. 埋立処分(県内) オ. 埋立処分(県外)
 カ. 海洋投入 キ. 再処理(中間処理)
 ク. その他

⑭ 資源化の用途
 売却や無償供与、再生利用される場合、その資源化の用途を次のa~pの記号で記入してください。
 a. 鉄鋼原(材)料 b. 非鉄金属・貴金属原(材)料
 c. 燃料又はその原(材)料 d. 肥料又はその原(材)料
 e. 飼料又はその原(材)料
 f. 土壌改良材又はその原(材)料 g. 建設材料
 h. 再生骨材・再生路盤材
 i. ハルブ・紙又はその原(材)料 j. ガラス原(材)料
 k. プラスチック原(材)料 l. 再生タイヤ m. セメント原材料
 n. 再生油・再生溶剤 o. 中和剤 p. その他

【記入欄】

記入欄が不足すると思われる場合は、あらかじめ本用紙をコピーして、記入してください。



① 廃棄物等の種類 (具体的な名称)	② 廃棄物等の分類番号 (別紙参照)	③ 発生場所 地域番号 (別紙参照)	④ 年間発生量(中間処理前量)										単位 (番号に○)	
			百	十	万	千	百	十	一	小数点	以下	以下		
1														1. t
														2. m ³
2														1. t
														2. m ³
3														1. t
														2. m ³
4														1. t
														2. m ³
5														1. t
														2. m ³
6														1. t
														2. m ³
7														1. t
														2. m ³
8														1. t
														2. m ³
9														1. t
														2. m ³
10														1. t
														2. m ³

⑤ 処理方法 番号(A~N)	⑥ 処理後の 廃棄物等の 分類番号 (別紙参照)	⑦ 自己中間処理後量										単位 (番号に○)		
		1次	2次	3次	百	十	万	千	百	十	一		小数点	以下
														1. t
														2. m ³
														1. t
														2. m ³
														1. t
														2. m ³
														1. t
														2. m ³
														1. t
														2. m ³

⑧ 処理主体 (0~8)	⑨ 処理方法 番号(A~Y)	⑩ 処分、再生利用又は売却先の名称及び電話番号	⑪ 処分先の 地域番号 (別紙参照)	⑫ 処理後物の 処理主体 (0~8)	⑬ 処理後物の 処理方法 (ア~ク)	⑭ 資源化の 用途 (a~p)
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				

【廃棄物等分類番号表】

種 類		分類番号	具 体 例
燃え殻	燃え殻	0100	焼却炉の残灰、炉清掃物、活性炭、その他焼却残さなど 【注：可燃ごみなどを自社で焼却処理した場合は、「燃え殻」ではなく、焼却する前の廃棄物の種類で記入してください。】
	廃活性炭・廃カーボン	0101	廃活性炭、廃カーボン
	有害物質を含む燃え殻	0109	有害物質の判定基準を超えるもの
汚 泥	有機性汚泥	0210	活性汚泥、製紙汚泥、ビルビット汚泥、その他泥状の有機性廃棄物
	無機性汚泥	0220	めっき汚泥、凝集沈澱汚泥、洗車汚泥、その他泥状の無機性廃棄物
	有害物質を含む汚泥	0209	有害物質の判定基準を超えるもの
廃 油	一般廃油(鉱物油)	0311	エンジンオイル、機械油、 그리스、絶縁油、廃塗料(液状)など
	廃溶剤	0320	アルコール類、ケトン、洗浄油など
	固形油	0330	アスファルト、タールピッチ類、固形石けんなど
	油でい	0340	油分の含有量が5%以上の汚泥などで直接埋立処分できないもの(タンクスラッジ、オイルスラッジなど)
	油付着物等	0350	油のしみたウエス、油紙くずなど
	揮発油類	0308	揮発油類(ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど)
	有害物質を含む廃油	0309	有害物質の判定基準を超えるもの
廃 酸	廃 酸	0400	酸性を示す液状物(エッチング廃液、写真定着液、ホルマリンなど)
	強酸性廃液	0408	pH 2.0 以下の廃液
	有害物質を含む廃酸	0409	有害物質の判定基準を超えるもの
廃アルカリ	廃アルカリ	0500	アルカリ性を示す液状物(脱脂廃液、写真現像液、検査廃液など)
	強アルカリ性廃液	0508	pH 12.5 以上の廃液
	有害物質を含む廃アルカリ	0509	有害物質の判定基準を超えるもの
廃プラスチック類	廃プラスチック	0610	発泡スチロール、プラスチック容器、電線被覆材、FRP、廃塗料(固形状)など
	廃タイヤ	0620	廃タイヤ
紙くず		0700	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた紙くず(壁紙、障子紙、紙袋など)
木くず		0800	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた木くず(型枠、足場材、伐採材など)
繊維くず		0900	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた繊維くず(畳、絨毯、カーテンなど) 【注：合成繊維は廃プラ類に該当します。】
ゴムくず		1100	天然ゴムくず【注：合成ゴムは廃プラ類に該当します。】
金属くず		1200	切削くず、スクラップ、空き缶、銅くず、アルミくず、鉄くずなど
ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず	1301	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウールなど
	陶磁器くず	1302	セラミックくず、レンガ、瓦、陶器など
	石膏ボード	1303	石膏ボードくず
	コンクリートくず (がれき類を除く)	1304	コンクリート製品のくず、コンクリートがら、戻りコンクリートなど
鉱さい	石綿含有物(普通産廃)	1308	アスベスト成形板(アスベストの含有量が0.1%を超えるスレート板、パラライト板、石綿セメント円筒など)
	鉱さい	1400	高炉、転炉、電気炉等の残さ、錆物砂、不良鉱石、キューボラのノロなど
がれき類	有害物質を含む鉱さい	1409	有害物質の判定基準を超えるもの
	コンクリート片	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
	廃アスファルト	1520	アスファルトコンクリート破片
	その他の建設廃材	1530	鉄道用線路の砂利、骨材、石材、レンガ、スレート、タイルなど
	建設混合廃棄物	1540	工事現場内及び自社にて分別不可能なもの
	廃石綿(アスベスト)等	2009	吹き付け石綿、石綿含有保温材 大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など

種 類		分類番号	具 体 例
ばいじん	ばいじん	1800	電気集じん器捕集ダスト、集じん器捕集ダストなど
	有害物質を含むばいじん	1809	有害物質の判定基準を超えるもの
シュレッダーダスト	シュレッダーダスト	9010	廃電気機械器具の破砕物
	有害物質を含むもの	9019	有害電気機械器具の破砕物
その他	廃機械器具 (家電リサイクル以外)	9020	家電リサイクル法の対象機器(エアコン、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫)を除く廃機械器具
	廃バッテリー	9030	廃バッテリー

注)  は特別管理産業廃棄物

【地域番号表】

処理、処分、再生場所が島根県内の場合

市町村名		番号	市町村名		番号
松江圏域	松江市、安来市 八束郡 東出雲町	0 1	浜田圏域	浜田市、江津市	0 4
	出雲圏域		益田市 鹿足郡 津和野町、吉賀町	0 5	
大田圏域	大田市 邑智郡 川本町、美郷町、邑南町	0 3	隠岐圏域		隠岐郡 海士町、西ノ島町、隠岐の島町、 知夫村

処理、処分、再生場所が島根県外の場合

都道府県名	番号	都道府県名	番号	都道府県名	番号	都道府県名	番号							
北海道・東北	北海道	5 1	北陸	新潟県	6 5	近畿	滋賀県	7 5	四国	徳島県	8 6			
	青森県	5 2		富山県	6 6		京都府	7 6		香川県	8 7			
	岩手県	5 3		石川県	6 7		大阪府	7 7		愛媛県	8 8			
	宮城県	5 4		福井県	6 8		兵庫県	7 8		高知県	8 9			
	秋田県	5 5		山梨県	6 9		奈良県	7 9		福岡県	9 0			
	山形県	5 6		長野県	7 0		和歌山県	8 0		佐賀県	9 1			
	福島県	5 7		岐阜県	7 1		鳥取県	8 1		長崎県	9 2			
関東	茨城県	5 8	中部・東海	静岡県	7 2	中国	島根県	(上記)	九州・沖縄	熊本県	9 3			
	栃木県	5 9		愛知県	7 3		岡山県	8 3		大分県	9 4			
	群馬県	6 0		三重県	7 4		広島県	8 4		宮崎県	9 5			
	埼玉県	6 1					山口県	8 5		鹿児島県	9 6			
	千葉県	6 2								沖縄県	9 7			
	東京都	6 3											国外	9 8
	神奈川県	6 4										その他	不明	9 9

島根県産業廃棄物実態調査票(その2)

(運輸業等の自動車に関連する業)

別紙「記入例」を参考に記入してください。

I. 事業所での廃棄物等の発生状況
 貴事業所で発生した産業廃棄物、及び自ら再生利用した物、他者に有償で売却した物又は回収された物も対象としてください。

① 廃棄物等の種類
 廃棄物等の具体的な名称(貴事業所での呼び名)を記入してください。

② 廃棄物等の分類番号
 別紙「廃棄物等分類番号表」を参照して、その廃棄物等の属するグループの4ケタの分類番号を記入してください。
 該当する廃棄物等の分類番号が分からない場合は、空欄でも構いませんが、①の廃棄物等の種類に、出来るだけ詳しく内容、性状等を記入してください。

③ 年間発生量(中間処理する前の量)
 廃棄物等の種類ごとに1年間の発生量を記入してください。
 単位は、該当するものを選び、その番号に○をつけてください。
 発生量とは、焼却や脱水などの中間処理をする前の量、及び売却する前の量です。
 ※同じ廃棄物等で処理方法が複数ある場合(例えば、最終処分と再生利用等)、また、処理先が複数ある場合は、複数行に分けて記入してください(記入例参照)。

II. 事業所での自己中間処理状況
 中間処理とは産業廃棄物を無害化、安定化又は減量化するために行う処理のことです。

④ 自己中間処理の方法
 該当する処理方法を、中間処理の工程順にA~Nの記号で記入してください。例)E. 中和 → B. 脱水 → A. 焼却
 A. 焼却 B. 脱水 C. 乾燥 D. 油水分離 E. 中和
 F. 破碎・粉砕 G. 分級 H. 圧縮 I. 溶融 J. 切断
 K. 焼成 L. 堆肥化 M. コンクリート固化 N. その他

⑤ 自己中間処理後の廃棄物等の分類番号
 別紙「廃棄物等分類番号表」を参照して、中間処理後廃棄物等の属するグループの4ケタの番号を記入してください。
 中間処理後、複数の種類の廃棄物等が発生する場合は、記入例のように複数行に分けて記入してください。

⑥ 自己中間処理後量
 中間処理を何回か行う場合は、最終的に生じる廃棄物等の量を記入してください。
 単位は該当するものを選び、その番号に○をつけてください。

III. 事業所での自己中間処理後物も含めた、委託処理処分等の状況
 売却、再生利用又は処分の内容についてお聞きします。

⑦ 処理主体
 売却、再生利用又は処分先を次の0~8の数字で記入してください。
 0. 自社 1. 自社他工場
 2. 再生資源回収業者(紙くず・金属くず・ガラスくず・繊維くずのみ)
 3. 再生利用業指定業者 4. 納入業者 5. 関連企業
 6. 産業廃棄物処分業者 7. 市町村 8. その他

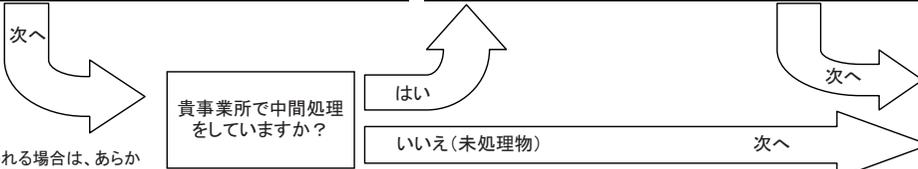
⑧ 処理方法(直接売却含む)
 ⑦の処理主体にどのような処理を委託したか、A~Yの記号で記入してください。(最終的に再生利用される場合は、Bの再生利用ではなく、F以降の処理方法を選択し記入してください。)
 例: 汚泥の堆肥化の場合は、設問⑧を「K」とし⑬で「d」とする。
 A. 売却 B. 再生利用 C. 埋立処分 D. 海洋投棄
 E. 保管 F. 焼却 G. 溶融 H. 焼成・ばい焼
 I. 脱水 J. 乾燥 K. 堆肥化 L. 中和 M. 分級
 N. 油水分離 O. 蒸留 P. 無害化 Q. コンクリート固化
 R. 選別 S. 破碎・粉砕 T. 切断 U. 圧縮
 V. 濃縮 W. 薬剤固化 X. 流動化 Y. その他

⑨ 処分、再生利用又は売却先の名称及び電話番号
 収集運搬業者の名前ではなく、処理処分業者の名称を記入してください。⑦で「0. 自社」を選択した場合は、空欄でも構いません。(※収集運搬業者しか分からない場合は、その業者に確認し記入してください。)

⑩ 処分先の地域番号
 別紙「地域番号表」を参照して、売却、再生利用又は処分が行われる場所の2ケタの地域番号を記入してください。

⑪・⑫ 処理後物の処理主体及び処理方法
 委託先で中間処理(⑧でF~Yの場合)された後、生じた廃棄物等の処理について、その処理主体を⑦の0~8より選択し⑪に記入してください。
 また、その処理方法を次のア~クより選択し⑫に記入してください。
 ア. 売却 イ. 無償供与 ウ. 再生利用
 エ. 埋立処分(県内) オ. 埋立処分(県外)
 カ. 海洋投入 キ. 再処理(中間処理)
 ク. その他

⑬ 資源化の用途
 売却や無償供与、再生利用される場合、その資源化の用途を次のa~pの記号で記入してください。
 a. 鉄鋼原(材)料 b. 非鉄金属・貴金属原(材)料
 c. 燃料又はその原(材)料 d. 肥料又はその原(材)料
 e. 飼料又はその原(材)料
 f. 土壌改良材又はその原(材)料 g. 建設材料
 h. 再生骨材・再生路盤材
 i. ハルパ・紙又はその原(材)料 j. ガラス原(材)料
 k. プラスチック原(材)料 l. 再生タイヤ m. セメント原材料
 n. 再生油・再生溶剤 o. 中和剤 p. その他



【記入欄】
 記入欄が不足すると思われる場合は、あらかじめ本用紙をコピーして、記入してください。

① 廃棄物等の種類 (具体的な名称)	② 廃棄物等の分類番号 (別紙参照)	③ 年間発生量(中間処理する前の量)							単位 (番号に○)
		百	十	万	千	百	十	一	
		以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	
1									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
2									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
3									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
4									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
5									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
6									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
7									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
8									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
9									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
10									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥

④ 処理方法 番号(A~N)	⑤ 処理後の 廃棄物等の 分類番号 (別紙参照)	⑥ 自己中間処理後量							単位 (番号に○)
		百	十	万	千	百	十	一	
		以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	
1次 2次 3次									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥

⑦ 処理主体 (0~8)	⑧ 処理方法 番号(A~Y)			⑨ 処分、再生利用又は売却先の名称及び電話番号	⑩ 処分先の 地域番号 (別紙参照)	⑪ 処理後物の 処理主体 (0~8)	⑫ 処理後物の 処理方法 (ア~ク)	⑬ 資源化の 用途 (a~p)
	1次	2次	3次					
				()	-			
				()	-			
				()	-			
				()	-			
				()	-			
				()	-			
				()	-			
				()	-			
				()	-			
				()	-			

【廃棄物等分類番号表】

種 類		分類番号	具 体 例
燃え殻	燃え殻	0100	焼却炉の残灰、炉清掃物、活性炭、その他焼却残さなど 【注：可燃ごみなどを自社で焼却処理した場合は、「燃え殻」ではなく、焼却する前の廃棄物の種類で記入してください。】
	廃活性炭・廃カーボン	0101	廃活性炭、廃カーボン
	有害物質を含む燃え殻	0109	有害物質の判定基準を超えるもの
汚 泥	有機性汚泥	0210	活性汚泥、製紙汚泥、ビルビット汚泥、その他泥状の有機性廃棄物
	無機性汚泥	0220	めっき汚泥、凝集沈澱汚泥、洗車汚泥、その他泥状の無機性廃棄物
	有害物質を含む汚泥	0209	有害物質の判定基準を超えるもの
廃 油	一般廃油	0311	エンジンオイル、機械油、グリス、絶縁油、廃塗料(液状)など
	動植物油	0312	魚油、ヘッド、ラード、天ぷら油、ゴマ油、サラダ油など
	廃溶剤	0320	アルコール類、ケトン、洗浄油など
	固形油	0330	アスファルト、タールピッチ類、固形石けんなど
	油でい	0340	油分の含有量が5%以上の汚泥などで直接埋立処分できないもの(タンクスラッジ、オイルスラッジなど)
	油付着物等	0350	油のしみたウエス、油紙くずなど
	揮発油類	0308	揮発油類(ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど)
	有害物質を含む廃油	0309	有害物質の判定基準を超えるもの
廃 酸	廃 酸	0400	酸性を示す液状物(エッチング廃液、写真定着液、ホルマリンなど)
	強酸性廃液	0408	pH 2.0 以下の廃液
	有害物質を含む廃酸	0409	有害物質の判定基準を超えるもの
廃アルカリ	廃アルカリ	0500	アルカリ性を示す液状物(脱脂廃液、写真現像液、検査廃液など)
	強アルカリ性廃液	0508	pH 12.5 以上の廃液
	有害物質を含む廃アルカリ	0509	有害物質の判定基準を超えるもの
廃プラスチック類	廃プラスチック	0610	発泡スチロール、プラスチック容器、電線被覆材、FRP、廃塗料(固形状)など
	廃タイヤ	0620	廃タイヤ
木くず		0800	貨物の流通のために使用したパレット(パレットへの貨物の積付けのために使用した梱包材用の木材を含む。)
ゴムくず		1100	天然ゴムくず【注：合成ゴムは廃プラ類に該当します。】
金属くず		1200	切削くず、スクラップ、空き缶、銅くず、アルミくず、鉄くずなど
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	ガラスくず	1301	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウールなど
	陶磁器くず	1302	セラミックくず、レンガ、瓦、陶器など
	石膏ボード	1303	石膏ボードくず
	コンクリートくず(がれき類を除く)	1304	コンクリート製品のくず、コンクリートがら、戻りコンクリートなど
	石綿含有物(普通産廃)	1308	アスベスト成形板(アスベストの含有量が0.1%を超えるスレート板、パーライト板、石綿セメント円筒など)
鉱さい	鉱さい	1400	高炉、転炉、電気炉等の残さ、錆物砂、不良鉱石、キューボラのノロなど
	有害物質を含む鉱さい	1409	有害物質の判定基準を超えるもの
がれき類	コンクリート片	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
	廃アスファルト	1520	アスファルトコンクリート破片
	その他の建設廃材	1530	鉄道用線路の砂利、骨材、石材、レンガ、スレート、タイルなど
	建設混合廃棄物	1540	工事現場内及び自社にて分別不可能なもの
	廃石綿(アスベスト)等	2009	吹き付け石綿、石綿含有保温材 大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など

種 類		分類番号	具 体 例
ばいじん	ばいじん	1800	電気集じん器捕集ダスト、集じん器捕集ダストなど
	有害物質を含むばいじん	1809	有害物質の判定基準を超えるもの
シュレッダーダスト	シュレッダーダスト	9010	廃電気機械器具の破砕物
	有害物質を含むもの	9019	有害廃電気機械器具の破砕物
その他	廃機械器具(家電リサイクル以外)	9020	家電リサイクル法の対象機器(エアコン、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫)を除く廃機械器具
	廃バッテリー	9030	廃バッテリー

注) は特別管理産業廃棄物

【地域番号表】

処理、処分、再生場所が島根県内の場合

市町村名		番号	市町村名		番号
松江圏域	松江市、安来市 八束郡 東出雲町	0 1	浜田圏域	浜田市、江津市	0 4
	出雲圏域		出雲市、雲南市 仁多郡 奥出雲町 飯石郡 飯南町 簸川郡 斐川町	益田圏域	
大田圏域	大田市 邑智郡 川本町、美郷町、邑南町	0 3	隠岐圏域	隠岐郡 海士町、西ノ島町、隠岐の島町、 知夫村	0 6

処理、処分、再生場所が島根県外の場合

都道府県名	番号	都道府県名	番号	都道府県名	番号	都道府県名	番号					
北海道・東北	北海道	5 1	北陸	新潟県	6 5	近畿	滋賀県	7 5	四国	徳島県	8 6	
	青森県	5 2		富山県	6 6		京都府	7 6		香川県	8 7	
	岩手県	5 3		石川県	6 7		大阪府	7 7		愛媛県	8 8	
	宮城県	5 4		福井県	6 8		兵庫県	7 8		高知県	8 9	
	秋田県	5 5		山梨県	6 9		奈良県	7 9		福岡県	9 0	
	山形県	5 6	中部・東海	長野県	7 0	中国	和歌山県	8 0	九州・沖縄	佐賀県	9 1	
	福島県	5 7		岐阜県	7 1		鳥取県	8 1		長崎県	9 2	
	関東	茨城県		5 8	静岡県		7 2	島根県		(上記)	熊本県	9 3
		栃木県		5 9	愛知県		7 3	岡山県		8 3	大分県	9 4
		群馬県		6 0	三重県		7 4	広島県		8 4	宮崎県	9 5
埼玉県		6 1			山口県	8 5	鹿児島県	9 6				
	千葉県	6 2					沖縄県	9 7				
	東京都	6 3										
	神奈川県	6 4						その他	国外	9 8		
									不明	9 9		

記入例

例Aから例Fまで、参考事例を示しております。
この事例及びマニフェスト伝票を参考にして調査票
(その2)を記入してください。

記入上の注意事項

- 本調査の対象廃棄物は、以下に示すものです。
 - ・貴事業所で発生した産業廃棄物
 - ・自ら再生利用した物、自社で処理を行わず他人に売却した物又は回収された物も対象とします。
 - なお、事務所ごみや厨芥類等の事業系一般廃棄物については対象外です。
- 洗車汚泥(洗車等によって、分離槽、汚水枘などから発生する汚泥)について
 - ・清掃業者等へ処理を委託された場合は、その業者が搬出した量を「③年間発生量」欄に記入してください。(記入例のAを参照)
 - ・自社で「天日乾燥」した場合は、「③年間発生量」に乾燥前の量、「⑥自己中間処理後量」に乾燥後の量を記入してください。
- 廃油(交換エンジンオイル、ギヤオイル等)について
 - ・ドラム缶の本数で把握されている場合は、1本=200リットル
 - ・一斗缶の本数で把握されている場合は、1本=18リットルとして換算してください。
- 廃タイヤについて、本数で把握されている場合は、
 - 大型トラック用:40kg/本、普通車用:7kg/本
 - 中型トラック用:10kg/本、軽自動車用:4kg/本として換算してください。
- 発生した「廃棄物の種類(①及び②)」と「③年間発生量」には、「脱水」や「焼却」等の中間処理を行う前のお答えください。ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答えください。
 1. 廃酸、廃アルカリを公共用水域(河川、公共下水道等)への放流を目的として中和処理した場合
 - 中和処理後の「汚泥」を発生量としてください。
 2. 含油廃水を油水分離した場合
 - 油水分離後の「廃油」と「汚泥」等を発生量としてください。
- 記入欄が不足と思われる場合は、あらかじめ用紙をコピーして、記入してください。
- 発生量等の単位は、できるだけトンでご記入ください。

例A
分離槽の清掃を松江市内の〇〇(株)に委託している。
汚泥は3トンぐらい発生し、松江市内にある△△(株)の脱水施設で中間処理しているとのことである。
中間処理後は、埋立処分(県内)しているとのことである。

例B
毎月ドラム缶1本ぐらいの廃油(エンジンオイル)が発生している。年間の発生量は2,400kgである(200kg×1本×12ヶ月分)。
処理は江津市の南〇〇環境に委託している。
(南〇〇環境では、油水分離後、燃料として再生利用している。

例C
年間に廃タイヤが300本発生した。このうち、普通車用タイヤが100本、大型トラック用タイヤが200本である。
年間の発生量を計算すると、普通車用が700kg(7kg/本×100本)、大型トラック用が8,000kg(40kg/本×200本)となる。
普通車用は、鳥取県にある(株)〇〇に処理を委託した。
(株)〇〇では、破砕後、燃料として売却している。
大型トラック用は、広島県の〇〇商店にセメント原料として売却した。

例D
自動車の修理の際に鉄くずが年間3トン発生した。
そのうち2トンは、大田市内の△△鉄鋼(株)に売却した。△△鉄鋼(株)では、鉄鋼材料として再生利用している。
残りの1トンは、岡山県の処分業者(株)〇〇産業に処理を委託した。(株)〇〇産業では破砕処理後、自社の埋立処分場(県外)に埋め立てている。

例E
廃プラスチックが年間5.5トン発生した。
その都度、自社の焼却炉で焼却した。
その灰の量は、およそ500kgで隠岐の島町にある(株)〇〇に埋立処分を委託した。

例F
ガラスくずが年間1.2トン発生した。
飯南町にある(株)〇〇に埋立処分を委託し、収集運搬は〇〇(株)に委託している。

本紙裏面の「廃棄物等分類番号表」を参照してください。

該当する単位の番号に、必ず〇をつけてください。

本紙裏面の「廃棄物等分類番号表」を参照してください。

委託している会社の本社や事務所、営業所の場所ではなく、処理等が行われている場所の地域番号を、本紙裏面の「地域番号表」を参照し、記入してください。

委託先で中間処理(⑧でF~Yの場合)された後の処理状況を記入してください。

I. 事業所での廃棄物等の発生状況

① 廃棄物等の種類 (具体的な名称)	② 廃棄物等の分類番号 (別紙参照)	③年間発生量(中間処理する前の量)					④ 単位 (番号に〇)
		百	十	千	百	十	
例A 1 洗車汚泥	0220					3	① t 3. m ³ ② kg 4. kg
例B 2 使用済エンジンオイル	0311		2	4	0	0	① t 3. m ³ ② kg 4. kg
例C 3 廃タイヤ (普通車用)	0620			7	0	0	① t 3. m ³ ② kg 4. kg
例C 4 廃タイヤ (大型トラック用)	0620			8	0	0	① t 3. m ³ ② kg 4. kg
例D 5 鉄くず (部品くず)	1200					2	① t 3. m ³ ② kg 4. kg
例D 6 "						1	① t 3. m ³ ② kg 4. kg
例E 7 廃プラスチック	0610			5	5		① t 3. m ³ ② kg 4. kg
例F 8 ガラスくず	1301					1 2	① t 3. m ³ ② kg 4. kg

II. 事業所での自己中間処理状況

④処理方法 番号(A~N)	⑤処理後の 廃棄物等の 分類番号 (別紙参照)	⑥自己中間処理後量					④ 単位 (番号に〇)
		百	十	千	百	十	
例D 5						2	① t 3. m ³ ② kg 4. kg
例D 6						1	① t 3. m ³ ② kg 4. kg
例E 7				5	5		① t 3. m ³ ② kg 4. kg
例F 8						1 2	① t 3. m ³ ② kg 4. kg

III. 事業所での自己中間処理後物も含めた、委託処理処分等の状況

⑦ 処理主体 (0~8)	⑧処理方法 番号(A~Y)	⑨ 処分、再生利用又は売却先の名称及び電話番号	⑩ 処分先の 地域番号 (別紙参照)	⑪ 処理後物の 処理主体 (0~8)	⑫ 処理後物の 処理方法 (ア~ク)	⑬ 資源化の 用途 (a~p)
例A 1	I	△△(株) (〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	0	1	6	エ
例B 2	N	(南〇〇環境) (〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	0	4	6	ウ c
例C 3	S	(株)〇〇 (〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	8	1	6	ア c
例C 4	A	〇〇商店 (〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	8	4		m
例D 5	A	△△鉄鋼(株) (〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	0	3		a
例D 6	S	(株)〇〇産業 (〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	8	3	6	オ
例E 7	C	(株)〇〇 (〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	0	6		
例F 8	C	(南〇〇) (〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	0	2		

破砕処理など、処理後も種類が変わらないものは処理前(②)と同じ分類番号を記入してください。

中間処理後の残量を記入してください。また、該当する単位の番号に必ず〇をつけてください。

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認し記入してください。また、不特定の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入してください。

島根県産業廃棄物実態調査票(その1)

(医療関係)

*この欄は記入しないでください

調査票番号

区分	地域	業種	階
.....

※ 本調査は、県内で発生する産業廃棄物の処理状況等を把握するために行う調査です。

※ 調査関係者は調査票の記入内容を他に漏らしたり、統計以外の目的に使用することを堅く禁じられていますので、ありのままをご記入ください。

※ 記入方法に関するお問い合わせは、島根県の委託を受けた調査機関の応用技術㈱(TEL:0120-381-453又は06-6373-6098)までお願いします。

※ ご記入していただいた内容についてお問い合わせする場合がございますので、必ず本調査票の控えを取っておいてください。

まず、事業所の概要について記入してください。

※ 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関して、以下の質問にお答えください。
 ※ そのため、調査票が送付された事業所から離れた場所に本院や分院等があっても、それらは調査の対象とはなりません。

事業所の概要	事業所名	記入者	部課
	所在地		氏名
	代表者氏名	TEL	() -
	主な診療科目 <small>(内科、外科、眼科等の別について具体的に)例:外科、レントゲン科</small>	FAX	() -
		従業員数(職員数)	
	平成20年10月1日現在の当該事業所の従業員数 <small>(パート等の臨時従業員及び役員等を含む)</small>		平成20年10月1日現在の病床数

次へ

平成20年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の1年間に産業廃棄物等は発生しましたか。

※ 自ら再生利用した物、自社で処理を行わず他者に売却した物又は回収された物も対象としてください。(右の【記入上の注意】参照)

該当する番号に○を付けてください。

1. 発生した。 2. 発生しなかった。

※「事業所の概要」欄のみ記入し、返送してください。

次へ

返信用封筒にて提出

右の【記入上の注意】を参照の上、裏面の「調査票(その2)」に貴事業所から発生した廃棄物等の処理状況について記入してください(別紙、「記入例」も参照)。

【記入上の注意】

「調査票(その1)及び(その2)」

- この調査では、調査票が送付された事業所内で発生した産業廃棄物だけが記入の対象になります。調査票が送付された事業所から離れた場所に本院や分院等があっても、それらは調査の対象とはなりません。
- 事務所ごみや厨房類等の事業系一般廃棄物についても記入してください。
- 自ら再生利用した物、自社で処理を行わず他者に売却した物又は回収された物も対象とします。

「調査票(その2)」

- 記入欄が不足と思われる場合は、あらかじめ用紙をコピーして、記入してください。
- 産業廃棄物の発生と処理状況を設問①～⑬までの流れに従って、設問ごとの説明を参考にご記入ください。また、別紙で「調査票(その2)」の記入例が同封してありますので参考にしてください。
- 同じ廃棄物でも、中間処理方法や処分先がいくつもある場合は、行を分けて記入してください。(記入例のB、Eを参照)
- 平成21年3月31日(年度末)時点で、保管中でも処分先が確定している場合は処理したものとして扱い、処分先が確定していない場合には⑧にて「E. 保管」を選択して下さい。

<発生量について>

- 廃油(食用油等)について
 - ・ドラム缶の本数で把握されている場合は、1本=200リットルとして換算してください。
 - ・一斗缶の本数で把握されている場合は、1本=18リットルとして換算してください。
- 発生した「廃棄物等の種類(①及び②)」と「③年間発生量」には、「脱水」や「焼却」等の中間処理を行う前のものをお答えください。

ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答えください。

 1. 廃酸、廃アルカリを公共用水域(河川、公共下水道等)への放流を目的として中和処理した場合
 - 中和処理後の「汚泥」を発生量としてください。
 2. 含油廃水を油水分離した場合
 - 油水分離後の「廃油」と「汚泥」等を発生量としてください。
- 発生量等の単位は、できるだけトンでご記入ください。

島根県産業廃棄物実態調査票(その2) (医療関係)

別紙「記入例」を参考に記入してください。

I. 事業所での廃棄物等の発生状況
 貴事業所で発生した産業廃棄物、及び自ら再生利用した物、他者に有償で売却した物又は回収された物も対象としてください。

① 廃棄物等の種類
 廃棄物等の具体的な名称(貴事業所での呼び名)を記入してください。

② 廃棄物等の分類番号
 別紙「廃棄物等分類番号表」を参照して、その廃棄物等の属するグループの4ケタの分類番号を記入してください。
 該当する廃棄物等の分類番号が分からない場合は、空欄でも構いませんが、①の廃棄物等の種類に、出来るだけ詳しく内容、性状等を記入してください。

③ 年間発生量(中間処理する前の量)
 廃棄物等の種類ごとに1年間の発生量を記入してください。
 単位は、該当するものを選び、その番号に○をつけてください。
 発生量とは、焼却や脱水などの中間処理をする前の量、及び売却する前の量です。
 ※同じ廃棄物等で処理方法が複数ある場合(例えば、最終処分と再生利用等)、また、処理先が複数ある場合は、複数行に分けて記入してください(記入例参照)。

II. 事業所での自己中間処理状況
 中間処理とは産業廃棄物を無害化、安定化又は減量化するために行う処理のことです。

④ 自己中間処理の方法
 該当する処理方法を、中間処理の工程順にA~Nの記号で記入してください。例)E. 中和 → B. 脱水 → A. 焼却
 A. 焼却 B. 脱水 C. 乾燥 D. 油水分離 E. 中和
 F. 破碎・粉砕 G. 分級 H. 圧縮 I. 溶融 J. 切断
 K. 焼成 L. 堆肥化 M. コンクリート固化 N. その他

⑤ 自己中間処理後の廃棄物等の分類番号
 別紙「廃棄物等分類番号表」を参照して、中間処理後廃棄物等の属するグループの4ケタの番号を記入してください。
 中間処理後、複数の種類の廃棄物等が発生する場合は、記入例のように複数行に分けて記入してください。

⑥ 自己中間処理後量
 中間処理を何回か行う場合は、最終的に生じる廃棄物等の量を記入してください。
 単位は該当するものを選び、その番号に○をつけてください。

III. 事業所での自己中間処理後物も含めた、委託処理処分等の状況
 売却、再生利用又は処分の内容についてお聞きします。

⑦ 処理主体
 売却、再生利用又は処分先を次の0~8の数字で記入してください。
 0. 自社 1. 自社他工場
 2. 再生資源回収業者(紙くず・金属くず・ガラスくず・繊維くずのみ)
 3. 再生利用業指定業者 4. 納入業者 5. 関連企業
 6. 産業廃棄物処分業者 7. 市町村 8. その他

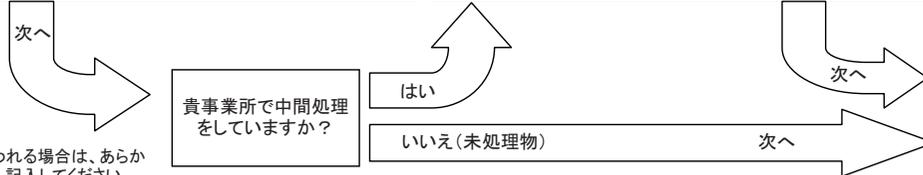
⑧ 処理方法(直接売却含む)
 ⑦の処理主体にどのような処理を委託したか、A~Yの記号で記入してください。(最終的に再生利用される場合は、Bの再生利用ではなく、F以降の処理方法を選択し記入してください。)
 例: 汚泥の堆肥化の場合は、設問⑧を「K」とし⑬で「d」とする。
 A. 売却 B. 再生利用 C. 埋立処分 D. 海洋投棄
 E. 保管 F. 焼却 G. 溶融 H. 焼成・ばい焼
 I. 脱水 J. 乾燥 K. 堆肥化 L. 中和 M. 分級
 N. 油水分離 O. 蒸留 P. 無害化 Q. コンクリート固化
 R. 選別 S. 破碎・粉砕 T. 切断 U. 圧縮
 V. 濃縮 W. 薬剤固化 X. 流動化 Y. その他

⑨ 処分、再生利用又は売却先の名称及び電話番号
 収集運搬業者の名前ではなく、処理処分業者の名称を記入してください。⑦で「0. 自社」を選択した場合は、空欄で構いません。(※収集運搬業者しか分からない場合は、その業者に確認し記入してください。)

⑩ 処分先の地域番号
 別紙「地域番号表」を参照して、売却、再生利用又は処分が行われる場所の2ケタの地域番号を記入してください。

⑪・⑫ 処理後物の処理主体及び処理方法
 委託先で中間処理(⑧でF~Yの場合)された後、生じた廃棄物等の処理について、その処理主体を⑦の0~8より選択し⑪に記入してください。
 また、その処理方法を次のア~クより選択し⑫に記入してください。
 ア. 売却 イ. 無償供与 ウ. 再生利用
 エ. 埋立処分(県内) オ. 埋立処分(県外)
 カ. 海洋投入 キ. 再処理(中間処理)
 ク. その他

⑬ 資源化の用途
 売却や無償供与、再生利用される場合、その資源化の用途を次のa~pの記号で記入してください。
 a. 鉄鋼原(材)料 b. 非鉄金属・貴金属原(材)料
 c. 燃料又はその原(材)料 d. 肥料又はその原(材)料
 e. 飼料又はその原(材)料
 f. 土壌改良材又はその原(材)料 g. 建設材料
 h. 再生骨材・再生路盤材
 i. ハルパ・紙又はその原(材)料 j. ガラス原(材)料
 k. プラスチック原(材)料 l. 再生タイヤ m. セメント原材料
 n. 再生油・再生溶剤 o. 中和剤 p. その他



【記入欄】
 記入欄が不足すると思われる場合は、あらかじめ本用紙をコピーして、記入してください。

① 廃棄物等の種類 (具体的な名称)	② 廃棄物等の分類番号 (別紙参照)	③ 年間発生量(中間処理する前の量)							単位 (番号に○)
		百	十	万	千	百	十	一	
1									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
2									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
3									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
4									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
5									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
6									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
7									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
8									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
9									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
10									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥

④ 処理方法 番号(A~N)	⑤ 処理後の 廃棄物等の 分類番号 (別紙参照)	⑥ 自己中間処理後量							単位 (番号に○)
		百	十	万	千	百	十	一	
1次 2次 3次									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥
									1. t 3. m ³ 2. kg 4. ㎥

⑦ 処理主体 (0~8)	⑧ 処理方法 番号(A~Y)	⑨ 処分、再生利用又は売却先の名称及び電話番号	⑩	⑪	⑫	⑬
			処分先の 地域番号 (別紙参照)	処理後物の 処理主体 (0~8)	処理後物の 処理方法 (ア~ク)	資源化の 用途 (a~p)
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				
		()				

【廃棄物等分類番号表】

種 類		分類番号	具 体 例	
燃え殻	燃え殻	0100	焼却炉の残灰、炉清掃物、活性炭、その他焼却残さなど 【注：可燃ごみなどを自宅で焼却処理した場合は、「燃え殻」ではなく、焼却する前の廃棄物の種類で記入してください。】	
	廃活性炭・廃カーボン	0101	廃活性炭、廃カーボン	
	有害物質を含む燃え殻	0109	有害物質の判定基準を超えるもの	
汚 泥	有機性汚泥	0210	検査室や実験室などの排水処理施設から発生する汚泥、その他泥状の有機性廃棄物(し尿を含む浄化槽汚泥を除く)	
	無機性汚泥	0220	めっき汚泥、凝集沈澱汚泥、洗車汚泥、その他泥状の無機性廃棄物	
	有害物質を含む汚泥	0209	有害物質の判定基準を超えるもの	
廃 油	一般廃油	鉱物油	0311	エンジンオイル、機械油、グリス、絶縁油、廃塗料(液状)など
		動植物油	0312	入院患者の給食に使った食用油(たぶら油など)
	廃溶剤	0320	アルコール類、ケトン、洗浄油など	
	固形油	0330	アスファルト、タールピッチ類、固形石けんなど	
	油でい	0340	油分の含有量が5%以上の汚泥などで直接埋立処分できないもの(タンクスラッジ、オイルスラッジなど)	
	油付着物等	0350	油のしみたウエス、油紙くずなど	
	揮発油類	0308	揮発油類(ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど)	
	有害物質を含む廃油	0309	有害物質の判定基準を超えるもの	
	廃 酸	廃 酸	0400	酸性を示す液状物(エッチング廃液、写真定着液、ホルマリンなど)
強酸性廃液		0408	pH 2.0 以下の廃液	
有害物質を含む廃酸		0409	有害物質の判定基準を超えるもの	
廃アルカリ		0500	アルカリ性を示す液状物(脱脂廃液、写真現像液、検査廃液など)	
廃アルカリ	強アルカリ性廃液	0508	pH 12.5 以上の廃液	
	有害物質を含む廃アルカリ	0509	有害物質の判定基準を超えるもの	
	廃プラスチック類	0610	発泡スチロール、プラスチック容器、合成樹脂製の器具、レントゲンフィルム、ビニールチューブなど	
廃タイヤ	0620	廃タイヤ		
紙くず	0700	印刷用紙、段ボール、コピー用紙、雑誌、新聞紙など		
動植物性残さ(生ごみ・塵芥類)	1000	調理くず、食堂の残飯、弁当の残飯、茶殻など		
ゴムくず	1100	天然ゴムくず【注：合成ゴムは廃プラ類に該当します。】		
金属くず	1200	切削くず、スクラップ、空き缶、銅くず、アルミくず、鉄くずなど		
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	ガラスくず	1301	アンブル、ガラスくず(びん類)など	
	陶磁器くず	1302	陶磁器くず(陶器、コンクリート製品くず等)、ギブス用石膏など	
ばいじん	ばいじん	1800	電気集じん器捕集ダスト、集じん器捕集ダストなど	
	有害物質を含むばいじん	1809	有害物質の判定基準を超えるもの	
紙おむつ	8001	紙おむつ(感染性でない)と判断したもの)		
感染性廃棄物	8009	医療機関等において生じた、感染性病原体が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらのおそれのある廃棄物であって汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等であるもの(血液、使用済みの注射針など)		
シュレッダーダスト	シュレッダーダスト	9010	廃電気機械器具の破砕物	
	有害物質を含むもの	9019	有害廃電気機械器具の破砕物	
その他	廃機械器具(家電リサイクル以外)	9020	家電リサイクル法の対象機器(エアコン、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫)を除く廃機械器具	
	廃バッテリー	9030	廃バッテリー	

注) は特別管理産業廃棄物

【地域番号表】

処理、処分、再生場所が島根県内の場合

市町村名		番号	市町村名		番号
松江圏域	松江市、安来市 八束郡 東出雲町	0 1	浜田圏域	浜田市、江津市	0 4
	出雲圏域			出雲市、雲南市 仁多郡 奥出雲町 飯石郡 飯南町 簸川郡 斐川町	
大田圏域	大田市 邑智郡 川本町、美郷町、邑南町	0 3	隠岐圏域	隠岐郡 海士町、西ノ島町、隠岐の島町、 知夫村	0 6

処理、処分、再生場所が島根県外の場合

都道府県名	番号	都道府県名	番号	都道府県名	番号	都道府県名	番号				
北海道・東北	北海道	5 1	北陸	新潟県	6 5	近畿	滋賀県	7 5			
	青森県	5 2		富山県	6 6		京都府	7 6	四国	徳島県	8 6
	岩手県	5 3		石川県	6 7		大阪府	7 7		香川県	8 7
	宮城県	5 4		福井県	6 8		兵庫県	7 8		愛媛県	8 8
	秋田県	5 5		山梨県	6 9		奈良県	7 9		高知県	8 9
	山形県	5 6		長野県	7 0		和歌山県	8 0		福岡県	9 0
	福島県	5 7		岐阜県	7 1		鳥取県	8 1		佐賀県	9 1
	茨城県	5 8		静岡県	7 2		島根県	8 1		長崎県	9 2
	栃木県	5 9		愛知県	7 3		岡山県	8 3		熊本県	9 3
	群馬県	6 0		三重県	7 4		広島県	8 4		大分県	9 4
関東	埼玉県	6 1	中国	山口県	8 5	九州・沖縄	宮崎県	9 5			
	千葉県	6 2		その他	鹿児島県		9 6	鹿児島県	9 6		
	東京都	6 3			沖縄県		9 7	不明	9 9		
	神奈川県	6 4			国外		9 8				

記入例

例Aから例Fまで、参考事例を示しております。
この事例及びマニフェスト伝票を参考にして調査票(その2)を記入してください。

記入上の注意事項

- 本調査の対象廃棄物は、以下に示すものです。
 - ・貴事業所で発生した産業廃棄物
 - ・自ら再生利用した物、自社で処理を行わず他人に売却した物又は回収された物も対象とします。
 - ・事務所ごみや厨芥類等の事業系一般廃棄物についても記入してください。
- 記入欄が不足と思われる場合は、あらかじめ用紙をコピーして、記入してください。
- 廃油(食用油等)について
 - ・ドラム缶の本数で把握されている場合は、1本=200リットル
 - ・一斗缶の本数で把握されている場合は、1本=18リットルとして換算してください。
- 発生した「廃棄物等の種類(①及び②)」と「③年間発生量」には、「脱水」や「焼却」等の中間処理を行う前のものをお答えください。ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答えください。
 1. 廃酸、廃アルカリを公共用水域(河川、公共下水道等)への放流を目的として中和処理した場合
 - 中和処理後の「汚泥」を発生量としてください。
 2. 含油廃水を油水分離した場合
 - 油水分離後の「廃油」と「汚泥」等を発生量としてください。
- 発生量等の単位は、できるだけトンでご記入ください。

例A
入院患者の給食に使用した食用油が毎月一斗缶で5本程度発生している。
年間の発生量は1,080ℓである(18ℓ×5本×12ヶ月分)。
㈱△△に収集運搬を委託し、松江市に処理施設を保有する〇〇油脂㈱に焼却処理してもらった。
焼却後の燃え殻は埋立処分(県内)しているとのことである。

例B
レントゲンフィルム(廃プラスチック)が年間で4トン発生している。
その都度、自社の焼却炉で焼却している。
焼却後の燃え殻0.1トンは、益田市にある△△㈱に埋立処分を委託している。
残りのばいじん0.02トンは、奥出雲町にある㈱〇〇環境に埋立処分を委託している。

例C
レントゲン定着廃液が年間400kg発生し、定期的に取りに来る岡山県の□□㈱に売却している。
□□㈱では、廃液から銀を回収しているようである。
レントゲン現像廃液も年間300kg発生し、同業者に処理を委託しており、業者で中和処理を実施している。中和処理で発生した汚泥は、別の処分業者に処理を再委託している。

例D
非感染性の廃プラスチックが年間で10kg発生した。
浜田市内にある㈱〇〇産業に処理を委託し、焼却施設で中間処理後、別の処理業者に埋立処分(県外)を委託している。

例E
金属容器ごみが年間で30トン発生した。
そのうち10トンは、川本町の□□鉄鋼㈱に売却し、鉄鋼材料として再生利用している。
残りの20トンは、鳥取県の処分業者(㈱△△産業)に処理を委託した。(㈱△△産業では破砕処理後、自社の埋立処分場(県外)に埋立処分している。)

例F
感染性廃棄物が年間に300ℓ発生し、自社で滅菌処理している。
処理後は、松江市内の㈱□□に処理を委託している。
㈱□□では、すべて焼却処理し、処理後は自社の埋立処分場(県内)に埋立処分している。

本紙裏面の「廃棄物等分類番号表」を参照してください。

該当する単位の番号に、必ず〇をつけてください。

本紙裏面の「廃棄物等分類番号表」を参照してください。

中間処理後の廃棄物が微量な場合は、「0」を記入してください。

委託している会社の本社や事務所、営業所の場所ではなく、処理等が行われている場所の地域番号を、本紙裏面の「地域番号表」を参照し、記入してください。

委託先で中間処理(⑧でF~Yの場合)された後の処理状況を記入してください。

I. 事業所での廃棄物等の発生状況						II. 事業所での自己中間処理状況						III. 事業所での自己中間処理後物も含めた、委託処理処分等の状況								
① 廃棄物等の種類 (具体的な名称)	② 廃棄物等の 分類番号 (別紙参照)	③年間発生量(中間処理する前の量)				④処理方法 番号(A~N)	⑤処理後の 廃棄物等の 分類番号 (別紙参照)	⑥自己中間処理後量				⑦ 処理主体 (0~8)	⑧処理方法 番号(A~Y)	⑨ 処分、再生利用又は売却先の名称及び電話番号			⑩ 処分先の 地域番号 (別紙参照)	⑪ 処理後の 処理主体 (0~8)	⑫ 処理後の 処理方法 (ア~ク)	⑬ 資源化の 用途 (a~p)
		百	十	千	百			十	千	百	十			以下	単位 (番号に〇)	1次				
例A 1 食用油	0312			080								6	F	〇〇油脂㈱	(〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	01	6	エ		
例B 2 レントゲンフィルム	0610				4	A	000			01		6	C	△△㈱	(〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	05				
例C 4 レントゲン定着廃液	0400			400								6	C	㈱〇〇環境	(〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	02				
例C 5 レントゲン現像廃液	0500			300								8	A	□□(有)	(〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	83		b		
例D 6 廃プラスチック	0610			10								6	L	□□(有)	(〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	83	6	キ		
例E 7 金属容器ごみ	1200			10								6	F	㈱〇〇産業	(〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	04	6	オ		
例E 8 "				20								2	A	□□鉄鋼㈱	(〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	03		a		
例F 9 感染性廃棄物	8009			300		N	8009			300		6	S	(有)△△産業	(〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	81	6	オ		
												6	F	㈱□□	(〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	01	6	エ		

破砕処理など、処理後も種類が変わらないものは処理前(②)と同じ分類番号を記入してください。

中間処理後の残量を記入してください。また、該当する単位の番号に必ず〇をつけてください。

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認し記入してください。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入してください。

【廃棄物等分類番号表】

種 類		分類番号	具 体 例
燃え殻	燃え殻	0100	焼却炉の残灰、炉清掃物、活性炭、その他焼却残さなど 【注：可燃ごみなどを自社で焼却処理した場合は、「燃え殻」ではなく、焼却する前の廃棄物の種類で記入してください。】
	廃活性炭・廃カーボン	0101	廃活性炭、廃カーボン
	有害物質を含む燃え殻	0109	有害物質の判定基準を超えるもの
汚 泥	有機性汚泥	0210	活性汚泥、製紙汚泥、ビルビット汚泥、その他泥状の有機性廃棄物
	無機性汚泥	0220	めっき汚泥、凝集沈澱汚泥、洗車汚泥、その他泥状の無機性廃棄物
	有害物質を含む汚泥	0209	有害物質の判定基準を超えるもの
廃 油	一般廃油	0311	エンジンオイル、機械油、グリス、絶縁油、廃塗料(液状)など
		0312	魚油、ヘッド、ラード、天ぷら油、ゴマ油、サラダ油など
	0320	アルコール類、ケトン、洗浄油など	
	0330	アスファルト、タールピッチ類、固形石けんなど	
	0340	油分の含有量が5%以上の汚泥などで直接埋立処分できないもの(タンクスラッジ、オイルスラッジなど)	
	0350	油のしみたウエス、油紙くずなど	
	0308	揮発油類(ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど)	
	0309	有害物質の判定基準を超えるもの	
廃 酸	0400	酸性を示す液状物(エッチング廃液、写真定着液、ホルマリンなど)	
	0408	pH 2.0 以下の廃液	
	0409	有害物質の判定基準を超えるもの	
廃アルカリ	0500	アルカリ性を示す液状物(脱脂廃液、写真現像液、検査廃液など)	
	0508	pH 12.5 以上の廃液	
	0509	有害物質の判定基準を超えるもの	
廃プラスチック類	0610	発泡スチロール、プラスチック容器、電線被覆材、FRP、廃塗料(固形状)など	
	0620	廃タイヤ	
紙くず	0700	紙・紙加工品製造業、製本業等から排出される紙くず	
木くず	0800	木材・木製品製造業、パルプ製造業等から排出される木くず 物品賃貸業から排出される木くず、廃パレット	
繊維くず	0900	繊維製品製造業から排出される繊維くず 【注：合成繊維は廃プラ類に該当します。】	
動物性残さ	動物性残さ	1001	魚・獣の骨・皮、内臓等のあら、皮革くず、卵から、貝殻、ボイルかす、羽毛など
	植物性残さ	1002	ソースかす、醬油かす、酒かす、でんぷんかす、茶かす、野菜くず、パンくずなど
動物系固形不要物	4000	と畜場、食鳥処理場から排出される食鳥に係る固形状の不要物	
ゴムくず	1100	天然ゴムくず【注：合成ゴムは廃プラ類に該当します。】	
金属くず	1200	切削くず、スクラップ、空き缶、銅くず、アルミくず、鉄くずなど	
ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず	1301	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウールなど
	陶磁器くず	1302	セラミックくず、レンガ、瓦、陶器など
	石膏ボード	1303	石膏ボードくず
	コンクリートくず (がれき類を除く)	1304	コンクリート製品のくず、コンクリートがら、戻りコンクリートなど
鉱さい	石綿含有物(普通産廃)	1308	アスベスト成形板(アスベストの含有量が0.1%を超えるスレート板、パーライト板、石綿セメント円筒など)
	鉱さい	1400	高炉、転炉、電気炉等の残さ、鑄物砂、不良鉱石、キューボラのノロなど
がれき類	有害物質を含む鉱さい	1409	有害物質の判定基準を超えるもの
	コンクリート片	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
がれき類	廃アスファルト	1520	アスファルトコンクリート破片
	その他の建設廃材	1530	鉄道用線路の砂利、骨材、石材、レンガ、スレート、タイルなど
	建設混合廃棄物	1540	工事現場内及び自社にて分別不可能なもの
	廃石綿(アスベスト)等	2009	吹き付け石綿、石綿含有保温材 大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など

種 類		分類番号	具 体 例
動物のふん尿		1600	畜産農業から排出される動物のふん尿
動物の死体		1700	畜産農業から排出される動物の死体
ばいじん	ばいじん	1800	電気集じん器捕集ダスト、集じん器捕集ダストなど
	有害物質を含むばいじん	1809	有害物質の判定基準を超えるもの
感染性廃棄物		8009	医療機関等において生じた、感染性病原体が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらのおそれのある廃棄物であって汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等であるもの(血液、使用済みの注射針など)
シュレッダーダスト	シュレッダーダスト	9010	廃電気機械器具の破砕物
	有害物質を含むもの	9019	有害廃電気機械器具の破砕物
その他	廃機械器具 (家電リサイクル法以外)	9020	家電リサイクル法の対象機器(エアコン、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫)を除く廃機械器具
	廃バッテリー	9030	廃バッテリー

注)  は特別管理産業廃棄物

【地域番号表】

処理、処分、再生場所が島根県内の場合

市町村名		番号	市町村名		番号
松江 圏域	松江市、安来市 八束郡 東出雲町	0 1	浜田 圏域	浜田市、江津市	0 4
	出雲 圏域		出雲市、雲南市 仁多郡 奥出雲町 飯石郡 飯南町 簸川郡 斐川町	益田 圏域	
大田 圏域	大田市 邑智郡 川本町、美郷町、邑南町	0 3	隠岐 圏域	隠岐郡 海士町、西ノ島町、隠岐の島町、 知夫村	0 6

処理、処分、再生場所が島根県外の場合

都道府県名	番号	都道府県名	番号	都道府県名	番号	都道府県名	番号		
								北海道	5 1
北海道・東北	青森県	5 2	北陸	富山県	6 6	四国	香川県	8 7	
	岩手県	5 3		石川県	6 7		愛媛県	8 8	
	宮城県	5 4	福井県	6 8	九州・沖縄	高知県	8 9		
	秋田県	5 5	山梨県	6 9		福岡県	9 0		
	山形県	5 6	長野県	7 0	和歌山県	8 0	佐賀県	9 1	
	福島県	5 7	岐阜県	7 1	中国	鳥取県	8 1	長崎県	9 2
	茨城県	5 8	静岡県	7 2		島根県	(上記)	熊本県	9 3
	栃木県	5 9	愛知県	7 3	岡山県	8 3	大分県	9 4	
	群馬県	6 0	三重県	7 4	広島県	8 4	宮崎県	9 5	
	埼玉県	6 1			山口県	8 5	鹿児島県	9 6	
千葉県	6 2					沖縄県	9 7		
東京都	6 3								
神奈川県	6 4					その他	国外	9 8	
							不明	9 9	

産業廃棄物等に関する意識調査

調査票番号

島根県

本調査票の回答も産業廃棄物実態調査票と併せてご返送ください。
なお、産業廃棄物の発生がない場合は回答は不要です。

下記の設問について、該当番号を○印で選択、又は必要事項の記述で回答してください。

問1 産業廃棄物に関する課題について

(1) 貴事業所の産業廃棄物のリサイクルや処理(処分)について、困っていることがありますか。(該当の番号をひとつお選びください)

- 1 困っている
- 2 困っていない

(2) 前記(1)で、1の「困っている」を選んだ方にお聞きします。
今、困っていることは何ですか。(複数あれば複数をお選びください)

- 1 自社内での処理(処分)が困難(規制基準への対応、処分地への対応等)
- 2 自社内でのリサイクルが困難(リサイクル技術、利用用途等)
- 3 処理(処分)に要する委託費が高い
- 4 リサイクルに要する委託費が高い
- 5 処理(処分)業者に関する情報が少ない
- 6 リサイクル業者に関する情報が少ない
- 7 その他 具体的に (記載例) 手続きの煩雑性、法解釈の難しさ

問2 産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用(3R)の取組みについて

(1) 貴事業所では、産業廃棄物の発生抑制に取組んでいますか。(該当の番号をひとつお選びください)

- 1 取組んでいる
- 2 今後取組む予定がある
- 3 取組みたいが、実施に至っていない (理由は:)
- 4 取組む予定はない

(2) 前記(1)で、1の「取組んでいる」を選んだ方にお聞きします。
それはどのような取組みですか。(取組み内容についてお書きください)

産業廃棄物の種類	発生抑制の取組み内容
(記載例) ばいじん	石炭燃料を灰分の少ない石炭に変更した。

(3) 貴事業所では、産業廃棄物の再資源化(再使用、再生利用)に取組んでいますか。(該当の番号をひとつお選びください)

- 1 取組んでいる
- 2 今後取組む予定がある
- 3 取組みたいが、実施に至っていない (理由は:)
- 4 取組む予定はない

(4) 前記(3)で、1の「取組んでいる」を選んだ方にお聞きします。
それはどのような取組みですか。(取組み内容についてお書きください)

産業廃棄物の種類	再使用又は再生利用の取組み内容
(記載例) 廃瓦	業者に委託し、アスファルト舗装の骨材に再生利用

問3 産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用(3R)の促進について

(1) 貴事業所の産業廃棄物について、発生抑制、再使用、再生利用(3R)を促進するためには、今後どのような対策が必要と思いますか。(重要と思われるものを3つまでお選びください)

- 1 規格材の使用・ユニット工法など廃材発生が少ない設計・工法の採用
- 2 廃棄物等の低減のための原材料の見直し、製造工程の変更
- 3 包装材・梱包材の使用量の削減
- 4 事業所(現場)内での廃棄物の分別の徹底
- 5 廃棄物の性状等に関する情報の提供
- 6 長寿命化、リサイクルのし易さ等を考慮した製品の設計・開発
- 7 環境保全型商品を選択するグリーン購入・調達の促進
- 8 環境ISO(14001シリーズ)の認証取得
- 9 異業種間連携によるリサイクル等の共同研究・事業化
- 10 産官学連携によるリサイクル等の共同研究・開発
- 11 その他 具体的に

(2) 上記(1)で、9の「異業種間連携・・・」及び10の「産官学連携・・・」を選んだ方にお聞きします。

貴事業所では、今後、機会があればこれらの共同研究や開発等に参画したい意向がありますか。

- 1 参画する
- 2 参画しない

(3) 上記(2)で、1の「参画する」を選んだ方にお聞きします。
貴事業所で取り上げてみたい共同研究等のテーマと内容について、簡潔にお書きください。

テーマ	内容等

(裏面につづく)

問4 産業廃棄物の将来見通し（5年後）について

(1) 貴事業所における5年後の産業廃棄物の発生量（産業廃棄物の全体量）について、どのようになると思われますか。（おおよその量として、該当の番号をひとつお選びください）

- 1 かなり増加するだろう（現在より30%以上の増加）
- 2 増加するだろう（現在より10%から30%程度の増加）
- 3 やや増加するだろう（現在より5%から10%程度の増加）
- 4 ほとんど変わらないだろう（現在より5%以内の増加又は減少）
- 5 やや減少するだろう（5%から10%程度の減少）
- 6 減少するだろう（10%から30%程度の減少）
- 7 かなり減少するだろう（30%以上の減少）

(2) 前記(1)で、貴事業所の5年後の状況に該当するとして選ばれた番号について、選んだ理由を簡潔にお書きください。

(選んだ理由)

(記載例) 2年後には増設工場が稼動するため、産廃の発生量が増大する見込み

問5 産業廃棄物の処理施設（最終処分場）の立地について

(1) 貴事業所の産業廃棄物を処理する上で、最終処分場は必要ですか。（該当の番号をひとつお選びください）

- 1 必要である
- 2 将来、必要になるとされる
- 3 自社の最終処分場で対応できる
- 4 必要としない

(2) 上記(1)で、4の「必要としない」以外の回答(1、2、3)を選んだ方にお聞きします。

貴事業所の産業廃棄物を円滑に埋立処分するためには、今後、最終処分場の整備がどのように進められるべきだと思いますか。（該当の番号をひとつお選びください）

- 1 自社による最終処分場の整備を進める
- 2 民間処分業者による最終処分場整備を進める
- 3 公共（県・市町村等）の関与による最終処分場整備を進める
- 4 その他

具体的に

(3) 最終処分場の需要や立地についてご意見・ご提案があれば、お書きください。

(ご意見・ご提案)

問6 県への要望について

産業廃棄物の減量化、リサイクル、適正処理を進めるため、県はどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。（重要だと思うものを3つまで選んでください）

- 1 地域で発生した産業廃棄物は、地域で適正に処理する処理体制の整備
- 2 地域の特性を生かしたゼロエミッション事業の推進
- 3 県や市などの公共が関与した産業廃棄物処理施設の整備促進
- 4 減量化・リサイクルに関する研究・開発と情報発信体制の整備
- 5 環境保全型商品を積極的に選択するグリーン購入・調達推進
- 6 産業廃棄物処理施設や処理・処分状況についての情報公開
- 7 排出事業者責任の徹底を図るための監視・指導体制の強化
- 8 不法投棄等の環境犯罪に対する迅速な対応と厳しい取締り
- 9 優良な産業廃棄物処理業者の支援と育成
- 10 産業廃棄物処理についての県民の知識と理解を深めるための啓発活動
- 11 リサイクル技術開発・施設整備への補助拡大・融資制度の創設
- 12 その他

具体的に

以上

ご協力ありがとうございました